

# 年報

平成26年度

Annual Report of Tokyo Metropolitan Industrial Technology Research Institute



## 都産技研を活用した「世界に勝つものづくり」

平成 26 年度は、都産技研の最新設備と技術シーズを大変多くの中小企業にご利用いただくことができました。依頼試験は前年度並みの約 15 万件ですが、機器利用が 10%増の約 13 万件となりました。ものづくりを行う中小企業の仕事は増えていると感じていますが、円安で好調の大企業と比べると、中小企業は原材料高などで利益まで結びついていない状況です。

こうした中、都産技研は開発型中小企業の支援を一層強化すべく、平成 26 年 4 月、本部に「ロボット開発セクター」を、12 月には城南支所に「先端計測加工ラボ」を新設し、研究の強化と試験の高度化等を進めました。また、中小企業の海外進出支援強化の一環として、平成 27 年 4 月バンコク支所を開設いたしました。以下ではこれらの活動の概要を紹介いたします。

### 1) ロボット開発セクターの開設

ロボット開発セクターでは、移動ロボットの基盤である「T型ロボットベース」を開発し、「案内ロボット」や「おもてなしロボット」などの中小企業のロボット開発に貢献してまいりました。この平成 27 年度からは、東京オリンピック・パラリンピック開催も見据えて、東京のロボット産業を発展させる「ロボット産業活性化事業」に取り組んでまいります。研究開発のみならず、開発・評価用設備強化、人材育成強化等、ロボット産業の活性化を進めてまいります。

### 2) 先端計測加工ラボの開設

先端計測加工ラボには、医工連携産業支援、航空機産業支援をテーマに、最新機器 24 機種を取り揃えました。既存の光造形装置や三次元レーザー加工機に加え、新たに熔融積層型造形装置等を配備し、航空機等に多く用いられる自由局面を持った部品を金型を使わずに造形可能とするなど、試作品の製作支援をより充実させました。皆さまの積極的な利用をお待ちしております。

### 3) バンコク支所の開設

ASEAN 地域での日系中小企業に対する技術支援拠点としてバンコク支所を開設しました。本支所に機器等の配備はできませんが、3 名の職員が常駐し、日本国内の研究員とも連携して、日系中小企業の技術相談（無料）、現地工場での技術指導、現地での技術セミナーなどを行います。ASEAN に工場を展開されている中小企業におかれましては、まずはこのバンコク支所の存在を現地にお知らせいただきますようお願い申し上げます。

このように、都産技研は引き続き研究開発の強化、機器の高度化を図り、中小企業の「世界に勝つものづくり」を支援してまいります。中小企業の皆さまには、従来にも増して積極的なご利用をお願い申し上げます。

平成 27 年 6 月

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

理事長 片岡 正俊

# 平成 26 年度 東京都立産業技術研究センター年報 目 次

1. 概要	
1.1 概要	1
1.2 組織	2
2. 技術支援	
2.1 技術相談	3
2.2 総合支援窓口	4
2.2.1 ご利用カード発行状況	4
2.2.2 料金収納状況	4
2.3 実地技術支援事業	5
2.4 依頼試験	6
2.4.1 依頼試験	6
2.4.2 オーダーメイド試験	10
2.4.3 試験所認定制度への取り組み	10
2.4.4 環境計量証明事業の登録	11
2.5 機器整備	12
2.5.1 機器整備一覧	12
2.5.2 経済産業省平成 25 年度補正予算事業による機器整備 およびその取り組み	14
2.6 機器利用	16
2.6.1 機器利用ライセンス制度	17
2.6.2 機器利用可能情報およびインターネット経由での 予約申し込み受け付けの提供	17
2.7 震災復興技術支援	18
2.7.1 都内中小企業および被災地企業の利用料金の減免	18
2.7.2 工業製品等の放射線量測定試験	18
2.7.3 東京都との協定に基づく放射線量測定試験	19
2.7.4 節電・省エネ技術支援の実施	19
2.7.5 公設試験研究機関との震災復興に関する連携事業	19
3. 製品開発支援	
3.1 高度分析開発セクター	20
3.2 システムデザインセクター	21
3.3 実証試験セクター	21
3.4 生活技術開発セクター	22
3.5 ロボット開発セクター	24
3.6 先端計測加工ラボ	25
3.7 オーダーメイド開発支援	27

3.8	製品開発支援ラボ	27
3.9	共同研究開発室	30
4.	技術経営支援	
4.1	知的財産権の取得	31
4.1.1	知的財産権総括	31
4.1.2	保有する登録済み知的財産権	32
4.1.3	出願案件	41
4.1.4	実施許諾	51
4.1.5	著作権の許諾	52
4.2	海外規格対応の支援 広域首都圏輸出製品技術支援センター (MTEP)	54
4.2.1	海外展開支援サービス	54
4.2.2	普及啓発活動	55
4.2.3	相談実績	56
4.2.4	刊行物	57
4.3	技術審査	59
5.	産学公連携	
5.1	東京イノベーションハブの活用	60
5.2	コーディネーター事業	63
5.3	異業種交流事業	63
5.4	業種別交流会	65
5.5	技術研究会	65
5.6	行政等支援機関連携	67
5.6.1	協定・覚書締結一覧	67
5.6.2	大学などとの連携	69
5.6.3	区市町村などとの連携	72
5.6.4	公益財団法人東京都中小企業振興公社との連携	76
5.6.5	首都圏公設試験研究機関との連携	78
5.6.6	産業技術連携推進会議	79
5.6.7	学協会連携事業	82
6.	研究開発の推進	
6.1	基盤研究	85
6.2	共同研究	90
6.3	外部資金導入研究・調査	93
6.3.1	競争的資金導入研究	93
6.3.2	地域結集型研究開発プログラム	95
6.3.3	都市課題解決のための共同研究	99
6.3.4	受託研究	100

6.4	外部発表	101
6.5	職員の受賞	117
6.6	研究評価制度	118
6.6.1	評価方法	118
6.6.2	評価結果	118
6.6.3	平成 26 年度委員	123
7.	産業人材育成	
7.1	技術セミナー・講習会	125
7.1.1	技術セミナー・講習会一覧	125
7.1.2	重点 4 技術分野フォーラム	133
7.2	オーダーメイドセミナー	135
7.3	職員派遣	136
7.3.1	委員等の派遣	136
7.3.2	講師等の派遣	137
7.3.3	研修学生・インターンシップなどの受け入れ	139
8.	情報発信	
8.1	研究成果発表会	141
8.2	主催イベント	148
8.2.1	施設公開	148
8.2.2	サイエンスアゴラ 2014	151
8.2.3	墨田支所 生活技術開発セクター 1 周年記念講演会	151
8.2.4	多摩テクノプラザイベント	151
8.3	施設見学	153
8.4	展示会出展およびセミナーの開催	154
8.4.1	展示会出展	154
8.4.2	ものづくりセミナー	156
8.5	刊行物	157
8.5.1	刊行物一覧	157
8.5.2	年報	157
8.5.3	研究報告	158
8.5.4	TIRI NEWS	158
8.6	ホームページ	158
8.7	マスコミ報道	159
8.8	都産技研メールニュース	188
8.9	図書室	188
9.	業務運営	
9.1	組織運営	189
9.1.1	都産技研戦略ロードマップ	189

9.1.2	業務改革	189
9.1.3	人材育成	190
9.2	都産技研情報システム	191
9.2.1	概要	191
9.2.2	業務運営	191
9.3	業務実績報告書と業務実績評価	192
9.3.1	業務実績報告書の提出	192
9.3.2	業務実績評価	192
9.4	施設整備	194
9.4.1	本部	194
9.4.2	城東支所	194
9.4.3	墨田支所 生活技術開発セクター	194
9.4.4	城南支所	194
9.4.5	多摩テクノプラザ	195
9.5	安全衛生管理	196
9.5.1	放射線安全管理	196
9.5.2	安全衛生管理	199
9.5.3	リスクマネジメント	200
9.6	情報開示	201

## 資料

1	沿革	202
2	施設	203
3	第二期中期計画・平成 26 年度計画	209
3.1	第二期中期計画	209
3.2	平成 26 年度計画	223
4	東京都地方独立行政法人評価委員会試験研究分科会	236
5	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター憲章	237
6	環境方針	238
7	リスクマネジメントに関する基本方針	239
8	職員名簿	240

# 1. 概要

## 1.1 概要

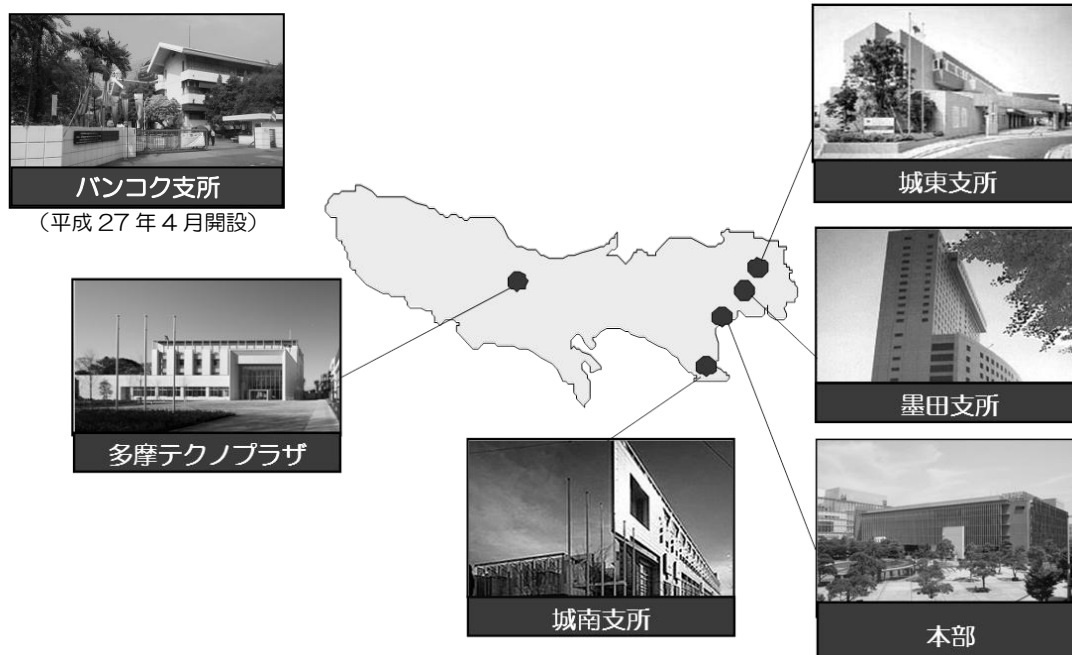
東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という。）は平成 18 年 4 月に全国に先駆けて地方独立行政法人へ移行し、平成 22 年度で第一期中期計画期間の 5 年が終了し、平成 23 年度から第二期中期計画期間を開始している。この第二期においては、従来以上に都内中小企業の技術支援を強化すべく、6 つの方針に基づき活動している。

- (1) ものづくり産業の総合的支援の推進  
～高付加価値化、デザイン活用、高信頼性～
- (2) イノベーションの創出・新事業創出型研究の充実  
～「環境」、「福祉」、「安全・安心」など大都市課題の解決に貢献～
- (3) 中小企業の国際競争力強化
- (4) サービス産業などへの技術支援サービス拡充
- (5) ものづくりに携わる産業人材の育成
- (6) 震災復興技術支援の推進

平成 26 年度は、少子高齢化社会の到来により需要の増加が期待されるサービスロボットの設計・開発を支援する目的で「ロボット開発セクター」を 4 月に設立した。情報技術やメカトロ技術などを専門とする職員をロボット開発セクターに集約して実用性の高いロボット開発支援を開始した。

また、城南支所において平成 26 年 12 月に「先端計測加工ラボ」を開設した。先端ものづくり産業（航空機産業および医工連携産業）の支援強化を目的として、6 機種の新規機器を含む 24 機種の整備を行った。リバースエンジニアリングを活用した成長産業への新規参入支援を行っている。

都産技研は、都民の期待に応え、引き続き、事業化支援、研究開発、技術協力、技術移転を通じて、都内中小企業に対し高品質な技術支援および製品・技術の競争力向上を支援し、東京の産業発展と都民生活の向上を目指している。



## 1.2 組織



注1：( )内の数字は職員数。ワイドキャリア(12日型、時間型)を含む。(平成27年3月31日現在)

注2：理事\*1は開発本部長を兼務。理事\*2は事業化支援本部長および地域技術支援本部長を兼務。

経営企画部長は経営情報室長を、開発第一部長は情報技術グループ長を、開発第二部長は表面技術グループ長を、技術経営支援部長は国際化推進室長を、墨田支所長は生活技術開発セクター長をそれぞれ兼務。



## 2. 技術支援

### 2.1 技術相談

中小企業などから受ける技術支援の依頼に対して、職員の専門的な知識に基づく技術相談を実施し、製品開発支援や技術課題の解決を図った。生産現場での支援が必要な場合は、職員や外部専門家を現地に派遣して利用者の要望に応えた。

相談件数は、来所 29,198 件 (21.6%)、電話 52,797 件 (39.0%)、メール 41,649 件 (30.8%)、その他 11,576 件 (8.6%) であり、総相談件数は 135,220 件であった。企業規模別では中小企業 105,416 件 (78.0%) であり、技術分野別では材料、評価技術、エレクトロニクスが多かった。

企業規模別の技術相談件数 (件)

区 分	来所	電話	メール	その他	合計	比率 (%)
一般	5,517	7,873	8,928	2,028	24,346	18.0
中小企業	23,120	43,421	29,991	8,884	105,416	78.0
中小企業団体	286	461	922	152	1,821	1.3
公益法人等	275	1,042	1,808	512	3,637	2.7
合 計	29,198	52,797	41,649	11,576	135,220	100.0

技術分野別の技術相談件数 (件)

区 分	来所	電話	メール	その他	合計	比率 (%)
ナノテクノロジー	216	819	380	79	1,494	1.1
IT	625	2,203	3,714	64	6,606	4.9
エレクトロニクス	5,014	6,209	4,082	219	15,524	11.5
システムデザイン	1,999	3,512	2,528	1,715	9,754	7.2
環境	2,024	3,568	2,427	172	8,191	6.1
少子高齢・福祉	42	240	126	108	516	0.4
バイオテクノロジー	53	396	380	24	853	0.6
材料	5,385	9,914	8,695	1,425	25,419	18.8
精密加工	1,748	1,934	1,751	518	5,951	4.4
光音・照明	1,109	3,372	4,029	404	8,914	6.6
繊維	2,769	3,109	1,615	530	8,023	5.9
放射線	696	2,302	2,324	196	5,518	4.1
評価技術	6,240	9,941	5,343	1,266	22,790	16.8
技術連携	65	294	724	148	1,231	0.9
その他	1,213	4,984	3,531	4,708	14,436	10.7
合 計	29,198	52,797	41,649	11,576	135,220	100.0

## 2.2 総合支援窓口

### 2.2.1 ご利用カード発行状況

依頼試験・機器利用等の試験の受け付けをスピーディーに行うために、本部・支所のいずれかで登録すれば、共通して使用できる「ご利用カード」を平成18年度から導入した。9年間で約4万枚のカードを発行し、お客さまへのサービス向上を実現した。

「ご利用カード」発行枚数（枚）

	累計枚数	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成18～22年度
本部	29,303	3,200	4,242	4,515	2,923	14,423
城東支所	1,771	201	220	132	100	1,118
墨田支所	1,913	273	229	184	174	1,053
城南支所	1,773	77	105	117	144	1,330
旧駒沢支所	372	—	—	—	—	372
多摩テクノプラザ	4,718	694	700	754	945	1,625
合計	39,850	4,445	5,496	5,702	4,286	19,921

\*本部は旧西が丘本部分、多摩テクノプラザは旧多摩・八王子支所分を含む。

### 2.2.2 料金収納状況

料金収納方法について、現金以外にお客さまの利便性を考慮して平成18年度よりコンビニ収納や銀行振込による取り扱いを開始した。また、平成20年度よりクレジットカード（およびデビットカード）による支払いも可能とした。

料金収納状況

支払い方法	現金	コンビニ	銀行振込	クレジットカード	デビットカード	合計
支払い件数（件）	18,138	2,535	9,090	3,466	1	33,230
支払い金額（千円）	195,032	21,188	352,920	74,632	12	643,784
金額比率（％）	30.3	3.3	54.8	11.6	0.0	100.0

## 2.3 実地技術支援事業

都内中小企業の要請により、職員や外部専門家（エンジニアリングアドバイザー・技術指導員）が現地に出向き、現場が抱えている技術的諸問題について3種類の方法で技術支援を実施した。

平成26年度は、エンジニアリングアドバイザーによる支援（実地技術支援A）42社195日、技術指導員と職員による支援（実地技術支援B）76日、職員による支援（実地技術支援C）854日であり、技術分野別では、材料、エレクトロニクス、システムデザイン、環境が多かった。目的別では製品開発、品質管理が多かった。

### <実地技術支援Aの主な支援内容>

- CE マーケティング・海外規格取得に関する支援
- デザイン開発・設計・販売促進に関する支援
- 品質管理・品質評価に関する支援
- 製造コスト削減と販路開拓
- システム設計・構築に関する支援
- 精密機械加工に関する支援

技術分野別の実地技術支援日数（日）

区 分	実地 A	実地 B	実地 C	合計	比率 (%)
ナノテクノロジー	0	0	18	18	1.6
IT	22	0	71	93	8.3
エレクトロニクス	31	9	119	159	14.1
システムデザイン	12	46	51	109	9.7
環境	29	3	73	105	9.3
少子高齢・福祉	0	0	4	4	0.4
バイオテクノロジー	5	1	35	41	3.6
材料	9	8	157	174	15.5
精密加工	29	2	48	79	7.0
光音・照明	9	3	60	72	6.4
繊維	11	0	72	83	7.4
放射線	0	0	4	4	0.4
評価技術	10	2	87	99	8.8
技術連携	0	0	4	4	0.4
その他	28	2	51	81	7.2
合 計	195	76	854	1,125	100.0

目的別の実地技術支援日数（日）

区 分	実地 A	実地 B	実地 C	合計	比率（％）
品質証明	5	0	20	25	2.2
品質管理	46	13	121	180	16.0
性能評価	16	0	94	110	9.8
製品開発	85	30	334	449	39.9
技術開発	24	4	128	156	13.9
事故関連	0	3	54	57	5.1
その他	19	26	103	148	13.2
合 計	195	76	854	1,125	100.0

## 2.4 依頼試験

### 2.4.1 依頼試験

中小企業の生産活動に必要な、製品、部品、材料などについて各種の試験、測定、分析、設計を実施し、成績証明書を発行した。製品開発に関わる工業デザインの依頼にも対応した。さらに、これらの試験を通して、企業における技術開発、製品開発、品質改善および事故品の原因究明などの技術支援を実施した。

平成 26 年度の依頼試験の実績を以下表に、試験件数の目的別構成比および地域別構成比を図 1 および 2 に示す。

平成 26 年度依頼試験（試験項目別）実績

試験項目	試験件数	金額（円）
一 材料試験		
（一）強度試験 引張試験、製品の荷重試験、静的強度試験、硬さ試験ほか	17,338	44,498,721
（二）特性試験 金属材料の疲れ試験、材料の熱膨張試験、耐熱試験ほか	585	6,928,457
（三）組織試験 光学式顕微鏡によるもの	2,355	7,425,208
（四）非破壊検査 エックス線透過試験、エックス CT スキャン試験、 透過写真判定、線量測定	20,125	24,388,813
（五）塗料の物性試験 基盤目試験、鉛筆引っかき試験、テーバ式摩耗試験ほか	729	1,887,191
（六）表面処理皮膜試験 皮膜厚さ測定、色彩測定、ボールディスク乾燥摩擦試験ほか	1,795	4,552,366
（七）照射試験 イオン注入装置によるイオン注入、コバルト 60 によるガンマ線 照射	167	294,754
小 計	43,094	89,975,510

試験項目	試験件数	金額（円）
二 精密測定		
(一) 機械・器具等の精密測定 長さ測定、表面粗さ・形状測定機による測定、歯車の測定、 走査型白色干渉測定器による測定ほか	5,566	11,899,659
(二) 核種等の測定 放射線計数装置、液体シンチレーション計数装置によるものほか	2,165	5,256,489
小 計	7,731	17,156,148
三 化学試験		
(一) 化学分析 容量法による試験、重量法による試験ほか	141	704,298
(二) 機器分析 赤外線分光光度計、スパーク放電発光分光分析装置、 エネルギー分散型エックス線分析装置、走査型電子顕微鏡、 イオンクロマトグラフによるものほか	8,411	80,629,786
(三) 窯業試験 分光透過率・反射率測定、耐熱試験ほか	322	1,254,342
(四) 化学製品等の性能試験 製品の防かび試験、耐薬品試験ほか	1,150	5,775,053
小 計	10,024	88,363,479
四 機械器具・装置等の性能試験		
(一) 性能試験 耐久試験、応力・ひずみ測定、振動測定・解析ほか	935	2,657,498
(二) メカトロニクス・ロボット性能試験 産業用ロボットによる耐久性試験ほか	608	130,562
(三) ロボットによる耐久性試験 ロボットアームによる繰り返し試験	334	55,118
小 計	1,877	2,843,178
五 電気試験		
(一) 校正試験 電圧計、電流計、抵抗計、抵抗箱、標準電圧電流発生器、 デジタル計器ほか	1,624	1,264,594
(三) 測温素子の温度特性試験 熱電対、測温抵抗体	337	1,060,117
(四) 保温・保冷効果の測定 保温、保冷の測定、放射温度分布の測定	3	12,722
(五) 絶縁試験 絶縁抵抗試験、耐電圧試験、衝撃耐電圧試験、衝撃電流試験 絶縁破壊試験、漏れ電流試験ほか	2,607	7,545,484
(六) 構造および性能試験 折り曲げ試験、温度上昇試験、開閉試験、誘電率・誘電正接試験 消費電力試験ほか	2,889	10,347,682

試験項目	試験件数	金額 (円)
(七) 部品および材料の電気特性試験 動作特性試験、磁束密度試験ほか	61	246,470
(八) 電波試験 耐雑音試験 (耐電源雑音、耐静電気、耐電磁界放射)	17	92,364
(九) 電子機器・電子部品試験 電子機器特性試験、電子部品試験	2,217	4,128,115
(十) 静電気試験 帯電電荷量試験	27	119,361
(十一) 電波暗室試験 雑音端子電圧測定、放射電磁界測定、雑音電力測定ほか	2,701	23,261,778
小 計	12,483	48,078,687
六 音響試験		
(一) 材料の音響特性試験 残響室法吸音率測定、音響透過損失測定、制振性能測定、 垂直入射吸音率測定ほか	6,738	16,099,501
(二) 材料および装置の音響特性試験 音圧・騒音・振動レベル測定、オクターブバンド分析ほか	1,712	8,247,620
小 計	8,450	24,347,121
七 照明試験		
(一) 材料試験 反射率・透過率測定、赤外分光放射測定ほか	866	8,805,120
(二) 機器および光源の試験 光束測定、照度、輝度測定、配光測定、分光放射照度測定、 分光透過率・反射率測定ほか	3,001	23,584,596
小 計	3,867	32,389,716
八 環境試験		
(一) 振動試験 動電形振動試験機によるもの(加振、共振、伝達特性、衝撃試験)	3,161	20,791,815
(二) 腐食試験 塩水噴霧試験、ガス腐食試験	19,093	17,757,445
(三) 耐候性試験 促進耐候試験(サンシャインカーボンアーク灯式、キセノン アーク灯式)、促進耐光試験(紫外線カーボンアーク灯式)	6,156	46,694,070
(四) 温湿度試験 恒温試験、恒温恒湿試験、冷熱衝撃試験、温湿度サイクル試験	11,892	22,839,613
小 計	40,302	108,082,943
九 材料および製品の加工		
(一) 機械加工 フライス盤加工、旋盤加工、のこ盤加工	787	4,113,129
(二) 冶金加工 大気溶解鑄造、圧粉成形	24	100,110
小 計	811	4,213,239

試験項目	試験件数	金額（円）
十 デザイン		
（一）工業デザイン	1,565	1,501,760
（三）グラフィックデザイン	29	51,591
小 計	1,594	1,553,351
十一 繊維製品試験および試験的加工		
（一）繊維工業用原料および材料・繊維製品等の試験 繊維製品等の物性試験（質量、密度、番手・織度、引張強さ・伸び率、寸法変化、防水性等）、染色仕上げ加工試験（染色堅ろう度試験、浸染試験等）、ホルムアルデヒド試験、光学的試験、クレーム解析試験ほか	8,415	11,317,282
（二）繊維製品のデザイン 繊維製品デザイン、織物・ニットの設計・分解ほか	108	122,399
（三）繊維・編織物等の試験的加工 編織準備（ねん糸、繰り返し、整経等）、 編織（編成）コンピュータ制御編機、染色仕上げ加工	1,790	389,821
小 計	10,313	11,829,502
十二 成績証明書の交付		
成績証明書および成績証明書（副本）の交付ほか	6,070	1,066,956
成績証明書および成績証明書（副本）等の交付に当たって 郵送する場合の手数料等	3,719	1,866,852
小 計	9,789	2,933,808
端数処理に伴う減額		▲58,842
急速料金 依頼試験料金の100%増額	(501)	2,075,250
緊急技術支援 依頼試験料金の50%減額	(4,109)	▲6,898,220
総 合 計	150,335	426,884,870

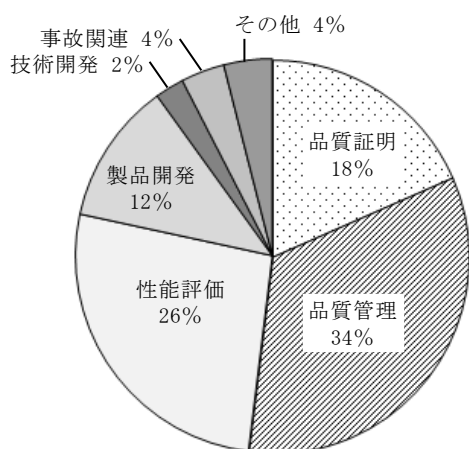


図1 依頼試験件数の目的別構成率

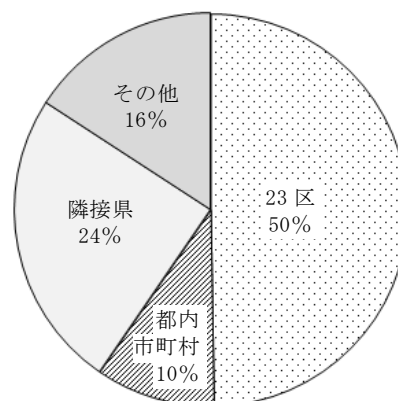


図2 依頼試験件数の地域別構成率

（※隣接県は、埼玉県、千葉県、神奈川県、山梨県）

## 2.4.2 オーダーメイド試験

依頼試験の実施要綱に定められていない試験項目あるいは JIS などの規定にない試験に関してはオーダーメイド試験として対応し、利用者の多様な要望に対応した。

平成 26 年度には、320 件、15,501,510 円を実施した。

オーダーメイド試験の依頼目的は、品質証明 44 件、品質管理 77 件、性能評価 85 件、製品開発 54 件、技術開発 23 件、事故関連 25 件、その他 12 件であった。

## 2.4.3 試験所認定制度への取り組み

平成 18 年度より、校正事業者登録制度による依頼試験業務を開始した。また、平成 20 年 12 月より、英文の校正証明書の発行ができるようになった。これにより都産技研の発行する校正証明書および試験報告書は世界 74 国・地域、89 機関（平成 27 年 3 月現在）で受け入れが認められることとなった。

今年度、新たに JNLA 認定を取得し、登録分野が 5 分野に拡大した。国際的な試験品質保証体系である事業を推進することで、世界に通用する校正証明書や試験報告書を発行し、都内中小企業の海外における事業展開を積極的に支援している。

### (1) 計量法校正事業者登録制度（JCSS）

都産技研本部は、電気（直流抵抗器）および温度（熱電対）の区分で国際 MRA 対応の JCSS（計量法校正事業者登録制度）登録認定を受けており、ILAC MRA 付き JCSS 認定シンボルの入った校正証明書を発行することができる。そのため都産技研が発行する JCSS 校正証明書は、ILAC に加盟する世界中の国々で有効である。また、長さ（1 次元寸法測定器）の区分で平成 26 年 10 月に申請を行い、平成 27 年度登録認定の予定である。



当センターは、認定基準として ISO/IEC 17025 (JIS Q 17025) を用い、認定スキームを ISO/IEC 17011 に従って運営されている JCSS の下で認定されています。JCSS を運営している認定機関 (IA Japan) は、アジア太平洋試験所認定協力機構 (APLAC) 及び国際試験所認定協力機構 (ILAC) の相互承認に署名しています。

当センターは、国際 MRA 対応 JCSS 認定事業者です。JCSS 0184 は、当センターの認定番号です。

### (2) 多摩テクノプラザ EMC サイトの試験所認定制度（VLAC）

多摩テクノプラザ EMC サイトは、平成 25 年 2 月に株式会社電磁環境試験所認定センター（VLAC）より ISO/IEC 17025 試験所認定を受けた。認定範囲は、VCCI、FCC、CSISPR22、EN55022、J55022（4 章）の規格に基づいた 10m 法電波暗室での放射妨害波試験、伝導妨害波試験（電源ポート）および伝導妨害波試験（通信ポート）の EMC 試験である。平成 25 年度から認定範囲における規格適合確認試験を開始した。さらに、英文の試験成績書の発行も実施した。平成 27 年 2 月には VLAC の更新審査により試験適合評価を受けた。





### (3) 試験事業者登録制度（JNLA）登録

都産技研本部は、平成 26 年 10 月に独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）より、照明分野における JNLA 試験事業者として国際 MRA に対応した登録認定を受けた。続けて平成 27 年 1 月には鉄鋼・非鉄金属分野における登録認定も受けた。これにより、照明器具電気的特性試験（全光束、消費電力）、光源色試験（色彩）および金属材料引張試験では、国際相互承認シンボルを付与した試験報告書の発行が可能となった。また、平成 26 年 11 月より施行された、電球形 LED ランプのトップランナー制度適合性確認試験も対応可能となり、8 件実施した。



当センターは、APLAC 及び ILAC の相互承認の署名者である IAJapan により認定された試験所であり、認定国際基準に対応しています。

JNLA 140361JP は当センターの認定番号です。

#### 2.4.4 環境計量証明事業の登録

依頼試験などの測定分析業務において信頼性の高いデータを提供するため、平成 20 年 4 月に区分「濃度」、平成 21 年 3 月に区分「音圧レベル」、「振動加速度レベル」の計量証明事業者登録を完了した。平成 23 年 10 月の本部移転後も、試験実施体制を再整備し、事業を継続している。計量証明用設備の管理を徹底し、担当者のスキル向上に取り組むことで、充実した受け入れ態勢を継続している。

## 2.5 機器整備

### 2.5.1 機器整備一覧

平成 26 年度は、生活技術開発セクター関連の機器など需要が増加した分野の機器や、平成 26 年 12 月に開設した城南支所先端計測加工ラボ用の機器を中心に全 61 機種を整備した。平成 26 年度の主要な機器整備は以下のとおりである。

平成 26 年度機器整備実績

	機 器 名	事業所	組織
1	組込みソフトウェアテスト自動化システム	本部	情報技術 G
2	トルクメータ		電子半導体技術 G
3	アイソレーションシステム		電子半導体技術 G
4	プログラマブルロジックコントローラ		電子半導体技術 G
5	絶縁型オシロスコープ		電子半導体技術 G
6	デジタルオシロスコープ		電子半導体技術 G
7	直流安定化電源		電子半導体技術 G
8	バレル研磨機		機械技術 G
9	マシニングセンタ		機械技術 G
10	切削動力計		機械技術 G
11	金属粉末積層造形システム		機械技術 G
12	音響分析装置		光音技術 G
13	温度計		光音技術 G
14	ポータブル音響分析装置		光音技術 G
15	精密照度計システム		光音技術 G
16	光断層画像撮影システム		光音技術 G
17	偏光イメージングシステム		光音技術 G
18	エネルギー分散型 X 線分析装置		表面技術 G
19	光沢計		表面技術 G
20	少量成形シリンダ		材料技術 G
21	熱分解装置オートサンプラー		材料技術 G
22	GC-MS データ解析システム		材料技術 G
23	高速液体クロマトグラフ用検出器		環境技術 G
24	オートクレーブ		環境技術 G
25	インキュベーター(2 台)		環境技術 G
26	高速冷却遠心機		環境技術 G
27	凍結切片作製システム		バイオ応用技術 G
28	分析用超遠心システム		バイオ応用技術 G
29	三次元測定機		高度分析開発 S
30	白色干渉計		高度分析開発 S
31	オスミウムコーター		高度分析開発 S
32	CO <sub>2</sub> &ファイバーレーザー加工機		システムデザイン S

	機 器 名	事業所	組織
33	シールプリンタ	本部	システムデザイン S
34	雷サージ発生装置		実証試験 S
35	三次元カラーレスキャナシステム	城東支所	城東支所
36	元素分析装置付卓上走査型電子顕微鏡		城東支所
37	赤外分光光度計		城東支所
38	疲労試験機	墨田支所	生活技術開発 S
39	衝撃試験機		生活技術開発 S
40	高圧形破裂試験機		生活技術開発 S
41	気象温度計		生活技術開発 S
42	リバーズエンジニアリングシステム		生活技術開発 S
43	透湿試験機能付き恒温恒湿槽		生活技術開発 S
44	フルカラー三次元造形装置		生活技術開発 S
45	非接触ハンディ 3D カラーレスキャナ		生活技術開発 S
46	促進耐侯性試験機	城南支所	城南支所
47	硬さ試験機		城南支所
48	微粒子計測装置		城南支所
49	二重収束型 ICP 質量分析装置		城南支所
50	溶融積層造形装置		城南支所
51	三次元デジタイザ		城南支所
52	非接触式三次元寸法計測機		城南支所
53	走査型電子顕微鏡		城南支所
54	万能試験機		城南支所
55	雷サージ試験機	多摩 テクノ プラザ	電子・機械 G
56	アンテナマスト		電子・機械 G
57	パルスノイズ試験機		電子・機械 G
58	交流安定化電源		電子・機械 G
59	テクスチャー評価装置		繊維・化学 G
60	生地用インクジェットプリントシステム		繊維・化学 G
61	T0 形ピリング試験機		繊維・化学 G

※組織名の表記について、「G」グループの略、「S」セクターの略。

## 2.5.2 経済産業省平成 25 年度補正予算事業による機器整備およびその取り組み

経済産業省平成 25 年度補正予算事業「地域オープンイノベーション促進事業」（設備機器の導入・利活用事業）（関東地域）の委託先として応募し、平成 26 年 7 月 15 日採択された。

本事業は、関東地方産業競争力強化戦略（関東地方産業競争力協議会）で特定された戦略分野である「航空機関連産業分野」に沿って、1 都 10 県（東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、新潟県、長野県、山梨県、静岡県）の公設試験研究機関（以下、「公設試」という。）が技術的課題の解決に資する設備機器を整備し、広域的な利活用を促進することを目的とする。

### (1) 機器整備

1 都 10 県公設試に計 13 機種を導入した。うち都産技研では、減圧恒温恒湿槽を実証試験セクターに導入した。

### (2) 導入機器の利用促進に向けた活動

#### 1) 利用促進シンポジウムの開催

本事業で導入した機器の利用促進と航空機を含む先端ものづくり産業の最新の情報提供を目的に「先端ものづくり（航空機）産業の未来」と題したシンポジウムを開催した。

利用促進シンポジウムの開催内容

開催年月日	開催場所	タイトル	講師	参加者数 (人)
平成 26 年 12 月 19 日	本部 東京イノベーションハブ	「金属 3D プリンタによる最新ものづくり戦略」	近畿大学工学部教授 近畿大学次世代基盤技術研究所 3D 造形技術研究センター長 京極 秀樹 氏	225
		「MR J の挑戦～国産旅客機を世界の空へ～」	三菱航空機株式会社 コーポレート本部 経営企画部 企画グループリーダー 須山 恵一 氏	

#### 2) 利用普及セミナーの開催

本事業で整備した試験研究・検査設備をより効果的・効率的に活用するため、普及セミナーを 1 都 10 県公設試で計 13 回開催し、延べ 398 人の参加があった。

利用普及セミナーの開催状況

開催年月日	開催場所	タイトル	参加者数 (人)
平成 27 年 3 月 26 日	本部 東京イノベーションハブ	航空機・高所に適応した製品開発のための減圧環境試験	36

#### 3) 利用促進パンフレットの作成

本事業で導入した機器の利用拡大を目的として、公設試の航空機産業支援事例を加えたパンフレットを 2,000 部発行し、利用促進シンポジウムや利用促進セミナーで配布した。

4) 各公設試が保有する機器の WEB 検索システムの構築と PR

公設試が保有する機器の WEB 検索システムを構築し、利用する中小企業の利便性向上を図った。WEB 検索システムの利用促進のためチラシを作製し、利用普及セミナー等で配布した。

5) 展示会での利用促進活動の実施

本事業の普及を目的として、産業交流展 2014 (11 月) において、本事業の紹介、各公設試の事業および保有する機器の WEB 検索システムの紹介を行った。

## 2.6 機器利用

中小企業が製品開発や新技術開発を行う際に、自ら保有・管理することが困難な各種の測定器や試験機器・設備などを設置し、新製品開発や品質管理などの生産活動を支援した。また、その使用法や試験データの解析法について技術的なアドバイスをを行った。平成26年度の機器利用の実績は以下のとおりである。

平成26年度機器利用（試験項目別）実績

No.	機器利用試験項目	件数	金額（円）
1	指示計器（絶縁抵抗計）	51	6,234
2	定数測定器・測定用素子（ミリオームメーター）	427	256,932
3	電圧・周波数測定器（デジタルマルチメーター）	247	93,960
4	信号発生器および発振器（高周波ノイズシミュレーター）	2,730	2,619,132
5	校正装置（計器用変成器）	76	11,997
6	波形測定器・記録装置（温度記録計）	2,980	4,015,457
7	電源装置その他（電圧調整器）	2,308	2,376,382
8	試験機械（万能試験機）	2,690	2,529,280
9	測定機器（三次元測定機）	6,557	11,921,797
10	環境試験機器（恒温恒湿槽）	36,029	41,931,280
11	試験機器（耐電圧試験器）	223	249,418
12	記録解析装置（デジタルシリアルアナライザー）	595	831,857
13	観察機器（マイクロフォーカスX線CT）	2,938	11,136,241
14	クリーンルームおよび関連機器（クリーンルーム）	497	608,489
15	加工機器（プリント配線板試作装置）	7	32,830
16	切削加工機械（普通旋盤）	1,186	758,092
17	設計・生産支援装置（ナイロン粉末造形装置）	42,992	51,168,297
18	ナノテクノロジー加工装置（YV04レーザーマーカ）	690	1,459,922
19	その他の加工機械（マイクロハイスコープ）	1,667	1,405,171
20	繊維計測・生産加工機器（インクジェットプリントシステム）	5,412	5,951,276
21	電波暗室・測定システム（シールドルーム）	2,365	5,145,328
22	メカトロニクス試験・ロボット開発支援機器・計測制御機器	4,739	423,856
23	生活科学計測機器	3,590	9,269,149
24	機器利用指導・機器調整準備・特別指導、その他	10,691	13,907,526
	震災復興技術支援 機器利用料金の50%減額	(4,817)	▲2,893,140
	合計	131,687	168,109,903

## 2.6.1 機器利用ライセンス制度

平成 24 年 2 月から、機器利用ライセンス制度を導入し、今まで要望が多かった機能が高度で操作に習熟が必要な装置を機器利用事業の対象機器とした。今年度は、昨年度の 8 機種から 4 機種を増やし、合計 12 機種を対象機器とした。利用希望者には利用方法習得セミナーを受講後「機器利用ライセンスカード」を交付した。平成 26 年度は 88 枚の機器利用ライセンスカードを発行し、累計発行枚数は、263 枚となった。

「機器利用ライセンスカード」発行枚数（累計）

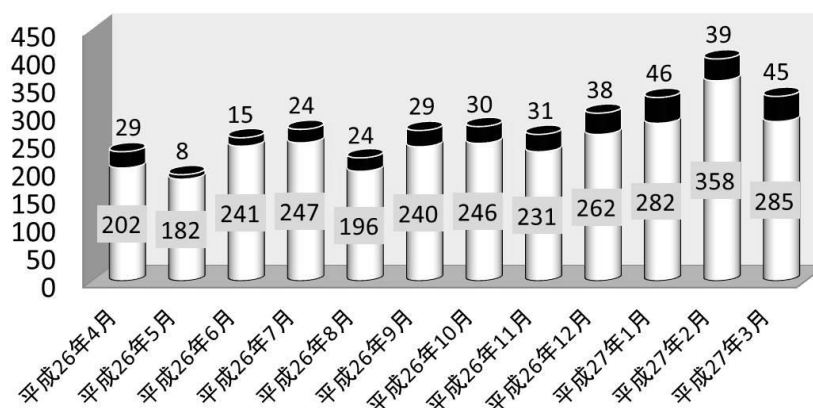
ライセンス制度対象機器	発行枚数（枚）
分析機能付き走査電子顕微鏡	116
キセノンフラッシュアナライザー	42
スタジオ撮影システム	7
蛍光 X 線分析装置(波長分散型)	11
X 線回折装置	26
マグネトロンスパッタ	2
スクラッチ試験機 *	13
万能試験機（20kN）*	8
万能試験機（100kN）*	8
絶対 PL 量子収率測定装置 *	2
分析機能付き走査電子顕微鏡（多摩テクノプラザ）	12
走査型白色干渉測定機（多摩テクノプラザ）	16

\* 平成 26 年度追加対象機器

## 2.6.2 機器利用可能情報およびインターネット経由での予約申し込み受け付けの提供

平成 23 年度から実証試験セクターの機器利用設備において開始した。ホームページ上で機器利用可能情報、機器の仕様などの情報提供を行ったが、今年度は多摩テクノプラザや全支所の機器利用設備を新たに加えて 106 機種（本部：62 機種、多摩テクノプラザ：21 機種、城東支所：7 機種、墨田支所：13 機種、城南支所：3 機種）の情報提供を開始した。実証試験セクターの予約可能 25 機種については、インターネット経由での予約申し込み受け付けを継続して行った。

環境試験機器年間月別予約日数  
（上段：オンライン予約分 下段：電話・メール等予約分）



## 2.7 震災復興技術支援

### 2.7.1 都内中小企業および被災地企業の利用料金の減免

東日本大震災で直接的・間接的に大きな影響を受けた中小企業を支援するため、平成 23 年度から開始した依頼試験料金などの 50%減額は、平成 26 年度も特定被災区域および都内の中小企業を対象として継続実施した。

対象事業：依頼試験、機器利用、オーダーメイド試験、オーダーメイド開発支援

対象地域：東京都、岩手県、宮城県、福島県、栃木県、茨城県、青森県、千葉県、新潟県、長野県

対象企業：直接被害に関しては「り災証明」、業況の悪化（売上高などの減少）については「セーフティネット保証 5 号（ハ）」または「東日本大震災復興緊急保証」の認定を受けた対象地域の住所（本社、工場、事業所）で申し込まれた中小企業

減額期間：平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

平成 26 年度利用実績： 8,926 件（依頼試験＋機器利用件数合計）

7 件（オーダーメイド試験）

10 件（オーダーメイド開発支援）

### 2.7.2 工業製品等の放射線量測定試験

東京電力福島第一原子力発電所事故による都内工業製品の風評被害を防ぐために開始した放射線量測定と成績証明書の発行を継続実施した。また、都内中小企業からの依頼試験手数料の無料および大型試験品についての出張測定についても継続した。平成 26 年度の試験実績は以下のとおりである。

平成 26 年度試験実績

	持ち込み試験		出張試験	
	実施件数	成績証明書 発行枚数	実施件数	成績証明書 発行枚数
都内中小企業	135	111	14	3
都内中小企業以外	9	6	0	0
都外企業	21	9	0	0
合計	165	126	14	3



### 2.7.3 東京都との協定に基づく放射線量測定試験

都産技研は平成 19 年 3 月に東京都産業労働局と締結した「放射線物質等による災害時等対応に関する協定」に基づき、空間線量率測定および大気浮遊塵の放射線量測定を平成 26 年度も継続実施した。

#### (1) 空間線量率測定

本部に設置したモニタリングポストによりデータ収集を継続実施した。平成 24 年 4 月 11 日から、測定結果は東京都健康安全研究センターのホームページに都内他地域の測定結果とともに公表している。

#### (2) 大気浮遊塵の放射能測定

都産技研では昭和 50 年から継続的に環境放射能の測定を旧駒沢支所（世田谷区深沢）で実施していた。本部移転後も平成 23 年 10 月 13 日から捕集を開始し、測定を継続実施した。I-131、I-132、Cs-134、Cs-137 の測定結果は、東京都産業労働局ホームページで毎日公表した。

### 2.7.4 節電・省エネ技術支援の実施

平成 23 年 6 月 27 日に開始した工場などで使用する照明器具の照度・電力、エアコンの電力、温度分布などの現場での測定（省エネ巡回）を、平成 26 年度も無料で継続実施した。

平成 24 年度から平成 25 年度までは、最近の中小企業の広域化に対応するため、埼玉県産業技術総合センター、千葉県産業支援技術研究所と連携した 1 都 2 県の 3 機関共同事業として省エネ巡回を実施した。平成 26 年度は千葉県産業支援技術研究所と連携した 2 機関共同事業として省エネ巡回を実施した。

・平成 26 年度節電・省エネ技術支援実施回数（省エネ巡回実施回数）

2 機関実施数：計 4 回

内訳 東京都：4 回、千葉県：0 回

### 2.7.5 公設試験研究機関との震災復興に関する連携事業

都産技研は全国 67 機関で構成される全国公立鉱工業試験研究機関長協議会の会長機関として、平成 23 年度作成した放射線・放射能の正しい理解を促す目的で作成した企業向けの放射線対策ガイドを平成 26 年度も無料で配布した。

・技術冊子の配付

書名：「放射線・放射能の基礎と測定の実際」（平成 23 年 1 月 31 日発行）

配布部数： 255 部

### 3. 製品開発支援

#### 3.1 高度分析開発セクター

「高度分析開発セクター」では、中小企業による高度な研究開発や技術的課題の解決を支援するため、機能性材料、環境対応製品、高精度加工製品などの開発や、製品の不具合発生の原因究明などを行っており、高度な先端的機器を本部1階に集中的に設置している。

高度分析開発セクターは、表面・微小領域の観察や成分分析ならびに物質の構造解析などを行う化学計測分野と高精度な形状計測を行う精密測定分野で構成されている。

化学計測の主な装置は、透過電子顕微鏡、走査電子顕微鏡、X線光電子分光分析装置、誘導結合プラズマ質量分析装置、蛍光X線分析装置、X線回折装置、核磁気共鳴分析装置、集束イオンビーム装置、ラザフォード後方散乱分析/弾性反跳検出分析装置などがある。

精密測定の主な装置は、三次元座標測定機、超高精度形状測定機、走査型白色干渉計、高精度画像測定機、真円度測定機、表面粗さ測定機、レーザー測長器、レーザー干渉計などがある。平成26年度は、三次元測定機を1機種を追加し、走査型白色干渉計を新型機種に更新した。

##### (1) ライセンス制度による機器利用

機能が高度で操作に習熟が必要な分析機能付き走査電子顕微鏡、X線回折装置および波長分散型蛍光X線分析装置については、利用方法習得セミナー受講者に対してライセンスを発行して、機器利用に供している。

平成26年度の新規ライセンス発行数は、分析機能付き走査電子顕微鏡20枚、X線回折装置16枚、蛍光X線分析装置（波長分散型）11枚、合計47枚である。また、分析機能付き走査電子顕微鏡のライセンス発行累計は、平成26年度末で116枚となり、お客さまの利用機会確保のため、平成27年3月に分析機能付き走査電子顕微鏡を1台追加整備した。

##### (2) 高度産業人材育成

高度化する研究開発や製品開発に高度分析開発セクターの機器を活用していただくために、以下の二つの講習会を開催した。

- ・「品質保証のための測定機器の活用方法」
- ・「現場で役立つ製品事故の解決法 走査電子顕微鏡(SEM)編」

##### (3) 機能性材料開発の継続

新規ナノ粒子製造方法について特許を出願し、特許技術をもとに中小企業と機能性材料開発に向けた共同研究を行っている。

平成26年度の高度分析開発セクターの依頼試験および機器利用の合計利用実績は次のとおりである。

#### 高度分析開発セクター利用実績（件）

平成26年度利用実績	8,088
------------	-------

### 3.2 システムデザインセクター

「システムデザインセクター」は、ブランド化を目指した商品企画、デザイン（外観意匠）開発、試作、販売促進まで一貫して支援を行っており、ハード・ソフト面から企業をバックアップし、事業化・商品化の総合支援を目指した取り組みを強化、実施している。

デザイン依頼試験、オーダーメイド開発支援、機器利用（主な装置：大判プリンター、シールプリンター等 2D 出力、商品撮影システム、高速造形機・試作用 3D 切削機等）、創作実験ギャラリー、デザイン支援室、実践セミナー室を活用した高度産業人材育成セミナー（ブランド確立実践ワークショップ）や造形の基本となる 3D-CAD ソフト講習会を数多く開催している。

#### (1) 保有機器

##### インダストリアルデザイン支援

グラフィックデザインシステム（フォトショップ、イラストレータ）、大判プリンター、印刷カンパ用プリンター、シールプリンター、3D 切削モデリングマシン、映像編集システム、スタジオ撮影システム

##### 製品設計支援

三次元モデリングシステム、三次元 CAD/CAE（構造解析、機構解析 他）、非接触三次元デジタルイザ、卓上 3D スキャナー、高速造形機（大型機、高精細機 2 台）、X 線 CT、製品複合試験器、小型製品耐衝撃性解析システム、非接触同時多点計測システム

#### (2) 高度産業人材育成（ブランド確立実践ワークショップ）

事業化＝ブランド化のための「商品企画基礎講座」「販売促進企画講座」に加え、サービス産業人材（デザイナー）育成のために事業構想からマーケティングまでを企業にアドバイスできるデザイナーを育成するために「デザインアドバイザー養成講座」を新たに開催した。

平成 26 年度のシステムデザインセクターの依頼試験および機器利用の合計利用実績は次のとおりである。

#### システムデザインセクター利用実績（件）

平成 26 年度利用実績	32,640
--------------	--------

### 3.3 実証試験セクター

「実証試験セクター」では、中小企業の安全で信頼性の高い製品を開発するために必要な、温湿度・劣化、振動・衝撃、電気・耐ノイズの試験を行う際に、技術相談、依頼試験、機器利用をワンストップで効率的に技術支援ができるよう環境試験機器を集約した。

平成 26 年度は、迅速かつ効率的な試験サービスの拡充と、各種規格などに対応した質の高い試験業務の拡大を行った。

#### (1) 実証試験セクターのサービス拡充

実証試験セクターは、環境試験、電気・温度試験、製品・材料強度の各技術分野におい

て製品の品質評価支援を行っている。

本部 2 階にある実証試験セクター窓口では、温湿度試験機などの機器利用予約情報、稼働状況、装置仕様を 60 インチディスプレイなどにより表示・提供している。また、装置と機器利用の概要をまとめたわかりやすい機器利用ガイドについては、強度試験編を新規に作成するとともに、平成 25 年度に作成した恒温恒湿槽編と振動・衝撃・EMC 試験編の内容をリニューアル、配布した。

ホームページでは、温湿度試験機や EMC 試験機、万能試験機など、34 機種の機器利用予約情報、機器仕様などの提供を行っている。また、ウェブサイトからのオンライン予約可能機器を 4 機種追加して、合計 29 機種に拡大した。

#### (2) 対応可能な規格試験の拡大

減圧恒温槽および雷サージ試験機を導入してマニュアルを整備した。減圧恒温槽の導入により、減圧恒温下での規格試験（IEC60068-2-13、RTCA/DO-160C 等）が可能になった。また、雷サージ試験機の導入により、更新されたサージイミュニティー試験（IEC61000-4-5 ed. 3）への対応が可能になった。

#### (3) 試験所認定および校正事業者登録による国際化支援

鉄鋼（金属材料引張試験）について、試験所認定取得への取り組みを行い、平成 27 年 1 月 26 日付で JNLA 登録認定された。電気（直流抵抗器）および温度（熱電対）の校正試験については、平成 25 年度に引き続き JCSS 校正試験を実施した。

#### (4) 利用促進 PR 活動

本部4セクターを1冊にまとめた紹介パンフレットを作成し、認知度向上と利用者増、事業目標達成につながるPR展開を行った。ホームページでは実証試験セクターサイトの充実、強化を図り利便性を向上させた。また、PR用動画を展示会や見学などで活用した。

平成 26 年度の実証試験セクターの依頼試験および機器利用の合計利用実績は次のとおりである。

#### 実証試験セクター利用実績（件）

平成 26 年度利用実績	67,362
--------------	--------

### 3.4 生活技術開発セクター

#### (1) 生活技術開発セクターの役割・機能

生活関連製品に求められる「快適・健康」、「安全・安心」、「使いやすさ」に関する機能・性能についての評価機器を充実し、感性工学や生理計測に基づく高付加価値なものづくりを支援している。

#### (2) 生活製品開発ラボの新設

安全性評価室のレイアウトを変更し、生活製品開発ラボを平成26年10月に新設した。インクジェット式カラー3Dプリンターや3Dハンディスキャナ、レーザー加工機を新たに

整備し、生活雑貨類、福祉用具、スポーツ用品、医療用品等の試作にも対応できる体制とした。インクジェット式カラー3Dプリンターは12月より機器利用を開始した(205件)。

(3) 利用促進に向けた活動

1) 一周年記念講演会および施設公開の開催

① 記念講演会 (第一ホテル両国)

第一部 基調講演(10月8日)(参加者:85名)

講師:山岡 俊樹氏(京都女子大学家政学部生活造形学科教授)

題目:「誰でもできるデザイン人間工学に基づく製品・サービス開発方法」

第二部 事例紹介

人間工学、感性工学を利用した製品開発事例について、独立行政法人産業技術総合研究所、富山県、静岡県、岐阜県、東京都の各公設試等から紹介

② 施設公開 (10月9、10日)

日射環境試験装置、におい識別装置等の評価機器や編機やカラー3Dプリンター、レーザー加工機等製品化支援機器の実演を中心に開催。

2) 国際福祉機器展への出展(10月)

高齢者、身障者向けの製品開発支援のPRのため、都産技研として初めて国際福祉機器展に出展した。「バイオフィードバックシステムを利用した運動支援システム」、首都大学東京との連携研究成果「安全機能付き電動車椅子(電子・機械グループ)」等、研究開発成果、技術支援を紹介した。

3) 各メディアによるPR

日刊工業新聞による取材・記事掲載や繊維学会誌への広告掲載を行った。

4) 見学の受け入れ

スポーツ用品業界、生活関連製品メーカー、クリーニング業界、東京商工会議所、経済産業省などから見学受け入れ。

(4) 外部機関との連携

1) 他県公設試験研究機関との連携推進

一周年記念講演会終了後に岐阜県生活技術研究所、富山県工業技術センター生活工学研究所、静岡県工業技術研究所、産業技術総合研究所等と意見交換を実施した。今後も情報共有し、連携を推進していく。

2) 墨田区との連携推進

墨田区と協定を締結した(11月)。

(5) 人材育成

都産技研職員の人間工学分野の能力向上を目的とし、専門家による勉強会を実施した。多くの職員が受講でき、日々の業務に役立てられるよう、外部講師委託のための新たに「特任技術アドバイザー」制度を立ち上げた。元長岡技術科学大学副学長 中村 和男氏に委託し、平成26年7月~27年2月までに全7回(各2時間程度)の勉強会を開催し、職員の能力向上を図った。

## (6) 利用実績

### 1) 機器利用・相談事例

- ① 日射環境試験装置(太陽光、温熱に対する耐久性、温湿度の影響)
  - ・自動車運転時の快適性評価(輸送機器製造業)
  - ・大型液晶ディスプレイ付き自販機への影響(電子部品・デバイス・電子回路製造業)
- ② 生理計測装置
  - ・おむつ着用時の動作解析(衛生材料製造業)
  - ・サポーター着用時の筋電計測(スポーツ用品製造業)
- ③ インクジェット式カラー3Dプリンター
  - ・ブロック玩具の試作(玩具製造業)
  - ・ナビゲーターシステム用ケースの試作(電子機器製造業)

平成 26 年度の生活技術開発セクターの依頼試験および機器利用の合計利用実績は次のとおりである。

#### 生活技術開発セクター利用実績(件)

平成 26 年度利用実績	15,842
--------------	--------

## 3.5 ロボット開発セクター

「ロボット開発セクター」は、ロボットに関連するものづくりを支援するために、メカトロニクスから発展して今年度新設した。ユーザーの利便性を向上するため、既存のメカトロニクス分野の往復動耐久試験機、落下試験機、モーションキャプチャー等の依頼試験および機器利用体系を見直した。また、ロボット開発支援室、ロボット走行試験開発室、耐久性試験室を新設し、ロボット開発支援体制の強化を図った。また、高度人材育成を目的に、ロボット開発支援室にロボット開発ワークベンチ、移動ロボット、産業用ロボット、各種機器を設置し、平成 27 年度の本格運営に向け講習会を試行実施した。

### (1) ロボット開発セクター開設に向けた取り組み

#### 1) レイアウトの変更

中小企業におけるロボット開発支援と高度人材育成のために評価・試験室をロボット開発支援室に改名し、移動ロボットおよび産業用ロボットが開発可能なワークベンチ等の機器を強化した。また、機械システム実験室をロボット走行試験開発室とし、ロボットの走行実験のために、位置計測が可能なモーションキャプチャーおよび段差、スロープを設置した。落下試験室を耐久性試験室とし、ロボットの耐久試験および往復動耐久試験機の利便性を向上した。

#### 2) 機器整備

LabVIEW 研究室ライセンス、LabVIEW Developer Suite×6、モーションキャプチャー、開発ワークベンチ×6.25 mm の段差、40 mm の段差、5 度のスロープ、10 度のスロープ、クラッシュパッド等を設置整備した。

## (2) ロボット開発体制の強化

### 1) 人員の強化

ロボット開発の人員を強化し、機構、電子情報、安全、ソフトウェアを専門とする職員を増員した。

### 2) 連携の強化

ロボット産業をより活性化させるために一般社団法人日本ロボット工業会、ベイエリアロボティクス研究会、東京都ロボット研究会等と連携強化を図り、独立行政法人産業技術総合研究所、首都大学東京、芝浦工業大学等と共同研究を開始した。

平成 26 年度のロボット開発セクターの依頼試験および機器利用の合計利用実績は次のとおりである。

ロボット開発セクター利用実績（件）

平成 26 年度利用実績	5,854
--------------	-------

## 3.6 先端計測加工ラボ

### (1) 先端計測加工ラボの開設

城南支所の位置する城南地域は、機械器具・金属製品製造や表面加工業のトップクラスの中小企業が集積している。また、海外への進出意欲の高い企業が多く、大田区や公益財団法人大田区産業振興協会など地元機関の支援活動も盛んである。

欧州への海外展開を基軸とした研究開発型企業活動の推進を目指して、航空機・医工連携産業支援および中小企業の海外展開を支援するため、城南支所の事業を再編整備し、先端計測加工ラボを平成26年12月に開設した。

### (2) 先端計測加工ラボの機能

#### 1) リバースエンジニアリングに必要な「計測→加工→計測」を総合的に支援

接触式・非接触式寸法測定機、三次元デジタイザ、X線透視・CTシステムなどの寸法測定装置を活用し、設計図の無い部品や製品の寸法を計測する。それらを試作加工できるデータに変換した後、AM（光造形装置）、AM（熔融積層造形装置）三次元レーザー加工機などの加工装置で三次元の造形を行う。

#### 2) 製品の特性評価と安全性の確認

電子顕微鏡による破断面解析、ICP質量分析装置による局所分析や溶出試験、オージェ電子分光分析装置による表面分析、グロー放電質量分析装置による材料純度評価、大型引っ張り試験機による材料強度試験、X線透視による製品内部の観察などを行い、製品としての信頼性を包括的に確保する。

### (3) 新設整備

大規模な室内改修工事を実施し、1階に先端計測加工ラボ第一室、地下1階に先端計測加工ラボ第二室を整備した。先端計測加工ラボ第一室では、リバースエンジニアリングを総合的に支援し、先端計測加工ラボ第二室では、製品の特性評価と安全性の確認を行う施設として整備した。新規に整備した機器は以下の6点である。

- ・非接触式三次元寸法測定機
- ・三次元デジタイザ
- ・分析機能付き走査型電子顕微鏡
- ・AM（熔融積層造形装置）
- ・精密万能試験機
- ・二重収束型 ICP 質量分析装置

#### (4) 利用促進に向けた活動

##### 1) 広報活動

###### ① プレス発表（2回）

###### ② 広告掲載

日刊工業新聞、TIRI NEWS、アーガス 21（公益財団法人東京都中小企業振興公社広報誌）、テクノプラザ（公益財団法人大田区産業振興協会広報紙）

###### ③ パンフレット作成

新設案内パンフレット：17,000部

城南支所・先端計測加工ラボ事業案内（第1版10,000部 第2版2,000部）

先端計測加工ラボ利用料金案内（30,000部）

先端計測加工ラボオープン記念セミナー案内チラシ（3回計900部）

##### 2) 開所式の開催（12月15日）

開所式典、事業紹介、見学会、記念講演会を実施。地域企業、海外展開を目指す企業、業界団体、公設試、大学関係者などを招待（参加者約140名）。

##### 3) 施設公開・展示会への出展

###### ① 第7回大田区加工技術展示商談会（6月）

###### ② 第10回さわやか信用金庫ビジネスフェア（6月）

###### ③ 施設公開（10月）

###### ④ 第4回おおた研究開発フェア（施設公開と同時開催）

###### ⑤ 産業交流展（11月）

##### 4) オープン記念セミナー

企業向けに見学会付き無料セミナーを3回開催した。

###### ① 製品評価のための精密測定・非破壊検査、破断面の見方（1月）

###### ② ICP 質量分析法による微量分析と局所分析（2月）

###### ③ 3Dプリンターによる新しいものづくり～活用事例の紹介（3月）

##### 5) 見学の受け入れ

中小企業、連携金融機関、連携団体、大学、公設試験研究機関などから見学受け入れ

#### (5) 利用実績

##### 1) 依頼試験事例

###### ① 非接触式三次元寸法測定機

歯車測定・解析（歯型歯すじ、噛合い）、インプラント（医療用材料）の寸法計測

###### ② 熱分解ガスクロマトグラフ質量分析装置

医療用ステンレス製品表面の汚染状況の評価

###### ③ X線透視・CTシステム



炭素繊維配合プラスチック(CFRP)の繊維配向性（炭素繊維複合材料で軽量化高強度を実現し航空機内応用可能）

2) 開設後年度末までの先端計測加工ラボの依頼試験および機器利用の合計利用実績

先端計測加工ラボ利用実績（件）

平成 26 年度利用実績(12月～3月)	4,791
----------------------	-------

### 3.7 オーダーメイド開発支援

中小企業の製品開発における上流工程・上流設計支援を目的に、オーダーメイド開発支援事業を平成 21 年 6 月に開始した。主にデザイン、設計、加工、試作等の分野で、開発過程でのデータ収集、測定、性能評価等も対象とした。複雑で高度化する企業のニーズに対し、従来制度である依頼試験や受託研究での対応では、支援内容が制度にマッチしない事例が発生していたが、オーダーメイド開発支援事業の開始により、都産技研が保有する機器・設備と、職員の人的能力を最大限に活用して、中小企業の製品開発を有効に支援できるようにした。成果において特許、実用新案が発生する場合は、必要に応じて都産技研・利用者で協議し、契約を結ぶことも可能である。

平成 26 年度は、440 件のオーダーメイド開発支援を実施した。

平成 26 年度オーダーメイド開発支援例

開発支援品	開発支援事項	目的
人造大理石	屋外製品の耐久性評価	性能評価
半導体部品	シミュレーションによる放熱評価	製品開発
家庭用電気製品	騒音低減と音質改善対策	製品開発

平成 26 年度実績

440 件	15,733,670 円
-------	--------------

### 3.8 製品開発支援ラボ

新製品・新技術開発を目指す中小企業を支援する施設として、平成 18 年度より「製品開発支援ラボ」を旧西が丘本部に 3 室設置し運営を開始した。中小企業の事業化支援の充実と強化を目的に、平成 22 年 2 月、多摩テクノプラザ開設時に 24 時間利用可能なラボを 5 室設置、平成 23 年 10 月、本部開設時には新たに 18 室設置し、平成 24 年 10 月からは増室により 19 室とし、合計 24 室を製品開発支援のために提供している。

製品開発支援ラボは、①都産技研の技術支援を得ながら効率的に技術開発できる、②24 時間利用できる、③ラボマネジャーが各種相談に応じ製品開発、事業化をサポートする、などの特徴がある。また、本部には機械加工機器、電気試験機器などを整備した試作加工室、ドラフトチャンバーや精密天秤などを整備した化学実験室を設置し、迅速に製品開発できるよう支援の充実に努めている。ラボマネジャーは公募により 2 名を選定し、委嘱している。

入居者はホームページやメールニュースなどで公募し、入居者選定審査会において審査の上、選定している。平成 27 年 3 月 31 日現在、本部、多摩テクノプラザのいずれも満室の状況である。

本部

室番号	企業名	利用の概要	契約期間
301	アイリックス(株)	レーザーラマン分光装置の開発・製造	平成25年 6月 1日 ～平成28年 5月31日
302	美浜(株)	電気を使用しない触媒ヒーターの開発と製品化	平成23年10月 1日 ～平成26年 9月30日 平成26年10月 1日 ～平成27年 9月30日
303	(株)NejiLaw	「史上初の緩むことのないネジ技術」の各産業分野、各種製品への応用、実用化	平成23年10月 1日 ～平成26年 9月30日 平成26年10月 1日 ～平成27年 9月30日
304	(株)サイトライン・ソリューションズ	マイクロアレイや次世代シーケンサーのデータ解析システムの開発	平成25年10月 1日 ～平成27年 8月31日
305	エンネット(株)	リチウム二次電池等の劣化診断技術の開発	平成24年10月 1日 ～平成27年 9月30日
306	(株)CICS	加速器を用いたホウ素中性子捕捉治療システムの実用化	平成25年10月 1日 ～平成28年 9月30日
307	(株)アトシン	高齢者の安否確認・位置検知機能を有した見守りシステム等を開発	平成25年11月15日 ～平成28年10月31日
308	ヤマト化工(株)	漆と植物繊維による成形材料「サスティーモ」事業の効率的な事業推進	平成23年10月 1日 ～平成26年 9月30日 平成26年10月 1日 ～平成27年 9月30日
309	ジョイントリンク(株)	組込み系製品と関連 IT サービスの開発	平成23年10月 1日 ～平成26年 9月30日 平成26年10月 1日 ～平成27年 9月30日
310	カムイ・イノベーション(株)	画像処理技術の開発	平成26年 4月 1日 ～平成29年 3月31日
311	(株)ジャパンユニックス	レーザーならびに超音波はんだ付けロボットの研究開発 はんだこて先具材の研究開発	平成23年10月 1日 ～平成26年 9月30日 平成26年 4月 1日 ～平成26年 9月30日 平成26年10月 1日 ～平成27年 9月30日
312	(株)新日本電波吸収体	小型無線機器及び EV/HV 車 ECU ユニット向けノイズ吸収抑制塗料の開発・評価および効果検証	平成23年10月 1日 ～平成26年 9月30日
	(株)アロマビット	匂いセンサの開発	平成26年10月 1日 ～平成29年 9月30日
313	(株)バイオマステクノロジー	バイオマス樹脂成型加工品の分析、評価、課題抽出および解析等多様な要求事項に対する課題解決	平成23年10月 1日 ～平成26年 9月30日 平成26年10月 1日 ～平成27年 9月30日
314	(株)ティ・エフ・ディ	光波、電磁波を応用した臨床検査、計測機器の研究と開発	平成23年10月 1日 ～平成26年 9月30日 平成26年10月 1日 ～平成27年 9月30日
315	サンケイエンジニアリング(有)	加熱機器(過熱水蒸気、過熱水蒸気プラズマ等)の開発および各業界での実用化に向けた共同開発	平成23年10月 1日 ～平成26年 9月30日 平成26年10月 1日 ～平成27年 9月30日

316	(株)ジャパンリフォーム	マンション・複合ビルに伴う維持管理・保全における改修工法・技術研究	平成23年10月 1日 ～平成26年 9月30日
	日本電熱(株)	過熱蒸気発生機器関連の開発 爆砕処理とそれによる残渣の利用開発	平成26年10月 1日 ～平成29年 9月30日
317	大東潤滑(株)	グリースやエアゾール、エンジニアリング・プラスチック等の新製品の設計 開発および性能等実験調査	平成25年10月 1日 ～平成26年 9月30日
			平成26年10月 1日 ～平成27年 9月30日
318	(株)MIRAI	レアメタル等希少金属の精製方法の研究 開発および地熱エネルギーの研究お よび開発等	平成23年10月 1日 ～平成26年 9月30日
	(株)TBM	フィルター高充填シートの開発	平成26年11月 1日 ～平成29年10月31日
319	(株)CDM コンサルティ ング	水熱爆砕処理技術を利用したセシウム 除去システムの開発等	平成24年 4月 1日 ～平成27年10月31日

多摩テクノプラザ

室番号	企業名	利用の概要	契約期間
ラボ 1	(株)ヒサワ技研	大電流回転接続コネクタの開発 高温環境用接続コネクタの開発	平成22年 8月 1日 ～平成25年 7月31日
			平成25年 8月 1日 ～平成26年 7月31日
			平成26年 8月 1日 ～平成27年 7月31日
ラボ 2	(株)PARAM	電子ビーム描画装置等試作開発	平成24年11月 1日 ～平成27年10月31日
ラボ 3	(株)ティケイディ	プラスチック研磨材の開発	平成23年12月 1日 ～平成26年11月30日
	Cambwick Healthcare(株)	抗酸化ストレス治療用の治療器の開発	平成27年 2月22日 ～平成29年11月30日
ラボ 4	EVTD (株) (旧自動車両技術開発 (株)平成 24 年会社名変更)	リチウムイオンバッテリーのマネジメン トシステムの研究開発	平成22年 9月 1日 ～平成25年 8月31日
			平成25年 9月 1日 ～平成26年 8月31日
			平成26年 9月 1日 ～平成27年 8月31日
ラボ 5	(株)MITOMI	遠赤外線放射材料や面状シートヒーター 等の開発	平成24年 9月 1日 ～平成26年 8月31日
			平成26年 9月 1日 ～平成27年 8月31日

### 3.9 共同研究開発室

競争的資金導入研究や共同研究などを中小企業と都産技研が共同で実施するテーマについて、迅速に成果を出せるよう、研究の実施場所として共同研究開発室を3室提供している。共用を原則とするが、共同研究開発室運営会議で審査し承認が得られた場合には、6ヶ月を限度に専用使用することができる。共同研究開発室の利用者は、試作加工室や化学実験室など製品開発支援ラボの共用利用施設も利用することができ、研究開発に活用している。平成27年3月31日までの利用状況は、3室7テーマである。

本部

室	共同研究実施者	テーマ	使用期間
391A	東京大学	提案公募型研究「等質粒径カーボンオニオンの合成および弾性球接触を利用した摩擦制御への応用」	平成25年12月27日 ～平成26年 3月31日 (専用) 平成26年 4月 1日 ～平成27年 3月31日 (共用)
391B	(株)システムクラフト	耐久性とコスト対性能比を改善したロボットベースの開発	平成25年12月28日 ～平成26年 6月30日 (専用)
	(独)産業技術総合研究所	安全技術を導入した遠隔ショッピングロボットの開発	平成26年 9月 1日 ～平成27年 2月28日 (専用)
392	(株)タンケンシールセー コウ	CVD 多結晶ダイヤモンド皮膜を用いたメカニカルシールの研究開発	平成24年10月11日 ～平成27年 2月28日 (共用)
	首都大学東京	放射線イメージングデバイスの開発 (フォローアップ)	平成25年 7月 3日 ～平成27年 3月31日 (共用)
393	アイリックス(株) 東京医科大学	ラマンイメージング微細レーザーマ イクロダイセクターの開発	平成26年11月27日 ～平成27年 9月30日 (共用)
	グローバル・インターネッ ト・ジャパン(株)	音声通信可能な3Gシールドの開発	平成27年 2月 4日 ～平成27年 3月31日 (共用)

## 4. 技術経営支援

### 4.1 知的財産権の取得

#### 4.1.1 知的財産権総括

##### (1) 知的財産権保有件数

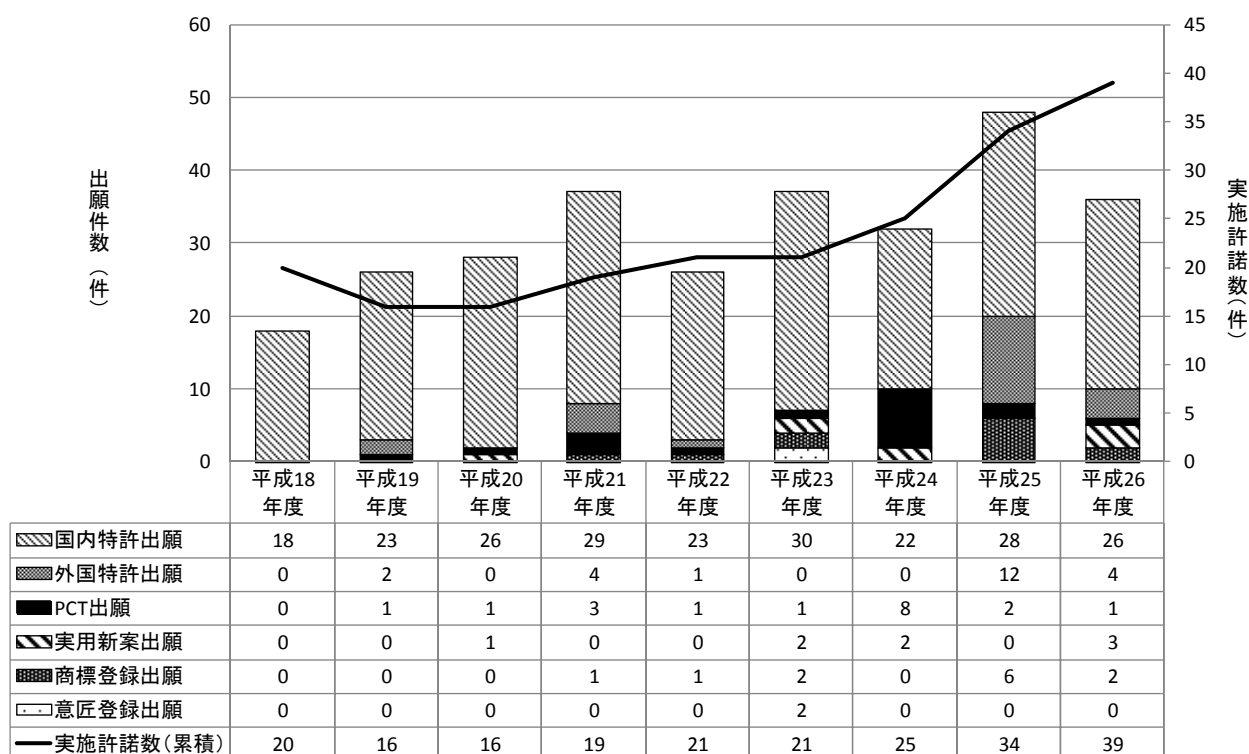
		特許(件)		実用新案(件)	意匠(件)	商標(件)
		設定登録	出願中	設定登録	設定登録	設定登録
国内※1	今年度分	21	26	3	0	6
	累計	123	115	8	2	10
国外※2	今年度分	3	4			
	累計	5	23			
PCT※3	今年度分		1			
	累計		4			

※1 国内優先権主張を利用した場合には、原出願は件数から削除しています。また登録となった場合には、累計における「出願中」から削除しています。

※2 自国（日本）指定も含めて計上しています。

※3 PCT出願後、各国への移行が完了したものについては、PCTの「出願中」から削除しています。

##### (2) 出願案件数の推移（平成18年度～平成26年度まで）



## 4.1.2 保有する登録済み知的財産権

### (1) 国内登録特許

番号	登録番号	名称	登録年月日	発明者	内容
1	第 3062813 号	べっ甲基材の再生製造方法	H12. 5. 12	横澤佑治 今津好昭 金谷公彦 浅見淳一 廣瀬徳豊	従来廃棄していた製造工程中に発生するべっ甲端材を再生し、有効利用することができる製造方法に関する
2	第 3082911 号	球状成型用凹凸金型盤による網目構造の球状繊維成型物及びその製造方法	H12. 6. 30	樋口明久	種々の繊維に低融点繊維を均等に混合し、球状に加熱加圧して得られた繊維成型物に関する
3	第 3122870 号	交流用 LED 点灯回路	H12. 10. 27	上野武司 吉田裕道 宮島良一 佐藤正利	電源電圧および周波数の変動に対し、明るさの変動が少なく、ちらつきの少ない交流用 LED 点灯回路
4	第 3261676 号	電気ニッケルめっき浴	H13. 12. 21	土井 正 水元和成 茅島正資 田中慎一	めっき排水中のほう酸やほう素の除去処理を行わなくてもよい、ほう酸を使用しないめっき浴で、緻密で欠陥の少ないニッケルめっき皮膜が得られる電気ニッケルめっき浴に関する
5	第 3292239 号	鋳造用すず合金	H14. 3. 29	佐藤健二 他 1 名	創造性、転写製に優れ鋳造した製品の色調が銀色に近いものが得られる鋳造用すず合金に関する
6	第 3326546 号	コンピュータシステムの故障検知方法	H14. 7. 12	坂巻佳壽美	コンピュータシステムの故障を自動的に検知し、システムの信頼性を向上させる方法に関する
7	第 3354377 号	レーザ溶射法による高耐食性改質層の作製方法	H14. 9. 27	一色洋二 藤木 栄	レーザ溶射法を利用した、鉄鋼材料表面の耐食性の改善
8	第 3406390 号	重水素の濃縮方法及び装置	H15. 3. 7	斎藤正明 他 3 名	原子力・放射線施設の安全性の判断、地下水系の測定等の指標として利用されている天然水中の重水素の分析に必須な濃縮方法とその装置
9	第 3520505 号	ポリオレフィン系プラスチック廃棄物からの液体燃料回収方法	H16. 2. 13	山本 真 中澤 敏	ポリオレフィン系プラスチック廃棄物を、重油中固体触媒剤を使用して常圧で熱分解し、ガソリン、灯油等の軽質留分を生成しないで液体燃料を高収率で回収する方法
10	第 3559727 号	放射性核種吸収体とこれを用いた放射性核種の濃度測定法	H16. 5. 28	斎藤正明	簡易で安全な放射能測定を実現するため、シンチレータと溶解しやすい発泡ポリスチレンを放射性気体の吸収材として規格化し、この吸収材を用いて放射能を測定する方法
11	第 3590932 号	EMI プローブ	H16. 9. 3	大森 学 山田万寿雄	電子機器から放射されるノイズ(放射電磁界)を3つの検出面を同軸上に互いに 60 度の角度で配置した EMI プローブを用いて三次元方向の感度特性で検出するため、ノイズ源を高確度かつ迅速に探索できる
12	第 3612659 号	フミン酸の改質による吸水性材料の製造方法	H16. 11. 5	山本 真 中澤 敏 他 2 名	草炭からアルカリ抽出したフミン酸に、アクリロニトリルをグラフト重合させた後、加水分解させることを特徴とする吸水性材料の製造方法
13	第 3624394 号	電解用活性陰極の製造方法	H16. 12. 10	田中慎一 棚木敏幸 広瀬徳豊	水溶液の電気分解による生産過程での電力使用量の低減を可能とした電極の製法
14	第 3719847 号	摺動性材料及びその製造方法	H17. 9. 16	三尾 淳 仁平宣弘	チタン表面層にイオン注入法で塩素を添加することにより、潤滑材を使用しなくても低摩擦指数かつ耐磨耗性に優れた新しい硬質材料およびその製造方法
15	第 3748304 号	重水素の濃縮度算出決定装置	H17. 12. 9	斎藤正明	天然水中のトリチウムの分析に不可欠な濃縮法で、従来の方法と比較して測定作業を簡易化した上、正確な重水素濃縮度を算出する方法および装置
16	第 3779290 号	漆および植物繊維を用いた成形用材料、前記成形用材料を用いて得られる漆/植物繊維成形体	H18. 3. 10	木下稔夫 上野博志 瓦田研介 他 1 名	漆と植物繊維を混合して漆を植物繊維に含浸させたのち加熱して粉末化成用材料およびこの材料を金型で加熱圧縮成形した成形体
17	第 3812783 号	超音波振動付加型摩擦試験機	H18. 6. 9	片岡征二 加藤光吉 基 昭夫 中田高志 佐々木武三 他 1 名	一般的な汎用試験機に超音波振動装置を組み込み、摩擦低減に対する超音波振動付加の効果を簡便に試験できる摩擦試験機

番号	登録番号	名称	登録年月日	発明者	内容
18	第 3963859 号	電動自転車用電源供給装置	H19. 5. 22	三上和正 小林丈士	電動自転車の始動時にバッテリーからモータに流れる大きな電流を制限し、必要な電流を補助電源である「電気二重層コンデンサ」から供給することによりバッテリーの長寿命化を図る
19	第 3968413 号	工作物に穴を形成する放電加工方法	H19. 4. 11	山崎 実 森 紀年 武井健三郎 國枝正典	直径数十ミクロンという微細な穴あけに関する技術で、穿孔する穴径より太い電極を用い、電極を＋、加工物を－にし、電極を回転させながら送りつつ放電加工を行うと、電極の外周部が消耗しながら微細な穴が形成できる
20	第 3970021 号	デジタル回路実験・実習遠隔教育方法	H19. 6. 15	森 久直 坂巻佳壽美 他 4 名	デジタル回路に関する実験・実習を回路を通じて行えるようにした遠隔教育システム
21	第 3993784 号	多次元座標測定機の性能評価方法、多次元座標測定機の校正用ゲージ及び校正用ゲージの治具	H19. 7. 24	澤近洋史 樋田靖広 浜島義明 他 1 名	反転法を利用して被測定物を多次元で測定するため、三次元座標測定機において、スケール誤差、真直度および直角度を容易に評価するための方法および校正用ゲージ
22	第 3992536 号	ラドン等の放射性核種の濃度測定方法とこの方法に用いる装置	H19. 7. 24 (H19. 8. 3)	齋藤正明	遮光したチャンバー内にプラスチックシンチレータおよび光電子増倍管を対面配置し、チャンバー内に連続的に流入させた試料水または試料空気に含まれるラドンをシンチレータに吸収させるラドンの放射線エネルギーでシンチレータの蛍光剤が発光し、その回数を増倍管で計数する
23	第 4046450 号	表面プラズモン共鳴センサ	H19. 11. 30	上野武司 加澤エリト 佐々木智憲 他 1 名	光の波長または光の入射角度を変化させることにより生じる表面プラズモン共鳴現象を利用し、物質の濃度あるいは物質の識別に用いられる、コンパクトで良好な感度を有するセンサ
24	第 4086241 号	水素吸蔵合金粉末	H20. 2. 29	内田 聡 他 3 名	鉄とチタンを主成分とする金属原料粉末をボールミリングすることにより得られる水素吸蔵合金粉末
25	第 4125671 号	ノイズ測定用多素子アンテナ	H20. 5. 16	寺井幸雄 天早隆志 清水康弘	屋外の都市空間ノイズを高感度に測定するための片手で持ち運びできる小型アンテナに関するもの
26	第 4126576 号	鋳造用アルミニウム合金	H20. 5. 23	佐藤健二 他 2 名	材料欠陥が少なく品質・強度が向上し、かつ塑性加工しても製品の割れが発生しにくくなり加工工数の低減化と製品歩留まりが向上する
27	第 4222515 号	ダイヤモンドの研磨方法と装置	H20. 11. 28	横澤 毅 基 昭夫 片岡征二 仁平宣弘	超音波で振動しているステンレス工具をダイヤモンドの表面に押しあてることにより、ダイヤモンドを研磨する方法
28	第 4226875 号	放電加工による素材の成形方法	H20. 12. 5	山崎 実 鈴木岳美 森 紀年 國枝正典	放電加工により一度開けた穴を利用して、直径数 $\mu\text{m}$ の細い電極や断面形状の複雑な電極を容易に作る事ができる
29	第 4233222 号	着色ガラスの製造方法	H20. 12. 19	鈴木 蕃 大久保一宏 小山秀美 田中 実 陸井史子	一般的なソーダ石灰ガラスの原料に、重量割合で 2～50% の三宅島火山灰を配合することにより、清澄剤を使わなくてもガラス中に気泡が残留せず、また、着色剤を使用することなく美しい青色に発色する高品質の着色ガラスが製造できる
30	第 4359537 号	立体製織体、金属繊維立体製織体及びそれらの製造方法	H21. 8. 14	樋口明久 吉野 学	立体製織体、金属繊維立体製織体の製造方法製織繊維の一部を屈曲させ立体製織体を得るための構造および製法の改良に関するもの
31	第 4392719 号	母材表面の下地処理方法及びこの方法により下地処理された表面を持つ母材及び製品	H21. 10. 23	片岡征二 基 昭夫 玉置賢次 他 3 名	プレス用金型や機械部品の摩擦面などにおける摩擦特性を改善し、DLC 膜を強固に密着させる加工方法
32	第 4394050 号	低摩擦性、耐摩耗性を向上させた金属板の製造方法	H21. 10. 23	藤木 栄 他 1 名	金属板およびその製造方法に関して金属母材表面の低摩擦性、耐摩耗性を一層向上させた金属板に関する
33	第 4568142 号	放電加工による素材の成形方法	H22. 8. 13	山崎 実 鈴木岳美 國枝正典	放電加工法により任意の微細軸を高精度で成形する方法に関する
34	第 4573174 号	放射線廃棄物の処理方法及びその焼結体	H22. 8. 27	小山秀美 小林政行 他 1 名	低濃度放射線物質を含有する廃棄物の処分を行うにあたり、発生した排気物の減容化だけでなく安全性、安定性や取り扱いやすさを画期的に向上させる技術

番号	登録番号	名称	登録年月日	発明者	内容
35	第 4599529 号	放射線照射判別方法 および放射線照射判 別システム	H22. 8. 11	後藤典子 山崎正夫 他 3 名	食品や生薬に対する放射線照射の有無の判別を行 うシステムと方法に関するもの
36	第 4680612 号	カーボンオニオンの 製造方法	H23. 2. 10	基 昭夫 片岡征二 後藤賢一 玉置賢次 他 8 名	容易な技術で、従来の方法に比べて簡便でかつ安易 にカーボンオニオンを製造することができる実用 的な方法を提供すること
37	第 4740439 号	塗装用ブラシ	H23. 5. 13	木下稔夫 他 2 名	ブラシ本来の機能を失うことなく毛束部の含浸保 水能力を著しく向上させ、従来不可能であった低粘 度塗料の塗布を可能にしたブラシ
38	第 4764973 号	CRC 値の算出装置	H23. 6. 24	坂巻佳壽美 乾 剛 高山匡正 他 4 名	誤り検出方式の一つである簡易なハードウェアに おいて実現できるシリアル伝送路における誤り検 査等に広く用いられる回路規模の増大を極力抑え 回路の高速化を実現した
39	第 4776212 号	マルチ X 線の発生方 法及びその装置	H23. 7. 8	鈴木隆司	1 種類以上の金属元素からなるフィルターを用い て、X 線発生装置から出る連続 X 線を単色 X 線また は 2 本以上のマルチ X 線にする方法および装置に関 すること
40	第 4791746 号	無鉛硼珪酸塩ガラス フリット及びそのガ ラスペースト	H23. 7. 29	田中 実 上部隆男 他 2 名	鉛加工物を用いずに、ホウ珪酸塩系ガラス原料を利用 して 580℃以下の温度でガラス基板等への焼付け ができる実用的な低融点無鉛ガラスフリットに関 するもの
41	第 4828159 号	赤外線追尾装置	H23. 9. 22	大畑敏美	パソコンや携帯電話に使われている赤外線通信技 術を活用し、通信信号に新たに提案する振幅変調信 号を付加することで、通信可能範囲や距離を感知 し、信号発生方向に自動追尾する装置
42	第 4827657 号	排ガス中のハロゲン 化合物及び硫黄酸化 物の分析方法と、排 ガス中のハロゲン化 合物及び硫黄酸化 物の分析用前処理装 置と、排ガス中のハ ロゲン化合物及び硫 黄酸化物の分析用前 処理キット	H23. 9. 22	野々村誠 栗田恵子	排ガス中のハロゲン化合物と硫黄酸化物を分析す るための前処理装置と前処理キットを提供するこ とにより、排ガス中のこれらの成分を簡便、迅速、 安価に測定することができる
43	第 4832785 号	表面改質された超高 分子量ポリエチレン 製成形品、およびそ の製造方法	H23. 9. 30	谷口昌平	人工関節などに用いられる超高分子量ポリエチ レンの低ポリエチレンの低摩擦化、耐磨耗性の向上 を目的としている
44	第 4847931 号	揮発性有機物除去装 置及び揮発性有機物 検出方法	H23. 10. 21	紋川 亮 石束真典 加澤エリト	ポリマーが VOC を吸収することで溶解し、その物性 値が変化することを利用した VOC センサー等を組み 込んだ揮発性有機物の除去装置およびその検出方法
45	第 4851432 号	揮発性有機物回収処 理装置及びこれを有 する揮発性有機物回 収処理システム	H23. 10. 28	紋川 亮	多孔質吸着剤が持つ VOC 吸着処理能力の高さと、揮 発性有機物吸収材の持つ高い VOC 吸収能力を複合す るという技術を用いた有用な揮発性有機物回収処 理装置
46	第 4873617 号	低摩擦特性と耐剥離 性を有する硬質膜の 被覆部材	H23. 12. 2	基 昭夫 後藤賢一 他 3 名	研磨した第一硬質膜の表面に DLC 膜をコーティング して第二硬質膜とし、表面を鏡面に研磨する硬質膜 被覆工具および摺動材の製造方法
47	第 4920007 号	ガラス発泡体の製造 方法、ガラス発泡体 及びガラス発泡体の 再生方法	H24. 2. 10	中澤亮二 小山秀美	排水中のリン酸を回収し、リン酸肥料として再資源 化するのに適した高いリン酸吸着能を有し、かつリン 酸の再解離が容易なガラス発泡体の製造方法に関 するものである
48	第 4940464 号	ネットワーク機器試 験装置	H24. 3. 9	坂巻佳壽美 乾 剛 他 4 名	通信メディアチップを直接 FPGA の回路により制御 することにより、高速な試験を行う。ハッシュ関数 をパケットの一部検出に用いることで高速なフィ ルタリング試験を実現する
49	第 4936349 号	金属内包カーボンナ ノカプセルの製造方法	H24. 3. 2	基 昭夫 片岡征二 他 2 名	量産性に優れた金属内包カーボンカプセルの製造 方法
50	第 5019445 号	低摩擦摺動部材およ び低摩擦転動部材	H24. 6. 22	基 昭夫 他 4 名	大気中、真空中、水中および潤滑剤中で低摩擦係数 を有し、耐久性、耐荷重性に優れた摺動部材および 転動部材を提供する
51	第 5022207 号	多層編地および多層 編地の編成方法	H24. 6. 22	飯田健一	5 層編地や 7 層編地など、3 層より多くの層を有す る多層編地を提供する



番号	登録番号	名称	登録年月日	発明者	内容
52	第 5025209 号	絶縁層を形成するための無鉛珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	H24. 6. 29	田中 実 上部隆男 他 3 名	絶縁層を形成するガラス組成物中に PbO を含まない絶縁層形成用のガラスフリットを提供する
53	第 5055617 号	分注装置	H24. 8. 10	楊 振 他 3 名	従来の分注装置の高さを低くし、小型の分注装置とする
54	第 5078002 号	ダイヤモンド膜被覆部材およびその製造方法	H24. 9. 7	玉置賢次 片岡征二 他 2 名	鉄基合金上に密着性良くダイヤモンド膜が被覆されたダイヤモンド膜被覆部材およびその製造方法を提供する
55	第 5083768 号	バイオセンサシステム	H24. 9. 14	沢井正之 他 2 名	溶存酸素の影響を受けずに、NAD+ または NADP+ を補酵素とする脱水素酵素の基質を正確に定量することができ、安価に製造することができ、かつ携帯性に優れた、バイオセンサシステムを提供すること
56	第 5105957 号	自動車燃料中の植物由来エタノール混合量の測定法	H24. 10. 12	斎藤正明	植物由来のエタノールを含む炭化水素系自動車燃料中のバイオエタノールの正確で簡便な測定法を提供する
57	第 5107261 号	手術ナイフ、手術ナイフ用ブレード及びその製造方法、並びに手術ナイフ用ハンドル	H24. 10. 12	加澤エリト 他 1 名	単結晶シリコンの異方性エッチング技術を用いて手術用ナイフを製造する技術に関する
58	第 5107571 号	LED 制御方法	H24. 10. 12	宮島良一 小林丈士 五十嵐美穂子	多数の多色 LED を均一に同時点灯可能な LED 制御回路を提供する
59	第 5116245 号	自動分析装置に用いる検量線作成用化合物	H24. 10. 26	上野博志 山本 真 石田直洋 金子真理奈 他 1 名	硫黄および主要なハロゲン (F、Cl、Br、I) について同時に検量線を作成することのできる新規な検量線作成用化合物を提供する
60	第 5135022 号	揮発性有機物分解菌用担持体及び汚染土壌の浄化方法	H24. 11. 16	紋川 亮	特定の高分子吸収材の持つ高い揮発性有機物吸収能力を活用し、原位置処理で、揮発性有機物を効率的に分解することが可能とする揮発性有機物分解菌用担持体および該揮発性有機物分解菌用担持体を利用した汚染土壌の浄化方法を提供することである
61	第 5135341 号	燃料用電池用セパレータプレート及びそれを利用した燃料電池	H24. 11. 16	伊東洋一 上野博志 他 1 名	燃料電池のセパレータプレートにおける反応ガスの流通経路のパターンをスクリーン印刷により高精度に形成する。ベースプレート 10a 上に反応ガスの流通経路となる所定のパターンの隔壁 11 を印刷によって形成する燃料電池用セパレータプレートの製造方法において、導電性材料を含むインク組成物をスクリーン印刷によって順次上方に複数回刷り重ねることにより隔壁 11 となる所定の厚さの導電性インキ層 11a~11e を形成することを特徴とする
62	第 5137768 号	断面形態制御繊維およびその製造方法	H24. 11. 22	山本清志	減量加工用繊維、異形断面繊維、極細繊維等の断面形態を制御されたポリエチレンテレフタレート繊維およびその製造方法を提供する
63	第 5140519 号	はんだの組成分析方法	H24. 11. 22	林 英男 上本道久	鉛フリーはんだに含まれる全合金構成元素と不純物元素とを同時に分析する方法を提供する
64	第 5147633 号	フッ素アパタイトの製造方法	H24. 12. 7	渡辺洋人 仙名 保	高い活性の可視光応答型光触媒が得られるように、ヒドロキシアパタイト粉体からフッ素アパタイトを製造する
65	第 5175584 号	局所表面プラズモン共鳴イメージング装置	H25. 1. 11	紋川 亮	金ナノパターン基板上で発生する局所表面プラズモン共鳴 (LSPR) を利用して、DNA およびタンパク質などの多検体試料を基板上に配置し、蛍光などのタンパク質標識を行うことなく検出する LSPR イメージング装置を提供する
66	第 5177472 号	カット面を着色したダイヤモンド粒子の製造方法、およびカット面に文様を描画したダイヤモンド粒子の製造方法	H25. 1. 18	谷口昌平 他 1 名	低価格の天然ダイヤモンドを着色する方法であり、短時間に処理でき、照射後の熱処理を必要としないカラーダイヤモンド製造方法を提供する
67	第 5183301 号	成型型およびその製造方法	H25. 1. 25	寺西義一 他 3 名	ガラス状炭素部材を用いて、離型性が高く、しかも凹凸部のアスペクト比が大きい場合に適した成型型およびその製造方法を提供する

番号	登録番号	名称	登録年月日	発明者	内容
68	第 5183328 号	編成体及びその製造方法	H25. 1. 25	樋口明久	無機繊維と収縮繊維との交差糸から編成されたものを用い、収縮繊維を収縮させたことにより無機繊維が不規則に変形した状態で編成されていることを特徴とする編成体
69	第 5207669 号	再生繊維製造装置及び繊維製造方法	H25. 3. 1	樋口明久 他 2 名	塩ビ系壁紙を粉碎処理した後に得られる塩ビ樹脂粉体とパルプ繊維の混合物を液体中で攪拌や分離、濾過を行い良質なパルプ繊維を回収する装置およびその製造方法
70	第 5203603 号	親水性熱可塑性共重合体	H25. 3. 5	清水研一 篠田 勉 上野博志	芳香族ビニルジエン共重合体の二重結合部分のみにカルボキシ基を付加して、親水性の高分子材料を得る方法に関する
71	第 5214290 号	食品用 X 線異物検査装置およびその方法	H25. 3. 8	大平倫宏 周 洪鈞 他 2 名	ベルトコンベア上を流れる食品パックに X 線を透過し、異物の判定を行う装置で、従来では検出困難であった微小な樹脂やガラスなどの異物を検出する装置および方法を開発した
72	第 5231294 号	揮発性有機化合物吸着材とその製造方法	H25. 3. 29	瓦田研介 井上 潤	廃木材を原料とするバイオエタノール製造で排出されるリグニン残渣を揮発性有機化合物(VOC)吸着材に転換する技術に関するものである
73	第 5242289 号	揮発性有機物吸収材及びその製造方法	H25. 4. 12	紋川 亮 田村和男	取り扱いが簡便で、VOC の吸収能が高く、さらに活性炭やメソポーラスシリカ等といった従来の VOC 吸着材よりも VOC の吸収能が極めて高い吸収材であるため、吸収材の交換や再生を頻繁に行う必要のない揮発性有機物吸収材およびその製造方法に関する
74	第 5243222 号	粉体分離装置、粉体分離システム、及び粉体分離方法	H25. 4. 12	樋口明久 他 8 名	異種の粉体の混合物を好適に分離可能な粉体分離装置、粉体分離方法およびこれを用いた粉体分離システムに関する
75	第 5261690 号	高強度ダイヤモンド膜工具	H25. 5. 10	横澤 毅 玉置賢次 寺西義一 片岡征二 他 2 名	気相法でダイヤモンド膜を合成する際に、合成雰囲気中にボロンを含むガスを積極的に導入することでボロンドープダイヤモンド膜を有する高強度ダイヤモンド膜工具に関する
76	第 5268050 号	カーボンナノチューブ含有樹脂組成物、硬化物、成形体及びカーボンナノチューブ含有樹脂組成物の製造方法	H25. 5. 17	柳 捷凡 他 2 名	機械強度(曲げ強度、曲げ弾性率)や導電性(特に均一性)に優れたカーボンナノチューブ含有樹脂組成物、硬化物、成形体およびカーボンナノチューブ含有樹脂組成物の製造方法に関する
77	第 5281926 号	揮発性有機化合物吸着剤とその製造方法、並びに樹皮又はその成型体の利用方法	H25. 5. 31	瓦田研介 井上 潤	樹皮またはその成型体を有効利用できる、揮発性有機化合物吸着材とその製造方法、ならびに樹皮またはその成型体の利用方法に関する
78	第 5301140 号	ガラス状炭素材からなる微細成形型材料とその製造方法ならびにこれを用いた微細成形型	H25. 6. 28	寺西義一 他 1 名	凹凸部の寸法を数 nm~数百 $\mu$ m 程度とする微細な成形が行われた微細成形型の材料とその製造方法ならびにこれを用いた微細成形型に関する
79	第 5302860 号	家畜骨残渣の処理方法	H25. 6. 28	柳 捷凡	食肉と骨とを含む家畜骨材料からエキスを抽出した後の家畜骨残渣の処理方法に関する
80	第 5308608 号	締結体締め付け力安定化剤、これを用いた締結力安定化法、安定化剤を付着した締結体構成部品	H25. 7. 5	大久保一宏 石田直洋 他 2 名	締結体の締め付け力を安定化することができる安定化剤およびこれを用いた締結体の締め付け力安定化方法、さらに、同安定化剤をあらかじめ付着させてなる締結体を構成する部品に関する
81	第 5309354 号	高速パターンマッチング装置の探索方法	H25. 7. 12	坂巻佳壽美 乾 剛 高山匡正 他 4 名	バイナリデータのパターンマッチングを高速に行う高速パターンマッチング装置の探索方法に関する
82	第 5350866 号	皮革または革製品	H25. 8. 30	飯田孝彦 瓦田研介 小沼ルミ 宮崎 巖 中村 宏	皮革および革製品の表面に付着したおもに環境由来のかび胞子の発芽を抑制し、かびの発生を防止もしくは低減化できる皮革または革製品に関する
83	第 5367341 号	アルミニウム合金鋳物およびアルミニウム合金鋳物の製造方法	H25. 9. 20	渡部友太郎	AL-Si (Al-Si-Mg) 系合金と Al-Mg 系合金を複合化したアルミニウム合金鋳物およびこの製造方法に関する

番号	登録番号	名称	登録年月日	発明者	内容
84	第 5376669 号	金属部材のプレス加工方法およびプレス加工用金型	H25. 10. 4	小金井誠司 他 6 名	フッ素樹脂膜を潤滑皮膜としていても、プレス加工が繰り返し行えるように金型の耐久性を高めるとともに、チタン部材やマグネシウム合金部材といった難加工金属部材について、ドライ加工を行えるようにすることができるプレス加工方法等に関する
85	第 5378024 号	揮発性有機物吸収材	H25. 10. 4	紋川 亮 藤井恭子	揮発性有機物の吸収能（吸収量及び吸収速度）が高く、また、熱処理により脱着が簡単にできるため、吸収した揮発性有機物の処理が容易な揮発性有機物吸収材に関する
86	第 5382638 号	マグネシウム合金部材の成形方法およびその成形用金型	H25. 10. 11	基 昭夫 他 4 名	絞り、曲げ成形等のプレス加工によるマグネシウム合金部材の成形方法およびその成形用金型に関する
87	第 5388304 号	掲示板のための照明装置	H25. 10. 18	中村広隆 榎本博司 三上和正 長谷川孝 西澤裕輔 他 3 名	掲示板のための照明装置、より詳細には掲示板に掲げられた情報（掲示情報）についての視認性の改善に寄与する照明装置に関する
88	第 5394132 号	揮発性有機化合物の浄化装置及びその浄化方法	H25. 10. 25	紋川 亮 他 1 名	小型で設置が容易な、揮発性有機化合物に汚染された大気、土壌からその汚染化合物を吸着剤で除去して光触媒で分解する揮発性有機化合物の浄化装置、およびその浄化方法に関する
89	第 5399034 号	微細成形型および微細成形用基材並びに微細成形型の製造方法	H25. 11. 1	寺西義一 三尾 淳 石束昌典	コート材や潤滑材を塗布することなく離型性を高めた微細成形型および微細成形用基材並びに微細成形型の製造方法に関する
90	第 5404465 号	ポリアニリン半導体材料	H25. 11. 8	中川清子 谷口昌平 山崎正夫	化学的操作では必要であった廃液の処理などが不要なポリアニリン半導体材料に関する
91	第 5414719 号	揮発性有機化合物分解用無機酸化物成形触媒とその製造方法	H25. 11. 22	染川正一 他 1 名	強度が強く保たれるとともに高い触媒活性が保持され、安価で簡便な押し出し成形法、低温での焼成が可能な無機酸化物成形触媒等に関する
92	第 5413939 号	タンパク質自動合成精製方法及び装置	H25. 11. 22	楊 振 佐々木智憲	ディスク内に微細流路および反応室等を形成して内部でタンパク質を自動合成し、精製したタンパク質を供給可能とするディスクを用いたタンパク質自動合成生成装置に関する
93	第 5422320 号	揮発性有機化合物分解用触媒と揮発性有機化合物の分解方法	H25. 11. 29	染川正一 石川麻子 他 1 名	揮発性有機化合物分解用触媒として用いられている貴金属担持触媒よりも材料コストを抑え、より低い温度で揮発性有機化合物を分解することができる触媒等に関する
94	第 5425689 号	ネズミ誘引方法および装置、並びにネズミ捕獲装置	H25. 12. 6	神田浩一 坂巻佳壽美 大原 衛 金田泰昌 加藤光吉 他 4 名	複数の音節からなるユニットが複数回繰り返される周波数特性を有する超音波を用いることによって、優れた誘引効果を得ることができ、ネズミを効率よく捕獲することができるネズミ誘引方法等に関する
95	第 5438287 号	難溶性アミノ酸類含有混合組成物及びその製造方法、並びに皮膚外用剤	H25. 12. 20	柳 捷凡 他 3 名	難溶性アミノ酸類微細粒子およびその製造方法に係わり、さらに皮膚外用剤に関する
96	第 5435911 号	除放射性製剤とその製造方法	H25. 12. 20	飯田孝彦 瓦田研介 小沼ルミ 宮崎 巖	短期間で気化しやすい常温揮発性薬剤成分を緩やかに放出することができ、廃棄物量が少なく、薬剤成分の効果の消失を容易に判別することができ、人体への安全性も高い除放射性製剤とその製造方法に関する
97	第 5439155 号	歯間清掃具及びその製造方法	H25. 12. 20	許 深 樋口明久	歯の表面に付着している歯垢等の汚れを除去するための歯間清掃具およびその製造方法に関する
98	第 5441485 号	揮発性有機物処理装置及び揮発性有機物処理方法	H25. 12. 27	紋川 亮	揮発性有機物の触媒分解処理を静的環境で行うことができ、触媒活性の低下が抑制される揮発性有機物処理装置および揮発性有機物処理方法に関する
99	第 5448549 号	光イオン化検出器及び光イオン化検出方法	H26. 1. 10	平野康之 加澤エリト 吉田裕道 原本欽郎	金属電極に交流電圧または交流電流を印加することで、汚染物質の存在下でも VOC 濃度の測定が可能な光イオン化検出器等に関する

番号	登録番号	名称	登録年月日	発明者	内容
100	第 5460113 号	局在表面プラズモン共鳴測定基板及び局在表面プラズモン共鳴センサ	H26. 1. 24	紋川 亮 加澤エリト	VOC 等の検出対象物を捕捉するために多孔質吸着材を備えているため、表面へのガス分子吸着による物性変化が大きく、極めて高感度なガス検出が可能で、局在表面プラズモン共鳴現象を利用した化学センサに関する
101	第 5479826 号	ガス浄化装置、プラズマ生成用電極、及びガス浄化装置	H26. 2. 21	三尾 淳 他 2 名	低コストかつ短時間でガスの分解および処理を実現可能とする新規な構成のガス浄化装置およびガス浄化方法ならびにこれに使用するプラズマ電極に関する
102	第 5486790 号	多孔質アパタイトおよびその製造方法	H26. 2. 28	渡辺洋人	天然骨等の廃棄物を原料とした、大きな比表面積のアパタイト微粒子を有する多孔質アパタイトであり、吸着剤として用いることが可能
103	第 5511523 号	二脚型移動装置	H26. 4. 4	坂下和広	人間が暮らす住環境に存在する障害物をスムーズに乗り越えることのできる二脚型移動装置に関する
104	第 5548144 号	表示装置	H26. 5. 23	豊島克久	液晶ディスプレイに比べ目の疲労が少なく、製造コストを抑えることができるという優れた効果を有する、表示装置
105	第 5560065 号	防護服	H26. 6. 13	加藤貴司	フード部を有する上衣とズボンとが一体に形成されたツナギ型の防護服であり、脇下近辺に開閉部があるため、脱衣しやすく、製造が容易で十分な防護性を確保できる
106	第 5560066 号	防護服	H26. 6. 13	加藤貴司	フード部を有する上衣とズボンとが一体に形成されたツナギ型の防護服であり、前面に開閉部があるため脱衣しやすく、迅速に脱衣が可能
107	第 5564680 号	ガラス発泡体、ガラス発泡体を含むリン酸吸着剤、ガラス発泡体を含む植物育成用培地及びガラス発泡体の製造方法	H26. 6. 27	中澤亮二 小山秀美	排水中のリン酸を回収するのに適した高いリン酸吸着能を有し、かつ排水処理に使用後のガラス発泡体の植物栽培への利用を容易にするため、植物に利用可能な水を保持できるガラス発泡体
108	第 5572459 号	4 種のハロゲン及び硫黄分析用の標準物質及びその製造方法	H26. 7. 4	上野博志 菊池有加 峯 英一	試料中の微量な 4 種類のハロゲン（フッ素、塩素、臭素、ヨウ素）および硫黄の有機元素を、迅速に高精度で自動定量分析する際の検量線を作成する、4 種のハロゲンおよび硫黄分析用の標準物質およびその製造方法に関する
109	第 5579644 号	赤色ガラス	H26. 7. 18	大久保一宏 増田優子 上部隆男	有害元素であるカドミウムを着色剤として使用せずに、カドミウム含有の赤色ガラスと同じ赤い色を示すソーダ石灰の赤色ガラスに関する
110	第 5604094 号	防かび剤組成物、およびそれを利用した木材および木製品	H26. 8. 29	小沼ルミ 宮崎 巖 飯田孝彦 濱野智子 瓦田研介 他 1 名	木材および木製品にも適した防かび剤組成物およびそれを使用した防かび加工方法、木材および木製品等に関する
111	第 5632597 号	弦楽器、弦楽器の製造方法及び弦楽器製造装置	H26. 10. 17	横山幸雄	積層造形法を活用した、弦楽器、弦楽器の製造方法及び弦楽器製造装置に関する
112	第 5647669 号	多孔質シリカの製造方法	H26. 11. 14	渡辺洋人 他 2 名	種々の形状に成型容易であり、透明性に優れ、ナノ粒子化が可能であり、かつ炭素数が 7 以下のカチオン性界面活性剤を使用しても高効率で得ることができる多孔質シリカの製造方法に関する
113	第 5647836 号	導電紙及びその製造方法	H26. 11. 14	上野武司 竹村昌太 島田勝廣	無電解金属めっきにより金属で被覆された木材パルプを含む導電紙およびその製造方法に関する
114	第 5650916 号	防護服	H26. 11. 21	加藤貴司	フード部を有する上衣とズボンとが一体に形成されたツナギ型の防護服であり、一端の袖部から頭部近辺を跨ぎ、他端の袖部にかけて開閉部があるため、防護服の脱衣が容易で、短時間で迅速に脱衣できる
115	第 5660831 号	アルミニウム合金の材質判定方法	H26. 12. 12	竹澤 勉 上本道久 伊藤 清	アルミニウム合金のリサイクルにおいてアルミニウム合金のグループ分けを行う場合に適用して好適なアルミニウム合金の材質判定方法に関する

番号	登録番号	名称	登録年月日	発明者	内 容
116	第 5660918 号	情報処理装置、コンピュータプログラム、および情報処理方法	H26. 12. 12	大平倫宏	3次元図形を構成する複数の頂点に対応する複数の頂点データを有する3次元図形データに対する電子透かしなどの付加情報の埋め込みにおいて、データの改ざんが検出されやすくなるようにする情報処理装置、コンピュータプログラム、および情報処理方法に関する
117	第 5667431 号	三次元座標測定機簡易検査用ゲージ	H26. 12. 19	中西正一 西村信司 中村弘史	三次元座標測定機の寸法検査を短時間に簡便に行うことができ、マルチスタイラスの検査も実施可能な三次元座標測定機簡易検査用ゲージに関する
118	第 5690244 号	はんだの組成分析方法	H27. 2. 6	林 英男	鉛フリーはんだに含まれる各種元素を分析する方法に関する
119	第 5697309 号	局在プラズモン共鳴センサの製造方法	H27. 2. 20	加澤エリト 紋川 亮	局在表面プラズモン共鳴現象を応用した化学センサの性能向上に関し、センサ性能低下の要因となっていた導電・密着層を熱処理により誘電体化することを特徴とする
120	第 5697852 号	揮発性有機物回収システム	H27. 2. 20	紋川 亮	揮発性有機物を効率的に液化して回収することができる揮発性有機物回収システムに関する
121	第 5698034 号	加熱補助器具及び加熱装置並びに化学的酸素消費量の測定方法及び加熱方法	H27. 2. 20	荒川 豊	マイクロ波によって複数の試料を簡易かつ迅速に加熱することができるとともに、試料間の加熱むら小さくすることができる加熱補助器具、加熱装置および加熱方法ならびに、複数の試料水について簡易かつ迅速に加熱することができるとともに、試料間の測定精度のばらつきを小さくすることができる化学的酸素消費量の測定方法に関する
122	第 5711927 号	固体酸化物型燃料電池	H27. 3. 13	樋口明久 他 7 名	固体酸化物型燃料電池に関する
123	第 5717491 号	揮発性有機化合物用の担体触媒及びその製造方法	H27. 3. 27	染川正一 小島正行 藤井恭子 萩原利哉 堂免一成	揮発性有機化合物用の触媒層を担体に担持するにあたって、触媒担持量を増やしても比表面積を大きくでき、且つ触媒層が担体から剥離しにくいので、触媒性能のアップを図ることができると共に触媒燃焼法の装置設計がし易くなる

## (2) 外国特許登録

番号	登録番号	名称	登録年月日	発明者	内 容
1	米国特許 第 5203901 号	結晶化ガラスの製造方法	H5. 4. 20	鈴木 蕃	下水汚泥焼却灰を原料に、天然の御影石または大理石より優れた特性を備えた結晶化ガラスを製造する方法
2	韓国特許 第 10-1212393 号	無鉛珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	H24. 12. 7	田中 実 上部隆男 他 2 名	鉛加工物を用いずに、ホウ珪酸塩系ガラス原料を利用して 580℃以下の温度でガラス基板等への焼付けができる実用的な低融点無鉛ガラスフリットに関するもの
3	米国特許 第 8729371 号	弦楽器、その製造方法及び装置	H26. 5. 20	横山幸雄	積層造形法を適用した弦楽器、および弦楽器の製造作製方法等に関する
4	韓国特許 第 10-1417009 号	絶縁層を形成するための無鉛珪酸塩ガラスフリット及びガラスペースト	H26. 6. 30	田中 実 上部隆男 他 3 名	絶縁層を形成するガラス組成物中にPb0を含まない絶縁層形成用のガラスフリットを提供する
5	韓国特許 第 10-1502996 号	燃料電池用集電材	H27. 3. 10	樋口明久 他 7 名	燃料電池用集電材に関する

## (3) 実用新案登録

番号	登録番号	名称	登録年月日	発明者	内 容
1	登録第 3149562 号	モバイル細工及びモバイル	H21. 3. 11	秋山 正 他 1 名	立体性を有し、かつより複雑な動作を現出し得るモバイル細工
2	登録第 3170441 号	照明器具	H23. 8. 24	上野明也 他 1 名	シェード部に設けられた模様板を光源が発する熱から保護し、インテリア性の高い照明器具
3	登録第 3171954 号	ブラジャー	H23. 11. 2	藤田薫子 他 1 名	授乳者や乳ガンにより乳房を切除した乳ガン患者等が使用する、各種パッドを装着可能な圧迫感の小さいブラジャー
4	登録第 3183799 号	注射器の針部取り外し器具ユニット	H25. 5. 8	石堂 均 他 2 名	注射器使用の際の針刺し事故の防止と、自己注射器材のユーザビリティを追求するための注射器、特に、ペン型のインスリン自己注射器の針部材取り外し器具ユニットに関する

番号	登録番号	名称	登録年月日	発明者	内 容
5	登録第 3183939 号	炭素繊維強化樹脂製環状ばね	H25. 5. 15	西川康博 佐野宏康 小船諭史 岩田雄介	炭素繊維で補強された樹脂を環状に巻回して成る炭素繊維強化樹脂製環状ばねに関する
6	登録第 3194598 号	装飾品及び照明器具	H26. 7. 4	上野明也	希少なべっ甲を有効に利用しつつ、べっ甲が持つ風合いを活かした装飾品および照明器具に関する
7	登録第 3195080 号	ブックスタンド、ブックエンド及びブックエンドユニット	H26. 12. 3	秋山 正	立て掛けて保管した書籍等の水平面でのズレを防止するとともに、ブックスタンド一対を相互に向かい合わせて連結させてブックエンドを構成する際、その連結を安定させることができ、また、ブックスタンドとブックエンドや、ブックエンド同士をそれぞれ安定的に連結させていくことができ、さらに、本の収納領域の段階的な間隔調整も容易に行えるブックスタンド、ブックエンドおよびブックエンドユニットに関する
8	登録第 3195171 号	パンツ型着用物	H26. 12. 10	平山明浩 他 1 名	日常生活における着用者の動作に追従し着用者の肌と密着して、吸収パッドからの漏れを抑制するパンツ型着用物に関する

#### (4) 意匠登録

番号	登録番号	意匠に係る物品	登録年月日	内 容
1	登録第 1433084 号	ランプシェード	H24. 1. 6	LED などの光源を内部に収容して使用するシェードである
2	登録第 1439104 号	ランプシェード	H24. 3. 23	LED などの光源を内部に収容して使用するシェードであり、六角形状の面の素材が透光性を有するものである

#### (5) 商標登録

番号	登録番号	商標	登録年月日	内 容
1	登録第 5358694 号		H22. 10. 8	世界一高い電波塔東京スカイツリー、墨田区をモチーフにデザイン開発した墨田区発の子供服中心のブランド
2	登録第 5424369 号	サスティーモ (標準文字)	H23. 7. 8	漆と植物繊維を混合して漆を植物繊維に含浸させたのち加熱して粉末化用材料、そして、この材料を金型で加熱圧縮成形した漆器のブランド
3	登録第 5466219 号		H24. 1. 27	有毒物を含まずに赤色の発色を実現したガラスのブランド
4	登録第 5492668 号	merilabo	H24. 5. 11	メリヤス (ニット) の使い方を研究するというコンセプトのもと、メリヤスの「メリ」とラボラトリー (実験室) の「ラボ」から生まれたニットブランド
5	登録第 5663387 号		H26. 4. 11	都産技研オリジナルのイメージキャラクター
6	登録第 5663388 号	チリン (標準文字)	H26. 4. 11	都産技研オリジナルのイメージキャラクター名
7	登録第 5680841 号		H26. 6. 27	介護服の新ブランド
8	登録第 5689214 号		H26. 7. 25	都産技研のロゴマーク
9	登録第 5689215 号	東京都立産業技術 研究センター (標準文字)	H26. 7. 25	都産技研の名称
10	登録第 5689216 号	TIRI (標準文字)	H26. 7. 25	都産技研の英語略称

### 4.1.3 出願案件

※公報が発行されていない出願の内容は「未公開」と表記しています。

#### (1) 国内出願

番号	出願番号	出願年月日	名称	発明者	内容
<b>平成 18 年度</b>					
1	2007-079315	H19. 3. 26	アーク発光分光による材料中の微量成分分析法	佐々木幸夫	アーク発光分光分析装置にアルゴンと酸素の混合ガスを導入することによる金属材料中の炭素を主とした微量成分の定量分析に関すること
<b>平成 19 年度</b>					
1	2007-303522	H19. 11. 22	吸着槽交換時期を監視するシステム及びこれを具備する揮発性有機化合物廃ガス処理装置	阪口文雄 武田有志	揮発性有機化合物ガス処理装置において、吸着体の効率的な交換や脱着が図ることのできる、吸着体による捕集不能となる状態の検出機構ならびに検出方法に関する
2	2008-018066	H20. 1. 29	マイクロバルブを有する微細流路	伊東洋一 基 昭夫 他 2 名	微細流路内に磁力を用いて金属内包カーボンナノ粒子を固定・移動させることにより液体や気体の流れを制御(ON・OFF)させる技術
3	2008-022789	H20. 2. 1	路面標示物の除去装置及び路面標示物の除去方法	小池茂幸	道路路面標示塗料をヒーターにより溶かし、ローラーブラシでかきとり、しかも残渣を効率よく回収することのできる道路の路面表示物の除去方法および装置に関する
4	2008-054596	H20. 3. 5	ガス濃度測定装置および測定方法、累積ガス量測定装置および測定方法、ガス除去装置における除去剤の除去限界類推装置および類推方法	武田有志 他 3 名	管内を通過する揮発性有機化合物ガスの累積ガス量を1つのセンサで計測する機構とその方法に関する
<b>平成 20 年度</b>					
1	2008-303347	H20. 11. 28	生地加工方法	木村千明 小林研吾 藤田 茂	合成繊維とセルロース系繊維とを組成繊維とする織物または編物から成る生地に透かし模様と凹凸模様とを同時形成するための生地加工方法
2	2009-024032	H21. 2. 4	ダイヤモンド研磨装置及びダイヤモンド研磨方法	横澤 毅 片岡征二 他 1 名	曲面形状・微少孔・複雑形状面などにコーティングされたCVDダイヤモンド膜表面を、短時間で効率よく研磨できる装置と方法に関するもの
3	2009-042030	H21. 2. 25	マグネシウム合金部材のせん断加工用金型およびせん断加工方法	基 昭夫 他 2 名	マグネシウム合金は、常温での延性が乏しくせん断面が荒れるため、最適加工条件や工具形状を開発し、現行品に使用されているアルミニウム合金と同等のせん断面平滑度を得た
4	2009-042804	H21. 2. 25	織物及び編物のプリーツ性試験方法とその装置	田中みどり 岩崎謙次	伸長法プリーツ性試験方法の距離測定を目視から画像センサーによる方法に改善し、正確かつ効率的な試験が可能となる装置を製作した
<b>平成 21 年度</b>					
1	2009-134114 【優先権主張】 原出願 2008-145511	H21. 6. 3	編針及びその製造方法	堀江 晁 森河和雄 三尾 淳 川口雅弘	金属糸などの難編成糸を編成可能とし、また、編成時に編針に発生するキズやさびを防止するためにダイヤモンドライクカーボン膜を施した編針とその製造方法
2	2009-213585	H21. 9. 15	画像合成装置及び画像合成方法	大平倫宏 他 1 名	取得順序未知の特徴に乏しい画像群に対するパノラマ画像合成装置および方法についての特許出願である。請求項では、合成後に取得漏れがあった際のアラーム機能についても記述をしている
3	2009-285657	H21. 11. 27	LED点灯回路	寺井幸雄 染谷克明 小林丈士	商用電源またはその他の交流電源を利用する高効率で高周波ノイズ発生のない、LED点灯回路
4	2010-046922	H22. 3. 3	活性炭及びその製造製法	瓦田研介 井上 潤 萩原利哉 他 1 名	従来の煩雑な工程を経ずに容易な工程で、未利用バイオマス(特に、杉やひのき等の木質系未利用バイオマス)を原料として活用することができ、しかもコストパフォーマンスに優れた、高比表面積を有する活性炭およびその製造方法
5	2010-48371	H22. 3. 4	多孔質シリカならびにその製造方法および集合体	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用して有効な技術

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
6	2010-71902	H22. 3. 26	揮発性有機化合物分解反応器	紋川 亮 杉森博和 秋山恭子 他 1 名	揮発性有機化合物分解反応器をガスの流れが均一になるような構造にすることで、分解反応に寄与しないデッドゾーンが生じることを回避することで分解効率を上げ、さらに反応器自体の製造コストを抑えることを可能とする揮発性有機化合物分解反応器
7	2010-72806	H22. 3. 26	工場排気ガス処理装置	小島正行 平野康之 他 2 名	印刷工場、塗装工場、金属表面処理工場等から排出される、光化学スモッグの原因となる微小粒子物質、特に VOC (揮発性有機化合物) および塗料、インクなどの高沸点有機化合物ならびにダスト等を、ろ布に担持した吸着剤を使って除去する。ハンドリング性に優れ、かつ吸着剤の消費量が少なく、また、吸着剤の再生が容易な排気ガス処理装置
8	2010-72807	H22. 3. 26	工場排気ガスの 2 層ろ過装置	小島正行 他 2 名	塗装、めっき、印刷等の各種工場の排気ガスに含まれるミスト、VOC、ダストなどの有害成分を、ろ布と 2 種類のろ過補助材を使って捕集する。ろ過補助材は未利用資源である木材を有効利用し、適宜回収、再生することで経済的なプロセスを確立
<b>平成 22 年度</b>					
1	2010-162015	H22. 7. 16	水道用ゴムパッキン	清水研一 飛澤泰樹 他 2 名	高度の物性と多量の吸水性を併せて保持し、かつ安全性に優れた水道用ゴムパッキン
2	2010-163584	H22. 7. 21	フィールド機器用データストレージシステム	金田泰昌 入月康晴 佐野宏靖 他 6 名	記録済みのデータが外部から改変或いは削除されたりする可能性を低減できる、フィールド機器用データストレージシステム
3	2010-201507 【優先権主張】 原出願 2009-209756	H22. 9. 9	人工骨部材	寺西義一 他 1 名	セラミックス表面へ、生体無害イオンを直接照射することにより、特殊膜などを使用せずに自家骨への接着性、非接着性の制御機能などを付与する
4	2010-248770	H22. 11. 5	塗装物のパッチ式乾燥装置及びその操作方法	小島正行 染川正一 秋山恭子 荻原利哉 他 2 名	判定作業の効率化を図り、被測定用半導体材料を面的に PN 判定する
5	2010-280036	H22. 12. 16	コラーゲン線維ゲルおよびその用途	柚木俊二 他 2 名	細胞の牽引力により収縮しない細胞培養用コラーゲン線維ゲルに関する
6	2011-002763	H23. 1. 11	チタン部材の曲げ加工方法および曲げ加工工具	小金井誠司 基 昭夫 他 4 名	チタン部材について、ドライ環境下での曲げ加工が行えるようにしたチタン部材の曲げ加工方法および曲げ加工工具に関する
7	2011-038925	H23. 2. 24	オゾン濃度測定装置	中村広隆 他 6 名	測定セルを通過する試料ガスが長い透過距離を移動すると透過中にオゾンが何度も紫外線に照射され、正しいオゾン濃度測定ができない。このため、窒化物系深紫外線半導体素子を使用した、正しい測定値が得られ、装置へのダメージを排除するオゾン濃度測定装置を提供する
8	2011-041203	H23. 2. 28	LED 点灯回路	寺井幸雄 染谷克明 小林丈士	点灯時の突入電流からの LED 保護と低消費電力化を両立し、比較的動作電流の大きい LED の点灯を可能とする LED 点灯回路を提供する
<b>平成 23 年度</b>					
1	2011-124782	H23. 6. 3	有害化学物質低減木質ボードの製造方法及び有害化学物質低減木質ボード	濱野智子 瓦田研介 他 2 名	木質ボードにおいて、フェノール樹脂、メラミン樹脂、ユリア樹脂、イソシアネート樹脂等の石油系樹脂を接着剤に使用しながら接着耐久性や操作性を確保しつつシックハウス症候群の原因である有害化学物質を有意義な程度まで低減した木質ボードの実現
2	2011-126795	H23. 6. 6	数値データの圧縮システム及び方法	大原 衛 山口隆志	FPC 方式の技術的課題を解消し、浮動小数点形式の数値データの圧縮率を向上させる
3	2011-138440	H23. 6. 22	絹繊維品のプリーツ加工方法及び絹繊維品のプリーツ加工品	武田浩司 木村千明 小林研吾	絹繊維品本来の特性を損なうことなく、プリーツの保持性が優れる絹繊維織物等の絹繊維品のプリーツ加工方法およびそのプリーツ加工品を提供する



番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
4	2011-144300	H23. 6. 29	無機・有機複合粒子及びその製造方法	柳 捷凡	水難溶解性有機化合物を無機多孔質の細孔内に含有し、種々の分野で利用することができるナノレベルサイズの無機有機複合粒子およびその製造方法を提供する
5	2011-146285	H23. 6. 30	燃料電池、その駆動システム及び燃料電池組み立てキット	峯 英一 菊池有加 小野澤明良 上野博志 他 1 名	必要な部品数を少なくして組み立ておよび分解を容易にするとともに、良好な出力電圧を有する燃料電池、その駆動システムおよび燃料電池組み立てキットを提供する
6	2011-150689	H23. 7. 7	熱フィラメント CVD 装置及び成膜方法	長坂浩志	熱フィラメント CVD 法によって、有効成膜面積を大面積化することのできる熱フィラメント CVD 装置およびその装置を用いた薄膜の形成方法を得る
7	2011-175078	H23. 8. 10	揮発性有機物検出器及び揮発性有機物検出方法	平野康之 原本欽朗 吉田裕道	揮発性有機物をイオン化させ、拡散定数の大きさを判別することで、被測定対象に含まれる揮発性有機物の種別を特定することが可能な揮発性有機物検出および揮発性有機物検出方法に関する
8	2011-220890	H23. 10. 5	スラリー状触媒液の付着装置	小島正行 藤井恭子 染川正一 萩原利哉	スラリー状触媒液の付着装置に係り、特に有害ガスを浄化するためのハニカム構造の触媒担持担体の製造において、担体にスラリー状触媒液を遠心力を利用して均一に付着させる技術に関する
9	2011-220895	H23. 10. 5	塗装物の乾燥・焼付炉	小島正行 藤井恭子 染川正一 萩原利哉 他 1 名	塗装物の乾燥・焼付炉に係り、特に中小規模の塗装工場内へ好ましく設置することができ、装置コストの低減および塗装物を乾燥・焼付する際の省エネに寄与する技術に関する
10	2011-227936	H23. 10. 17	熱型加速度センサー	豊島克久	加速度センサーに関し、三軸方向の加速度を同時に測定可能な熱型加速度センサーに関する
11	2011-228859	H23. 10. 18	有機溶剤の脱着方法および有機溶剤の脱着装置	杉森博和 他 1 名	活性炭やゼオライト等の吸着剤に吸着された有機溶剤を脱着して回収するための有機溶剤の脱着方法および有機溶剤の脱着装置の技術分野に関する
12	2011-236695	H23. 10. 28	制御システム	佐藤 研 佐野宏靖 他 1 名	制御器と負荷とが電力線を介して接続された制御システムに関する
13	2011-260878	H23. 11. 29	電解セル	斎藤正明	電解膜を用いて水を電気分解する電解セル、例えば重水、トリチウム水等の試料水中の純水を固体高分子電解質 (Solid Polymer Electrolyte) から成る電解膜を用いて電解し減容して該試料水を濃縮する電解セルに関する
14	2011-262112	H23. 11. 30	管内壁の研掃方法、管内壁の研掃方法に用いる偏向部材および管内壁研掃システム	小野澤明良 木下稔夫 他 1 名	管内壁の研掃方法、管内壁の研掃方法に用いる偏向部材および管内壁研掃システムに関する
15	2011-202620 【優先権主張】 原出願 2010-209727	H23. 9. 16	流路形成用ガラス組成物、その組成物で形成される微細流路を備える石英ガラスマイクロリアクター及びその流路形成方法	田中 実 伊東洋一 上部隆男 他 1 名	石英ガラス基板の両板の対向面にガラスペーストを印刷してリブを形成しても、焼成で熔解により崩壊せずに、高さが 50～500 μm の流路形成用ガラス組成物から成る微細流路が形成でき、石英ガラス基板を強固に接合でき、クラックが発生しない線熱膨張係数の小さな、ホウ珪酸塩ガラスを含有する流路形成用ガラス組成物を提供する
16	2011-276326	H23. 12. 16	防護帽、防護帽の使用方法、防護服及び防護装置	服部 遊 神田浩一 西沢啓子 渡辺茂幸 他 2 名	気体の供給によるフード部内の騒音の低減、防護帽の装着者と他人との間での意思疎通を適切に図ることのできる防護帽等に関する
17	2011-282885	H23. 12. 26	降水降下物などの自動蒸発濃縮器	斎藤正明	多量の試料水の昼夜無人連続運転が可能であり、大幅に労力を省くことができる自動蒸発濃縮器に関する

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
18	2011-283724	H23. 12. 26	造粒体、造粒体の製造方法、水質浄化装置、リン酸肥料、及び、土壌改良資材	中澤亮二 佐々木直里 小山秀美 平井和彦	リン酸の吸着性に優れた造粒体、前記造粒体の製造方法、リン酸の吸着性に優れた水質浄化装置に関し、また、前記造粒体を用いたリン酸肥料および土壌改良資材に関する
19	2011-287408	H23. 12. 28	ダイヤモンド膜の研磨方法および装置	藤巻研吾 横澤 毅	ダイヤモンド膜表面の平滑化による発熱量の低下を伴う研磨速度の減速を抑制できるダイヤモンド膜の研磨方法および装置に関する
20	2012-015800	H24. 1. 27	吸音率測定装置、吸音率測定方法および吸音率測定プログラム	神田浩一 西沢啓子 渡辺茂幸	吸音材周辺部から流入する音響エネルギーの影響を抑制し得る吸音率を得ることのできる吸音率測定装置に関する
21	2012-068325 【優先権主張】 原出願 2011-064405	H24. 3. 23	冷却基材、冷却シート及びネッククーラー	清水研一 飛澤泰樹 他 1 名	冷却シートおよびネッククーラーに関するもので、さらに詳しくは、物体を省エネルギー的に冷却する冷却基材、冷却シートおよびネッククーラーに関する
22	2012-074775 【優先権主張】 原出願 2011-071215	H23. 3. 28	コラーゲン膜及び培養容器	大藪淑美 柚木俊二	細胞を通過させず培養液成分などの物質を通過可能であるとともに、細胞の観察に適した透明性をも有するコラーゲン膜およびこれを用いた培養容器に関する
<b>平成 24 年度</b>					
1	2012-103787	H24. 4. 27	尾てい骨保護下着	藤田薫子 他 1 名	尾てい骨を保護して、長時間の着用および着座が快適となる尾てい骨保護下着に関する
2	2012-129660	H24. 6. 7	重金属吸着剤及び重金属回収方法	小沼ルミ 杉森博和 飯田孝彦 瓦田研介	金属の吸着剤、さらに詳しくは担子菌の死菌体またはこれを含有する廃菌床を利用した重金属吸着剤およびこれらを使用する重金属回収方法等に関する
3	2012-143083	H24. 6. 26	テトラフルオロエチレンにより化学修飾されたポリエチレンおよびその製造方法	榎本一郎	機能性プラスチックに関し、特に撥水性に優れた機能性ポリエチレンに関する
4	2012-150881	H24. 7. 4	冷却シート	飛澤泰樹 清水研一 他 1 名	冷却シートに関するもので、さらに詳しくは、物体を省エネルギー的に冷却する冷却シートに係るものである
5	2012-151440 【優先権主張】 原出願 2011-150229	H24. 7. 5	相溶化剤、その相溶化剤により相溶されてなる複合体、相溶化剤の製造方法及びその相溶化剤により相溶されてなる複合体の製造方法	梶山哲人 清水研一 林 孝星 安田 健	脂肪族ポリエステルと天然繊維とを相溶せしめる際に用いる相溶化剤およびその相溶化剤により相溶されてなる複合体、そして、相溶化剤の製造方法さらに、その相溶化剤により相溶されてなる複合体の製造方法に関するものである
6	2012-154100 【優先権主張】 原出願 2011-151286	H24. 7. 9	人体模型、衣服圧測定装置および衣服圧測定方法	菅谷紘子 岩崎謙次	人体模型、衣服圧測定装置および衣服圧測定方法に関し、特に、衣服圧測定用の人体模型、当該人体模型を用いた衣服圧測定装置および衣服圧測定方法に関する
7	2012-180829 【分割出願】 親出願 2008-131617	H24. 8. 17	高強度ダイヤモンド膜工具	横澤 毅 寺西義一 玉置賢次 片岡征二 他 1 名	耐久損性を向上させることで破壊強度と耐磨耗性に優れ、かつ放電加工等の電気加工を主体とした研磨加工が可能な多結晶・単結晶の高強度ダイヤモンド膜工具やコーティング工具を提供することにある
8	2012-181879	H24. 8. 20	補助布付きコート、補助布及びマフラー	加藤貴司	高い防寒性を確保でき、また、補助布をマフラーとして使用できるので、補助布を外しても邪魔にならず、防寒性をさらに向上できる補助布付きコート等に関する
9	2012-186879 【優先権主張】 原出願 2011-185806	H24. 8. 27	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関し、特に、微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に微細な粒子を内包させる技術に関する
10	2012-214096	H24. 9. 27	リング撚糸機、撚糸製造方法、織物製造方法、撚糸、織物および押圧スイッチ	窪寺健吾 山本悦子 樋口英一 樋口明久	金属繊維と化学繊維等を撚り合わせてなる撚糸における金属繊維の張力の適切化を図ることができ、さらに金属繊維の張力が適切化された撚糸、そのような撚糸を製織してなる織物、そのような織物を使用した押圧スイッチに関する

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
11	2012-227142 【分割出願】 親出願 2009-520544	H24. 10. 12	燃料用電池用セパレータ プレートの製造方法及び それを利用した燃料電池	伊東洋一 上野博志 他 1 名	燃料電池のセパレータプレートにおける反 応ガスの流通経路のパターンをスクリーン 印刷により非印刷部分を設けつつ高精度に 形成する
12	2012-241704	H24. 11. 1	鳥獣識別装置、鳥獣識別 方法、及びプログラム	大平倫宏 富山真一	特定の空間領域に存在する鳥獣のうち羽ば たいている状態の鳥獣を識別することので きる鳥獣識別装置等に関する
13	2012-251622	H24. 11. 15	ハイドロゲル	柚木俊二 大藪淑美 関口正之 他 1 名	持続的な抗菌作用を有し、かつ正常組織への 刺激が少なく、生体適合性の高いハイドロゲ ルに関する
14	2012-255357	H24. 11. 21	高融点ゼラチン組成物、 その製造方法、およびそ の用途	大藪淑美 柚木俊二 畑山博哉	一般的な細胞育成の温度条件においてゲル 状態を維持することができる高融点ゼラチ ンと、その製造方法等に関する
15	2012-256802	H24. 11. 22	コラーゲン水溶液及びそ れから得られるゲル	柚木俊二 大藪淑美 畑山博哉	室温での流動性を長い時間保持でき、かつ、 生体温度で速やかにゲル化することが可能 なコラーゲン水溶液とそのゲル
16	2012-257432	H24. 11. 26	ライトパイプ	横田浩之	発光の形状を点状に近似させ、発光の位置を 任意とすることで、LED を光源としつつフィ ラメント素子との相違を解消させてフィラ メント素子の配光に近似させることができ るライトパイプに関する
17	2012-266048	H24. 12. 5	プラスチックのバイオマ ス由来判別方法	永川栄泰 柚木俊二 斎藤正明	固体プラスチックに含まれる放射性炭素 ( <sup>14</sup> C) を、LSC 法を用いて固体のまま測定する プラスチックのバイオマス由来判別方法
18	2012-275046 【優先権主張】 原出願 2011-275027	H24. 12. 17	骨結合性材料、人工骨並 びに基材と自家骨との結 合促進方法	寺西義一 他 1 名	所望の部位において自家骨との結合を促進 させることができる骨結合性材料等に関する
19	2013-021929	H25. 2. 7	メカニカルシールおよび その製造方法	長坂浩志 渡辺友太郎 寺西義一 他 1 名	未公開
20	2013-070640 【優先権主張】 原出願 2012-125985	H25. 3. 28	LED 照明の分光分布設計 方法	岩永敏秀 中村広隆 他 4 名	基準光源との色みえの差が小さい分光分布 を得ることができる、または、ある特定の色 を鮮やかでかつ明るく見せる分光分布を得 ることが可能となる LED 照明の分光分布設計 方法に関する
<b>平成 25 年度</b>					
1	2013-096087	H25. 4. 30	金属編地及びその製造方 法	唐木由佑	通気性、光透過性に優れた金属編地およびそ の製造方法に関する
2	2013-100737	H25. 5. 10	光源装置	横田浩之 他 1 名	面発光光源を発光体として用いた場合であ っても、点光源を形成することを実現可能と する光源装置に関する
3	2013-113498	H25. 5. 29	X 線エネルギー別画像再 構成装置及び方法並びに X 線三次元測定装置及び 方法	紋川 亮 中西正一 阿部真也 近藤幹也 原田 晃	未公開
4	2013-119604 【優先権主張】 原出願 2012-129660	H25. 6. 6	重金属吸着剤及び重金属 回収方法	小沼ルミ 杉森博和 飯田孝彦 瓦田研介	液体中の金属、特に廃水中の重金属を迅速に 吸着した後、効率よく回収できる吸着剤およ びそれを用いた重金属の回収方法に関する
5	2013-125803	H25. 6. 14	配光測定装置および配光 測定方法	横田浩之	面発光体の配光分布の測定を精度良く行う ことを可能にしつつ、装置の大型化を回避可 能にする配光測定装置等に関する
6	2013-129077	H25. 6. 19	電気ニッケルめっき液お よび電気めっき方法	浦崎香織里 土井 正	ピット防止等のための添加剤やホウ素を含 まない、高速電気めっきのめっき液として用 いた場合にも、耐食性および外観に優れため っき皮膜が得られる電気ニッケルめっき液 に関する
7	2013-134031	H25. 6. 26	移動台車の制御装置及び 移動台車の制御方法	坂下和広	移動台車上に配設された構造体の向きを所 定方向に制御しつつ任意の方向に移動可能 な移動台車の制御装置に関する

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
8	2013-159010	H25. 7. 31	飛行装置及び駆動装置	益田俊樹 森田裕介 佐々木智典 島田茂伸 坂下和広	空気より軽い気体を充填した気嚢を用いた飛行装置の姿勢を自由に制御可能とするシステムに関する
9	2013-172143	H25. 8. 22	照明器具の測光量測定安定性評価方法、測光量測定安定性評価装置、測光量測定安定性評価プログラム、およびその記録媒体	澁谷孝幸 岩永敏秀 横田浩之	放熱構造が備えられた照明器具の光源特性を明確にすることができ、照明器具の測光量を測定する際の安定性の評価を精度よく行うことができる測光量測定安定性評価方法等に係る技術に関する
10	2013-181647	H25. 9. 2	クロムフリー化成処理液および化成処理方法	浦崎香緒里 他 1 名	クロムを用いずに、亜鉛や亜鉛合金の表面に耐食性のより高い化成皮膜を形成する化成処理液等に関する
11	2013-192629	H25. 9. 18	オゾン濃度測定装置	武田有志 中村広隆 他 3 名	固体発光素子をチョップ発信させ計測する紫外線吸収式オゾン濃度測定装置に関する
12	2013-194199	H25. 9. 19	ノード装置及びネットワークシステム	中川善継	データの収集と、データフレームの転送とを同時に行うことができ、このためスループットの低下を抑制することができるノード装置及びネットワークシステム
13	2013-218054	H25. 10. 21	光学部材および光源装置	横田浩之 他 1 名	未公開
14	2013-224627	H25. 10. 29	X線三次元測定装置及びX線三次元測定方法	紋川 亮 中西正一 阿部真也	未公開
15	2013-224629	H25. 10. 29	三次元測定装置及び三次元測定方法	紋川 亮 中西正一 阿部真也	未公開
16	2013-240142 【分割出願】 親出願 2009-053490	H25. 11. 20	局在プラズモン共鳴センサ	紋川 亮 加澤エリト	金属微細構造を持つ局在プラズモン共鳴センサにおいて、リソグラフィ法による製造上必要不可欠な、誘電体基板と金属微細構造の間に挿入される導電層または密着層としての金属層を除去することなく、かつ複雑、高価な製造工程を必要とすることのない、局在表面プラズモン共鳴現象を利用した化学センサに関する
17	2013-241895	H25. 11. 22	運動支援システム及び運動支援プログラム	後濱龍太 他 1 名	未公開
18	2013-256516	H25. 12. 11	反応物供給流路	峯 英一 窪寺健吾 他 2 名	未公開
19	2014-001479 【優先権主張】 原出願 2013-001809	H26. 1. 8	リグノセルロースからのセルロース抽出方法	濱野智子 飯田孝彦 小沼ルミ 水越厚史 瓦田研介	多量の廃棄物を生じるような高温高压処理等を必要としない、簡便な、植物系バイオマスまたはリグノセルロースからのセルロースの溶解および/または抽出方法、特に簡便で高効率な植物系バイオマスの糖化前処理技術に関する
20	2014-031747	H26. 2. 21	黒色合金メッキ皮膜	水元和成 他 2 名	未公開
21	2014-048017	H26. 3. 11	信号検出装置及び信号検出方法	村上真之 志水 匠	未公開
22	2014-052115 【優先権主張】 原出願 2013-052321	H26. 3. 14	塩化物イオンの定量方法及び塩化物イオンの定量装置、並びに、塩素の定量方法	杉森博和 安藤恵理 田熊保彦 瓦田研介 荒川 豊	現場で使用可能な小型の装置に適用でき、安価であって、短時間に塩化物イオンを定量することが可能であり、かつ指針値に対して十分な感度を有している塩化物イオンの定量方法および塩化物イオンの定量装置等に関する
<b>平成 26 年度</b>					
1	2014-092371 【優先権主張】 原出願 2013-095732	H26. 4. 7	マグネシウム粉末冶金焼結体の製造方法、そのマグネシウム粉末冶金焼結体およびマグネシウム粉末冶金材料	岩岡 拓	マグネシウム粉末冶金材料中のマグネシウム粉末同士間の結合力を強化し、当該材料の組織を維持したまま、その組織を緻密化したマグネシウム粉末冶金焼結体の製造方法等に関する

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
2	2014-079717	H26. 4. 8	局在表面プラズモン共鳴センサ、ガスセンサ及び製造方法	加澤エリト 紋川 亮	未公開
3	2014-107600	H26. 5. 23	注意再獲得支援システム、訓練用画像生成装置及びそのプログラム	後濱龍太 他 1 名	未公開
4	2014-168330	H25. 6. 6	触媒	染川正一 渡辺洋人 他 2 名	未公開
5	2014-124534	H26. 6. 17	圧力測定用材料とその製造方法並びに圧力測定方法	吉野 徹 山中寿行 大久保一宏 渡邊禎之	未公開
6	2014-125217	H26. 6. 18	多孔質シリカに内包された炭素粒子蛍光体、炭素粒子蛍光体、多孔質シリカに内包された炭素粒子蛍光体の製造方法および炭素粒子蛍光体の製造方法	林 孝星 渡辺洋人 他 2 名	未公開
7	2014-126615 【分割出願】 親出願 2009-134114	H26. 6. 19	編針	堀江 暁 森河和雄 川口雅弘 三尾 淳	金属糸などの難編成糸を編成可能とし、また、編成時に編針に発生するキズやさびを防止するためにダイヤモンドライクカーボン膜を施した編針
8	2014-144888 【優先権主張】 原出願 2013-147761	H26. 7. 15	マイクロヒータ	山岡英彦	熱応力を抑制することができるマイクロヒータに関する
9	2014- 189562 【優先権主張】 原出願 2013-195891	H26. 9. 18	揮発性有機化合物検出センサ	紋川 亮 月精智子 城 照彰 他 3 名	未公開
10	2014-192135	H26. 9. 22	サンドイッチパネル用コア材、サンドイッチパネル用コアおよびサンドイッチパネル	高橋俊也 西川康博 阿保友二郎	未公開
11	2014-198975 【分割出願】 親出願 2012-503249	H26. 9. 29	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	渡辺洋人 他 2 名	種々の形状に成型容易であり、透明性に優れ、ナノ粒子化が可能であり、かつ炭素数が 7 以下のカチオン性界面活性剤を使用しても高効率で得ることができる多孔質シリカと、その製造方法に関する
12	2014-202048 【優先権主張】 原出願 2014-000573	H26. 9. 30	成形体	寺西義一 他 2 名	未公開
13	2014-209085	H26. 10. 10	遅延量測定回路および遅延量測定方法	岡部 忠	未公開
14	2014-210057	H26. 10. 14	コラーゲン水溶液及びそれを用いたゲルの製造方法	柚木俊二 畑山博哉 大藪淑美	未公開
15	2014-210060	H26. 10. 14	コラーゲンゲルの作製方法及びコラーゲンゲル	柚木俊二 畑山博哉 海老澤瑞枝	未公開
16	2014-211950 【優先権主張】 原出願① 2013-095732 原出願② 2014-125805	H26. 10. 16	金属イオン捕集材	梶山哲人 他 1 名	未公開
17	2014-223328	H26. 10. 31	量子ドット複合光触媒	渡辺洋人 染川正一 他 2 名	未公開
18	2014-2350504	H26. 11. 13	放熱性を向上させる塗装方法および塗装装置および塗料	木下稔夫 他 3 名	未公開

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
19	2014-233373	H26. 11. 18	多孔質シリカの製造方法	渡辺洋人 他 2 名	未公開
20	2014-250421	H26. 12. 10	ナノ粒子の製造方法	川口雅弘 渡邊禎之 林 英男	未公開
21	2014-259095	H26. 12. 22	成形材料、成形体の製造方法、及び成形体	上野明也 山中寿行	未公開
22	2015-006392	H27. 1. 16	頭部装着体の製造方法、かつらの製造方法、及び、かつら	唐木由佑 他 2 名	未公開
23	2015-019615	H27. 2. 3	緊急停止方法、緊急停止システム及びその自己診断方法	村上真之	未公開
24	2015-039192 【優先権主張】 原出願 2014-039680	H27. 2. 27	周波数、計測システム及び計測方法	藤原康平 小林丈士	未公開
25	2015-057992	H27. 3. 20	積層造形装置を用いた積層造形方法	山内友貴	未公開
26	2015-060009	H27. 3. 23	ダイヤモンド薄膜の製造方法、熱フィラメントCVD装置及びメカニカルシール	長坂浩志 他 2 名	未公開

(2) 外国出願（自国指定も含む）

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
1	第 10-2009-7023522 【韓国移行出願】 PCT/JP2008/061295	H21. 1. 11	燃料電池用のセパレータプレートの製造方法とそれを使用した燃料電池	伊東洋一 上野博志 他 1 名	燃料電池用セパレータブレードの製造方法において、スクリーン印刷によって導電性材料を複数回重ね、ガス流通経路の隔壁を所定のパターンで形成する方法
2	2012-503249 【自国指定出願】 PCT/JP2011/054928	H24. 7. 27	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術
3	13/582112 【米国移行出願】 PCT/JP2011/054928	H24. 8. 31	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術
4	201180011994. 1 【中国移行出願】 PCT/JP2011/054928	H24. 9. 3	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術
5	11750758. 2 【欧州移行出願】 PCT/JP2011/054928	H24. 9. 27	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術
6	10-2012-7025433 【韓国移行出願】 PCT/JP2011/054928	H24. 9. 27	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術
7	11 2011 103 324. 9 【ドイツ移行出願】 PCT/JP2011/072912	H25. 3. 8	燃料電池用集電材	樋口明久 他 7 名	燃料電池用集電材に係り、特に、平板型の固体酸化物型燃料電池の MEA セルとセパレータの間に設けられる集電材、および円筒型の固体酸化物型燃料電池の MEA セルの空気極と燃料極の内周面または外周面に設けられる集電材に関する
8	2013-533461 【自国指定出願】 PCT/JP2012/004025	H26. 2. 24	イオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法	平野康之 原本欽朗 吉田裕道	イオン化された被測定対象ガスを検出するイオン化ガス検出器およびイオン化ガス検出方法に関する
9	10-2014-7004939 【韓国移行出願】 PCT/JP2012/071699	H26. 2. 25	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関し、特に、微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に微細な粒子を内包させる技術に関する
10	14/241589 【米国移行出願】 PCT/JP2012/071699	H26. 2. 27	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関し、特に、微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に微細な粒子を内包させる技術に関する

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
11	2013-531433 【自国指定出願】 PCT/JP2012/072214	H26. 2. 27	成形用材料及びその製造方法並びに該成形用材料を用いた圧縮成形体	木下稔夫 神谷嘉美 上野博志 瓦田研介 他 2 名	漆、植物繊維といった天然資源（バイオマス）を主原料とした成形用材料に関し、また、この成形用材料から得られる圧縮成形体、圧縮成形体に関する
12	2013-531434 【自国指定出願】 PCT/JP2012/072216	H26. 2. 27	成形体の製造方法	木下稔夫 村井まどか 神谷嘉美 清水研一 他 2 名	漆、植物繊維といった天然資源のみから形成される成形用材料であっても、外観により一層優れた成形体を製造することができる製造方法に関する
13	2013-531435 【自国指定出願】 PCT/JP2012/072217	H26. 2. 27	成形用材料と、これを用いた成形体	木下稔夫 三尾 淳 高橋千秋 城 照彰	漆、植物繊維といった天然資源（バイオマス）を原料として用いた場合であっても、製造時の原料混合物の流動性が良好で、各原料が混合機に焼き付くことを防止でき、良好な粒度を有し、成形性により一層優れた成形用材料と、これを用いた成形体に関する
14	12828428. 8 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/072214	H26. 2. 27	成形用材料及びその製造方法並びに該成形用材料を用いた圧縮成形体	木下稔夫 神谷嘉美 上野博志 瓦田研介 他 2 名	漆、植物繊維といった天然資源（バイオマス）を主原料とした成形用材料に関し、また、この成形用材料から得られる圧縮成形体、圧縮成形体に関する
15	12828401. 5 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/072216	H26. 2. 27	成形体の製造方法	木下稔夫 村井まどか 神谷嘉美 清水研一 他 2 名	漆、植物繊維といった天然資源のみから形成される成形用材料であっても、外観により一層優れた成形体を製造することができる製造方法に関する
16	12826932. 1 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/072217	H26. 2. 27	成形用材料と、これを用いた成形体	木下稔夫 三尾 淳 高橋千秋 城 照彰	漆、植物繊維といった天然資源（バイオマス）を原料として用いた場合であっても、製造時の原料混合物の流動性が良好で、各原料が混合機に焼き付くことを防止でき、良好な粒度を有し、成形性により一層優れた成形用材料と、これを用いた成形体に関する
17	201280042513. 8 【中国移行出願】 PCT/JP2012/071699	H26. 2. 28	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関し、特に、微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に微細な粒子を内包させる技術に関する
18	12828309. 0 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/071699	H26. 3. 12	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	渡辺洋人 他 2 名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関し、特に、微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に微細な粒子を内包させる技術に関する
19	14/216, 588 【米国移行出願】 PCT/JP2012/004025	H26. 3. 17	イオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法	平野康之 原本欽朗 吉田裕道	イオン化された被測定対象ガスを検出するイオン化ガス検出器およびイオン化ガス検出方法に関する
20	12831773. 2 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/004025	H26. 4. 7	イオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法	平野康之 原本欽朗 吉田裕道	イオン化された被測定対象ガスを検出するイオン化ガス検出器およびイオン化ガス検出方法に関する
21	2013-540845 【自国指定出願】 PCT/JP2012/077719	H26. 4. 17	制御システム	佐藤 研 他 1 名	制御器と負荷とが電力線を介して接続された制御システムに関する
22	14/354, 758 【米国移行出願】 PCT/JP2012/077719	H26. 4. 28	制御システム	佐藤 研 他 1 名	制御器と負荷とが電力線を介して接続された制御システムに関する
23	62137249 【米国仮出願】	H27. 3. 24	四輪ロッカーボギー構造	坂下和広 森田裕介 益田俊樹	未公開

## (3) PCT 出願

番号	出願番号	出願年月日	名 称	発明者	内 容
1	PCT/JP2009/058891 【優先権出願】 原出願 2008-127030	H21. 5. 13	トルエン検出センサシステム及びトルエンの検出方法	月精智子 他 4 名	トルエン検出センサシステムおよびトルエンの検出方法に関し、特に高感度かつ簡便にトルエンを検出することができる、トルエン検出センサシステムおよびトルエンの検出方法
2	PCT/JP2014/052958 【優先権出願】 原出願 2013-021929	H26. 2. 7	メカニカルシールおよびその製造方法	長坂浩志 渡部友太郎 寺西義一 他 1 名	メカニカルシールに要求される漏洩防止性能を満たしながら、優れた耐久性を有するダイヤモンド被膜面を有するメカニカルシールおよびその製造方法
3	PCT/JP2014/59526 【優先権出願】 原出願 2013-074842	H26. 3. 31	悪臭処理用担持触媒	染川正一 井上 潤 他 1 名	Co、Ce 系酸化物担持触媒のさらなる高性能化、安定性の向上を図ることができ、長時間活性を有効に保持することのできる悪臭処理用の担持触媒
4	PCT/JP2014/064330 【優先権出願】 原出願 2013-113498	H26. 5. 29	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法並びにX線三次元測定装置及び方法	紋川 亮 中西正一 阿部真也 近藤幹也 原田 晃	未公開

## (4) 実用新案登録出願

なし

## (5) 意匠登録出願

なし

## (6) 商標登録出願

番号	出願番号	出願年月日	商 標	発明者	内 容
1	979000 【タイ王国出願】	H27. 3. 19		国際化推進室 の所管	都産技研のロゴマーク 区分：第 41 類
2	979001 【タイ王国出願】	H27. 3. 19		国際化推進室 の所管	都産技研のロゴマーク 区分：第 42 類



#### 4.1.4 実施許諾

番号	項目	番号	名称	実施許諾 企業数
1	特許	特許第 3812783 号	超音波振動付加型摩擦試験機	1
2	特許	特許第 3406390 号	重水素の濃縮方法及び装置	1
3	特許	①特許第 4791746 号 ②韓国第 10-2006-28002	無鉛珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	1
4	特許	特許第 4394050 号	低摩擦性、耐摩耗性を向上させた金属板の製造方法	1
5	特許	特願 2009-286822	防かび剤組成物、およびそれを使用した木材および木製品	1
6	特許	特許第 3292239 号	鑄造用すず合金	1
7	特許	特許第 3779290 号	漆および植物繊維を用いた成形用材料、前記成形用材料を用いて得られる漆／植物繊維成形体	1
8	特許	特願 2010-047997	防護服	1
9	特許	特願 2009-266467	家畜骨残渣の処理方法	1
10	特許	特願 2011-276326	防護帽、防護帽の使用法、防護服及び防護装置	1
11	特許	特願 2011-282885	降水降下物などの自動蒸発濃縮器	2
12	特許	特許第 5107571 号	LED 制御方法	1
13	特許	特願 2001-024519	締結体締付け力安定化剤、これを用いた締付け力安定化法、安定化剤を付着した締結体構成部品	1
14	特許	特許第 3261676 号	電気ニッケルめっき浴	1
15	特許	特許第 4599529 号	放射線照射判別方法および放射線判別システム	1
16	特許	特許第 3122870 号	交流用 LED 点灯回路	2
17	特許	特願 2010-074034	掲示板のための照明装置	1
18	特許	特願 2012-251622	ハイドロゲル	1
19	特許	特許第 5183328 号	編成体及びその製造方法	1
20	特許	特許第 5243222 号	粉体分離装置、粉体分離システム、及び粉体分離方法	1
21	特許	特許第 5422320 号	揮発性有機化合物分解用触媒と揮発性有機化合物の分解方法	1
22	特許	特許第 5414719 号	無機酸化物成形触媒とその製造方法	1
23	特許	特願 2011-065307	揮発性有機化合物用の担体触媒及びその製造方法	1
24	特許	特願 2013-074842	悪臭処理用担持触媒	1
25	特許	特願 2011-138440	絹繊維品のブリーツ加工方法及び絹繊維品のブリーツ加工品	1
26	特許	特許第 5083768 号	バイオセンサシステム	1
27	特許	特願 2012-503249	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	1
28	特許	特願 2010-163584	フィールド機器用データストレージシステム	1
29	特許	特願 2011-059966	赤色ガラス	1
30	特許	特願 2014-031747	黒色合金メッキ皮膜	1
31	特許	特願 2012-214096	リング撚糸機、撚糸製造方法、織物製造方法、撚糸、織物および押圧スイッチ	1
32	実用新案	登録第 3149562 号	モバイル細工及びモバイル	1
33	実用新案	登録第 3170441 号	照明器具	1
34	実用新案	登録第 3171954 号	ブラジャー	1
35	意匠	登録第 1433084 号	ランプシェード	1
36	意匠	登録第 1439104 号	ランプシェード	1
37	商標	登録第 5358694 号		1
38	商標	登録第 5424369 号	サスティーモ【標準文字】	1

#### 4.1.5 著作権の許諾

都産技研が発行する著作物の記事利用について以下のとおり掲載申請を許諾した。

著作物	許諾先	掲載先
東京都立産業技術研究センター 『平成 25 年度研究成果発表会要旨集』 (平成 25 年 6 月 20 日発行)、p. 121 「現場環境における三次元測定機の高度化に関する研究－温度ドリフトの評価および補正－」	(一財)機械振興協会 技術研究所	「技研所報」 (平成 26 年 7 月発行)
東京都立産業技術研究センター 『TIRI NEWS』平成 23 年 8 月号記事 (平成 23 年 7 月 25 日発行)、pp. 8-9 「VOC 吸着能に優れたスーパーマイクロポーラスシリカの開発」	(株)東レリサーチセンター	「無機多孔質材料」 (平成 26 年 8 月発行)
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第 6 号 (平成 23 年)』 (平成 23 年 9 月 26 日発行)、pp. 78-81 「インクジェット式三次元造形機を用いた製品製作とその精度評価」	(株)東レリサーチセンター	「積層造形技術」 (平成 26 年 9 月発行)
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第 5 号 (平成 22 年)』 (平成 22 年 11 月 15 日発行)、pp. 26-29 「植物マイクロコイル含有電磁シールド材」	(株)東レリサーチセンター	「電磁波シールド・電磁吸収体」 (平成 26 年 11 月発行)
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第 5 号 (平成 22 年)』 (平成 22 年 11 月 15 日発行)、pp. 56-59 「無電解ニッケルめっきによる導電紙の作製」	(株)東レリサーチセンター	「電磁波シールド・電磁吸収体」 (平成 26 年 11 月発行)
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第 7 号 (平成 24 年)』 (平成 24 年 9 月 28 日発行)、pp. 74-77 「高速パルスノイズ (EFT/B) 抑制のための対策部品活用の研究」	(株)東レリサーチセンター	「電磁波シールド・電磁吸収体」 (平成 26 年 11 月発行)
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第 7 号 (平成 24 年)』 (平成 24 年 9 月 28 日発行)、pp. 78-81 「伝導性エミッションの対策部品選定手順の開発」	(株)東レリサーチセンター	「電磁波シールド・電磁吸収体」 (平成 26 年 11 月発行)
東京都立産業技術研究センター 『平成 26 年度研究成果発表会要旨集』 (平成 26 年 6 月 19 日発行)、p. 74 「電動車椅子危険探知及び回避システムの開発」	東京都産業労働局商工部	平成 26 年 9 月 12 日開催の「都市課題解決のための技術戦略プログラム (安全・安心編) 普及セミナー」における東京都立産業技術研究センター・首都大学東京連携研究成果発表資料
東京都立産業技術研究センター 『平成 26 年度研究成果発表会要旨集』 (平成 26 年 6 月 19 日発行)、p. 111 「放射線イメージングデバイスの開発」	東京都産業労働局商工部	平成 26 年 9 月 12 日開催の「都市課題解決のための技術戦略プログラム (安全・安心編) 普及セミナー」における東京都立産業技術研究センター・首都大学東京連携研究成果発表資料
東京都立産業技術研究センター 『平成 26 年度研究成果発表会要旨集』 (平成 26 年 6 月 19 日発行)、p. 112 「呼吸・心拍の非接触モニタリングシステムの開発」	東京都産業労働局商工部	平成 26 年 9 月 12 日開催の「都市課題解決のための技術戦略プログラム (安全・安心編) 普及セミナー」における東京都立産業技術研究センター・首都大学東京連携研究成果発表資料
東京都立産業技術研究センター 『TIRI NEWS』平成 24 年 12 月号記事 (平成 24 年 11 月 25 日発行)、p. 8 「技術解説 DC 電源アナライザ ～微小電圧/電流用電源や多電源システムの評価が可能～」	特許庁	意匠審査用データベース
東京都立産業技術センター ホームページ <a href="http://www.iri-tokyo.jp/joho/kohoshi/archives/complaint/technique/s04.html">http://www.iri-tokyo.jp/joho/kohoshi/archives/complaint/technique/s04.html</a> 繊維製品の顕微鏡試験の例として掲載している画像 8 点：綿、麻、絹、羊毛の電子顕微鏡による側面・断面の外観写真	東京書籍(株)	高校理科教科書「科学と人間生活」 (平成 29 年発行予定)

著作物	許諾先	掲載先
東京都立産業技術センター ホームページ <a href="http://www.iri-tokyo.jp/joho/kohoshi/archives/complaint/technique/s04.html">http://www.iri-tokyo.jp/joho/kohoshi/archives/complaint/technique/s04.html</a> 繊維製品の顕微鏡試験の例として掲載している画像 20点：綿、麻、絹、羊毛、キュプラ、レーヨン、アセテート、ナイロン、ポリエステル、アクリルの電子顕微鏡による側面・断面の外観写真	教育図書(株)	高校家庭科教科書 (平成 29 年度発行予定)
東京都立産業技術研究センター 『研究報告』 研究報告に掲載されている論文・ノートのタイトル、 著者名、abstract	農林水産省	文献データベース「AGRIS」

また、著作物の複写（コピー）を適正に取り扱うために、平成 19 年度より公益社団法人日本複製権センターと契約している。都産技研の関連情報が掲載された記事の所内掲示および出版物などへの掲載は、各出版社の許諾を得て行っている。許諾を得たのは、日本経済新聞などであった。

## 4.2 海外規格対応の支援 広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）

広域首都圏輸出製品技術支援センター（以下、「MTEP」という。）は、1都10県の運営機関（都産技研、茨城県工業技術センター、栃木県産業技術センター、群馬県立産業技術センター、埼玉県産業技術総合センター、千葉県産業支援技術研究所、神奈川県産業技術センター、新潟県工業技術総合研究所、山梨県工業技術センター、長野県工業技術総合センター、静岡県工業技術研究所）が連携して実施する中小企業のための海外展開支援サービスを提供する。平成26年度は、中小企業の海外規格対応の支援について円滑かつ適切な運営を進めるための運営委員会等を、以下のとおり開催した。

No.	開催年月日	開催場所	会議等名	参加機関
1	平成26年 6月13日	都産技研	第3回MTEP 事務局会議	1都10県運営機関 オブザーバー機関（横浜市工業技術支援センター、 関東経済産業局、東京都産業労働局商工部、 （独）産業技術総合研究所）
2	平成26年 8月29日	神奈川県産業 技術センター	第4回MTEP 事務局会議	1都10県運営機関 オブザーバー機関（同上）
3	平成26年 11月27日	埼玉県産業技術 総合センター	第5回MTEP 事務局会議	1都10県運営機関 オブザーバー機関（横浜市工業技術支援センター、 関東経済産業局、東京都産業労働局商工部、 （独）産業技術総合研究所、経済産業省）
4	平成27年 2月27日	千葉工業大学	第3回MTEP 運営委員会	1都10県運営機関 オブザーバー機関（横浜市工業技術支援センター、 関東経済産業局、（独）産業技術総合研究所）

### 4.2.1 海外展開支援サービス

- (1) 海外規格（ISO、IEC）情報の閲覧サービス
- (2) 専門相談員による技術相談

都産技研には次の15名の専門相談員を置き、相談に対応した。

専門相談員氏名	技術分野
森 浄	EMC、電気安全、CE マーキング
河本康太郎 ※1	照明、電熱
松浦徹也	RoHS、REACH
岡野雅一	RoHS、REACH
池上利寛	EMC、CE マーキング
奥野克幸	中国規格、UL 規格
藤ノ木修二	EMC、電気安全、CE マーキング
小西 颯	EMC、電気安全、CE マーキング
板谷雅樹	航空機関連
吉川 保	機械安全、CE マーキング
金田光範	機能安全（自動車・電子機器）
石井 満 ※2	機械安全、CE マーキング

専門相談員氏名	技術分野
田口和美 ※2	医療機器、FCC
篠崎厚志 ※3	EMC、CE マーキング
忍足光史 ※4	国内薬事法

※1 平成26年 9月まで委嘱

※2 平成26年 5月から委嘱

※3 平成26年11月から委嘱

※4 平成27年 3月から委嘱

#### 4.2.2 普及啓発活動

都産技研主催や他機関主催の技術セミナーなどへ、都産技研の職員あるいは専門相談員を派遣し、海外展開支援サービスについての普及啓発活動を以下のとおり実施した。

##### (1) 技術セミナー等

都産技研主催の技術セミナー 33件 (7.1.1 技術セミナー、講習会一覧参照)

MTEP 共同運営機関連携セミナー 5件

No.	開催年月日	実施場所	名称	参加者数(人)
1	平成26年 10月17日	諏訪圏工業メッセ2014	諏訪圏工業メッセ2014	21
2	平成26年 12月4日	茨城県工業技術センター	【MTEP】海外規格(CEマーキング・RoHS指令)セミナー	40
3	平成27年 2月2日	静岡県工業技術研究所	海外ビジネスことはじめ	56
4	平成27年 2月19日	ハイブ長岡交流サロン	CEマーキング入門+改正RoHS指令入門	58
5	平成27年 2月26日	浜松商工会議所	国際規格の概要と最近の動向～CEマーキング・改正RoHS指令解説～	30
合計				205

他機関主催イベントでの講演等 10件

No.	開催年月日	主催者	実施先の名称	実施場所
1	平成26年 6月5日	都産技研	ものづくりを革新するデザインマネジメント	都産技研 本部
2	平成26年 7月24日	商工会連合会	7月度「事務局長連絡会」	立川グランドホテル
3	平成26年 9月4日	青梅商工会議所	多摩テクノプラザ見学会	都産技研 多摩テクノプラザ
4	平成26年 9月24日	日本鑄造工学会	鑄造設備研究部会	愛知県産業労働センター
5	平成26年 10月10日	府中市	府中テクノフェア ものづくりセミナー in 府中	府中市市民会館
6	平成26年 10月20日	立川商工会議所	工業部会	立川商工会議所
7	平成26年 10月21日	朝日信用金庫	朝日ビジネスマッチング2014	東京ドームホテル

No.	開催年月日	主催者	実施先の名称	実施場所
8	平成 26 年 10 月 28 日	東京都中小企業 振興公社	新技術交流会	立川パレスホテル
9	平成 26 年 12 月 9 日	(地独)岩手県工 業技術センター	平成 26 年度海外展開セミナー	(地独)岩手県工業技術セン ター
10	平成 27 年 3 月 4 日	東京都中小企業 振興公社	海外展開支援助成金説明会	都産技研 本部

(2) MTEP メールニュース

海外規格セミナーや各種イベントの情報など、海外展開支援情報を提供する MTEP メールニュースを配信した。

配信回数 計 4 回

配信登録数 約 1,300 件

#### 4.2.3 相談実績

相談件数合計 1,008 件となり、メール相談が最も多く 575 件であった。また、相談企業の所在地別では東京都が最も多く 591 件、規模別では中小企業が最も多く 748 件であった。

(1) 相談方法別 (件)

相談方法	件数	相談方法	件数
電話	76	メール	575
来所	317	テレビ会議	8
実地支援	26	オーダーメイドセミナー	6
		合計	1,008

(2) 相談企業所在地別 (件)

	東京都	茨城県	群馬県	栃木県	埼玉県	千葉県
件数	591	11	45	11	94	15

	神奈川県	山梨県	長野県	静岡県	新潟県	その他
件数	97	8	13	33	18	72

(3) 相談企業規模別 (件)

中小企業	748
大企業	223
その他	37
合計	1,008

#### 4.2.4 刊行物

中小企業への技術情報提供のため、海外規格の概要をまとめた「海外規格テキスト」など、以下の刊行物を発行した。

##### (1) 海外規格テキスト

No.	タイトル	発行年月
1	EU 指令入門 *1	平成 26 年 3 月
2	CE マーキング EMC 指令入門 *1	平成 26 年 3 月
3	CE マーキング 低電圧指令入門 *1	平成 26 年 3 月
4	CE マーキング 機械指令入門 *1	平成 26 年 3 月
5	CE マーキング RoHS 指令入門 *1	平成 26 年 3 月
6	CE マーキング 技術文書の書き方入門 *1	平成 26 年 3 月
7	国際規格概説 *1	平成 26 年 3 月
8	国別規格入門 米国編 (FCC、UL) *1	平成 26 年 3 月
9	国別規格入門 中国編 *1	平成 26 年 3 月
10	国別規格入門 韓国編 *1	平成 26 年 3 月
11	国別規格入門 台湾編 *1	平成 26 年 3 月
12	国別規格入門 日本編 (電気用品安全法、VCCI) *1	平成 26 年 3 月
13	国別規格入門 日本編 (医療機器) *1	平成 26 年 3 月
14	化学物質規制入門 (RoHS/REACH/WEEE) *1	平成 26 年 3 月
15	レーザー照明機器 *1	平成 26 年 3 月
16	CE マーキング医療機器指令入門	平成 27 年 3 月
17	EU 指令応用 リスクアセスメント	平成 27 年 3 月
18	EU 指令応用 EN60204-1 適合の実務	平成 27 年 3 月
19	EU 指令応用 RoHS 対応サプライチェーンマネジメントシステムの構築	平成 27 年 3 月

\*1 : No. 1~15 は、平成 26 年 3 月に発行し、4 月より主に都内中小企業向けに配布開始。

##### (2) 東京都 平成 26 年度 海外展開技術支援「海外規格等適合化の普及啓発」事業 海外規格解説ガイド

No.	タイトル	発行年月
1	REACH 規則、改訂版 RoHS 指令の概要と動向	平成 27 年 3 月
2	RoHS 規制物質リストの改正 (フタル酸エステル)	平成 27 年 3 月
3	CE マーキング入門解説	平成 27 年 3 月
4	ISO マネジメントシステム概要と動向	平成 27 年 3 月
5	ISO9001/14001 規格改正	平成 27 年 3 月

(3) リーフレット

No.	タイトル	発行年月	部数(部)
1	広域首都圏輸出製品技術支援センター サービスガイド	平成 26 年 8 月	7,000
2	MTEP 1 都 10 県専門相談員紹介パンフレット	平成 26 年 7 月	7,000
3	都内中小企業の皆さまへ 海外展開支援サービスの紹介	平成 26 年 7 月	2,000
4	中小企業の海外展開支援サービス(増刷)	平成 27 年 3 月	8,300
5	EMC 試験(電磁波ノイズ測定)への技術支援サービス(増刷)	平成 27 年 3 月	3,200
6	RoHS 指令への技術支援サービス(増刷)	平成 27 年 3 月	2,700



### 4.3 技術審査

都産技研では、東京都や公益財団法人東京都中小企業振興公社、区市、商工団体等から依頼を受け、新製品・新技術開発などの助成事業、技術表彰、認定等の技術審査のため、書類審査および審査委員の派遣を行った。

平成26年度は29団体からの依頼により64事業の審査に携わり、延べ3,811件の技術審査を行った。

	実施主体	審査件名	延べ件数
東京都	産業労働局商工部	経営革新計画等承認審査会	399
	産業労働局商工部	東京都ベンチャー技術大賞	390
	産業労働局商工部	新事業分野開拓者認定(トライアル発注)	111
	産業労働局商工部	文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞	45
	その他		62
	小計 (比率%)		1,007(26.4%)
(公財)東京都中小企業振興公社	助成課	(公財)東京都中小企業振興公社助成事業	982
	助成課	中小企業応援ファンド(地域資源活用助成)	84
	助成課	ものづくり産業基盤強化グループ支援事業	19
	その他		224
	小計 (比率%)		1,309(34.3%)
区市	大田区	新製品・新技術支援事業	104
	(公財)大田区産業振興協会	大田区中小企業新製品新技術コンクール	110
	北区	新製品・新技術支援事業	16
	品川区	環境ビジネス支援事業	13
		新製品・新技術開発促進事業	47
	港区	新製品・新技術開発支援事業	23
	府中市	新製品・新事業支援	14
	その他		285
	小計 (比率%)		612(16.1%)
団体等	東京商工会議所	第12回勇気ある経営大賞	36
	(公財)日本発明振興協会	発明大賞表彰	244
	(一財)機械振興協会	新機械振興賞	63
	東京都中小企業団体中央会	受注型中小製造業競争力強化支援事業	172
	首都大学東京	板橋製品技術大賞	113
	多摩信用金庫	多摩ブルー・グリーン賞	219
	その他		36
	小計 (比率%)		883(23.2%)
	合計 (比率%)		3,811(100.0%)

## 5. 産学公連携

### 5.1 東京イノベーションハブの活用

都産技研では、中小企業間の交流、企業と大学、学協会、研究機関などと交流・連携し、新たなビジネスを創出する場として約 400 m<sup>2</sup>のオープンスペースを本部に配置している。都産技研が主催する情報発信事業のほか、学協会が有するシーズや研究成果などを都内中小企業の製品化・事業化へ生かすためのシンポジウムや交流会、展示会などを開催し、産学公連携事業を推進した。

平成 26 年度の取り組みは以下のとおりである。

#### (1) 都産技研主催

開催年月日	催事名
平成26年 5月21日	MTEP セミナー「技術者のための知財セミナー 特許明細書の書き方」
平成26年 5月27日	MTEP セミナー「海外規格入門 改正 RoHS 解説～質疑応答付(第1回)」
平成26年 6月 4日	MTEP セミナー「海外規格精通シリーズ 中国編」
平成26年 6月10日	MTEP セミナー「海外規格入門 改正 RoHS 解説 2～質疑応答付(第2回)」
平成26年 6月19日～20日	研究成果発表会
平成26年 7月 4日	技術セミナー「照明器具の開発Ⅱ 照明と熱シミュレーションを利用した開発事例と最新技術の紹介」
平成26年 7月 7日	MTEP セミナー「LED 光源・LED 照明器具の国際規格～光・照明関連規格の現状と重要点～」
平成26年 8月19日	地域新産業創出基盤強化事業セミナー 「表面の光学特性計測技術と活用事例」
平成26年 9月 5日～6日	INNOVESTA!2014
平成26年 9月10日	MTEP セミナー「海外規格精通シリーズ 海外の安全規格～北米、欧州を中心とした世界の安全規格」
平成26年 9月25日	MTEP セミナー「海外規格入門シリーズ CE マーキング入門」
平成26年10月 8日	MTEP セミナー「海外規格入門シリーズ 欧州医療機器指令入門」
平成26年10月14日	MTEP セミナー「電気用品安全法 (PSE) 入門～PSE の対象から販売まで (届出・適合確認・自主検査の実際)～」
平成26年10月16日	重点4技術分野フォーラム (環境・省エネルギー技術分野) 「世界の化学物質規制を強み・チャンスへと変える環境経営」
平成26年10月22日	MTEP セミナー「海外規格精通シリーズ 北米編 (UL/CSA, FCC)」
平成26年10月29日	MTEP セミナー「海外規格入門シリーズ CE マーキング機械指令入門～初歩からリスク分析、マニュアル作成まで～」
平成26年10月31日	地域結集事業最終成果報告会
平成26年11月12日	重点4技術分野フォーラム (EMC・半導体技術分野) 「ミリ波帯の使い方と中小企業の参入機会」
平成26年12月 4日～5日	東京都教職員研究センターオーダーメイドセミナー
平成26年12月19日	経済産業省平成 25 年度補正予算事業「地域オープンイノベーション促進事業」新規導入設備活用推進セミナー「先端ものづくり (航空機) 産業の未来」
平成26年12月18日	MTEP セミナー「海外規格精通シリーズ CE マーキング機械指令」
平成27年 1月16日	MTEP セミナー「海外規格精通シリーズ CE マーキング低電圧指令」
平成27年 1月22日	重点4技術分野フォーラム (バイオ応用技術分野) 「ものづくり技術による次世代医療への中小企業参入の可能性」
平成27年 1月28日	MTEP セミナー「技術者のための知財セミナー 特許明細書の書き方」
平成27年 2月16日	MTEP セミナー「海外規格精通シリーズ CE マーキング EMC 指令」

開催年月日	催事名
平成27年 2月23日	MTEP セミナー「中小企業のこれからのものづくり ～国際標準戦略とものづくり～」
平成27年 2月24日	MTEP セミナー「CE マーキング入門シリーズ CE マーキング+改正 RoHS 指令入門 (第4弾)」
平成27年 2月26日	重点4技術分野フォーラム(ロボット技術分野) 「ベイエリアにおけるおもてなしロボットの研究開発」
平成27年 3月 5日	MTEP セミナー「海外規格精通シリーズ 改正 RoHS 徹底解説～基礎から実践まで～ (第2弾)」
平成27年 3月12日	MTEP セミナー「製品輸出に向けた国際規格対応～CE マーキングの取り組み方法と CE マーキング最新情報～」
平成27年 3月26日	経済産業省平成25年度補正予算事業「地域オープンイノベーション促進事業」新規導入設備活用推進セミナー「航空機・高所に適応した製品開発のための減圧環境試験」

## (2) 都産技研共催

開催年月日	催事名	他主催者
平成26年 4月23日	ロボット研究会総会	ロボット研究会
平成26年 4月24日	東京都産業労働局新人研修	東京都産業労働局
平成26年 5月13日	日本技術士会見学会	(公社)日本技術士会
平成26年 6月13日	デジタル・イメージング技術の最前線	(特非)VCAD システム研究会
平成26年 6月27日	第26回木材塗装基礎講座	木材塗装研究会
平成26年 9月 3日	第26回第1回分科会 ～AM技術の誕生・発展・市場の最新動向～	(一社)日本粉体工業技術協会 静電気利用技術分科会
平成26年 9月12日	都市課題解決のための技術戦略プログラム普及セミナー 安全・安心編	東京都
平成26年 9月19日	FCVフォーラムⅡ「水素で走る車がやってくる—2020年に向けた燃料電池自動車への期待」	(一社)燃料電池開発情報センター
平成26年 9月30日	赤外線サーモグラフィ部門ミニシンポジウム	(一社)日本非破壊検査協会 赤外線サーモグラフィ部門
平成26年10月 2日	産業技術連携推進会議 第16回医療福祉技術シンポジウム	(独)産業技術総合研究所
平成26年10月24日	H26年度第3回トライボコーティング技術研究会	トライボコート研究会 ドライコート研究会
平成26年10月28日	サービスロボット開発における課題とモデルベース開発の活用	(一社)日本機械学会関東支部 東京ブロック
平成26年11月 7日～9日	サイエンスアゴラ2014	(独)科学技術振興機構
平成26年11月14日	金型耐久性を向上させる表面処理技術と素材開発の現状	(一社)日本塑性加工学会
平成26年11月19日	切削フォーラム21シンポジウム	切削フォーラム21
平成26年11月25日	セラミックス関係分析技術者研究発表会	(公社)日本セラミックス協会 会資源・環境関連材料部会
平成26年12月 2日	安全な省エネ社会の構築と中小企業支援	(一社)電気学会
平成26年12月10日	3Dものづくりのイマを知る・見る	荒川区
平成26年12月12日	2014技術交流会—最新の制振材料計測評価、解析、適用方法及び振動・騒音解析の動向	制振工学研究会
平成26年12月16日	定量NMRクラブ第3回会合「定量NMRと精度管理」	定量NMRクラブ
平成27年 1月23日～24日	カラーユニバーサルデザインの10年～これまでとこれから	(特非)カラーユニバーサルデザイン機構

開催年月日	催事名	他主催者
平成27年 1月30日	第9回東京FPGAカンファレンス2015 with プログラマブルデバイスプラザ	(特非)FPGAコンソーシアム
平成27年 2月 7日	産学公技術交流会目からうろこ第11弾 「日本を支えるモノづくりの現場」	循環型研究会
平成27年 2月12日	東京都ベンチャー技術大賞 受賞企業交流会	東京都
平成27年 2月13日	第1回ダイレクトバイオロジー研究会連 携イノベーション促進プログラム助成事 業キックオフミーティング	ダイレクトバイオロジー研 究会
平成27年 3月 6日	第146回講演会 光学材料の最新技術動向	(一社)プラスチック成形加 工学会
平成27年 3月10日	マテリアルライフ学会 表面-界面物性 研究会 2014 春期講演会	マテリアルライフ学会 表 面-界面物性研究会

### (3) 都産技研後援

開催年月日	催事名	主催者
平成26年 5月28日	半導体ESD設計・検証・評価解析ワー クショップ	(一財)日本電子部品信頼性セン ター
平成26年11月27日～28日	第6回日本プラグフェスト	(一社)組込みシステム技術協会

### (4) 都産技研連携機関との催事

開催年月日	催事名	主催者
平成26年 6月 7日	知的資産経営セミナー	(株)東京都民銀行
平成26年 7月 5日～18日	助成会審査(新製品・新技術開発・海 外展開技術支援)	(公財)東京都中小企業振興公社
平成26年 8月25日～29日	成長産業等設備投資特別支援助成事業	(公財)東京都中小企業振興公社
平成26年 9月16日～18日	先進的防災技術実用化支援事業 試 作品等顧客ニーズ評価・改良支援助成 事業	(公財)東京都中小企業振興公社
平成27年 1月27日	大学・大企業(特許・技術)説明会	(一社)コラボ産学官
平成27年 3月 4日	平成27年度助成事業説明会	(公財)東京都中小企業振興公社

## 5.2 コーディネート事業

コーディネート事業は、平成 21 年 4 月に東京都から都産技研に移管され本部を拠点として事業の推進を図ってきた。平成 22 年 2 月から多摩テクノプラザ開設に伴い、多摩テクノプラザを拠点とした多摩地域での事業も実施している。

産学公連携コーディネータは、本部では電機・電子、センサー・システム、機械・金属、情報・通信、環境化学・分析などの分野で 5 名、多摩テクノプラザでは生産技術・機械設計、環境・化学、機械・金属などの分野で 3 名の外部専門家に委嘱し、産学公連携に関わる相談、支援を行った。平成 26 年度の実績は以下のとおりである。

相談件数（件）

合計	内 訳	
	来所	電話、メール
1,383	364	1,019

成約件数（件）

合計	内 訳			
	産・学	産・公(官)	産・産	産・学・公
30	9	13	7	1

## 5.3 異業種交流事業

技術革新の急速な進展とともに、消費者ニーズの多様化・高度化など、社会経済環境が大きく変化している中で、経営資源が十分ではない中小企業が発展していくためには、業種を越えて互いの技術力やノウハウを提供し合い、新分野進出への方向性を探っていく異業種交流が有効な手段の一つとなる。こうした交流を促進するために、新しい異業種交流グループを発足させる「グループ形成支援」と既存グループ間の連携を促進する「グループ間交流支援」を行った。

### (1) グループ形成支援

都産技研では、異業種交流グループ（旧称 技術交流プラザ）の新グループを昭和 59 年度から毎年発足させ、現在 27 グループ約 400 名の会員が活動している。

平成 26 年度は、本部および多摩テクノプラザにおいて異業種交流グループ会員を募集し、平成 26 年 7 月に新グループを結成した。各グループに専門の助言者を配置して、平成 27 年 3 月まで毎月 1 回交流会を開催し、自社紹介、都産技研施設の見学、講演会などを実施した。

グループ名	開催日	回数（回）	参加者数（人）
本部グループ	7月～3月、各1回	9	127
多摩テクノプラザグループ	7月～3月、各1回	9	168

(2) グループ間交流支援

1) グループ協議会

グループ協議会は、既存グループが活動状況や計画を報告することでお互いのグループ活動の参考にするとともに、グループ間の交流を促進する目的で開催している合同交流会の開催についても検討を行い、第30回合同交流会の開催を決定した。

会議名	開催日	参加グループ数(参加者数)
グループ協議会	6月16日	17(20)

2) 合同交流会および合同交流会実行委員会

グループ間の交流を深めるために、全グループのメンバーが一堂に会する第30回合同交流会を平成27年1月23日、東京都立産業貿易センター浜松町館にて開催した。本年度はより幅広い連携交流を図るため、新たに公益財団法人東京都中小企業振興公社および区部の異業種交流グループ、都産技研技術研究会メンバーも参加した。「中小企業革命<中小企業のネットワーク作りが日本の経済を復活させる～未来は中小企業から～>」のテーマのもと、①製品展示会(76社)、②基調講演(演題:技術が拓く日本の未来、講師:淑徳大学教授 北野 大氏)、③プレゼンテーション(25社)、④名刺交換・商談会を実施した。開催に向けて、各グループから選任された委員による合同交流会実行委員会を設置し、実施内容を検討した。合同交流会および実行委員会の開催実績は以下のとおりである。

会議名(開催日)	開催回数(回)	参加者数(人)
第30回合同交流会(1月23日)	1	501
合同交流会実行委員会等	6	101

また、多摩テクノプラザを拠点として活動している4グループが、産業サポートスクエア・TAMAを会場に、平成26年8月19日、第2回多摩グループ合同交流会を開催し46名が参加した。

3) 既存グループへの支援

自主運営に移行している既存の25グループに対し、会議室の利用、講演依頼への対応、情報の提供など、グループ活動への支援を行うとともに、グループ会員からの相談に対応した。既存異業種交流グループが都産技研において定例会などを開催した実績は、以下のとおりである。

会議名	利用回数(回)	参加者数(人)
定例会など	101	851

## 5.4 業種別交流会

業界が抱えている技術的な課題を含めたニーズを的確に把握し、各事業に反映するために業種別交流会を開催している。中小企業の技術力向上のために、業界の活動状況や技術的問題点、今後の取り組みなどについての情報や意見の交換を行った。

No.	業 界 名	開催年月日	企業参加者数 (都産技研・商工部)	内 容
1	区内繊維関連業界	平成26年 7月9日	8 (11)	墨田支所、東京都産業労働局商工部、(公財)東京都中小企業振興公社の事業を説明。業界の現状と課題の報告および技術的支援に関する要望を受け、意見交換を行った。
2	多摩繊維関連業界	平成26年 7月10日	14 (11)	繊維・化学グループ、東京都産業労働局商工部、(公財)東京都中小企業振興公社の事業を説明。業界の現状と課題の報告および技術的支援に関する要望を受け、意見交換を行った。
3	東部金属熱処理工業組合	平成26年 9月10日	19 (10)	所内見学後、技術支援概要(機械技術グループ)を報告。熱処理業界から最近の状況、人材育成事業等の報告後、意見交換を行った。
4	超音波応用懇談会	平成27年 2月27日	4 (4)	都産技研の超音波応用技術に関する支援状況を説明後、業界からの要望を中心に意見交換を行った。
5	東京鼈甲組合連合会	平成27年 3月24日	17 (6)	東京都受託研究報告、開発試験経過報告および表面仕上げの実演等を実施後、今後の支援と取り組みについて意見交換を行った。

## 5.5 技術研究会

技術力および技術開発力の向上を目指す中小企業の技術者とともに、製品開発など、技術情報の交換を積極的に行った。

No.	名 称	設立年月	活 動 目 的	企業延べ参加者数 (都産技研)	開催回数
1	化学技術研究会	昭和62年 4月	化学技術の向上、相互の技術交換	75 (9)	4
2	静電植毛加工技術研究会	昭和62年 4月	静電植毛に関する知識と技術の向上、研究討論会などの開催、技術資料の収集	13 (2)	1
3	超音波応用懇談会	昭和63年 3月	超音波および周辺技術に関する知識と技術の向上、異業種間の交流など	115 (34)	9
4	PC情報研究会	平成元年 7月	パソコンを主体とする情報機器の高度利用技術の研究、講習会の開催など	122 (42)	22
5	締結問題研究会	平成6年 2月	締結部品の製造に関する知識と技術の向上、講習会などの開催、技術資料の収集	91 (36)	6
6	城東デザイン研究会	平成7年 4月	デザインに関する情報収集、デザイン力の向上、製品企画・デザインにおける異業種間の連携促進など	76 (20)	8
7	東京都健康福祉技術研究会	平成8年 4月	健康・福祉に関する機器・用具・用品の技術と応用、管理運用についての研究	106 (35)	6
8	粉末冶金技術研究会	平成9年 4月	粉末冶金全般に関する技術について、情報収集、情報交換、共同研究などを実施	73 (2)	2

No.	名 称	設 立 年 月	活 動 目 的	企業延べ 参加者数 (都産技研)	開 催 回 数
9	信頼性技術研究会	平成9年 4月	信頼性技術の向上、研究討論会・講演会などの開催、技術情報交換	145 (18)	9
10	CAD/CAM 研究会	平成9年 4月	CAD/CAM ソフトや各種工作機械における連携推進と情報提供	12 (0)	2
11	表面科学交流会	平成10年 4月	めっき会社を中心とした企業の連携を強化し表面科学に関する見聞を広める	30 (3)	3
12	ユニバーサルファッション製品の企画開発研究会	平成13年 10月	ユニバーサルファッション製品および高齢者対応製品の開発支援・情報交換	71 (11)	6
13	照明技術研究会	平成14年 4月	照明技術の研究、周辺技術に関する知識の向上のための情報交換	28 (6)	2
14	環境技術研究会	平成14年 4月	環境汚染技術と資源有効利用技術について情報交換を行い、企業の活性化に寄与する	45 (16)	3
15	循環型技術研究会	平成14年 7月	循環型技術の情報交換や、異業種交流・産学公連携による技術開発の場として活動する	120 (3)	1
16	八王子産地オリジナル製品開発研究会	平成14年 8月	八王子産地オリジナル製品開発のためのデザイン情報の交換、販路の開拓などの勉強会を行う	13 (3)	1
17	東京温度検出端工業会技術懇談会	平成18年 4月	温度センサーおよび貴金属メーカー間の技術交換、最新情報の共有	28 (3)	1
18	衣服圧研究会	平成21年 4月	ストレッチ素材、ストレッチ製品の市場拡大と国際競争力強化	15 (1)	1
19	東京都ロボット研究会	平成23年 4月	サービスロボットやその類似技術における技術面、ビジネスモデル、ブランド確立に向けた連携	170 (16)	6
20	塗膜性能評価研究会	平成23年 12月	情報交換、共同調査・研究などを通じ、既存の技術にとらわれない新たな評価方法の検討・普及	11 (3)	1
21	ガラス技術交流会	平成24年 3月	広くガラス技術に関して、会員相互の交流や国際交流を推進することによる、技術者の活性化や新技術の理解習得など	154 (31)	5
22	次世代自動車技術研究会	平成24年 4月	ハイブリッド車(HV)や電気自動車(EV)、燃料電池車、クリーンディーゼル車など、変化する自動車産業界での新たな市場開拓のための情報共有など	5 (2)	1
23	感性工学研究会	平成25年 1月	新しい工学技術分野としての感性工学について理解を深め、企業や研究者による製品の感性評価や感性工学技術の情報交換、会員相互による研究の協力体制の確立など	3 (1)	1



## 5.6 行政等支援機関連携

### 5.6.1 協定・覚書締結一覧

大学研究機関、産業支援機関、行政機関、金融機関と協定、覚書などを締結し、産業振興および中小企業振興のための事業連携を図っている。各機関との「協定書」、「覚書」の締結状況は以下のとおりである。

No.	機関名	協定書・覚書	締結年月日
1	(公財)東京都中小企業振興公社	協定書	平成18年 4月 1日
		覚書	平成19年 1月 4日
2	(一社)コラボ産学官	協定書	平成18年 8月10日
		秘密保持契約書	平成18年 9月 1日
3	産業技術大学院大学	協定書	平成19年 2月26日
4	首都大学東京	業務協定書	平成19年 3月15日
5	東洋大学 バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター	協定書	平成20年 4月 1日
6	長岡技術科学大学	協定書	平成20年 8月26日
		覚書	平成21年 8月 6日
7	新宿区	協定書	平成20年 9月22日
8	東京都立多摩科学技術高等学校	覚書	平成20年10月14日
9	芝浦工業大学	協定書	平成21年 3月12日
		教育研究協力に関する協定	平成21年11月10日
10	板橋区	業務連携に関する覚書	平成21年 6月 3日
11	港区	協定書	平成21年 7月16日
12	多摩信用金庫	たましん事業支援センター の活用に関する覚書	平成21年 7月16日
13	府中市	覚書	平成22年 5月13日
14	国連大学サステイナビリティと平和研究所	覚書	平成22年10月28日
15	(独)産業技術総合研究所	協定書	平成22年11月24日
16	北区	覚書	平成23年 2月21日
17	(公財)まちみらい千代田	覚書	平成23年 4月14日
18	品川区	協定書	平成23年 6月 1日
19	東京都立産業技術高等専門学校	協定書	平成23年 9月12日
20	江東区	協定書	平成23年 9月14日
21	朝日信用金庫	協定書	平成24年 1月27日
22	(一財)機械振興協会	協定書	平成24年 3月 8日
23	(公財)日本発明振興協会	協定書	平成24年 4月 9日
24	江東信用組合	協定書	平成24年 6月 6日
25	東京電機大学	協定書	平成24年 7月23日

No.	機関名	協定書・覚書	締結年月日
26	明星大学	協定書	平成24年10月12日
27	(公財)東京都農林水産振興財団	協定書	平成24年12月7日
28	日野市	覚書	平成25年2月26日
29	昭島市	協定書	平成25年3月12日
30	城南信用金庫	覚書	平成25年3月13日
31	(一財)化学研究評価機構	協定書	平成25年3月21日
32	さわやか信用金庫	協定書	平成25年4月1日
33	(一社)東京工業団体連合会	協定書	平成25年9月5日
34	東京都商工会連合会	協定書	平成25年10月22日
35	西武信用金庫	協定書	平成25年10月28日
36	東京理科大学	協定書	平成25年11月5日
37	葛飾区	協定書	平成25年11月26日
38	(株)東京都民銀行	協定書	平成26年3月4日
39	(独)国立高等専門学校機構 東京工業高等専門学校	協定書	平成26年3月26日
40	法政大学	協定書	平成26年4月11日
41	東京東信用金庫	協定書	平成26年6月3日
42	芝信用金庫	協定書	平成26年6月11日
43	東京商工会議所	協定書	平成26年7月14日
44	青梅市	協定書	平成26年8月26日
45	青梅商工会議所	協定書	平成26年8月26日
46	千葉工業大学	協定書	平成26年9月30日
47	墨田区	協定書	平成26年11月13日
48	タイ工業省	協定書	平成26年11月25日
49	電気通信大学	協定書	平成26年12月9日
50	荒川区	協定書	平成27年3月3日

個別部署での協定締結

No.	機関名	協定書・覚書	締結年月日	連携部署
1	(株)日本政策金融公庫 立川支店	覚書	平成25年10月30日	多摩テクノプラザ
2	(株)日本政策金融公庫 大森支店	覚書	平成25年10月1日	城南支所
3	(株)日本政策金融公庫 千住支店	覚書	平成25年12月18日	城東支所
4	(株)日本政策金融公庫 江東支店	覚書	平成26年1月17日	墨田支所

## 5.6.2 大学などとの連携

大学や研究機関などと各種事業や共同研究に取り組み、連携事業を推進した。

- (1) 首都大学東京
  - ・都市科学・産業技術連携戦略会議  
全体会（1回）、ロードマップ策定・推進会議（1回）、フォローアップ部会（2回）  
課題マップ策定会議（1回）
  - ・「高度な防災都市」分野（平成24年度開始）で3テーマの共同研究を実施
  - ・「安全・安心」分野 3テーマの普及活動
    - 「国際モダンホスピタルショー2014」出展（7月）
    - 「都市課題解決のための技術戦略プログラム普及セミナー 安全・安心編」  
（東京都、都産技研、首都大、公社共催 9月）
    - 「イノベーション・ジャパン2014」出展（9月）
    - 「産業交流展2014」出展（11月）
    - 「第41回国際福祉機器展」出展（10月）
    - 「朝日ビジネスマッチング2014」出展（10月）
    - 「第18回いたばし産業見本市」出展（11月）
    - 「TOKYO TY ビジネス交流展2015」出展（2月）
  - ・研究成果発表会（6月）で発表および外部評価委員委嘱
  - ・共同研究9テーマ実施
  - ・客員研究員として2名登録
  - ・インターンシップ4名受け入れ（8～9月）
  - ・研究者交流会（本部、6月）
  - ・「システムデザインフォーラム2014」（10月）後援
  - ・「TIRI NEWS 10月号、協定機関の紹介」記事掲載
  - ・「スマートQOLプロジェクトにおける運営委員会」委員派遣（3月）
- (2) 産業技術大学院大学
  - ・研究成果発表会（6月）で発表
  - ・委員、講師の派遣
    - 「オープンインスティテュート(OPI)企画経営委員会」（5、6、11月）
    - 「Project Based Learning(PBL)活動」（7月）
    - 「第1回企業内中核人材育成懇話会」（7月）
- (3) 東京都立産業技術高等専門学校
  - ・研究成果発表会（6月）で発表
  - ・インターンシップ1名受け入れ（8月）
  - ・共催講座開催「振動試験規格と振動試験の進め方」（11月）  
「地震による揺れの低減技術」（12月）
  - ・委員の派遣
    - 地域連携推進委員（平成26年3月～平成27年2月）
    - 運営協力者（平成26年7月～平成26年9月）

- (4) 東京都立多摩科学技術高等学校
  - ・科学技術アドバイザー派遣（12月）  
「都産技研が推進する『3D デジタルものづくり』について」
  
- (5) 長岡技術科学大学
  - ・実務訓練生2名受け入れ（10月～2月）
  - ・研究者交流会（本部、6月）
  - ・共催講座開催
    - 「品質管理者のための故障解析」（10月）
    - 「システム安全専攻 東京特別講演会」（11月）
  
- (6) 芝浦工業大学
  - ・客員教員として8名登録
  - ・連携大学院生1名受け入れ（8月～3月）
  - ・研究成果発表会（6月）で発表および外部評価委員委嘱
  - ・共同研究1テーマ実施
  - ・「文部科学省：地（知）の拠点事業」「大学発シーズ・ニーズ事業」における協力
    - 「ベイエリアロボティクスフォーラム キックオフ・シンポジウム」共催、講師派遣（4月）
    - 「ベイエリアロボティクスフォーラム 2014Fall」講師派遣（12月）
  - ・「JST 新技術説明会」共催、講師派遣
  - ・「TIRI NEWS 6月号、協定機関の紹介」記事掲載
  
- (7) 東京電機大学
  - ・研究成果発表会（6月）で発表
  
- (8) 明星大学
  - ・研究成果発表会（6月）で発表
  - ・多摩テクノプラザ見学会（6月）
  
- (9) 東京理科大学
  - ・インターンシップ1名受け入れ
  - ・研修生10名受入
  - ・共同研究1テーマ実施
  - ・研究成果発表会（6月）で発表
  - ・「経済産業省：地域オープンイノベーション事業」における協力
    - 「東京理科大 TLO との連携担当者会議」4回（5、6月）
    - 「地域オープンイノベーション運営協議会」（11月）
  
- (10) 独立行政法人産業技術総合研究所
  - ・共同研究3テーマ実施
  - ・知的資産経営講座への研究員参加
  - ・「臨海地域産学官連携フォーラム」共催（6月、10月、2月）

- ・「産総研デジタルヒューマン技術協議会」への都産技研職員参加（6月）
  - ・研究成果発表会（6月）で発表
  - ・「TIRI-AIST(環境管理技術研究部門)意見交換会」開催（12月）
- (11) 公益財団法人東京都農林水産振興財団
- ・研究成果発表会（6月）で発表
  - ・共同研究3テーマ
  - ・「東京農業イノベーションプラットフォーム事業」への委員派遣（5月）
  - ・「TIRI NEWS 12月号、協定機関の紹介」記事掲載
- (12) 一般社団法人コラボ産学官
- ・「経済産業省：ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業シーズ発掘事業」における協力
    - 「シーズ発掘選定委員会」への委員派遣（9月ほか計5回）
    - 「事業化形成委員会」への委員派遣（11月）
    - 「信用金庫担当者向けシーズ説明会」への講師派遣（12月）
    - 「信用金庫顧客向けシーズ説明会」共催、講師派遣（1月）
  - ・第11回（10月）、第12回（3月）研究成果発表会後援
  - ・「コラボ産学官設立10周年記念フォーラム」後援（10月）
  - ・「産学官連携研究会」後援（12月）
- (13) 一般財団法人機械振興協会
- ・研究成果発表会（6月）で外部評価委員委嘱
  - ・「TIRI NEWS 9月号、協定機関の紹介」記事掲載
- (14) 一般財団法人化学研究評価機構
- ・標準化調査研究企画委員会 委員派遣
- (15) 独立行政法人国立高等専門学校機構 東京工業高等専門学校
- ・研修生2名受け入れ
  - ・東京工業高等専門学校見学会（5月）
  - ・研究成果発表会（6月）で発表および外部評価委員委嘱
  - ・「信頼性・安全技術研究会 例会」における研究員交流（1月）
  - ・「3Dプリンタ活用講座 中級編」への講師派遣（2月）
- (16) 法政大学
- ・協定締結 4月11日
  - ・本部見学会（4月）
- (17) 電気通信大学
- ・協定締結 12月9日
  - ・共同研究1テーマ実施

### 5.6.3 区市町村などとの連携

地域の中小企業を支援している区市町村などとの連携強化に努め、産学公連携に関する技術相談支援の拡大をはじめ、都産技研利用企業への利用料補助制度の実施など、企業支援の充実を図った。平成26年度の取り組みは以下のとおりである。

#### (1) 区部での連携

##### 1) 城東地域

###### ① 墨田区

- ・協定締結 11月13日
- ・「すみだものづくりフェア」後援(11月)

###### ② 江東区

- ・都産技研利用料助成を継続実施
- ・「第10回こうとう産学交流会」後援および講師派遣(7月)
- ・「江東区民まつり 産業展」出展(10月)
- ・「the 東京湾岸・起業家交流会 2014」後援および産学公連携コーディネータ相談ブース出展(11月)
- ・産学公連携セミナー「技術セミナー&城東支所施設見学会」開催(11月)
- ・「異業種交流グループ合同交流会」後援を依頼(1月)
- ・「中小製造業者が活用できる補助金・助成金事業説明会」講師派遣(2月)

###### ③ 荒川区

- ・協定締結 3月3日
- ・都産技研利用料助成を継続実施
- ・城東・城北地域産学公連携セミナー「3Dものづくりのイマを知る・見る」共催(12月)
- ・「異業種交流グループ合同交流会」後援を依頼(1月)
- ・「第36回荒川区産業展」出展およびコーディネータ相談を実施(3月)

###### ④ 足立区

- ・都産技研利用料補助を継続実施

###### ⑤ 葛飾区

- ・都産技研利用料補助を継続実施
- ・「葛飾区第30回産業フェア運営実行合同委員会」への委員派遣(4、5月)
- ・「葛飾区産学公連携推進協議会」への委員派遣(7月)
- ・「葛飾区工業振興会議」への委員派遣(8月)
- ・「第30回葛飾区産業フェア」出展(9月)
- ・「異業種交流グループ合同交流会」後援を依頼(1月)
- ・「第1回町工場見本市 2015」出展(2月)
- ・地域連携シンポジウム「産学公金連携で事業拡大」実施(3月)

###### ⑥ 江戸川区

- ・都産技研利用料補助を開始
- ・「第2回下町サミット」出展および産学公連携コーディネータ相談を実施(7月)
- ・「中小製造業者が活用できる補助金助成金事業説明会」後援および講師派遣(3月)

##### 2) 城南地域

###### ① 品川区

- ・都産技研利用料助成を継続実施

- ・本部見学会（7月）
  - ・「品川区ものづくり商談会」後援および産学公連携コーディネータ相談を実施（9月）
  - ・「異業種交流グループ合同交流会」後援を依頼（1月）
- ② 大田区
- ・「第7回大田区加工技術展示商談会」出展（6月）
  - ・城南支所「施設公開」を「第4回おおた研究・開発フェア」と同時開催（10月）
  - ・「第4回おおた研究・開発フェア」出展（10月）
  - ・「第19回おおた工業フェア」でパンフレット配布（2月）
  - ・公益財団法人大田区産業振興協会評議委員
- ③ 世田谷区
- ・都産技研利用料補助を開始
- 3) 城北地域
- ① 北区
- ・都産技研利用料助成の継続実施
  - ・都産技研・北区・板橋区共催セミナー開催「躍動するものづくり 3Dプリンタ最前線」（10月）
  - ・「異業種交流グループ合同交流会」後援を依頼（1月）
- ② 板橋区
- ・板橋産業技術支援センターとインターネットを介した遠隔相談継続
  - ・産公連携セミナー開催「3Dプリンタ関連技術」（10月）
  - ・都産技研・北区・板橋区共催セミナー開催「躍動するものづくり 3Dプリンタ最前線」（10月）
  - ・「第18回いたばし産業見本市」出展（11月）
  - ・「異業種交流グループ合同交流会」後援を依頼（1月）
- 4) 都心・副都心地域
- ① 千代田区
- ・都産技研利用料助成の継続実施
  - ・「第7回千代田ビジネス大賞」後援（2月）
  - ・「異業種交流グループ合同交流会」後援を依頼（1月）
- ② 港区
- ・都産技研利用料助成の継続実施
  - ・「異業種交流グループ合同交流会」後援を依頼（1月）
- ③ 新宿区
- ・「異業種交流グループ合同交流会」後援を依頼（1月）
- ④ 豊島区
- ・「第8回としまものづくりメッセ」出展（3月）
- (2) 多摩地域での連携
- 1) 八王子市
- ・都産技研利用料助成の開始
  - ・八王子市事業評価懇談会出席（3月）
- 2) 立川市
- ・都産技研利用料助成の継続実施

- 3) 青梅市
    - ・協定締結 8月26日
    - ・多摩テクノプラザ見学会(7月)
    - ・「おうめものづくり支援事業補助金交付審査会」委員派遣(7、3月)
  - 4) 府中市
    - ・府中市工業技術情報センターとインターネットを介した遠隔相談を開始(8月)
    - ・第25回府中市工業技術展「ふちゅうテクノフェア」への出展および「ものづくりセミナーin府中『頼りになる！多摩テクノプラザの技術支援』」の開催(10月)
  - 5) 昭島市
    - ・都産技研利用料助成の継続実施
    - ・「第46回昭島市産業まつり」出展および出前こども科学技術教室の開催(11月)
  - 6) 日野市
    - ・「おもてなしロボットプロジェクト実行委員会」委員派遣(5、12、3月)
- (3) 東京都立職業能力開発センターとの連携
- 1) 城東職業能力開発センターとの連携
    - ・地域連携シンポジウム「産学公金連携で事業拡大」開催(城東支所、3月)
    - ・情報交流会の連携実施(5、6月)
  - 2) 多摩職業能力開発センターとの連携
    - ・多摩職業能力開発連携協議会へ委員派遣(6、9、3月)
    - ・調理科給食体験会 モニター参加(6、2月)
    - ・造園土木施工科への実習場の提供(屋上緑化造園7月、低木生垣刈込剪定1月)
    - ・多摩テクノプラザ施設公開と「技能祭」をウェルカムデーとして合同実施(10月)
    - ・庭園施工管理科の生徒の成果展示協力(門松)(12月)
- (4) 金融機関などとの連携
- 1) 多摩信用金庫
    - ・「多摩ブルー・グリーン賞」後援 表彰式参加(12月)
  - 2) さわやか信用金庫
    - ・「さわやか信用金庫第10回ビジネスフェア」出展(6月)
  - 3) 朝日信用金庫
    - ・「地元応援セミナー」後援および講師派遣(5、6月)
    - ・「朝日ビジネスマッチング2014」後援、講師派遣および出展(10月)
    - ・朝日信用金庫他3金の主催するバンコク現地でのビジネスマッチング会に参加(2月)
  - 4) 城南信用金庫
    - ・「2014“よい仕事おこし”フェア」出展および産学公連携コーディネータ相談を実施(8月)
  - 5) 西武信用金庫
    - ・「第15回ビジネスフェア from TAMA」出展(11月)
  - 6) 株式会社東京都民銀行
    - ・「東京都:東京都政策特別融資」における協力
    - ・知的資産経営講座の連携実施
    - ・「TOKYO TY ビジネス交流展2015」出展および産学公連携コーディネータ相談を実施



(2月)

- 7) 東京東信用金庫
    - ・協定締結 6月3日
    - ・中小企業の国際化支援事業の連携実施
    - ・墨田支所見学会(6、11月)
    - ・「ひがしんビジネスフェア2014」出展および講師派遣(7月)
    - ・「補助金・助成金説明会」の連携実施(2、3月 計3回)
  - 8) 芝信用金庫
    - ・協定締結 6月11日
    - ・信金職員との情報交換会(本部、6、9月)
  - 9) 青梅信用金庫
    - ・「あおしんビジネス支援マッチング大会」出展(10月)
  - 10) 西京信用金庫
    - ・「第13回西京信用金庫ビジネス交流会」出展および産学公連携コーディネータ相談を実施(4月)
  - 11) 昭和信用金庫
    - ・「ビジネスマッチング交流会'14」出展および産学公連携コーディネータ相談を実施(7月)
  - 12) シグマバンクグループ
    - ・「第6回ビジネス交流会」出展および産学公連携コーディネータ相談を実施(8月)
  - 13) 日本政策金融公庫
    - ・お客様シートを活用した連携技術相談の実施
    - ・「日本政策金融公庫シンポジウム」出展(11月)
- (5) その他の連携
- 1) 東京区部・神奈川臨海部地域産業活性化協議会
    - ・第6回東京区部・神奈川臨海部地域産業活性化協議会 委員派遣(6月)
    - ・協議会ホームページに、関連事業として都産技研のデザインセミナー、重点4技術分野フォーラム事業「バイオ応用技術編」を掲載
  - 2) 一般社団法人首都圏産業活性化協会
    - ・協会理事として、都産技研理事を派遣(継続)
    - ・首都圏西部地域イノベーション戦略推進事業 委員派遣(協議会7、10、3月、技術連携交流会10月、ソリューション提案交流会2月)
- (6) 自治体実施する技術審査事業への協力
- ・港区：港区新製品・新技術開発支援事業(2回)、商品モニター調査支援事業(1回)
  - ・新宿区：新宿ものづくりマイスター認定事業実技審査(2回)
  - ・文京区：文京区新製品・新技術開発費補助事業(2回)、文京区大学発ベンチャー支援事業(2回)
  - ・台東区：台東区新製品新技術開発支援事業等審査会(1回)
  - ・江東区：江東区中小企業新製品・新技術開発補助事業(2回)、江東区産学連携共同研究(2回)
  - ・品川区：成長産業支援事業(1回)、新製品・新技術開発促進事業(2回)、メイドイン

品川 PR 事業 (1 回)

- ・大田区：大田区新製品・新技術開発支援事業審査会 (4 回)、中小企業新製品・新技術コンクール審査会 (5 回)
- ・北 区：北区新製品・新技術開発支援事業 (3 回)、北区きらりと光るものづくり顕彰 (1 回)、産学連携研究開発支援事業 (2 回)
- ・荒川区：荒川区新製品・新技術大賞 (3 回)、経営革新等支援事業補助金審査 (4 回)
- ・板橋区：板橋製品技術大賞 (4 回)、新製品・新技術開発チャレンジ支援事業 (3 回)
- ・足立区：あだちブランド認定選考委員会 (3 回)、足立区研究開発補助金 (1 回)
- ・葛飾区：葛飾区新製品・新技術開発等補助金交付審査会 (2 回)、葛飾ブランド「葛飾町工場物語」審査 (2 回)
- ・江戸川区：えどがわ産業発明コンクール (1 回)
- ・青梅市：おうめものづくり支援事業専門家会議委員会 (1 回)
- ・府中市：府中市新製品・新事業支援 (2 回)
- ・町田市：トライアル発注認定制度 (2 回)
- ・八王子市：八王子市中小企業新商品開発認定制度 (2 回)
- ・日野市：日野市事業拡大支援事業補助金審査会 (1 回)

#### 5.6.4 公益財団法人東京都中小企業振興公社との連携

都内中小企業の振興を図るため、平成 18 年、公益財団法人東京都中小企業振興公社 (以下、「公社」という。) と協定を締結し、各種事業を協力して実施している。

都産技研の城東、城南の各支所長がそれぞれ東京都城東地域中小企業振興センター、東京都城南地域中小企業振興センターのセンター長を兼任し、技術支援および経営支援を統轄する体制を整えている。また、産業サポートスクエア・TAMA では、「産業サポートスクエア・TAMA 運営協議会」を設置し、中小企業振興の総合的支援および事業運営を協力して実施している。

##### (1) 公社本社との連携

- ・各種助成事業などでの技術審査協力 (審査会委員、書類審査、面接審査)
- ・事業承継・再生支援強化事業 (ハンズオン支援) 対象企業への技術支援を実施
- ・「都市課題解決のための技術戦略プログラム 普及セミナー 安全・安心編」 (東京都、都産技研、首都大、公社共催 9 月)
- ・連絡推進会議の開催 (12 月)
- ・都産技研主催事業「異業種グループ合同交流会」を共催 (1 月)
- ・公社主催事業「ライフサポートフェア」を共催 (1 月)
- ・平成 27 年度公社助成事業説明会を本部東京イノベーションハブで開催 (3 月)
- ・本部および多摩テクノプラザ見学会 (随時)
- ・公社広報誌「アーガス 21」への記事掲載
- ・「TIRI NEWS 7 月号、協定機関の紹介」記事掲載
- ・「都産技研メールニュース」への公社記事掲載
- ・各種事業案内チラシなどを相互に配架 など

##### (2) 地域中小企業振興センター内での連携

- ・合同企業見学会の開催 (城東支所、6 月)

- ・施設公開(城東・城南支所)の共催(7、10月)
  - ・地域連携シンポジウム「産学公金連携で事業拡大」開催(城東支所、3月)
  - ・技術支援と経営相談の連携相談および実地技術支援を実施
  - ・運営協議会・連絡協議会・情報交流会、合同消防訓練の実施 など
- (3) 「産業サポートスクエア・TAMA」での連携
- ・産業サポートスクエア・TAMA ウェルカムデーの合同開催(10月)
  - ・公社主催セミナー「モノづくり企業のための3Dプリンター活用セミナー」への講師派遣および多摩テクノプラザ3Dプリンター見学(10月)
  - ・「第14回たま工業交流展」後援(2月)
  - ・三次元造形支援事業合同勉強会(3月)
  - ・避難訓練の合同実施 など
- (4) 広域多摩イノベーションプラットフォーム事業への協力と連携
- 公社多摩支社が実施する成長産業分野において、中小企業の技術・製品開発支援や、新分野への参入を促進する「広域多摩イノベーションプラットフォーム」事業に連携協力し、多摩地域のイノベーションを促進した。
- ・公社コーディネータへの事業紹介および産学公連携コーディネータとの連携促進交流会の開催(5、6月)
  - ・「ものづくり企業のための3Dプリンター活用セミナー」への講師派遣および多摩テクノプラザ3Dプリンター見学(10月)
  - ・「新技術創出交流会」出展および広域首都圏輸出製品技術支援センターによるセミナー開催(10月)
  - ・シンポジウム「トレンドを変える3Dプリンター造形技術の研究・開発」パネラー派遣および多摩テクノプラザ3Dプリンター見学(3月)
  - ・広域多摩イノベーションプラットフォーム事業報告会 など
- (5) 公社国際化支援室との連携
- ・都産技研広域首都圏輸出製品技術支援センター(MTEP)主催セミナー「海外規格取得へ向けた経営者の役割～社内体制の作り方～」にて公社国際化支援室事業を紹介(9月)
  - ・共同で海外展開向けリーフレット発行(7月、2,000部発行)
  - ・独立行政法人国際協力機構「カンボジア国中小企業支援体制の戦略的強化プロジェクト 訪日研修」への連携対応(7月)
  - ・都産技研主催セミナー「環境物質規制対策セミナー—RoHS、REACH」において公社の助成金および国際化支援等事業を紹介(10月)
- (6) 東京都知的財産総合センターとの連携
- ・東京都知的財産総合センターの専門相談員による特許相談(面談、電話)を本部相談ブースで継続実施
  - ・都産技研特許流通事業(公社製品化コーディネータを介して都産技研の特許シーズを中小企業の事業運営に活用する技術支援)の実施

### 5.6.5 首都圏公設試験研究機関との連携

平成14年度より東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県の前設試験研究機関（以下、「公設試」という。）が連携し、都区域の枠にとらわれず、域内の中小企業の技術支援をするために、首都圏公設試験研究機関連携体（首都圏テクノナレッジ・フリーウェイ（TKF））を設立した。平成20年度からは横浜市も参加し、5機関体制となった。また、公設試では、平成23年度より長野県、平成25年度より、栃木県、群馬県、山梨県、山梨県富士工業技術センター、さらに平成26年度には茨城県、静岡県がオブザーバー機関として参加している。TKFではウェブサイトの運営や、「IT・情報」、「微細加工技術」、「高分子材料」、「デザイン」、「熱処理・表面処理」、「バイオ技術」、「ロボット技術」の技術分野における研究員の情報交換を目的としたパートナーグループの活動、研究員の相互派遣活動（TKF ミニインターンシップ）を通じて、相互の交流を進めている。

連携の具体的な方向性などを検討するために、定期的に首都圏公設試連携推進会議を開催している。また、TKF事業の成果発表の場としてTKFフォーラムを開催し、連携の充実を図っている。

No.	開催年月日	開催場所	参加機関	出席者数
1	平成26年 6月13日	都産技研 本部	5機関（都産技研、埼玉県産業技術総合センター、千葉県産業支援技術研究所、神奈川県産業技術センター、横浜市工業技術支援センター） オブザーバー機関（関東経済産業局、東京都産業労働局商工部、(独)産業技術総合研究所、栃木県産業技術センター、群馬県立産業技術センター、山梨県工業技術センター、山梨県富士工業技術センター、長野県工業技術総合センター） 茨城県工業技術センター	36名
2	平成26年 8月29日	神奈川県産業技術センター	5機関、オブザーバー機関 静岡県工業技術研究所	39名
3	平成26年 11月27日	埼玉県産業技術総合センター	5機関、オブザーバー機関	43名
4	(TKFフォーラム) 平成27年 2月27日	千葉工業大学 津田沼キャンパス	5機関、オブザーバー機関	134名

また、他機関で実施する研究発表会に、都産技研の職員を派遣して広く技術の普及活動を行った。発表タイトルなどは以下のとおりである。

No.	発表タイトル	発表者	開催年月日	場所	大会等の名称
1	高剛性サンドイッチ構造の開発	高橋俊也	平成26年 7月31日	千葉県産業支援技術研究所	千葉県産業支援技術研究所 平成26年度研究成果発表会
2	塗装によるRPモデルへの意匠性付与	小野澤明良	平成26年 7月31日	千葉県産業支援技術研究所	千葉県産業支援技術研究所 平成26年度研究成果発表会
3	都産技研の3Dプリンタ活用による製品化のために	阿保友二郎	平成26年 9月18日	埼玉県産業技術総合センター	平成26年度SAITEC研究発表会

No.	発表タイトル	発表者	開催年月日	場所	大会等の名称
4	一般家庭から排出されるプラスチックのマテリアルリサイクル事例	安田 健	平成 26 年 9 月 18 日	埼玉県産業技術 総合センター	平成 26 年度 SAITEC 研究発表会
5	セラミック材表面へのイオン照射効果	寺西義一	平成 26 年 10 月 22 日	神奈川県産業 技術センター	平成 26 年度 神奈川県 ものづくり技術交流会
6	低コストで簡易かつ迅速な化学的酸素消費量の測定方法	荒川 豊	平成 26 年 10 月 24 日	神奈川県産業 技術センター	平成 26 年度 神奈川県 ものづくり技術交流会

### 5.6.6 産業技術連携推進会議

産業技術連携推進会議は、全国の公設試および国が相互に連携し、効率的な事業運営を図るために、機関相互の情報交換や連絡調整、国への要望などの議題で開催されている。

産業技術連携推進会議の組織には、技術分野別の部会、分科会、研究会があり、技術情報の交換、共同研究、現地研修、研究発表などの活動が行われている。

平成 26 年度の参加実績は以下のとおりである。

No.	開催年月日	会議名	開催場所
1	平成 26 年 5 月 14 日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 関東・東北地域連絡会	都産技研 墨田支所
2	平成 26 年 5 月 25 日	製造プロセス部会 メカトロニクス分科会 第 10 回 地域交流ワークショップ	富山国際会議場
3	平成 26 年 6 月 5 日～ 6 月 6 日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会総会	倉敷ファッションセンター
4	平成 26 年 6 月 12 日～ 6 月 13 日	ライフサイエンス部会 デザイン分科会	岐阜県岐阜市 じゅうろくプラザ 飛騨産業(株)
5	平成 26 年 6 月 19 日～ 6 月 20 日	製造プロセス部会 表面技術分科会	山口県産業技術センター 山口グランドホテル
6	平成 26 年 7 月 2 日～ 7 月 4 日	ナノテクノロジー・材料部会 第 8 回ガラス材料技術分科会総会	北海道立総合研究機構 工業試験場、小樽ガラス工場
7	平成 26 年 9 月 18 日～ 9 月 19 日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 繊維試験法研究会	京都府京丹後市 プラザホテル吉翠苑
8	平成 26 年 9 月 25 日～ 9 月 26 日	ナノテクノロジー・材料部会 第 61 回セラミックス分科会総会	多治見市産業文化センター
9	平成 26 年 9 月 25 日～ 9 月 26 日	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会情報通信研究会	岐阜県各務原市 テクノプラザ
10	平成 26 年 10 月 2 日～ 10 月 3 日	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 第 8 回音・振動研究会	岡山県工業技術センター サンピーチ岡山
11	平成 26 年 10 月 2 日	ライフサイエンス部会 医療福祉技術分科会	都産技研 本部
12	平成 26 年 10 月 6 日	情報通信・エレクトロニクス部会 第 8 回情報技術分科会及び第 12 回組み込み技術研究会	都産技研 本部

No.	開催年月日	会議名	開催場所
13	平成 26 年 10 月 9 日～ 10 月 10 日	ナノテクノロジー・材料部会 第 8 回木質科学分 科会	岩手県工業技術センター
14	平成 26 年 10 月 23 日～ 10 月 24 日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 平成 26 年度繊維技術研究会	沖縄県立博物館・美術館 県民ギャラリースタジオ
15	平成 26 年 10 月 23 日～ 10 月 24 日	製造プロセス部会 表面技術分科会 平成 26 年度 第 1 回 DLC 技術研究会	長崎県長崎市 出島交流会館
16	平成 26 年 10 月 23 日～ 10 月 24 日	ナノテクノロジー・材料部会 第 52 回高分子分 科会	山梨県甲府市 ベルクラシック甲府
17	平成 26 年 10 月 30 日～ 10 月 31 日	製造プロセス部会 第 22 回塗装工学分科会	福井県鯖江市 嚮陽会館
18	平成 26 年 11 月 13 日～ 11 月 14 日	ライフサイエンス部会 デザイン分科会	長野県工業技術総合センター
19	平成 26 年 11 月 14 日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 生産 技術研究会	都産技研 墨田支所
20	平成 26 年 11 月 27 日～ 11 月 28 日	情報通信・エレクトロニクス部会 高機能材料・ デバイス研究会	滋賀県工業技術総合センター
21	平成 26 年 11 月 27 日～ 11 月 28 日	情報通信・エレクトロニクス部会 電子技術分科 会 実装・信頼性技術研究会	滋賀県工業技術総合センター
22	平成 26 年 11 月 28 日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所
23	平成 26 年 12 月 3 日～ 12 月 4 日	知的基盤部会 計測分科会 温度・熱研究会	岐阜県岐阜市 長良川国際会議場
24	平成 26 年 12 月 4 日	知的基盤部会 分析分科会 平成 26 年度分析分 科会年会	岐阜県岐阜市 長良川国際会議場
25	平成 26 年 12 月 10 日	研究連携支援事業 アルミニウム鋳物高品質化 のための内部評価ワーキンググループ	北海道立総合研究機構 工業 試験場
26	平成 26 年 12 月 11 日～ 12 月 12 日	ナノテクノロジー・材料部会 セラミックス分科 会 第 49 回セラミックス技術担当者会議	産業技術総合研究所 中部センター
27	平成 27 年 1 月 22 日	関東甲信越静地域部会総会・製造技術分科会	新潟県新潟市 第五マルカビル
28	平成 27 年 1 月 26 日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会幹事会	都産技研 墨田支所
29	平成 27 年 2 月 5 日～ 2 月 6 日	製造プロセス部会総会	産業技術総合研究所 つくばセンター
30	平成 27 年 2 月 13 日	第 55 回産業技術連携推進会議総会	アルカディア市ヶ谷 (私学会館)
31	平成 27 年 3 月 9 日	ライフサイエンス部会医療福祉技術分科会タス クフォース打ち合わせ	産業技術総合研究所 東京企画本部
32	平成 27 年 3 月 20 日	知的基盤部会電磁環境分科会 関東甲信越静 EMC 研究交流会	都産技研 多摩テクノプラザ

また、各会議において、都産技研の事業紹介や研究成果などの発表を行った。発表タイトルなどは以下のとおりである。

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	会議の名称
1	都産技研におけるロボット事業の取組みについて	佐々木智典	平成 26 年 5 月 25 日	富山国際会議場	製造プロセス部会 メカトロニクス分科会 第 10 回地域交流ワークショップ
2	デザインと感性	森 豊史	平成 26 年 6 月 12 日	岐阜県岐阜市 じゅうろくプラザ 飛驒産業(株)	ライフサイエンス部会 デザイン分科会
3	ガラス破片のカンチレバーカールと破壊応力の向きの関係	上部隆男	平成 26 年 7 月 3 日	北海道立総合研究機構 工業試験場、小樽ガラス工場	ナノテクノロジー・材料部会 第 8 回ガラス材料技術分科会総会
4	あざやかな赤色ガラス「茜硝子」の紹介	大久保一宏	平成 26 年 7 月 3 日	北海道立総合研究機構 工業試験場、小樽ガラス工場	ナノテクノロジー・材料部会 第 8 回ガラス材料技術分科会総会
5	布の風合い評価における荷重特性評価について	山田 巧	平成 26 年 9 月 18 日	京都府京丹後市 プラザホテル吉翠苑	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 繊維試験法研究会
6	最近の摩耗試験機を用いた評価事例について	木村千明	平成 26 年 9 月 18 日	京都府京丹後市 プラザホテル吉翠苑	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 繊維試験法研究会
7	レイヤ構造の無線ネットワークによるセンシング情報の高効率な伝送技術	中川善継	平成 26 年 9 月 26 日	岐阜県各務原市 テクノプラザ	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会情報通信研究会
8	公設試験研究機関向け情報ポータルサイト	阿部真也	平成 26 年 9 月 26 日	岐阜県各務原市 テクノプラザ	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会情報通信研究会
9	音響インテンシティ法による小試料音響透過損失測定の実例	西沢啓子	平成 26 年 10 月 2 日	岡山県工業技術センター サンピーチ岡山	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会第 8 回音・振動研究会
10	船内騒音規制コードと都産技研における支援事例の紹介	渡辺茂幸	平成 26 年 10 月 2 日	岡山県工業技術センター サンピーチ岡山	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会第 8 回音・振動研究会
11	熱流体解析システムを用いた研究と技術支援の実例紹介	富山真一	平成 26 年 10 月 6 日	都産技研 本部	情報通信・エレクトロニクス部会 第 8 回情報技術分科会及び第 12 回組み込み技術研究会
12	天然抗菌成分を利用した環境調和型木材用防カビ剤の開発	飯田孝彦	平成 26 年 10 月 9 日	岩手県工業技術センター	ナノテクノロジー・材料部会 第 8 回木質科学分科会
13	金属製編地の農業用被覆資材への応用	唐木由佑	平成 26 年 10 月 23 日	沖縄県立博物館・美術館 県民ギャラリー スタジオ	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 平成 26 年度繊維技術研究会
14	ERDA による DLC 膜の水素含有量評価	川口雅弘	平成 26 年 10 月 23 日	長崎県長崎市 出島交流会館	製造プロセス部会 表面技術分科会 平成 26 年度第 1 回 DLC 技術研究会
15	塗装によるナイロン粉末焼結型 RP モデルへの意匠性付与	小野澤明良	平成 26 年 10 月 30 日	福井県鯖江市 嚮陽会館	製造プロセス部会 第 22 回塗装工学分科会
16	新たなべつ甲商品の開発	上野明也	平成 26 年 11 月 13 日	長野県工業技術総合センター	ライフサイエンス部会 デザイン分科会
17	防護服のリサイクル技術	長尾梨紗	平成 26 年 11 月 14 日	都産技研 墨田支所	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 生産技術研究会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	会議の名称
18	新規ブリーツ加工を用いた絹織物ブリーツ製品開発	武田浩司	平成 26 年 11 月 14 日	都産技研 墨田支所	ナノテクノロジー・材料部 会 繊維分科会 生産技術 研究会
19	マイクロヒータの開発	山岡英彦	平成 26 年 11 月 27 日	滋賀県工業技術総合 センター	情報通信・エレクトロニク ス部会 高機能材料・デバ イス研究会
20	マットレス側地の変色 原因について	岡田明子	平成 26 年 11 月 28 日	埼玉県産業技術総合 センター 北部研究所	ナノテクノロジー・材料部 会 繊維分科会
21	ビニール製バッグに生じ たシミの原因について	添田 心	平成 26 年 11 月 28 日	埼玉県産業技術総合 センター 北部研究所	ナノテクノロジー・材料部 会 繊維分科会
22	現場環境における三次 元測定機の高度化に関 する研究	大西 徹	平成 26 年 12 月 3 日	岐阜県岐阜市 長良川国際会議場	知的基盤部会 計測分科会 温度・熱研究会
23	CMM ラインレーザプロ ーブを用いた事例紹介	村上祐一	平成 26 年 12 月 4 日	岐阜県岐阜市 長良川国際会議場	知的基盤部会 計測分科会 温度・熱研究会
24	熱強化ガラスの応力緩 和について	上部隆男	平成 26 年 12 月 4 日	岐阜県岐阜市 長良川国際会議場	知的基盤部会 計測分科会 温度・熱研究会
25	ダイカストのガスと膨れ	佐藤健二	平成 26 年 12 月 10 日	北海道立総合研究機構 工業試験場	研究連携支援事業 アルミ ニウム铸件高品質化のた めの内部評価ワーキング グループ
26	あざやかな赤色ガラス 「茜硝子」の紹介	大久保一宏	平成 26 年 12 月 11 日	産業技術総合研究所 中部センター	ナノテクノロジー・材料部 会 セラミックス分科会 第 49 回セラミックス技術 担当者会議
27	難塗装性 3D プリント造 形品への塗装技術開発	小野澤明良	平成 27 年 2 月 5 日	産業技術総合研究所 つくばセンター	製造プロセス部会総会
28	狭ビーム幅アンテナを活 用した GHz 帯の測定手法 の開発	佐々木秀勝	平成 27 年 3 月 20 日	都産技研 多摩テクノプラザ	知的基盤部会電磁環境分科会 関東甲信越静 EMC 研究交流

### 5.6.7 学協会連携事業

学協会が有するシーズを都内中小企業のものづくりに生かすため、中小企業と学協会との連携を推進する学協会連携事業を実施した。平成 26 年度に実施した事業は以下のとおりである。

No.	開催年月日	連携学協会	連携事業名	参加者 (名)	会場
1	平成 26 年 5 月 16 日	(一社)日本塑性加工学会	コンパクト化が進む冷間鍛造の 進歩と最近の動向	121	講堂
2	平成 26 年 6 月 13 日	(特非)VCAD システム研究会	デジタル・イメージング技術の 最前線	64	東京イノベーション ハブ
3	平成 26 年 6 月 27 日	木材塗装研究会	第 26 回木材塗装基礎講座	91	東京イノベーション ハブ
4	平成 26 年 9 月 2 日	マテリアルライフ学会	マテリアルライフ学会 表面－ 界面物性研究会 2014 秋期講演会	38	研修室 243
5	平成 26 年 9 月 3 日	(一社)日本粉体工業技術協会 静電気利用技術分科会	平成 26 年度第一回分科会～AM技 術の誕生・発展・市場の最新動 向～	49	東京イノベーション ハブ



No.	開催年月日	連携学協会	連携事業名	参加者 (名)	会場
6	平成 26 年 9 月 19 日	燃料電池開発情報センター	FCV フォーラムⅡ「水素で走る車 がやってくる—2020 年に向けた 燃料電池自動車への期待—」	186	東京イノベーション ンハブ
7	平成 26 年 9 月 30 日	(一社)日本非破壊検査協会赤 外線サーモグラフィ部門	赤外線サーモグラフィ部門ミニ シンポジウム	37	東京イノベーション ンハブ
8	平成 26 年 10 月 24 日	トライボコート研究会ドライ コート研究会	H26 年度第 3 回トライボコーティ ング技術研究会	43	東京イノベーション ンハブ
9	平成 26 年 10 月 28 日	(一社)日本機械学会関東支部 東京ブロック	サービスロボット開発における 課題とモデルベース開発の活用	35	東京イノベーション ンハブ
10	平成 26 年 11 月 14 日	(一社)日本塑性加工学会	金型耐久性を向上させる表面処 理技術と素材開発の現状	75	東京イノベーション ンハブ
11	平成 26 年 11 月 25 日	(公社)日本セラミックス協会 資源・環境関連材料部会	セラミックス関係分析技術者研 究発表会	33	東京イノベーション ンハブ
12	平成 26 年 12 月 2 日	(一社)電気学会	安全な省エネ社会の構築と中小 企業支援	49	東京イノベーション ンハブ
13	平成 26 年 12 月 9 日	(一社)日本福祉工学会	移動支援機器・福祉技術セミナー	54	会議室 531
14	平成 26 年 12 月 12 日	制振工学研究会	2014 技術交流会—最新の制振材 料計測評価、解析、適用方法及 び振動・騒音解析動向	48	東京イノベーション ンハブ
15	平成 26 年 12 月 16 日	定量 NMR クラブ	定量 NMR クラブ第 3 回会合 定 量 NMR と精度管理	71	東京イノベーション ンハブ
16	平成 27 年 1 月 23 日～ 1 月 24 日	(特非)カラーユニバーサルデ ザイン機構	カラーユニバーサルデザインの 10 年～これまでとこれから	680	東京イノベーション ンハブ
17	平成 27 年 1 月 30 日	(特非)FPGA コンソーシアム	第 9 回東京 FPGA コンファレンス 2015 with プログラマブルデバ イスプラザ	46	東京イノベーション ンハブ
18	平成 27 年 3 月 6 日	(一社)プラスチック成形加工 学会	第 146 回講演会 光学材料の最 新技術動向	30	東京イノベーション ンハブ
19	平成 27 年 3 月 10 日	マテリアルライフ学会 表面—界面物性研究会	マテリアルライフ学会 表面— 界面物性研究会 2014 春期講演会	32	東京イノベーション ンハブ

また、各連携事業において、都産技研の事業紹介や研究成果などの発表を行った。発表タイトルなどは以下のとおりである。

発表タイトル	発表者	開催年月日	連携学協会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	理事長 片岡正俊	平成 26 年 5 月 16 日	(一社)日本塑性加工学会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	理事 鈴木雅洋	平成 26 年 6 月 13 日	(特非)VCAD システム研究会
都産技研の 3D デジタルものづくり支援の紹介	紋川 亮	平成 26 年 6 月 13 日	(特非)VCAD システム研究会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	理事 鈴木雅洋	平成 26 年 6 月 27 日	木材塗装研究会

発表タイトル	発表者	開催年月日	連携学協会
塗装工程の組み方とその役割	村井まどか	平成 26 年 6 月 27 日	木材塗装研究会
塗装関連機器設備の紹介	木下稔夫	平成 26 年 6 月 27 日	木材塗装研究会
漆塗膜の耐久性	木下稔夫	平成 26 年 9 月 2 日	マテリアルライフ学会
トラック輸送と振動試験	福田良司	平成 26 年 9 月 2 日	マテリアルライフ学会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	横山幸雄	平成 26 年 9 月 3 日	(一社)日本粉体工業技術協会静電気利用技術分科会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	理事 鈴木雅洋	平成 26 年 9 月 19 日	燃料電池開発情報センター
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	伊藤 清	平成 26 年 9 月 30 日	(一社)日本非破壊検査協会赤外線サーモグラフィ部門
新規ポリマー添加油のトライボロジー特性	中村健太	平成 26 年 10 月 24 日	トライボコート研究会ドライコート研究会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	坂下和広	平成 26 年 10 月 28 日	(一社)日本機械学会関東支部東京ブロック
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	理事長 片岡正俊	平成 26 年 11 月 14 日	(一社)日本塑性加工学会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	理事 原田 晃	平成 26 年 11 月 25 日	(公社)日本セラミックス協会資源・環境関連材料部会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	理事 原田 晃	平成 26 年 12 月 2 日	(一社)電気学会
呼吸・心拍の非接触モニタリングシステム用ドップラーレーダの開発	藤原康平	平成 26 年 12 月 2 日	(一社)電気学会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	澤近洋史	平成 26 年 12 月 9 日	(一社)日本福祉工学会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	理事 鈴木雅洋	平成 26 年 12 月 12 日	制振工学研究会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	上野博志	平成 26 年 12 月 16 日	定量 NMR クラブ
システムデザインセクターの紹介	角坂麗子	平成 27 年 1 月 23 日～ 1 月 24 日	(特非)カラーユニバーサルデザイン機構
FPGA を活用した研究開発事例紹介	岡部 忠	平成 27 年 1 月 30 日	(特非)FPGA コンソーシアム
FPGA を活用した研究開発事例紹介	武田有志	平成 27 年 1 月 30 日	(特非)FPGA コンソーシアム
光学物性試験機の紹介	海老沢瑞枝	平成 27 年 3 月 6 日	(一社)プラスチック成形加工学会
地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	木下稔夫	平成 27 年 3 月 10 日	マテリアルライフ学会 表面一界面物性研究会
多結晶ダイヤモンド被覆メカニカルシールの開発	長坂浩志	平成 27 年 3 月 10 日	マテリアルライフ学会 表面一界面物性研究会

## 6. 研究開発の推進

平成 26 年度は、基盤研究 84 テーマ、共同研究 44 テーマ、競争的資金導入研究 37 テーマ、都市課題解決のための共同研究 3 テーマ、受託研究 8 件を実施した。

これらの研究成果については、国内外の学協会などにおいて、240 件の発表を行い、公表と普及に努めた。

### 6.1 基盤研究……………84 テーマ

中小企業の技術ニーズを踏まえ、付加価値の高い新製品・新サービス開発や技術的課題の解決に必要なシーズの蓄積、今後発展が予想される技術分野の強化、都市課題の解決や都民生活の向上に資する都産技研独自の研究である。

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
① ナノテクノロジー分野				
1	深紫外発光素子開発に向けた AlBN 混晶薄膜の結晶成長	電子半導体技術 G	太田優一、時田幸一	H26. 10～H27. 9
2	LSPR ガスセンサにおける吸脱着ヒステリシスの改善	電子半導体技術 G	加澤エリト、 (バイオ応用技術 G) 紋川 亮、月精智子、 瀧本悠貴	H26. 4～H27. 3
3	可視光応答光触媒の開発	材料技術 G	藤巻康人、渡辺洋人、 染川正一、林 孝星	H26. 4～H27. 3
4	ワイドギャップ半導体窒化ホウ素における不純物添加効果	電子半導体技術 G	太田優一、時田幸一、 (材料技術 G) 渡辺洋人	H25. 10～H26. 9
② 情報技術分野				
5	不完全な評価セットに対する検索システムの性能評価指標の開発	情報技術 G	大平倫宏、富山真一	H26. 4～H27. 3
6	任意曲線座標系における高速電磁界解析ツールの開発	情報技術 G	山口隆志、大原 衛、 (電子半導体技術 G) 加澤エリト	H26. 4～H27. 3
7	自己強制空冷システムの放熱効率の向上	情報技術 G	富山真一、大平倫宏	H25. 10～H26. 9
③ エレクトロニクス分野				
8	手腕の動作情報を取得する複合センサモジュールの開発	電子半導体技術 G	志水 匠、福司達郎	H26. 10～H27. 9
9	配線用遮断器およびヒューズの直接接続による SPD 分離器構成方法の検討	電子半導体技術 G	黒澤大樹	H26. 10～H27. 9
10	テラヘルツ連続波を用いた誘電体・半導体の電気特性評価	電子半導体技術 G	時田幸一、太田優一	H25. 10～H26. 9
④ システムデザイン分野				
11	プロダクトデザインにおけるカラーユニバーサルデザイン配色の研究	システムデザイン S	角坂麗子、小池真生、 中田恵子、 (表面技術 G) 小野澤明良	H26. 10～H27. 9
12	木粉の硬化法の開発	城東支所	酒井日出子、松原独歩、 (交流連携室) 島田勝広	H26. 10～H27. 9
13	構造解析を利用したコンセプトデザイン	システムデザイン S	上野明也、角坂麗子、 薬師寺千尋、小林隆一、 (環境技術 G) 濱野智子	H25. 10～H26. 9

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
14	高速造形機を用いた動吸振器の開発(形状変化に伴う振動特性変化の利用)	電子・機械 G	岩田雄介、西川康博、阿保友二郎	H25.10～H26.9
⑤ 環境・省エネルギー分野				
15	放射強度の角度分布測定による赤外放射応用器具の比較手法提案	光音技術 G	磯田和貴、中島敏晴、澁谷孝幸、横田浩之、海老澤瑞枝、山本哲雄	H26.10～H27.9
16	船舶用扉のルーバーによる遮音性能低下の改善	光音技術 G	渡辺茂幸、服部 遊、西沢啓子、宮入 徹、神田浩一	H26.10～H27.9
17	亜鉛めっき用クロムフリー耐食性化成皮膜の開発	表面技術 G	浦崎香織里、竹村昌太、寺西義一、土井 正、桑原聡士	H26.10～H27.9
18	天然物を利用した金属イオン捕集法の開発	材料技術 G	木下健司、梶山哲人	H26.10～H27.9
19	天然繊維/植物由来高分子複合体の作製	材料技術 G	山中寿行、梶山哲人	H26.10～H27.9
20	クロムめっき製品における残留六価クロムの洗浄技術の開発	環境技術 G	安藤恵理、杉森博和、荒川 豊、中澤亮二、小林宏輝、(表面技術 G) 浦崎香織里、桑原聡士	H26.10～H27.9
21	複層ガラス再資源化技術の開発	環境技術 G	小林宏輝、中澤亮二、田中真美、陸井史子、上部隆男、増田優子、(生活技術開発 S) 佐々木直里	H26.10～H27.9
22	におい識別装置における精度向上のための測定方法の最適化	生活技術 開発 S	佐々木直里、岩崎謙次、添田 心	H26.10～H27.9
23	油溶性ポリマー添加油の絞り加工におけるトライボロジー特性の解明	機械技術 G	中村健太、奥出裕亮	H26.4～H27.3
24	新規バイオプラスチックの合成系構築	材料技術 G	渡辺世利子、菊池有加	H26.4～H27.3
25	炭素ドット蛍光体の官能基変換による発光波長コントロール法の開発	材料技術 G	林 孝星、渡辺洋人、藤巻康人、染川正一	H26.4～H27.3
26	有機薄膜太陽電池用フラーレン誘導体の合成	材料技術 G	小汲佳祐、梶山哲人	H26.4～H27.3
27	ガラスカレット工場から排出されるガラス含有汚泥の減量・処理技術の開発	環境技術 G	田中真美、中澤亮二、小林宏輝、(生活技術開発 S) 佐々木直里	H26.4～H27.3
28	水質総量規制における COD 指定計測法の簡易化・迅速化	環境技術 G	荒川 豊、杉森博和、安藤恵理	H26.4～H27.3
29	レアメタルフリーを目指した金属空気電池用酸素還元触媒の開発	城南支所	立花直樹、湯川泰之、(繊維・化学 G) 池田沙織、(高度分析開発 S) 川口雅弘	H26.4～H27.3
30	促進酸化法による綿布不純物分解プロセスの開発	繊維・化学 G	榎本一郎、(バイオ応用技術 G) 中川清子	H26.4～H27.3
31	廉価型球形光束計および全光束計測システムの開発	光音技術 G	澁谷孝幸、横田浩之、(経営企画室) 岩永敏秀	H25.10～H26.9
32	ポリマーナノコンポジットの混練技術の開発	材料技術 G	安田 健、梶山哲人、山中寿行	H25.10～H26.9
33	セルロース系金属イオン捕集材の構造決定と吸着機構の解明	材料技術 G	梶山哲人、安田 健	H25.10～H26.9

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
34	担子菌代謝 ATP のバイオルミネセンス法を利用した腐朽診断技術の開発	環境技術 G	飯田孝彦、小沼ルミ、濱野智子、水越厚史、田中真美、(経営企画室) 瓦田研介	H25. 10～H26. 9
35	生活環境におけるにおい評価	生活技術 開発 S	佐々木直里、添田 心、岩崎謙次	H25. 10～H26. 9
⑥ バイオ応用分野				
36	ESR・放射線照射法によるスーパーオキシドアニオンおよびOHラジカル消去能の評価	バイオ応用 技術 G	中川清子、関口正之	H26. 4～H27. 3
37	汎用インフルエンザ検査チップの開発	バイオ応用 技術 G	紋川 亮、月精智子、藤井恭子、(交流連携室) 中川朋恵、(電子半導体技術 G) 加澤エリト	H25. 4～H28. 3
⑦ メカトロニクス分野				
38	運搬ロボットの安全性強化と開発	ロボット 開発 S	益田俊樹、佐々木智典、森田裕介、村上真之、坂下和広	H26. 10～H27. 9
39	サービスロボットの緊急停止システムの開発	ロボット 開発 S	村上真之、森田裕介、益田俊樹、佐々木智典、坂下和広	H26. 10～H27. 9
40	軽量性を損なわない移動ロボットの制御システムの開発	機械技術 G	小林祐介、(ロボット開発 S) 佐々木智典、益田俊樹、森田裕介、坂下和広、(システムデザイン S) 横山幸雄	H25. 10～H26. 9
41	運搬ロボットの制御最適化と開発	ロボット 開発 S	益田俊樹、森田裕介、佐々木智典、坂下和広、(機械技術 G) 小林祐介、(システムデザイン S) 小林隆一	H25. 10～H26. 9
42	RP 技術を利用した静電アクチュエータの開発	城東支所	長谷川 孝、殿谷保雄、樋口智寛	H25. 10～H26. 9
⑧ EMC 半導体分野				
43	適応型フィードフォワード制御を用いたスイッチング電源制御系の開発	電子半導体 技術 G	福司達郎、西澤裕輔	H26. 10～H27. 9
44	ケーブルに起因するノイズの EMI 簡易測定用アンテナの開発	電子・機械 G	高橋文緒、大森 学、佐野宏靖	H26. 10～H27. 9
45	非破壊検査装置のための放射線検出器の開発	電子半導体 技術 G	小宮一毅、藤原康平、小林丈士	H26. 4～H27. 3
46	90 GHz 帯アプリケーション用フロントエンドの要素技術開発	電子半導体 技術 G	藤原康平、小林丈士	H26. 4～H27. 3
47	近傍界測定におけるノイズ源識別モジュールの開発	電子・機械 G	佐野宏靖、佐々木秀勝	H26. 4～H27. 3
48	DSP を用いた複数の制御方式を切り替えるデジタル電源制御系の開発	電子半導体 技術 G	福司達郎、新井宏章、(実証試験 S) 倉持幸佑	H25. 10～H26. 9
49	製品内部における伝導妨害波の伝搬モード変換モデルの検証	電子・機械 G	大橋弘幸、渡部雄太、大森 学	H25. 10～H26. 9
50	狭ビーム幅アンテナを活用した GHz 帯の測定手法の開発	電子・機械 G	佐々木秀勝、高橋文緒	H25. 10～H26. 9

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
51	半導体部品の複製防止手法の開発	情報技術 G	岡部 忠	H24. 10～H26. 9
⑨ 品質強化分野				
52	医療機器用高分子材料の滅菌処理による劣化度および耐久性評価	城南支所	萩原利哉、 (材料技術 G)木下健司	H26. 10～H27. 9
53	現場環境における三次元測定機の寸法の違いを用いた温度補正の評価	電子・機械 G	大西 徹、村上祐一	H26. 10～H27. 9
54	水素含有 DLC 膜の低摩擦化に向けた表面性状制御とその評価方法	高度分析 開発 S	徳田祐樹、中西正一、 川口雅弘、林 英男、 渡邊禎之	H26. 4～H27. 3
55	落錘型衝撃試験機のモデル構築および数値解析による試験予測手法の確立	城南支所	中野貴啓、 (実証試験 S) 櫻庭健一郎、森口正夫、 (城東支所)松原独歩	H26. 4～H27. 3
56	キセノンフラッシュアナライザーによる熱拡散率測定信頼性向上	実証試験 S	沼尻治彦、佐々木正史、 大久保一宏、倉持幸佑 (材料技術 G)林 孝星、 山中寿行、吉野 徹	H26. 4～H27. 3
57	X 線 CT 装置における寸法計測値の信頼性評価	城南支所	竹澤 勉、樋口英一、 上本道久、 (高度分析開発 S) 中西正一、 (バイオ応用技術 G) 紋川 亮	H26. 4～H27. 3
58	直流パルスグロー放電を用いた GD-MS による薄板形状製品の極微量成分分析法の確立	城南支所	山田健太郎、湯川泰之、 上本道久	H26. 4～H27. 3
59	高放射材の赤外分光放射率の角度依存性評価	光音技術 G	中島敏晴、磯田和貴	H25. 10～H26. 9
60	ねじ締結体のギガサイクル疲労特性	実証試験 S	櫻庭健一郎、中野貴啓、 新垣 翔、 (城東支所)松原独歩、 (電子・機械 G)鈴木悠矢	H25. 10～H26. 9
61	粉末焼結型積層造形品の品質安定化	城東支所	木暮尊志、松原独歩、 (システムデザイン S) 横山幸雄、山内友貴、 小金井誠司、小林隆一、 (材料技術 G)山中寿行	H25. 10～H26. 9
62	VCMM による不確かさ推定の確立	城南支所	樋口英一、 (高度分析開発 S) 中西正一	H25. 10～H26. 9
⑩ 震災復興支援に貢献する技術分野				
63	木材—ボルト接合の締付け時における座金と木材の変形予測方法の開発	城東支所	松原独歩、木暮尊志、 (交流連携室)島田勝広、 (城南支所)中野貴啓	H26. 4～H27. 3
⑪ ものづくり基盤技術分野				
64	知能化技術援用小型サーボプレスを用いたチタンのドライ・セミドライ深絞り加工技術の開発	機械技術 G	奥出裕亮、中村健太、 (城南支所) 平野康之、玉置賢次	H26. 10～H27. 9
65	多孔質構造体を用いたポンプの技術開発	機械技術 G	小西 毅、 (城南支所)平野康之	H26. 10～H27. 9
66	振動により製品から発生する異音の心理音響評価量を用いた評価手法の開発	光音技術 G	宮入 徹、神田浩一、 服部 遊、 (機械技術 G)福田良司	H26. 10～H27. 9

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
67	スクリーン印刷による機能性インキの加工プロセスの検討	表面技術 G	峯 英一、小野澤明良、 (技術開発支援部) 伊東洋一	H26. 10～H27. 9
68	ナイロン粉末焼結型積層造形における熱-構造解析を用いたそり抑制手法の構築	システム デザイン S	小林隆一、横山幸雄、 小金井誠司、山内友貴	H26. 10～H27. 9
69	高強度繊維不織布を用いた防護材料の開発	繊維・化学 G	長尾梨紗、榎本一郎	H26. 10～H27. 9
70	AEGD 励起による低温プラズマ窒化処理の開発	機械技術 G	中村 勲、 (表面技術 G)長坂浩志、 (広報室)渡部友太郎	H26. 4～H27. 3
71	透過型光検出器の開発	光音技術 G	中村広隆、中田 修、 (電子半導体技術 G) 加澤エリト	H26. 4～H27. 3
72	精密金型を対象とした HiPIMS 法による成膜技術の開発	表面技術 G	寺西義一、近藤ゆりこ、 長坂浩志	H26. 4～H27. 3
73	各種 RP 基材への塗装技術の確立	表面技術 G	小野澤明良、峯 英一、 村井まどか、木下稔夫、 (電子・機械 G) 高橋俊也、 (城東支所)木暮尊志、 (城南支所)石堂 均、 (光音技術 G)海老澤瑞枝	H26. 4～H27. 3
74	各種 RP 基材へのめっき技術の確立	表面技術 G	竹村昌太、浦崎香織里、 土井 正、桑原聡士、 小野澤明良、 (城南支所)石堂 均、 (電子・機械 G)高橋俊也	H26. 4～H27. 3
75	珪瑯の評価システムの開発	材料技術 G	吉野 徹、 (実証試験 S) 大久保一宏、佐々木正史、 (光音技術 G)渡辺茂幸、 (機械技術 G) 清水 綾、佐藤健二	H26. 4～H27. 3
76	有機導電体ファイバーの開発	生活技術 開発 S	添田 心、古田博一、 池田善光	H26. 4～H27. 3
77	レーザー加工機を用いた熱伝導型絶対湿度センサの試作と医療デバイスへの応用	城南支所	豊島克久	H26. 4～H27. 3
78	段差乗り越えキャスターの開発	電子・機械 G	西川康博、鈴木悠矢	H26. 4～H27. 3
79	ハイブリッドファイラーを用いた新規ソフトマテリアルの開発	繊維・化学 G	飛澤泰樹、 (環境技術 G)小沼ルミ、 (電子・機械 G)村上祐一、 (システムデザイン S) 森 豊史	H26. 4～H27. 3
80	チタンのドライ・セミドライ深絞り加工技術の開発	機械技術 G	奥出裕亮、中村健太、 (城南支所)玉置賢次	H25. 10～H26. 9
81	Al 合金ダイカストの衝撃特性に及ぼす欠陥の影響	機械技術 G	西村信司、佐藤健二	H25. 10～H26. 9
82	固体標準物質を必要としない LA-ICP-MS 分析法の開発	高度分析 開発 S	林 英男、川口雅弘、 渡邊禎之	H25. 10～H26. 9
⑫ 少子高齢・福祉分野				
83	電力測定に基づく高齢者安否確認のための住環境モニタリング技術の開発	生活技術 開発 S	武田有志、後濱龍太、 岡野 宏	H26. 4～H27. 3
84	人体形状に合わせた荷重圧測定センサの開発	生活技術 開発 S	菅谷紘子、岩崎謙次、 武田有志	H26. 4～H27. 3

## 6.2 共同研究……44 テーマ

企業や業界団体、大学、他の試験研究機関などと協力し、それぞれが持つ技術とノウハウを融合して、応用研究や一步進んだ技術の事業化・製品化に向けた実用研究を共同で推進することにより、効果的かつ効率的な研究成果の実現を図る研究である。

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
① ナノテクノロジー分野				
1	表面強化層の強度評価技術の開発	高度分析 開発 S	川口雅弘、林 英男、 渡邊禎之	H26. 11～H27. 9
2	機能性ペーストの開発	高度分析 開発 S	川口雅弘、林 英男、 渡邊禎之、上野博志、 (技術開発支援部) 伊東洋一	H26. 11～H27. 9
3	耐熱潤滑・離型剤としてのナノエアゾールの 開発	城南支所	柳 捷凡、上本道久	H25. 11～H26. 9
② 情報技術分野				
4	新規プログラマブルデバイスの評価基板 と EDA ツールの研究開発	情報技術 G	大原 衛、岡部 忠	H26. 5～H27. 3
③ エレクトロニクス分野				
5	施設園芸向け無線統合環境制御システムの 開発	電子・機械 G	仲村将司、佐藤 研、 佐野宏靖	H26. 11～H27. 9
6	音声通信可能な 3G シールドの開発	電子・機械 G	佐藤 研、仲村将司、 佐野宏靖	H26. 11～H27. 9
7	デスクトップ温調機能付き熱損失測定器の 開発	電子・機械 G	佐藤 研	H26. 11～H27. 9
8	光干渉断層計の開発	電子・機械 G	仲村将司、佐藤 研、 佐野宏靖	H25. 11～H26. 9
9	デスクトップ温調機の開発	電子・機械 G	佐藤 研、高橋文緒	H25. 11～H26. 9
④ システムデザイン分野				
10	伝統工芸品「東京銀器」の金工芸職人の特 殊技術を活かした新製品開発	城東支所	秋山 正、中村 弘史	H26. 11～H27. 9
11	特殊インク調色機のデザイン開発	城東支所	酒井日出子、秋山 正、 松原独歩、木暮尊志、 (電子・機械 G) 佐藤 研、佐野宏靖	H25. 11～H26. 9
⑤ 環境・省エネルギー分野				
12	環境低負荷型のめっき浴の開発	繊維・化学 G	水元和成、平井和彦、 池田紗織、棚木敏幸、 (表面技術 G)土井 正、 浦崎香織里、桑原聡士	H26. 5～H27. 3
13	セラミックス工具を用いたステンレス鋼 板のドライ温間しごき成形技術の開発	城南支所	玉置賢次、 (機械技術 G) 中村健太、奥出裕亮	H26. 5～H27. 3
14	色の見え方に考慮した LED 照明器具の開発	光音技術 G	中村広隆、山本哲雄、 (経営企画室)岩永敏秀	H25. 11～H26. 9
15	熱処理木材に適した塗料の開発	表面技術 G	村井まどか、木下稔夫、 小野澤明良、 (環境技術 G) 飯田孝彦、小沼ルミ	H25. 11～H26. 9



No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
16	微生物および化学処理を組み合わせたバイオリファインリー技術の開発	環境技術 G	濱野智子、飯田孝彦、小沼ルミ、水越厚史、瓦田研介	H25. 11～H26. 9
⑥ 少子高齢・福祉分野				
17	高齢者用大腿骨頸部骨折予防プロテクターにおける衝撃緩衝最適形状の開発	実証試験 S	櫻庭健一郎、小船諭史、(生活技術開発 S) 岩崎謙次、菅谷紘子	H26. 5～H27. 3
18	難聴者とのコミュニケーションをサポートするシステムの開発	光音技術 G	服部 遊、神田浩一、西沢啓子、渡辺茂幸、宮入 徹	H25. 11～H26. 9
⑦ バイオ応用分野				
19	ラマンイメージング微細レーザーマイクロダイセクターの開発	バイオ応用技術 G	紋川 亮、月精智子、瀧本悠貴	H26. 11～H27. 9
20	温度応答性インジェクタブルコラーゲンの医療機器への応用	バイオ応用技術 G	柚木俊二、大藪淑美、畑山博哉	H26. 5～H27. 3
21	製造プロセス開発に向けた非分解型ゼラチンの線維形成成分のキャラクタリゼーション	バイオ応用技術 G	畑山博哉、柚木俊二、大藪淑美、金城康人、藤井恭子	H26. 5～H27. 3
22	創傷治癒評価のための皮膚モデルの構築と新規セラミド含有ドレッシング材(創傷被覆材)の機能検証	バイオ応用技術 G	藤井恭子、大藪淑美、柚木俊二、畑山博哉	H26. 5～H27. 3
⑧ メカトロニクス分野				
23	移動ロボット応用システム構築を容易化する自律ナビゲーションフレームワークの開発	ロボット開発 S	佐々木智典、坂下和広、村上真之、益田俊樹、森田裕介	H26. 11～H27. 9
24	低価格で高信頼なサービスロボットを実現する T 型ロボットベースの上位コントローラの開発	ロボット開発 S	村上真之、森田裕介、佐々木智典、益田俊樹、坂下和広	H26. 11～H27. 9
25	安全技術を導入した遠隔ショッピングロボットの開発	ロボット開発 S	森田裕介、益田俊樹、佐々木智典、村上真之、坂下和広	H26. 5～H27. 3
26	耐久性とコスト対性能比を改善した T 型おもてなしロボットベースの開発	ロボット開発 S	坂下和広、益田俊樹、佐々木智典、森田裕介、(機械技術 G) 小林祐介、(システムデザイン S) 小林隆一	H25. 11～H26. 9
⑨ EMC・半導体分野				
27	セラミックスを用いたガス電子増幅器用孔あき電極の開発	電子半導体技術 G	小宮一毅、藤原康平、小林丈士	H26. 11～H27. 9
28	廃棄物を用いた EMC 対策部品の開発	電子・機械 G	上野武司、佐々木秀勝、佐野宏靖、大森 学、(繊維・化学 G) 平井和彦、(交流連携室) 島田勝広	H26. 11～H27. 9
29	オシロスコープへ接続する超広帯域ミリ波ハーモニック・ミキサの製品化	電子半導体技術 G	藤原康平、小林丈士	H26. 5～H27. 3
30	MEMS ヒータを使用したセンサ開発	電子半導体技術 G	山岡英彦、永田晃基	H26. 5～H27. 3
31	X バンドレダ用入力制限器の開発	電子半導体技術 G	藤原康平、小林丈士	H25. 11～H26. 9

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
⑩ 品質強化分野				
32	直流電圧1000Vレンジ校正用Dividerの自動評価システムの開発	実証試験 S	佐々木正史、沼尻治彦、倉持幸佑	H26. 5～H27. 3
⑪ 震災復興支援に貢献する技術分野				
33	線量検出効率を高めた放射線除染作業向け補助計器の開発	情報技術 G	中川 善継、山口 隆志 (バイオ応用技術 G) 永川栄泰	H26. 5～H27. 3
⑫ ものづくり基盤技術分野				
34	導電性ダイヤモンド電極の開発	表面技術 G	長坂浩志、寺西義一、近藤ゆりこ	H26. 11～H27. 9
35	特殊インク調色機のノズル開発	電子・機械 G	村上祐一、佐藤 研、佐野宏靖、吉村僚太、(城東支所)酒井日出子、(繊維・化学 G)飛澤泰樹	H26. 11～H27. 9
36	ガス処理によるポリオレフィンの表面改質	繊維・化学 G	榎本一郎	H26. 11～H27. 9
37	荷重制御型接触冷感評価装置の開発	繊維・化学 G	山田 巧、小柴多佳子	H26. 11～H27. 9
38	ダイヤモンドコーティング工具の開発	城南支所	平野康之、(機械技術 G)中村健太、藤巻研吾	H26. 11～H27. 9
39	無縫製かつらベースの製品化展開	生活技術開発 S	唐木由佑、菅谷紘子、岩崎謙次	H26. 5～H27. 3
40	作業服の高機能化に関する研究	生活技術開発 S	後濱龍太、平山明浩	H26. 5～H27. 3
41	固体潤滑被膜の摩擦・摩耗機構の解明	機械技術 G	中村健太、(表面技術 G)寺西義一	H26. 5～H27. 3
42	計測用 X 線 CT 装置における誤差要因の明確化	バイオ応用技術 G	紋川 亮、外立貴弘、(情報技術 G)阿部真也、富山真一、(高度分析開発 S)中西正一	H26. 5～H27. 3
43	「持ちやすい」シリコングリップの研究	システムデザイン S	森 豊史、薬師寺千尋、中田恵子、小池真生、(電子・機械 G)高橋俊也	H25. 11～H26. 9
44	スリッターの新規開発及び長尺ロールの高速研磨	城東支所	松原独歩、木暮尊志、三尾 淳、(機械技術 G)中村 勲	H25. 11～H26. 9

\*所属は平成 27 年 3 月末現在

## 6.3 外部資金導入研究・調査

### 6.3.1 競争的資金導入研究……………37 テーマ

都産技研が保有する研究成果を基に、国などの公募に対し研究課題および研究内容を提案し、審査を経て採択された課題について、研究資金の交付を受けて実施する研究である。都産技研においてはその積極的な獲得に努めている。

平成 26 年度に獲得・実施した研究は、経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業」、文部科学省など「科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）」をはじめ、以下のとおりである。

No.	開始年度	事業名	研究費配布機関	G/S・室・支所	担当者
1	H24	戦略的基盤技術高度化支援事業	経済産業省	表面技術 G 機械技術 G	長坂浩志 寺西義一 近藤ゆりこ 中村 勲
2	H24	戦略的基盤技術高度化支援事業	経済産業省	表面技術 G 光音技術 G バイオ応用技術 G	木下稔夫 小野澤明良 中島敏晴 紋川 亮
3	H26	戦略的基盤技術高度化支援事業	経済産業省	城東支所 機械技術 G	松原独歩 木暮尊志 三尾 淳 中村 勲
4	H25	研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) [FS ステージ] シーズ顕在化	(独) 科学技術振興機構	バイオ応用技術 G	大藪淑美 柚木俊二 畑山博哉
5	H26	研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) [FS ステージ] シーズ顕在化	(独) 科学技術振興機構	バイオ応用技術 G	柚木俊二 畑山博哉
6	H26	研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) [FS ステージ] 探索タイプ	(独) 科学技術振興機構	バイオ応用技術 G	畑山博哉 柚木俊二
7	H25	環境研究総合推進費	環境省	材料技術 G	梶山哲人
8	H25	(公財) スガウエザリング技術振興財団研究助成	(公財) スガウエザリング技術振興財団	繊維・化学 G	岡田明子 小柴多佳子
9	H26	奨励研究	(公財) 天田財団	システムデザイン S	山内友貴
10	H26	第 36 回学術研究募集	(公財) 石本記念デサントスポーツ科学振興財団	生活技術開発 S	菅谷紘子
11	H26	調査研究助成	(公財) LIXIL 住生活財団	光音技術 G	西沢啓子
12	H26	SIP(戦略的イノベーション創造プログラム) / 革新的設計生産技術	(独) 新エネルギー・産業技術総合開発機構	システムデザイン S 城東支所	横山幸雄 山内友貴 木暮尊志
13	H26	平成 26 年度調査研究助成金	(公財) 鈴木謙三記念医科学応用研究財団	バイオ応用技術 G	柚木俊二
14	H26	厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)	厚生労働省	環境技術 G	小沼ルミ
15	H24	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 基盤研究(C)	(独) 日本学術振興会	バイオ応用技術 G	柚木俊二

No.	開始年度	事業名	研究費配布機関	G/S・室・支所	担当者
16	H24	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）	(独)日本学術振興会	繊維・化学 G	榎本一郎
17	H24	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）	(独)日本学術振興会	材料技術 G	染川正一
18	H24	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）	(独)日本学術振興会	機械技術 G	青沼昌幸
19	H24	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研究（B）	(独)日本学術振興会	機械技術 G	佐々木智典
20	H24	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研究（A）	(独)日本学術振興会	機械技術 G	島田茂伸
21	H25	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研究（B）	(独)日本学術振興会	光音技術 G	海老澤瑞枝
22	H25	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研究（B）	(独)日本学術振興会	環境技術 G	小沼ルミ
23	H25	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研究（B）	(独)日本学術振興会	バイオ応用技術 G	月精智子
24	H25	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（B）	(独)日本学術振興会	繊維・化学 G	神谷嘉美
25	H25	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）挑戦的萌芽研究	(独)日本学術振興会	城東支所	樋口智寛
26	H25	科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（A）〔分担〕	(独)日本学術振興会	高度分析開発 S	川口雅弘
27	H25	科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（A）〔分担〕	(独)日本学術振興会	機械技術 G	福田良司
28	H25	科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（S）〔分担〕	(独)日本学術振興会	高度分析開発 S	川口雅弘
29	H25	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）挑戦的萌芽研究〔分担〕	(独)日本学術振興会	材料技術 G	吉野 徹
30	H26	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研究（B）	(独)日本学術振興会	情報技術 G	金田泰昌
31	H26	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研究（B）	(独)日本学術振興会	情報技術 G	大原 衛
32	H26	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研究（B）	(独)日本学術振興会	機械技術 G	岩岡 拓
33	H26	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研究（B）	(独)日本学術振興会	機械技術 G	福田良司
34	H26	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研究（B）	(独)日本学術振興会	高度分析 S	川口雅弘
35	H26	科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研究（B）	(独)日本学術振興会	電子機械 G	渡部雄太
36	H26	科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（B）〔分担〕	(独)日本学術振興会	繊維・化学 G	神谷嘉美
37	H26	科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究活動スタート支援	(独)日本学術振興会	表面技術 G	近藤ゆりこ

### 6.3.2 地域結集型研究開発プログラム……1 テーマ

平成 18 年 12 月から平成 23 年 11 月まで、大気汚染防止のための事業所からの VOC 排出削減を目的に、独立行政法人科学技術振興機構（以下、「JST」という。）と東京都の支援を受けて「東京都地域結集型研究開発プログラム」を実施した。平成 23 年 12 月から東京都から都産技研への委託事業「地域結集事業の利活用」として、フェーズⅡまでの技術開発を基に、製品化・事業化を目的とするフェーズⅢを進め、多くの成果を得て、平成 26 年 11 月に事業を完了した。

#### (1) 概要

事業名：

地域結集事業の利活用

目的：

大気汚染防止のため、東京都地域結集型研究開発プログラムで開発した VOC 削減技術の製品化・事業化、成果普及を実施する。

事業実施期間：

平成 23 年 12 月 1 日から平成 26 年 11 月 30 日まで

事業費：

平成 26 年 4 月から平成 26 年 11 月まで 東京都からの事業委託費 1,895 万 8 千円

根拠：

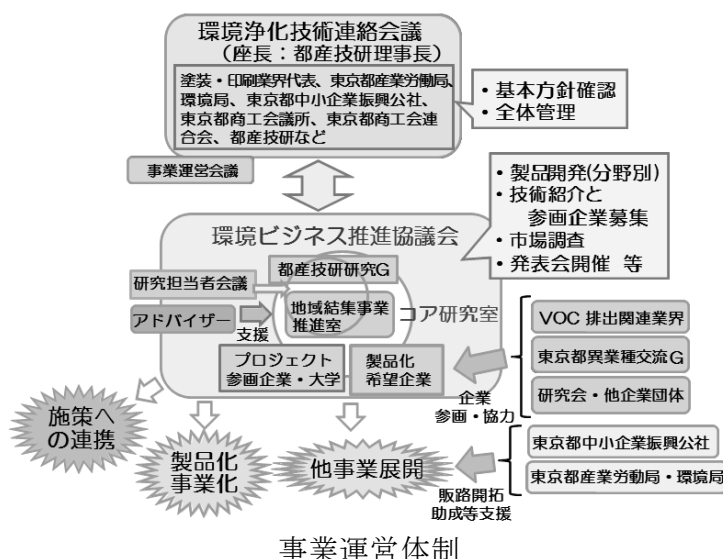
東京都産業科学技術振興指針（平成 16 年 2 月策定、平成 20 年 3 月改訂）

東京都中小企業対策審議会答申（平成 16 年 5 月策定）

「10 年後の東京」計画(平成 18 年 12 月策定)

運営体制：

東京都と都産技研は平成 23 年 12 月 1 日に『『地域結集型共同研究事業の利活用』実施に係る協定書』を締結した。東京都はこの協定書に基づき、基本的な事業管理を行う「環境浄化技術連絡会議」を設置し、同会議の座長を都産技研 片岡理事長に委嘱した。同会議の委員は業界団体関係者や学識経験者で構成されている。具体的な製品化・事業化は、技術分野別の「環境ビジネス推進協議会」で進捗管理を行う。また、都産技研内では、「都産技研研究担当者会議」で研究グループの調整と進行管理を行う。



(2) 事業運営

1) 組織運営：

第四回環境浄化技術連絡会議を平成 26 年 10 月 31 日に開催し、平成 26 年度事業と事業全体の総括を行った。環境ビジネス推進協議会を平成 26 年 7 月 2 日（PID 分野）に開催し、製品化への進捗状況と方針を協議した。また、都産技研研究担当者会議を平成 26 年 6 月 11 日、9 月 10 日に開催し、都産技研の担当グループと進捗の調整を行った。

2) 主要テーマの成果と課題

フェーズⅢでは、各研究グループや支所がフェーズⅡまでの研究成果を引き継ぎ、四半期ごとに開催する研究担当者会議で進捗状況の報告と今後の計画を話し合った。下表は、主なテーマの今年度の進捗状況である。

主なテーマと進捗状況

テーマ	担当部署	今年度の進捗状況
バイオセンサ	バイオ応用技術 G	IGEM2014、産業交流展 2014 に出品。東京都多摩職業能力開発センターでフィールド試験を実施し、現場での性能確認をした
長寿命センサ	機械技術 G	IGEM2014、産業交流展 2014 に出品。理研計器(株)が自社センサのインテリジェント化（部品の共通化・小型化など）を進めるにあたって、チャージ式 PID も組み入れることを決定
LSPR センサ	電子半導体技術 G	5 月に特許出願「局在表面プラズモンセンサ、ガスセンサ、及び製造方法」
VOC 分解触媒及び処理装置	材料技術 G	三協興産(株)より平成 25 年 4 月触媒製品化。11 月からオフセット印刷工場にて触媒実機試験開始（平成 26 年 11 月まで継続）
ナノポーラスシリカ	材料技術 G	企業へ実施許諾し、新製造法開発、特許共同出願予定。
VOC 排出対策ガイド	環境技術 G 表面技術 G	環境関連機関、都内公立図書館などへ郵送および展示会などで配布し、今年度合計 536 部配布（総配布数 2,570 部）。統計データを更新し、基礎編 5.5「環境経営支援ツールとしてのマテリアルフローコスト会計（MFCA）」を追加

3) 開発成果の東京都の環境施策への展開

産業労働局、環境局と協議して、開発成果を東京都の環境施策に展開した。平成 26 年 6 月 6 日の環境局「VOC の排出抑制に関する実務説明会」、7 月 23 日、7 月 31 日、8 月 6 日の「VOC 対策セミナー」、11 月 5 日、11 月 12 日の「化学物質対策セミナー」で地域結集事業の成果を活用した講演や VOC 排出対策ガイドの配布を行った。また、当事業での研究成果を基に、東京都環境科学研究所では大気環境の改善の研究を、また、東京都が季節に応じた VOC 排出削減対策を実施した。

4) 国内展示会による開発製品の宣伝

「産業交流展 2014」、「INNOVESTA! 2014」、「ナノ・マイクロビジネス展」、「第18回機械要素技術展」、「第17回関西機械要素技術展」に出展した。

5) IGEM2014への出展

- ① 概要 東京都の「アジア大都市ネットワーク 21 (ANMC21)」の経済交流事業で東京都が東南アジアで最大級の環境浄化技術の展示会 IGEM2014 に東京パビリオ

ンを出展、12ブースのうち2ブースを都産技研ブースとして出展した。

- ② 展示会名称 The 5<sup>TH</sup> International Greentech & Eco Products Exhibition & Conference Malaysia (IGEM2014)
  - ③ 展示会場 Kuala Lumpur Convention Center
  - ④ 主催 マレーシア政府エネルギー・環境技術・水省
  - ⑤ 展示日時 平成26年10月16日(木)～10月19日(日)
  - ⑥ 展示内容 開発製品7点と触媒式VOC処理実演装置を展示、英語版ビデオを常時上映、都産技研事業と地域結集事業を紹介
  - ⑦ Green Insight 主催者主催セミナーで講演  
日時 10月16日(木) 13:00～13:25  
題目 「Save the Clean Atmosphere of Tokyo - Development of Measuring and Decomposition Systems for VOC」  
講演者 材料技術グループ 染川正一
  - ⑧ 説明員 都産技研10名、三協興産株式会社1名、株式会社エア・ガズ・テクノス1名
  - ⑨ 来場者数 約1,000名、アンケート回収者数249名
- 6) 最終成果報告会の開催

フェーズⅢの最終成果報告会を平成26年10月31日に都産技研本部の東京イノベーションハブで開催した。東京都によるプレス発表、都産技研ホームページへ掲載、TIRI NEWS、公益財団法人東京都中小企業振興公社広報誌アーガス21、日刊工業新聞に開催記事を掲載した。ダイレクトメール718部、宣伝パンフレット配布約3,250部の宣伝を行い、当日は130名の参加者があった。

当日の講演・報告は以下のとおり。

- ① 特別講演「環境問題に関連する触媒研究」  
東京大学大学院工学系研究科 化学システム専攻 教授 堂免一成氏
- ② 東京都地域結集型地域結集事業フェーズⅢの成果  
都産技研 理事 開発本部長 原田 晃
- ③ 非貴金属系VOC分解触媒  
都産技研 副主任研究員 染川正一
- ④ 耐汚染性光イオン式VOCセンサー  
理研計器株式会社 研究部研究二課課長 飯島鉄也氏
- ⑤ 高感度高選択性ホルムアルデヒド測定器  
柴田科学株式会社 開発部開発一課課長 左成信之氏
- ⑥ 本事業成果の海外展開について 都産技研 地域結集事業推進室長 小坂幸夫

7) 機関紙の発行、配布

機関紙「とうきょうのそら」No. 11(平成26年5月9日)、No. 12最終号(平成26年11月28日)を発行、毎号600～800部配布した。

8) 知的財産の管理

特許出願している案件を必要性の高いものから順次審査請求した。26年度は、登録1件、新規出願1件であった。

9) 購入物品の管理

平成26年4月に参画機関との間で平成26年度の貸与契約を行った。また、11月の事業終了後の使用希望を調査し、教育機関と自治体の参画機関が必要とする物品は当該機関に無償貸与することとした。また、企業の参画機関が使用した物品は有償譲渡手続きを行った。

10) JSTや東京都、参画機関との連絡調整

平成26年5月2日に東京都へ平成25年度業務報告書を提出した。8月11日には開発本部長がJSTを訪問し、事業進捗状況と最終成果報告会や海外展示などの今後の予定を報告した。また、IGEM2014の出展にあたっては、東京都の政策企画局と調整した。その他事業遂行についてJST、東京都と連絡調整した。

11) これまでの事業成果概要

3ヶ月ごとに参画機関や関係者のフェーズⅢでの成果を集約し、フェーズⅠ、Ⅱでの成果と合わせて一覧表を作成した。平成26年度の成果は以下のとおりである。

- ① 発表 論文 11件 (合計93件)、口頭発表 27件 (合計269件)
- ② 他事業への展開 1件 (合計27件)
- ③ 都産技研オーダーメイド開発支援 1件 (合計11件)
- ④ 特許出願 1件 (合計54件)
- ⑤ 特許登録 1件 (合計21件)
- ⑥ 受賞 1件 (合計16件)
- ⑦ 平成26年度の製品販売実績 5件 約2,250万円 (合計117件、約19,220万円)
- ⑧ 新聞・雑誌掲載 0件 (合計86件)
- ⑨ 製品化事例集の発行

※( )内は、フェーズⅠ～Ⅲの合計。

(3) フェーズⅢの総括

東京都地域結集型研究開発プログラムのフェーズⅡまでの開発技術の多くを3年間の本委託事業期間内に製品化・事業化した。フェーズⅠからこれまでの製品販売合計額は1億9千2百万円、他事業展開の合計額は5億2千3百万円に上る。また、93件の論文、269件の口頭発表、54件の特許出願、21件の特許登録など、多くの学術的成果や知的財産成果を挙げた。さらに、東京都と連携して環境施策に展開し、東京のVOC排出削減目標達成に貢献し、事業目的を達成した。

主な経緯

実施年月日	事項	内容	場所
平成26年 5月3日	事業終了報告書提出	平成25年度事業の報告	東京都
平成26年 5月9日	「とうきょうのそら」No.11発行	平成25年12月から平成26年4月までのトピックスを掲載	都産技研 本部



実施年月日	事項	内容	場所
平成 26 年 6 月 11 日	第一回都産技研研究担当者会議	都産技研研究 G の進捗状況の確認と平成 26 年度方針討議	都産技研 本部
平成 26 年 7 月 2 日	第一回環境ビジネス推進協議会	触媒分野の製品開発状況の確認と今後の方針協議	都産技研 本部
平成 26 年 8 月 6 日	ホルムアルデヒド測定器フィールド試験実施	東京都多摩能力開発センターで実施 (柴田科学(株))	東京都多摩能力開発センター
平成 26 年 8 月 11 日	JST 訪問	原田開発本部長が事業進捗状況等を報告	JST
平成 26 年 9 月 5 日～6 日	INNOVESTA!2014	施設公開で開発製品を展示	都産技研 本部
平成 26 年 9 月 10 日	第二回都産技研研究担当者会議	都産技研研究 G の進捗状況の確認と方針討議	都産技研 本部
平成 26 年 10 月 10 日	JST 追跡調査開始	JST から業務委託された(株)リベルタス・コンサルティングが実施	都産技研 本部等
平成 26 年 10 月 16 日～19 日	IGEM 2014	マレーシアの海外展示会に出展	クアラルンプール
平成 26 年 10 月 31 日	第四回環境浄化技術連絡会議	フェーズⅢの成果報告	都産技研 本部
平成 26 年 10 月 31 日	最終成果報告会	東京大学教授堂免氏の特別講演と製品化の報告	都産技研 本部
平成 26 年 10 月 31 日	製品化事例集発行	東京都地域結集型研究開発プログラムの集大成として発行	都産技研 本部
平成 26 年 11 月 5 日、12 日	環境局主催化学物質対策セミナー	成果の講演および VOC 排出対策ガイドの配布	都民ホール
平成 26 年 11 月 28 日	「とうきょうのそら」No. 12(最終号)発行	平成 26 年 5 月から 11 月までのトピックス掲載	都産技研 本部

### 6.3.3 都市課題解決のための共同研究……………3 テーマ

東京都が実施する「都市課題解決のための技術戦略プログラム」の一環として、首都大学東京と共同で実施する研究である。

No.	開始年度	事業名	研究費 配布機関	G/S・室・支所	担当者
1	24	都市課題解決のための技術戦略プログラム	東京都	表面技術 G 繊維・化学 G 技術経営支援室 交流連携室	峯 英一 小野澤明良 窪寺健吾 伊東洋一 樋口明久
2	24	都市課題解決のための技術戦略プログラム	東京都	機械技術 G 城南支所	藤巻研吾 横澤 毅 平野康之
3	24	都市課題解決のための技術戦略プログラム	東京都	生活技術開発 S	加藤貴司 岩崎謙次 菅谷紘子

#### 6.3.4 受託研究……………8件

受託研究は企業からの委託に基づいて都産技研職員が短期の研究・調査を行う事業である。受託研究の受け付けは常時行っており、企業の緊急な技術課題に対して即応できるという特徴がある。また、研究費は企業の負担となるが、非公開が原則となっており、秘密保持性の高いこともこの研究の特徴の一つである。

平成26年度の実績は、以下のとおりである。

所属部署	件数	受託研究費
開発本部開発第一部 機械技術G	2件	1,899,770円
開発本部開発第一部 ロボット開発S	1件	242,470円
事業化支援本部技術開発支援部 システムデザインS	1件	499,320円
事業化支援本部地域技術支援部 城南支所	3件	1,409,140円
事業化支援本部地域技術支援部 生活技術開発S	1件	116,180円
合計	8件	4,166,880円

## 6.4 外部発表・・・・・・・・256 件

基盤研究などの成果普及は、各種学協会などの外部機関への論文投稿、口頭発表などを通じて行っている。また、依頼原稿や依頼講演を通じても成果普及を行い、中小企業の技術課題の解決や製品開発に寄与している。

平成 26 年度の外部発表実績は以下のとおりである。なお、執筆者、発表者には共同執筆者および共同発表者の場合も掲載している。

### 論文発表 36 件

No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌名
1	パーソナルファブリケーションを利用した知育デザインツール“UNI + FIRM”の開発	上野明也 他 1 名	日本デザイン学会	デザイン学研究作品集 Vol.19, No. 19, pp. 36-39 (2013)
2	Development of a Diehard GEM Using PTFE Insulator Substrate	小宮一毅 他 6 名	IOP Publishing Ltd and Sissa Medialab srl	Journal of Instrumentation, DOI:10.1088/1748-0221/ 9/03/C03043 (2014)
3	Basic Characteristics of Tissue-equivalent Phantom Thermoluminescence Slab Dosimeter Using New TL Phosphor Li3B7O12:Cu	櫻井 昇 他 8 名	Elsevier	Radiation Measurements, Vol. 62, pp. 15-21 (2014)
4	平成 24 年度「日本薬局方の試験法等に関する研究」研究報告 高速・高感度分散形近赤外分光器を用いた錠剤中主薬成分の定量と工程内導入への適用性	藤巻康人 小金井誠司 他 7 名	(一財)医薬品医療機器 レギュラトリーサイ エンス財団	医薬品医療機器レギュラト リーサイエンス, Vol. 45, No. 4, pp. 361-367 (2014)
5	Synergistic Effects of Fenton's Reaction and the Sonochemical Reaction on the Decomposition of Trichloroethylene in Water	田熊保彦 他 1 名	(公社)化学工学会	Journal of Chemical Engineering of Japan, Vol. 47, No. 4, pp. 309-313 (2014)
6	Development of an Immunity Test System for Safety of Personal Care Robots	村上真之 他 1 名	(一社)電子情報通信 学会	IEICE Transactions on Communications, Vol. E97-B, No. 5, pp. 1030-874 (2014)
7	Radiocesium Accumulation in Egeria Densa, a Submerged Plant - Possible Mechanism of Cesium Absorption	永川榮泰 櫻井 昇 他 5 名	Royal Society of Chemistry	Journal of Analytical Atomic Spectrometry, Vol. 29, No. 5, pp. 868-874 (2014)
8	Amperometric Biosensor Based on Enzyme Immobilization in Post Process for Multipurpose Applications	月精智子 他 4 名	Taylor & Francis	Analytical Letters, Vol. 47, No. 8, pp. 1361-1374 (2014)
9	Conductive Pulp Fiber Sheet-prepared Waste Newspaper Pulp Fibers Treated by Electroless Nickel Plating and its Electric Field Shielding Effect	上野武司 竹村昌太 島田勝広 西野義典 樋口明久 鈴木雅洋 他 1 名	(一社)廃棄物資源循 環学会	Journal of Material Cycles and Waste Management
10	With High Sensitivity and with Wide-dynamic-range Localized Surface-plasmon Resonance Sensor for Volatile Organic Compounds	紋川 亮 中川朋恵 杉森博和 加澤エリト 他 3 名	Elsevier	Sensor and Actuators B, Vol. 196, pp. 1-9 (2014)
11	Biosynthesis of Poly(3-hydroxybutyrate-co-3-hydroxy-4-methylvalerate) by Recombinant Escherichia Coli	渡辺世利子 他 3 名	The Society for Biotechnology, Japan.	Journal of Bioscience and Bioengineering, Vol. 117, No. 6, pp. 670-675 (2014)
12	Tribochemical Reactions of Ionic Liquids under Vacuum Conditions	近藤ゆりこ 他 4 名	Springer Japan	Tribology Letters, Vol. 54, No. 3, pp. 309-315 (2014)
13	Fe-Cu 合金粉を用いた Fe-2%Cu-0.8%C 焼結鋼の組織と強度	岩岡 拓 他 1 名	(一社)粉体粉末冶金 協会	粉体および粉末冶金, Vol. 61, No. 6, pp. 290-297 (2014)

No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌名
14	Evaluation of Gelatin Hydrogel as a Potential Carrier for Cell Transportation	大藪淑美 畑山博哉 柚木俊二	Elsevier	Journal of Bioscience and Bioengineering, Vol.118, No.1, pp.112-115(2014)
15	HIPIIMS Deposition of TiAlN Films on Inner Wall of Micro-dies and its Applicability in Micro-sheet Metal Forming	小宮英俊 渡部友太郎 寺西義一 長坂浩志 森河和雄 他2名	Elsevier	Surface and Coatings Technology, Vol.250, pp.44-51(2014)
16	難燃性マグネシウム合金溶接部の応力腐食割れに対するショットピーニング処理の影響	藤巻康人 小金井誠司 他4名	(公社)腐食防食学会	材料と環境, Vol.63, No.8, pp.463-467(2014)
17	LET and Dose Rate Effect on Radiation-induced Copolymerization in Physical Gel	中川清子 他4名	Elsevier	Nuclear Instrument and Methods in Physics Research B, Vol.334, pp.64-68(2014)
18	Size-Dependent Thermochromism through Enhanced Electron-Phonon Coupling Enhanced in 1 nm Quantum Dots	渡辺洋人 他4名	WILEY	Angewandte Chemie International Edition, Vol.53, No.40, pp.10706-10709(2014)
19	Synthesis and Characterization of Carbon Nanoparticle Films Prepared by Plasma-based Ion Implantation	川口雅弘 他5名	John Wiley & Sons	Surface and Interface Analysis, Vol.46, pp.961-965(2014)
20	Solvent-free Synthesis, Coating and Morphogenesis of Conductive Polymer Materials through Spontaneous Generation of Activated Monomers	林孝星 他4名	Royal Society of Chemistry	Chemical Communications, Vol.50, No.80, pp.11840-11843(2014)
21	Doping Incompatible Elements into Calcite through Amorphous Calcium Carbonate	吉野徹 他4名	American Chemical Society	Crystal Growth & Design, Vol.14, No.4, pp.5344-5348(2014)
22	Adsorption Properties of Modified Banana Fiber to Transition Metal Ions	梶山哲人 井上潤 他2名	日本イオン交換学会	Journal of Ion Exchange, Vol.25, No.4, pp.155-159(2014)
23	赤外分光スペクトルの主成分分析及び階層的クラスタ分析による亜麻と苧麻の鑑別	宇井剛	(一社)日本繊維製品消費科学会	繊維製品消費科学, Vol.55, No.11 pp.46-52(2014)
24	One-year Time Variations of Anthropogenic Radionuclides in the Aerosols at Tokyo after the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant Reactor Failures	永川栄泰 外立貴宏 金城康人 鈴木隆司	Taylor & Francis	Journal of Nuclear Science and Technology, Vol.52, Iss.6, pp.784-791(2014)
25	公設試験研究機関向け技術検索エンジン	阿部真也 富山真一 大平倫宏	(一社)情報処理学会	情報アクセスシンポジウム2014, pp.1-8(2014)
26	Study of Charged Frame ESD Immunity Testing Specified in ISO 7176-21	村上真之 他1名	IEEE	IEEE Transactions on Electromagnetic Compatibility, Vol.56, No.6, pp.1276-1286(2014)
27	外れ値環境下におけるロバスト Self-Tuning Controller	金田泰昌 入月康晴 他1名	(公社)計測自動制御学会	計測自動制御学会論文集, Vol.50, No.12, pp.836-844(2014)
28	Robust Self-tuning Controller under Outliers	金田泰昌 入月康晴 他1名	IEEE Control Systems Society	The 53rd IEEE Conference on Decision and Control, pp.2020-2025(2014)
29	Hand Model with Soft Skin for Evaluation of Human Hand Motion	佐々木智典 他1名	IEEE	40th Annual Conference of the IEEE Industrial Electronics Society, pp.4010-4015(2014)

No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌名
30	Chain Reaction on De-halogenation of 1, 2-dibromotetrafluoroethane and 1, 1, 2-trichlorotrifluoroethane Induced by Irradiation in Alcohols	中川清子	Elsevier	Radiation Physics and Chemistry, Vol.108, pp. 29-32 (2015)
31	Combination of X-ray Transmission and Eddy-current Testing for the Closed-loop Recycling of Aluminum Alloys	竹澤 勉 上本道久 伊藤 清	(一社)廃棄物資源循環学会	Journal of Material Cycles and Waste Management, Vol.17, No.1, pp.84-90 (2015)
32	In Vitro Parallel Evaluation of Antibacterial Activity and Cytotoxicity of Commercially Available Silver-Containing Wound Dressings	柚木俊二 大藪淑美 他 2 名	Dove Medical Press	Chronic Wound Care Management and Research, Vol.2, pp.1-9 (2015)
33	Highly Sensitive and Rapid Gas Biosensor for Formaldehyde Based on an Enzymatic Cycling System	紋川 亮 月精智子 瀧本悠貴 城 照彰 他 2 名	Elsevier	Sensor and Actuators B, Vol.210, pp.241-247 (2015)
34	In Situ Observation of Pressure-Induced Crystallization from Amorphous Calcium Carbonate by Time-Resolved X-Ray Diffraction	吉野 徹 他 4 名	(公社)日本化学会	Chemistry Letters, Vol.44, No.4, pp.434-436 (2015)
35	Friction Fade-out at Polymer-Like Carbon Films Slid by ZrO <sub>2</sub> Pins under Hydrogen Environment	川口雅弘 他 4 名	Institution of Mechanical Engineers	Proceedings of the Institution of Mechanical Engineers, Part J: Journal of Engineering Tribology, DOI:10.1177/1350650115569857 (2015)
36	木材-ボルト接合における締付け速度がトルク係数に及ぼす影響	松原独歩 中野貴啓 島田勝廣 他 2 名	(一社)日本木材学会	木材学会誌, Vol.61, No.1, pp.33-39 (2015)

※論文発表は、『平成 25 年度年報』未掲載分を含む。

#### 口頭発表（学協会など） 86 件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
1	目視によるγ線検出のための水溶性フェノキサジン系カラーフォーマー	関口正之 他 2 名	平成 26 年 3 月 27 日	名古屋大学 東山キャンパス	(公社)日本化学会 第 94 回春季年会
2	Structure Characterization of Ion-vapor Deposited a-C:H Coating by Solid State <sup>13</sup> C NMR	渡邊禎之 林 英男 川口雅弘 他 2 名	平成 26 年 4 月 28 日	徐州 (中国)	7th China International Symposium on Tribology
3	Hydrogen Dependence and Tribochemical Mechanism of Superlubricity in Ion Vapor Deposited a-C:H:Si Films	川口雅弘 他 4 名	平成 26 年 4 月 29 日	徐州 (中国)	7th China International Symposium on Tribology
4	セメント水和物と Cs の相互作用に関する検討(2) セメント水和物の C-A-S-H の構造と Cs の収着に関する検討	渡邊禎之 他 4 名	平成 26 年 5 月 13 日	ホテルメトロ ポリタン	(一社)セメント協会 第 68 回セメント技術大会
5	セメント水和物と Cs の相互作用に関する検討(1) Al の固溶が C-S-H の Cs 収着特性に与える影響	渡邊禎之 他 3 名	平成 26 年 5 月 13 日	ホテルメトロ ポリタン	(一社)セメント協会 第 68 回セメント技術大会
6	低融点金属粉を添加した焼結マグネシウムの組織と強度	岩岡 拓 青沼昌幸 他 1 名	平成 26 年 5 月 18 日	広島大学 東広島キャンパス	(一社)軽金属学会 第 126 回春期大会
7	Structural Characterization of Ion-vapor Deposited Hydrogenated Amorphous Carbon Coatings by Solid State <sup>13</sup> C NMR	渡邊禎之 林 英男 川口雅弘 他 2 名	平成 26 年 5 月 19 日	国立オリンピック 記念青少年総合 センター	(一社)日本トライボロジー 学会 トライボロジー会議 2014 春 東京

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
8	a-C:H:Si 膜の超潤滑における成長機構および動的な平滑化挙動	川口雅弘 他 4 名	平成 26 年 5 月 19 日	国立オリンピック 記念青少年総合 センター	(一社)日本トライボロジ 学会 トライボロジー会議 2014 春 東京
9	DLC 成膜によるポリエチレンフィルムのガ スパリア性向上	清水 綾 川口雅弘 他 3 名	平成 26 年 5 月 19 日	国立オリンピック 記念青少年総合 センター	(一社)日本トライボロジ 学会 トライボロジー会議 2014 春 東京
10	水素雰囲気下での各種摩擦材料に対する PLC 膜の摩擦フリー特性	川口雅弘 他 3 名	平成 26 年 5 月 21 日	国立オリンピック 記念青少年総合 センター	(一社)日本トライボロジ 学会 トライボロジー会議 2014 春 東京
11	水素化摩擦触媒による DLC 複合膜の摩擦 フリー性能の安定性	川口雅弘 他 3 名	平成 26 年 5 月 21 日	国立オリンピック 記念青少年総合 センター	(一社)日本トライボロジ 学会 トライボロジー会議 2014 春 東京
12	高位合成ツールを使った軽量ブロック暗号 モジュールの開発	岡部 忠 志水 匠 武田有志 藤原康平 小林丈士	平成 26 年 6 月 6 日	東京ビッグサ イト	(一社)エレクトロニクス実 装学会 JPCAShow2014 アカデミックプラザ
13	亜鉛めっきのバナジウム系耐食性化成皮膜 形成条件の検討	浦崎香織里 他 1 名	平成 26 年 6 月 6 日	工学院大学 新宿キャンパス	(公社)日本材料科学会 平成 26 年度学術講演大会
14	ハーモニック・ミキサを用いた 60 GHz 帯超 広帯域無線通信用周波数変換器の開発	藤原康平 小林丈士 他 2 名	平成 26 年 6 月 16 日	三菱電機 情報 技術総合研究所	(一社)電子情報通信学会 短距離無線研究会
15	動的衣服圧測定のための柔らかなダミーの 開発	菅谷紘子 岩崎謙次	平成 26 年 6 月 28 日	京都工芸繊維 大学	(一社)日本繊維製品消費 科学会 2014 年度年次大会
16	布の風合い評価における触荷重特性につい て	山田 巧 小柴多佳子	平成 26 年 6 月 29 日	京都工芸繊維 大学	(一社)日本繊維製品消費 科学会 2014 年度年次大会
17	ナイロン粉末焼結型積層造形品への塗装技 術の開発	小野澤明良 村井まどか 神谷嘉美 木下稔夫 山内友貴	平成 26 年 7 月 5 日	福井工業大学 福井キャンパス	(一社)日本デザイン学会 第 61 回春季研究発表大会
18	Evaluation of Elastic Modulus and Strength of Inorganic Polymer Adhesives	大久保一宏 瓦田研介 他 2 名	平成 26 年 7 月 7 日	ケンブリッジ 大学(イギリス)	16th International Conference on Experimental Mechanics
19	フッ化臭化エタンの放射線照射による脱臭 素反応における溶媒効果	中川清子	平成 26 年 7 月 7 日	東京大学弥生 講堂	(公社)日本アイソトープ 協会 第 51 回アイソトープ・ 放射線研究発表会
20	降水中のトリチウム濃度と各種イオン濃度 を用いた気団動態の解析	斎藤正明 他 5 名	平成 26 年 7 月 7 日	東京大学弥生 講堂	(公社)日本アイソトープ 協会 第 51 回アイソトープ・ 放射線研究発表会
21	バイオポリエチレンの簡易判別方法: 前処 理条件・測定精度の検討	永川榮泰 柚木俊二 斎藤正明	平成 26 年 7 月 7 日	東京大学弥生 講堂	(公社)日本アイソトープ 協会 第 51 回アイソトープ・ 放射線研究発表会
22	短期降水中のトリチウムと各種イオンの動 態解析	斎藤正明 他 5 名	平成 26 年 7 月 8 日	東京大学弥生 講堂	(公社)日本アイソトープ 協会 第 51 回アイソトープ・ 放射線研究発表会
23	SPD 分離器における雷インパルス耐電流性 能の検証	黒澤大樹 小林丈士	平成 26 年 7 月 11 日	日本教育会館	(一財)日本科学技術連盟 第 44 回信頼性・安全性 シンポジウム 特別企画 セッション
24	めっきパルブ繊維による導電紙の試作	上野武司 佐々木秀勝 佐野宏靖 大森 学 島田勝廣	平成 26 年 8 月 21 日	信州大学 長野キャンパス	平成 26 年 電気学会 基礎・材料・共通 (A) 部門大会
25	放射線照射-ESR 法による OH ラジカル消去 能測定	中川清子 関口正之	平成 26 年 8 月 29 日	中村学園大学	(公社)日本食品科学工学会 第 61 回大会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
26	Friction Fade-out at Polymer-Like Carbon Films Slid by ZrO <sub>2</sub> Pins under Hydrogen Environment	川口雅弘 他 3 名	平成 26 年 9 月 4 日	リーズ大学 (イギリス)	41st LEEDS-LYON SYMPOSIUM ON TRIBOLOGY
27	公設試験研究機関向けポータルサイトの開発	阿部真也	平成 26 年 9 月 8 日	中京大学 名古屋キャンパス	(一社)電気学会東海支部他 平成 26 年度電気・電子・ 情報関係学会東海支部 連合大会
28	シリカマトリックス内で安定な六価のクロム酸化物量子ドットの挙動と新規触媒への応用	染川正一 渡辺洋人 他 2 名	平成 26 年 9 月 9 日	鹿児島大学 郡元キャンパス	(公社)日本セラミックス 協会 第 27 回秋季シンポ ジウム
29	サブナノサイズの細孔内で合成した炭素ドット蛍光体の評価	林 孝星 渡辺洋人 他 2 名	平成 26 年 9 月 10 日	鹿児島大学 郡元キャンパス	(公社)日本セラミックス 協会 第 27 回秋季シンポ ジウム
30	サブナノ細孔を有するポーラスシリカを鋳型とした遷移金属酸化物量子ドットの合成	渡辺洋人 他 3 名	平成 26 年 9 月 10 日	鹿児島大学 郡元キャンパス	(公社)日本セラミックス 協会 第 27 回秋季シンポ ジウム
31	沈水植物オオカナダモ ( <i>Egeria densa</i> ) のセシウム吸収ー野外調査とセシウムの固体内分布のイメージングー	永川栄泰 櫻井昇 他 6 名	平成 26 年 9 月 12 日	明治大学 生田キャンパス	(公社)日本植物学会 第 78 回大会
32	非晶質炭酸カルシウムを経由したカルサイトへのストロンチウムイオンの取り込み	吉野 徹 他 4 名	平成 26 年 9 月 16 日	富山大学 五福キャンパス	日本地球化学会 2014 年度年会
33	非晶質炭酸カルシウムの圧力誘起結晶化その場観察	吉野 徹 他 3 名	平成 26 年 9 月 17 日	熊本大学 黒髪北キャンパス	日本鉱物科学会 2014 年年会・総会
34	高精度型光ファイバー温度計の開発	佐々木正史 沼尻治彦 他 2 名	平成 26 年 9 月 18 日	東京ビッグサイト	(一社)日本計量機器工業 連合会 第 26 回計量計測展
35	粉末焼結法による積層造形品への着色	山内友貴 小野澤明良 村井まどか 神谷嘉美 木下稔夫	平成 26 年 9 月 18 日	鳥取大学 鳥取キャンパス	(公社)精密工学会 2014 年度秋季大会
36	医療用 PAPR のフードによる騒音低減と音声明瞭度の改善	服部 遊 神田浩一 西沢啓子 渡辺茂幸 他 1 名	平成 26 年 9 月 18 日	明治大学 中野キャンパス	(公社)日本騒音制御工 学会 平成 26 年秋季研究 発表会
37	新しい絶縁材料を用いた GEM の評価	小宮一毅 藤原康平 小林丈士 他 4 名	平成 26 年 9 月 19 日	佐賀大学 本庄キャンパス	(一社)日本物理学会 2014 年秋季大会
38	高速用クエン酸ニッケルめっきの水素および硫黄含有量の評価	浦崎香織里 土井 正	平成 26 年 9 月 22 日	京都大学 吉田キャンパス	(一社)表面技術協会 第 130 回講演大会
39	曲線座標系におけるビーム伝搬解析	山口隆志 他 1 名	平成 26 年 9 月 23 日	徳島大学	(一社)電子情報通信学会 2014 年ソサイエティ大会
40	The Role of Ozone Micro-bubbles in Cotton Bleaching	榎本一郎 添田 心 他 2 名	平成 26 年 9 月 30 日	東京ファッション タウンビル	International Symposium on Fiber Science and Technology 2014
41	短鎖アルキルメタクリレート添加油を用いたステンレス材の絞り加工	中村健太 奥出裕亮 他 1 名	平成 26 年 10 月 4 日	山形大学 米沢キャンパス	(公社)日本設計工学会 2014 年度秋季研究発表 講演会
42	都産技研における FPGA を活用した製品開発支援と研究事例紹介	岡部 忠	平成 26 年 10 月 8 日	幕張メッセ	CEATEC2014 プログラマ ブルデバイスプラザ オ ープンセミナー
43	強ひずみ加工によるアルミ合金切削屑の固相リサイクル	小船論史	平成 26 年 10 月 11 日	岡山大学	(一社)日本塑性加工学会 第 65 回塑性加工連合講 演会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
44	二分割金型を用いた側圧測定による拔出し壁面摩擦	岩岡 拓 他 2 名	平成 26 年 10 月 29 日	大阪大学 コンベンション センター	(一社)粉体粉末冶金協会 平成 26 年度秋季大会
45	SPS によって作製されたマグネシウム焼結材の力学特性および腐食特性に及ぼす Sn の影響	岩岡 拓 他 5 名	平成 26 年 10 月 29 日	大阪大学 コンベンション センター	(一社)粉体粉末冶金協会 平成 26 年度秋季大会
46	木材の衝撃部分圧縮現象における衝突速度と衝撃荷重の関係	中野貴啓 松原独歩 島田勝廣	平成 26 年 10 月 30 日	秋田ビューホ テル	(公社)日本木材加工技術 協会 第 32 回年次大会
47	Hand Model with Soft Skin for Evaluation of Human Hand Motion	佐々木智典 他 1 名	平成 26 年 11 月 1 日	Sheraton Dallas Hotel (アメリカ)	40th Annual Conference of the IEEE Industrial Electronics Society
48	水素化摩擦触媒による DLC 複合膜の摩擦フェイドアウトとトライボフィルムの形成	川口雅弘 他 4 名	平成 26 年 11 月 6 日	アイーナいわて 県民情報交流 センター	(一社)日本トライボロジ 学会 トライボロジー会議 2014 秋
49	表面性状制御による水素含有 DLC 膜のしゅう動特性の最適化	徳田祐樹 川口雅弘 他 1 名	平成 26 年 11 月 7 日	アイーナいわて 県民情報交流 センター	(一社)日本トライボロジ 学会 トライボロジー会議 2014 秋
50	FFT 解析に基づくトライボ表面用 GPS パラメータによる摺動特性評価	徳田祐樹 他 4 名	平成 26 年 11 月 7 日	アイーナいわて 県民情報交流 センター	(一社)日本トライボロジ 学会 トライボロジー会議 2014 秋
51	物理強化ガラスの自然破損(自爆)に関する考察について	上部隆男 増田優子	平成 26 年 11 月 14 日	立命館大学 びわこ・くさつ キャンパス	(公社)日本材料学会 第 13 回フラクトグラフィ シンポジウム
52	バイオマスポリアミド 1010 のレオロジー的性質に及ぼす植物由来 TPE 添加の影響	梶山哲人 山中寿行 他 3 名	平成 26 年 11 月 14 日	朱鷺メッセ	(一社)プラスチック成形 加工学会 成形加工シン ポジウム '14
53	バイオマス原料を用いた 3 成分系複合材料(麻繊維/PA1010/TPU)の機械的性質	梶山哲人 山中寿行 他 3 名	平成 26 年 11 月 14 日	朱鷺メッセ	(一社)プラスチック成形 加工学会 成形加工シン ポジウム '14
54	射出成形金型のゲート幅が流動に及ぼす影響 -第三報-	安田 健 清水研一 福田良司	平成 26 年 11 月 14 日	朱鷺メッセ	(一社)プラスチック成形 加工学会 成形加工シン ポジウム '14
55	亜鉛合金ダイカストの機械的性質と 10 年の自然時効後の特性変化	佐藤健二 他 2 名	平成 26 年 11 月 15 日	パシフィコ横浜	(一社)日本ダイカスト協会 2014 日本ダイカスト会議
56	ポータルサイト向け情報検索エンジン	阿部真也	平成 26 年 11 月 23 日	リクルート本社	Web インテリジェンスと インタラクション研究会 第 5 回 Web インテリジェンスと インタラクション研究会
57	赤外領域における放射照度分布測定の検討	磯田和貴 中島敏晴 澁谷孝幸	平成 26 年 11 月 28 日	大阪府立大学 中百舌鳥キャン パス	日本赤外線学会 第 24 回研究発表会
58	微量試料を用いた縄文土器の化学分析	神谷嘉美 他 2 名	平成 26 年 11 月 29 日	中部大学 春日井キャン パス	中部化学関係学協会支部 連合協議会 第 45 回秋季 大会
59	マグネシウム焼結材の腐食特性に及ぼす Sn 添加量の影響	岩岡 拓 他 4 名	平成 26 年 12 月 6 日	新潟工科大学	(一社)日本鉄鋼協会・ (公社)日本金属学会 北陸 信越支部 平成 26 年度連 合講演会
60	マグネシウム焼結材の腐食特性に及ぼす添加元素 (Sn, Zn, Bi) の影響	岩岡 拓 他 4 名	平成 26 年 12 月 6 日	新潟工科大学	(一社)日本鉄鋼協会・(公 社)日本金属学会 北陸 信越支部 平成 26 年度連 合講演会
61	マイクロ波加熱を用いた炭素粉末材料の酸化処理とその評価	平井和彦 池田紗織 峯 英一	平成 26 年 12 月 10 日	大野城まどか びあ	炭素材料学会 第 41 回年会
62	公設試験研究機関向け技術検索エンジン	阿部真也 富山真一 大平倫宏	平成 26 年 12 月 15 日	国立情報学研 究所	(一社)情報処理学会 情報 アクセスシンポジウム 2014



No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
63	Robust Self-Tuning Controller under Outliers	金田泰昌 入月康晴 他1名	平成26年 12月15日	J.W. Marriott Hotel(アメリカ)	The 53rd IEEE Conference on Decision and Control
64	器用な操作を行う手モデルにおける接触の観測	佐々木智典 他1名	平成26年 12月15日	東京ビッグサ イト	(公社)計測自動制御学 会システムインテグレ ーション部門 第15回講 演会
65	T型ロボットベースの開発	坂下和広 益田俊樹 他1名	平成26年 12月16日	東京ビッグサ イト	(公社)計測自動制御学 会システムインテグレ ーション部門 第15回講 演会
66	Properties of Stable Chromium (VI) Oxide Quantum Dots in Silica Matrix and Application to a New Type of Catalyst	染川正一 渡辺洋人 他2名	平成27年 1月16日	India Habitat Center(インド)	The 5th Asia-Oceania Conference on Green and Sustainable Chemistry
67	Development of a Very Low-cost Down Converter for the IEEE802.11ad Wireless Network Appliance Test	藤原康平 小林丈士 他2名	平成27年 1月27日	Omni San Diego Hote(アメリカ)	Radio & Wireless Week 2015
68	アクリル樹脂のショットブラスト加工面における表面性状が透過率と曇り度に及ぼす影響	古杉美幸 他5名	平成27年 3月6日	近畿大学 広島キャンパス	(一社)日本機械学会 中国 四国支部 第53期総会・ 講演会
69	専門家を探せ！一社内に眠る人材を活用しようー	大平倫宏	平成27年 3月7日	科学技術振興 機構 東京本部別館	(独)科学技術振興機構 第2回データサイエンス・ アドベンチャー杯
70	レイヤ構造無線センサネットワークの効率的な伝送制御手法	中川善継 入月康晴	平成27年 3月10日	立命館大学 びわこ・くさつ キャンパス	(一社)電子情報通信学会 2015年総大会
71	軽量ブロック暗号のFPGA実装と性能評価	岡部 忠	平成27年 3月11日	立命館大学 びわこ・くさつ キャンパス	(一社)電子情報通信学会 2015年総大会
72	統計量に基づくLASSOの正則化パラメータの設計手法	金田泰昌 入月康晴	平成27年 3月12日	立命館大学 びわこ・くさつ キャンパス	(一社)電子情報通信学会 2015年総大会
73	電波吸収体を敷設しないGHz帯EMI測定手法の提案	佐々木秀勝 高橋文緒	平成27年 3月12日	立命館大学 びわこ・くさつ キャンパス	(一社)電子情報通信学会 2015年総大会
74	反射光検出型LSPRガスセンサの検討	加澤エリト 紋川 亮	平成27年 3月12日	東海大学 湘南キャンパス	(公社)応用物理学会 第62回春季学術講演会
75	窒素ドーパカーボン/La-Fe系ペロブスカイト型酸化物の酸素還元触媒への応用	立花直樹 池田沙織 川口雅弘 湯川泰之	平成27年 3月17日	横浜国立大学	(公社)電気化学会 第82回大会
76	振動に起因して発生する異音評価手法について	宮入 徹 神田浩一 服部 遊 福田良司	平成27年 3月20日	横浜国立大学	(一社)日本機械学会 関東支部 第21期総会・ 講演会
77	フラクタル構造を有するチップレスRFIDタグの解析	渡部雄太 他1名	平成27年 3月24日	東京都市大学 世田谷キャン パス	(一社)電気学会 平成27年全国大会
78	マイクロヒータの開発	山岡英彦	平成27年 3月24日	東京都市大学 世田谷キャン パス	(一社)電気学会 平成27年全国大会
79	伝導妨害波対策部品のノイズ抑制量算出手法の検討	大橋弘幸 渡部雄太 大森 学	平成27年 3月24日	東京都市大学 世田谷キャン パス	(一社)電気学会 平成27年全国大会
80	自己強制空冷システムの放熱促進	富山真一	平成27年 3月25日	東京都市大学 世田谷キャン パス	(一社)電気学会 平成27年全国大会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
81	酵素サイクル法を用いたホルムアルデヒド高感度センサーの開発	瀧本悠貴 月精智子 城照 彰 紋川 亮 他 2 名	平成 27 年 3 月 26 日	日本大学 船橋キャンパス	(公社)日本化学会 第 95 春季年会
82	フェノチアジン系及びナフタルイミド系水溶性カラーフォーマーを用いた目視による放射線検出	関口正之 中川清子 他 2 名	平成 27 年 3 月 26 日	日本大学 船橋キャンパス	(公社)日本化学会 第 95 春季年会
83	目視で放射線を検出するためのスピロピラン類を用いた化学センサー	関口正之 中川清子	平成 27 年 3 月 26 日	日本大学 船橋キャンパス	(公社)日本化学会 第 95 春季年会
84	目視による放射線検出のためのカラーフォーマーオルガノゲル	関口正之 他 2 名	平成 27 年 3 月 26 日	日本大学 船橋キャンパス	(公社)日本化学会 第 95 春季年会
85	目視による放射線検出のための水溶性フェナジン系カラーフォーマー	関口正之 中川清子 他 3 名	平成 27 年 3 月 26 日	日本大学 船橋キャンパス	(公社)日本化学会 第 95 春季年会
86	ハロン 2402 含有アルコール溶液の放射線照射による過渡吸収スペクトル変化と反応機構の検討	中川清子 他 2 名	平成 27 年 3 月 29 日	日本大学 船橋キャンパス	(公社)日本化学会 第 95 春季年会

### ポスター発表(学協会など) 51 件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
1	第四級アンモニウム化合物を用いたニオブ酸リチウムのゾルゲル合成法	藤井恭子 紋川 亮 中川朋恵 他 1 名	平成 26 年 3 月 28 日	名古屋大学 東山キャンパス	(公社)日本化学会 第 94 回春季年会
2	Simultaneous analysis of resin and pigment for lacquerware using Py-GC/MS	神谷嘉美 他 2 名	平成 26 年 5 月 22 日	Aston University (イギリス)	20th International Symposium on Analytical and Applied Pyrolysis
3	乳歯エナメル質を用いた胎児期有害元素曝露評価法の開発	林 英男 他 6 名	平成 26 年 5 月 26 日	岡山コンベンションセンター	日本衛生学会 第 84 回学術総会
4	木材腐朽菌が放散する揮発性代謝産物の分析手法の検討	小沼ルミ 瓦田研介 水越厚史 飯田孝彦 他 1 名	平成 26 年 5 月 27 日	メルパルク東京	(公社)日本木材保存協会 第 30 回年次大会
5	車輪型ロボットベースの研究開発	益田俊樹 坂下和広 薬師寺千尋 他 4 名	平成 26 年 5 月 27 日	富山市総合体育館	(一社)日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門 ロボティクス・メカトロニクス講演会 2014
6	空中における三次元移動型ロボットの開発	益田俊樹 小林祐介 坂下和広	平成 26 年 5 月 27 日	富山市総合体育館	(一社)日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門 ロボティクス・メカトロニクス講演会 2014
7	移動作業型ロボット開発における安全性試験方法の選定～コンセプトの明確化、リスクアセスメント、試験方法選定の流れ～	森田裕介 他 1 名	平成 26 年 5 月 28 日	山市総合体育館	(一社)日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門 ロボティクス・メカトロニクス講演会 2014
8	スクリーン印刷による固体高分子形燃料電池セパレータへの導電性被膜形成	峯 英一 小野澤明良 他 2 名	平成 26 年 5 月 29 日	タワーホール船堀	(一社)燃料電池開発情報センター 第 21 回燃料電池シンポジウム
9	粉末焼結型 3D プリンタにより造形されたポリアミドの力学的異方性に対する内部構造の影響	木暮尊志 横山幸雄 山内友貴 山中寿行 小金井誠司 小林隆一	平成 26 年 6 月 4 日	タワーホール船堀	(一社)プラスチック成形加工学会 第 25 回年次大会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
10	膠の塗布膜最表面を構成する化学成分ー飛行時間型二次イオン質量分析による試みー	樋口智寛 他1名	平成26年 6月8日	明治大学 駿河台キャンパス	(一社)文化財保存修復学会 第36回大会
11	ポリエチレンのバイオマス由来の簡易判定法 ー前処理法と測定精度の検討ー	永川栄泰 柚木俊二 斎藤正明	平成26年 6月17日	東京大学弥生講堂	(一財)放射線利用振興協会 第15回放射線プロセスシンポジウム
12	2-プロパノール中におけるハロゲン化エタンの放射線分解	中川清子	平成26年 6月17日	東京大学弥生講堂	第15回放射線プロセスシンポジウム実行委員会 第15回放射線プロセスシンポジウム
13	Glass Mold Modified by Carbon Ion Irradiation	寺西義一 石束真典 小宮英俊 安田 健 長坂浩志 近藤ゆりこ 三尾 淳 他2名	平成26年 6月26日	メルパルク横浜	The Eighth International Conference on the Science and Technology for Advanced Ceramics (STAC8)
14	陶磁器の上絵層における有機物分析の試みー焼成後における有機物材料残存の可能性についてー	樋口智寛 他1名	平成26年 7月5日	奈良教育大学	日本文化財科学会 第31回大会
15	Characterization of Volatile Metabolites Emitted by Wood Decay Fungi	小沼ルミ 瓦田研介 杉森博和 飯田孝彦 他1名	平成26年 8月11日	Quebec City Convention Centre(カナダ)	Forest Products Society Forest Products Society 68th International Convention
16	Biosorption Ability of the Fruit Body of Basidiomycetes to Remove nickel (II), Cobalt (II), and Cesium (I) Ions from Aqueous Solution	小沼ルミ 瓦田研介 杉森博和 他1名	平成26年 8月11日	Quebec City Convention Centre(カナダ)	Forest Products Society Forest Products Society 68th International Convention
17	Effect of Fire Retardant Concentration on Fire Performance of Japanese Cedar for Glulam	中澤亮二 飯田孝彦 他8名	平成26年 8月11日	Quebec City Convention Centre(カナダ)	Forest Products Society Forest Products Society 68th International Convention
18	Mechanism on De-bromination of Bromofluoroethane Induced by Irradiation in Alcohols	中川清子	平成26年 9月9日	東京大学弥生講堂	5th Asia Pacific Symposium on Radiation Chemistry (APSRC2014)
19	二重収束型高分解能 GD-MS による高純度軽金属材料中の極微量成分の迅速高感度定量	山田健太郎 上本道久	平成26年 9月19日	広島大学 東広島キャンパス	(公社)日本分析化学会 第63年会
20	スクリーン印刷で形成したセパレータ上の導電性被膜の構造と特性	峯 英一 小野澤明良 寺西義一 他2名	平成26年 9月19日	都産技研 本部	(一社)燃料電池開発情報センター 第28回セミナー (FCV フォーラム II)
21	e テキスタイルの開発 燃料電池の応用展開事例	窪寺健吾	平成26年 9月19日	都産技研 本部	(一社)燃料電池開発情報センター 第28回セミナー (FCV フォーラム II)
22	屋外曝露された土木構造物 GFRP の真菌汚染調査および生物汚染の簡易評価手法の検討	小沼ルミ 飯田孝彦 他3名	平成26年 9月24日	品川区立総合区民会館 (きゅりあん)	日本防菌防黴学会 第41回年次大会
23	仮設住宅室内天井パネルにおけるカビ発育性の検討	小沼ルミ 瓦田研介 他8名	平成26年 9月25日	品川区立総合区民会館 (きゅりあん)	日本防菌防黴学会 第41回年次大会
24	東日本大震災被災地の応急仮設住宅に居住するアレルギー性気管支肺真菌症患者宅の真菌叢の推移	小沼ルミ 他12名	平成26年 9月25日	品川区立総合区民会館 (きゅりあん)	日本防菌防黴学会 第41回年次大会
25	LA-ICP-MS による鉄鋼リサイクル材料中の極微量金属の分析	林 英男 他4名	平成26年 9月25日	名古屋大学 東山キャンパス	(一社)日本鉄鋼協会 第168回秋季講演大会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
26	ヤモリテープによる Py-GC/MS に有用な新規サンプル保持方法の検討	神谷嘉美 他 2 名	平成 26 年 10 月 16 日	名古屋国際会議場	(公社)日本分析化学会 高分子分析研究懇談会 第 19 回高分子分析討論会
27	THM-GC/MS を用いた縄文土器に塗布された天然塗料の分析	神谷嘉美 他 2 名	平成 26 年 10 月 17 日	名古屋国際会議場	(公社)日本分析化学会 高分子分析研究懇談会 第 19 回高分子分析討論会
28	文化財科学のための TOF-SIMS 分析の試みー糊として用いられる膠についてー	樋口智寛 他 1 名	平成 26 年 10 月 27 日	御殿場高原時之栖	(一社)表面分析研究会 2014 年度実用表面分析講演会
29	Effect of Contrast Increasing Method Prior to Iteration Procedure on Image Correction for Soft X-ray Projection Microscopy	金城康人 他 6 名	平成 26 年 10 月 28 日	Melbourne Convention and Exhibition Centre (オーストラリア)	12th International Conference on X-Ray Microscopy
30	Synthesis and Application of Supermicroporous Silica for Fusion Materials	渡辺洋人 染川正一 藤巻康人 他 4 名	平成 26 年 11 月 3 日	東京大学 本郷キャンパス	文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究「融合マテリアル」第 2 回国際シンポジウム
31	The Growth Rate and the Electrochemical Properties of B-doped Diamond Films Prepared by Hot-filament Chemical Vapor Deposition Methods	長坂浩志 寺西義一 近藤ゆりこ 他 2 名	平成 26 年 11 月 4 日	島根県立産業交流会館	The 7th International Symposium on Surface Science
32	Synthesis of Metal Ion Absorbent Using Banana Fiber and its Adsorption Properties of Rare Earth Metal Ions	梶山哲人 井上潤 他 2 名	平成 26 年 11 月 11 日	沖縄コンベンションセンター	International Conference of Ion Exchange 2014
33	Adsorption Properties of Modified Banana Fiber to Transition Metal Ions	梶山哲人 井上潤 他 2 名	平成 26 年 11 月 11 日	沖縄コンベンションセンター	International Conference of Ion Exchange 2014
34	Estimation of Relative Reaction Rate of Hydroxy Radical with Anti-oxidants Using ESR Spin Trapping Combined with Water Radiolysis	中川清子 関口正之	平成 26 年 11 月 14 日	奈良県新公会堂	電子スピンスサイエンス学会 第 53 回年会 合同国際会 (APES-IES-SEST2014)
35	電動車椅子危険探知および回避システムの開発	佐藤 研 小西 毅 上野武司 他 5 名	平成 26 年 11 月 15 日	エスフォルタアリーナ八王子	南多摩保健医療圏地域リハビリテーション支援センター 第 3 回 南多摩福祉機器展
36	燃料電池部材用 e テキスタイルの開発	窪寺健吾 峯 英一 小野澤明良 樋口明久 伊東洋一 他 2 名	平成 26 年 11 月 20 日	大阪大学 中之島センター	(一社)日本繊維機械学会 第 21 回秋季セミナー 繊維技術交流
37	酸化ニオブ薄膜の発色の角度依存性についての研究	海老澤瑞枝 他 6 名	平成 26 年 11 月 21 日	京都工芸繊維大学	画像関連学会連合会 第 1 回秋季合同大会
38	Effect of Zirconium Addition on Interfacial Microstructure between Commercial Pure Titanium and Magnesium Alloy Joint by Friction Stir Welding	青沼昌幸 他 1 名	平成 26 年 11 月 27 日	ホテル阪急エキスポパーク	Visual-JW 2014
39	光学活性医薬品を用いた第二倍音領域の振動分光解析	藤巻康人 小金井誠司 他 6 名	平成 26 年 11 月 27 日	筑波大学 大学会館	近赤外研究会 第 30 回近赤外フォーラム
40	自分にあった体操をつくろう！運動誘引システム	後濱龍太	平成 26 年 11 月 29 日	岩手大学 工学部キャンパス	日本福祉工学会 第 17 回総会・第 18 回学術講演

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
41	スルファジアジン銀含有ドレッシング材の持続的抗菌性	柚木俊二 藤井恭子 大藪淑美 他2名	平成26年 12月3日	ホテルメトロ ポリタン仙台	(一社)日本創傷治癒学会 第44回日本創傷治癒学会
42	Enhanced Fluorescence Quantum Yield on Sub-nanometer sized Carbogenic Quantum Dots	林 孝星 渡辺洋人 他2名	平成26年 12月4日	Hynes Convention Center(アメリカ)	2014 MRS Fall Meeting & Exhibit
43	Synthesis and Application of Sub-nanometer sized Transition Metal Oxide Quantum Dots	渡辺洋人 他4名	平成26年 12月4日	Hynes Convention Center(アメリカ)	2014 MRS Fall Meeting & Exhibit
44	スーパーマイクロポーラスシリカを用いたTiO <sub>2</sub> /WO <sub>3</sub> 複合量子ドットの合成とその光触媒活性	渡辺洋人 染川正一 他3名	平成26年 12月12日	東大 駒場リサ ーチキャンパス	光機能材料研究会 第21回 シンポジウム「光触媒反 応の最近の展開」
45	準安定相窒化ホウ素(w-BN)の電子状態計算	太田優一 時田幸一 渡辺洋人	平成27年 3月12日	東海大学 湘南キャンパス	(公社)応用物理学会 第 62回春季学術講演会
46	深紫外LEDを用いたオゾン濃度測定装置の開発	中村広隆 武田有志 他3名	平成27年 3月12日	東海大学 湘南キャンパス	(公社)応用物理学会 第 62回春季学術講演会
47	Surface Deterioration and Microbial Contamination of Wood Plastic Composites under Outdoor Exposure	小沼ルミ 他3名	平成27年 3月16日	タワーホール 船堀	(一社)日本木材学会 International Symposium on Wood Science and Technology 2015
48	Synthesis of Metal Ion Adsorbent Using Banana Fiber and its Adsorption Properties to Rare Metal Ions	梶山哲人 他3名	平成27年 3月24日	Colorado Convention Center(アメリカ)	American Chemical Society 249th ACS National Meeting & Exposition
49	目視による放射線検出のためのボロン酸ピナコールエステル部位をもつカラーフォーマー	関口正之 中川清子 他2名	平成27年 3月26日	日本大学 船橋キャンパス	(公社)日本化学会 第95 春季年会
50	目視による放射線検出のためのフェノキサジン系酸化還元カラーフォーマー	関口正之 中川清子 他2名	平成27年 3月26日	日本大学 船橋キャンパス	(公社)日本化学会 第95 春季年会
51	Deposition of <sup>13</sup> C DLC Films and its Structural Analysis	川口雅弘 他3名	平成27年 3月28日	名古屋大学	(公社)日本応用物理学 会 ISPlasma 2015

## 座長 12件

No.	大会等の名称	職員名	年月日	場所	学会などの名称
1	トライボロジー会議 2014 春東京	川口雅弘	平成26年 5月21日	国立オリンピック 記念青少年総合 センター	(一社)日本トライボロ ジー学会
2	第25回年次大会	梶山哲人	平成26年 6月3日	タワーホール 船堀	(一社)プラスチック成形 加工学会
3	第25回年次大会	清水研一	平成26年 6月3日	タワーホール 船堀	(一社)プラスチック成形 加工学会
4	第25回年次大会	安田 健	平成26年 6月4日	タワーホール 船堀	(一社)プラスチック成形 加工学会
5	平成26年度学術講演大会	浦崎香織里	平成26年 6月6日	工学院大学 新宿キャンパス	(公社)日本材料科学会
6	5th Asia Pacific Symposium on Radiation Chemistry (APSRC2014)	中川清子	平成26年 9月11日	東京大学 弥生 講堂	日本放射線化学会
7	第30回研究発表討論会	神谷嘉美	平成26年 9月19日	明治大学 紫紺館	漆を科学する会
8	トライボロジー会議 2014 秋盛岡	川口雅弘	平成26年 11月6日	アイーナ いわて 県民情報交流 センター	(一社)日本トライボロ ジー学会
9	2014 日本ダイカスト会議	佐藤健二	平成26年 11月15日	パシフィコ横浜	(一社)日本ダイカスト 協会

No.	大会等の名称	職員名	年月日	場所	学会などの名称
10	成形加工シンポジア '14	安田 健	平成 26 年 11 月 15 日	朱鷺メッセ	(一社)プラスチック成形加工学会
11	Visual-JW 2014	青沼昌幸	平成 26 年 11 月 27 日	ホテル阪急エ キスポパーク	大阪大学接合科学研究所
12	ISPlasma 2015	川口雅弘	平成 27 年 3 月 28 日	名古屋大学	(公社)日本応用物理学会

### 依頼講演等 34 件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
1	ダイカストにおける鋳造欠陥とその対策	佐藤健二	平成 26 年 5 月 9 日	マリオス(盛岡 地域交流セン ター)	岩手非鉄金属加工技術 研究会 第 86 回研究会
2	漆を用いた 100 %バイオマス成形材料「サ スティーモ」の開発とクールジャパンへの 展開	木下稔夫	平成 26 年 5 月 13 日	都議会議事堂 都民ホール	東京都技術会議 東京都 技術会議ラボネット 2014
3	ダイヤモンドコーティングの塑性加工用工 具への適用 ～ドライプレス加工の実現・実 用化～	玉置賢次	平成 26 年 6 月 3 日	機械振興会館	(一社)日本鉄鋼協会 創形 創質工学部会 第40回トライ ボロジーフォーラム研究会 「塑性加工用工具材料と 表面改質の最近の動向」
4	公設試験研究機関と中小企業との連携による 製品化事例 ー震災で発生した廃木材の 塩素濃度簡易自動測定装置の開発ー	瓦田研介 他 1 名	平成 26 年 6 月 4 日	タワーホール 船堀	(一社)プラスチック成形 加工学会 プラスチック 成形加工学会 第 25 回年 次大会
5	照射食品検知法の実務と課題	関口正之	平成 26 年 6 月 27 日	京都教育文化 センター	(公社)体質研究会 放射線 照射利用促進協議会 平成 26 年度第 1 回講演会
6	漆の伝統文化と漆芸を科学する	神谷嘉美	平成 26 年 7 月 19 日	明治大学 生田キャンパス	明治大学リバティアカデ ミー リバティアカデミー オープン講座「漆研究の 最前線:漆の文化と科学」
7	都産技研における 3D ものづくり支援につ いて	山内友貴	平成 26 年 8 月 27 日	都産技研 本部	(一社)日本接着学会 第 250 回関東支部月例講演会
8	セラミック技術のせん断加工への展開	玉置賢次	平成 26 年 8 月 29 日	(株)小松精機 工作所	(一社)日本塑性加工学会 金型分科会 第 34 回セミナー
9	漆塗膜の耐久性	木下稔夫	平成 26 年 9 月 2 日	都産技研 本部	マテリアルライフ学会 表面-界面物性研究会 2014 年秋期講演会
10	セラミックスの金型への適用	玉置賢次	平成 26 年 9 月 12 日	機械振興会館	(一社)日本金属プレス 工業協会 第 92 回金属プ レス加工技術研究会
11	漆工芸品(漆器)における国産材利用の現 状と課題	木下稔夫	平成 26 年 9 月 20 日	明治大学 紫紺館	漆を科学する会 第 30 回 研究発表討論会
12	震災で発生した廃木材の塩素濃度簡易自動 測定装置の開発	安藤恵理 杉森博和 荒川 豊 田熊保彦 瓦田研介 他 1 名	平成 26 年 10 月 29 日	秋田ビューホテル	(公社)日本木材加工技術 協会 第 32 回年次大会
13	超高分子量ポリエチレン繊維の表面改質	榎本一郎	平成 26 年 11 月 7 日	住友クラブ	(一社)大阪ニュークリ アサイエンス協会 第 58 回 UV/EB 研究会
14	Application of the Boron Free Nickel Electroplating for Electrical Connectors	浦崎香織里 土井 正	平成 26 年 11 月 13 日	延世大学(韓国)	Korea-Japan International Symposium on Materials Science and Technology (JKMST2014)

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
15	呼吸・心拍の非接触モニタリングシステム用ドップラーレーダの開発	藤原康平 小林丈士	平成26年 12月2日	都産技研 本部	(一社)電気学会 安全な省エネ社会の構築と中小企業支援
16	導電性セラミックス工具によるドライプレス加工	玉置賢次	平成27年 3月13日	KINTEX(韓国)	(一社)日本塑性加工学会 金型分科会, 韓国金型工業協同組合 日韓国際金型シンポジウム
17	光励起-発光計測による耐光性評価法の検討	杉森博和	平成27年 3月17日	早稲田大学 理工学術院総合研究所	マテリアルライフ学会 ケミルミネッセンス研究会 第8回ケミルミネッセンス研究会
18	低熱膨張セラミックスの開発と精密測定での標準器への活用	大西 徹 他4名	平成27年 3月17日	東洋大学 白山キャンパス	(公社)精密工学会 元気の出る新技術講演会 -産学・産産連携への集い-
19	ICP-MS について	林 英男	平成26年 4月14日	環境調査研修所	環境省環境調査研修所 平成26年度特定機器分析研修 I (ICP-MS) (第1回)
20	構造加飾(発色概論)	海老澤瑞枝	平成26年 5月16日	日本テクノセンター 研修室	加飾技術研究会 プラスチック加飾技術の基礎と質感・高級感を向上させる多様な加飾事例
21	放射線滅菌の特徴と滅菌バリデーション	関口正之	平成26年 5月23日	新霞が関ビル	(独)医薬品医療機器総合機構 PMDA 特別研修会
22	分析値の提示と分析値の意味	上本道久	平成26年 6月24日	飯田橋レインボービル	(公社)日本分析化学会 第32回分析化学基礎セミナー(無機分析編)
23	分析化学操作の基礎	林 英男	平成26年 8月27日	東京理科大学 神楽坂キャンパス	(公社)日本分析化学会 関東支部 第24回分析化学基礎実習-化学分析実習コース-
24	(実習)計量機器と器具の取扱い、試薬調製	林 英男	平成26年 8月27日	東京理科大学 神楽坂キャンパス	(公社)日本分析化学会 関東支部 第24回分析化学基礎実習-化学分析実習コース-
25	難溶解物質の前処理法	林 英男	平成26年 8月28日	東京理科大学 神楽坂キャンパス	(公社)日本分析化学会 関東支部 第24回分析化学基礎実習-化学分析実習コース-
26	測定値の取扱い	上本道久	平成26年 8月29日	東京理科大学 神楽坂キャンパス	(公社)日本分析化学会 関東支部 第24回分析化学基礎実習
27	ダイカストの内部欠陥の事例とその対策	佐藤健二	平成26年 10月6日	ウルサン・ロッテホテル(韓国)	9th International Die Casting Seminar
28	中小企業の3Dプリンター活用法 ～製造現場はどう変わるか～	阿保友二郎	平成26年 10月24日	東京都中小企業振興公社 多摩支社	(公財)東京都中小企業振興公社 モノづくり企業のための3Dプリンター活用セミナー
29	産業及び技術支援へのレーザー活用	三尾 淳	平成26年 12月7日	タワーホール船堀	(一社)日本レーザー歯学会 第26回日本レーザー歯学会総会・学術大会
30	放射光と計算機で探るボロンドープダイヤモンドの電子状態	太田優一	平成27年 1月30日	じばさんびる	兵庫県立大学 第4回放射光と計算科学の研究会
31	FPGA を活用した研究開発事例紹介～高精度な遅延量検出を目指して～	岡部 忠 武田有志	平成27年 1月30日	都産技研 本部	(特非)FPGA コンソーシアム 東京 FPGA カンファレンス 2015 with プログラマブルデバイスプラザ

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
32	人の特性、生活環境・空間を生かしたものづくり	島田茂伸	平成 27 年 2 月 9 日	長野県工業技術総合センター	長野県工業技術総合センター 人の動作を考慮した製品開発研究会(第 6 回)
33	亜鉛合金ダイカスト特有の不良とその対策	佐藤健二	平成 27 年 2 月 20 日	機械振興会館	(一財)素形材センター 素形材技術セミナー「材質別に見たダイカストの不良とその対策」
34	粉末冶金の魅力と材料プロセスの基礎検討	岩岡 拓	平成 27 年 2 月 27 日	理化学研究所 和光地区	トライボコーティング技術研究会 第 17 回理研シンポジウム「トライボコーティングの現状と将来」

### 依頼原稿－研究成果－ 17 件

No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌名など
1	高速 NIR 分光器を活用した錠剤含量分析法－PAT の可能性を探る－	藤巻康人 小金井誠司 他 6 名	(株)じほう	PHARM TECH JAPAN
2	ミャンマーで作られた馬毛胎漆器に関する科学分析	神谷嘉美	明治大学バイオ資源化学研究所	明治大学戦略的基盤形成推進事業「歴史的な漆工芸品を科学分析評価するシステムの構築」紀要
3	視知覚研究とその応用	岩永敏秀 中村広隆 他 4 名	日本官能評価学会	日本官能評価学会誌
4	漏れ電流測定値に対する環境の影響－試験現場からの報告－	岡野 宏 長谷川孝 西澤裕輔	(株)学研メディカル秀潤社	Clinical Engineering
5	コラーゲン改質技術による細胞培養基板の構築	柚木俊二 大藪淑美	(株)技術情報協会	《最新》動物細胞培養の手法と細胞死・増殖不良・細胞変異を防止する技術
6	燃料電池セパレータ加工へのスクリーン印刷技術の応用	峯 英一	(株)理工出版社	塗装技術 2014 年 5 月別冊号
7	ドライプレス加工の変遷とその開発の最前線	玉置賢次 横澤 毅 中村健太	(一社)日本塑性加工学会	塑性と加工
8	特別寄稿 1. 照射食品検知法の実務と課題	関口正之	(公財)体質研究会 放射線照射利用促進協議会	JAPI ニューズレター
9	特別寄稿 照射食品検知法の実務と課題 2. 検知法の手順と判定法	関口正之	(公財)体質研究会 放射線照射利用促進協議会	JAPI ニューズレター
10	特別寄稿 照射食品検知法の実務と課題 3. 当センターで実施した事例研究	関口正之	(公財)体質研究会 放射線照射利用促進協議会	JAPI ニューズレター
11	総説 照射食品検知法の現状と新たな展開	関口正之	日本食品照射研究協議会	食品照射
12	低熱膨張セラミックスの開発と精密測定での標準器への活用	大西 徹 他 4 名	(公社)精密工学会	精密工学会誌
13	超高分子量ポリエチレン素材の表面処理技術	榎本一郎	(株)技術情報協会	LiB の高容量・高耐久化のための電極-電解液(質)の界面制御技術と解析・評価法
14	有害物を含まない赤色ガラス	大久保一宏 上部隆男 他 2 名	(一社)ニューガラスフォーラム	機関誌「NEW GLASS」
15	熱処理木材の耐候性に及ぼす塗装効果	村井まどか	(株)理工出版社	塗装技術
16	直線部を有する CFRP 製環状ばね	西川康博	日本ばね学会	日本ばね学会会報
17	第三章 マイクロバブル(ファインバブル)応用のポイント/第 12 節 その他応用/第 1 項 染色加工	榎本一郎	(株)情報機構	マイクロバブル(ファインバブル)のメカニズム・特性制御と実際応用のポイント



### 依頼原稿－技術解説－ 7件

No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌名など
1	3Dプリンタについての基礎知識	阿保友二郎	日本工業出版(株)	油空圧技術
2	Wood Adhesives 2013 in Toronto 参加報告	瓦田研介	(公社)日本木材加工技術協会	木材工業
3	製布工学	近藤幹也 他1名	(株)繊維社	最新テキスタイル工学II
4	現場環境における3次元測定の高度化	大西 徹	(株)日刊工業新聞社	日刊工業新聞
5	Quantum espresso ハンズオンチュートリアル	太田優一	兵庫県立大学 産学連携・研究推進機構 放射光ナノテクセンター	第一原理計算コード“QUANTUM ESPRESSO”の企業研究者講習会
6	食品照射研究の歴史と現状 解説 33. 国内における照射食品検知技術の開発	関口正之	日本食品照射研究協議会	食品照射
7	大規模・複雑化した組込みシステムのための障害診断手法	大原 衛	(独)情報処理推進機構	(独)情報処理推進機構技術本部 ソフトウェア高信頼化センター ソフトウェア高信頼化推進委員会 障害原因診断 WG 提案書

### 依頼原稿－事業紹介－ 3件

No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌名など
1	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの紹介	近藤幹也	燃料電池開発情報センター	燃料電池
2	東京都立産業技術研究センター城南支所～ものづくりおおたの最前線と計測技術～	上本道久	(一社)日本計量振興協会	計測標準と計量管理
3	都産技研における3Dものづくり技術支援のご紹介	木暮尊志	(一社)日本オプトメカトロニクス協会	光技術コンタクト

### 規格策定・本執筆・書評等 10件

No.	発表タイトル	発表者	学会等の名称	誌名など
1	東京・南関東支部 第3回技術フォーラム「医療機器製造における塑性加工の役割」実施報告	玉置賢次	(一社)日本塑性加工学会	塑性と加工
2	小径管のバルジ加工機械の製作および性能評価	奥出裕亮 他3名	(一社)日本塑性加工学会	第65回塑性加工連合講演会
3	血管内におけるマグネシウム合金ステントの拡張シミュレーション	奥出裕亮 他4名	(一社)日本塑性加工学会	第65回塑性加工連合講演会
4	震災で発生した廃木材の塩素濃度簡易自動測定装置の製品化	安藤恵理 杉森博和 荒川 豊 田熊保彦 瓦田研介 他1名	(公社)日本木材加工技術協会	第13回市川賞
5	日本木材保存協会第30回年次大会公開シンポジウム「日本と世界の木材保存はどこに向かうか」に参加して	村井まどか	(公社)日本木材保存協会	木材保存
6	レーザフラッシュ法熱拡散率測定ラウンドロビンテスト	沼尻治彦 他9名	日本熱物性学会	第35回日本熱物性シンポジウム

No.	発表タイトル	発表者	学会等の名称	誌名など
7	2014 ワールド・エコノ・ムーブへの参加	渡部友太郎 近藤幹也 水元和成 入川 涼	ワールド・エコノ・ムーブ組織委員会	2014 ワールド・エコノ・ムーブ
8	電子機器組立ての試験対策	三上和正	科学図書出版株式会社	技能検定「電子機器組立ての試験対策」
9	JIS T 0806-2: 2014 ヘルスケア製品の滅菌-放射線-第2部: 滅菌線量の確立	関口正之 (改正原案作成委員会)	日本規格協会(原案作成: (一社)日本医療機器学会)	JIS T 0806-2: 2014 ヘルスケア製品の滅菌-放射線-第2部: 滅菌線量の確立
10	JIS T 8112:2014 の改正	瀧田和宣 (改正委員会)	日本規格協会(原案作成: (公社)日本保安用品協会)	JIS T 8112: 2014 電気絶縁用手袋

※外部発表は、『平成 25 年度年報』未掲載分を含む。

## 6.5 職員の受賞

国内外の学協会等から、研究成果の実用化、優れた研究、技術の普及・移転に対して9件の賞を受けた。

### 平成26年度受賞実績

受賞名	2013年度グッドデザイン・ロングライフデザイン賞
件名	掛け時計／プライウッドクロック T1-017
受賞者	森 豊史（システムデザインセクター）
受賞名	第13回市川賞
件名	震災で発生した廃木材の塩素濃度簡易自動測定装置の開発
受賞者	安藤恵理、杉森博和、荒川 豊（環境技術グループ） 瓦田研介、田熊保彦（経営企画室）
受賞名	平成26年度公益社団法人日本鑄造工学会 飯高賞
件名	ダイカスト及びアルミニウム合金鑄物に関する研究業績
受賞者	佐藤健二（機械技術グループ）
受賞名	日本塑性加工学会東京・南関東支部賞 奨励賞
件名	A1合金非対称断面チャンネル材の高精度回転引き曲げ加工の開発
受賞者	奥出裕亮（機械技術グループ）
受賞名	2014年度精密工学会技術賞
件名	低熱膨張セラミックスの開発と精密測定での標準器への活用
受賞者	大西 徹（電子・機械グループ）
受賞名	第19回高分子分析討論会 ポスター賞
件名	ヤモリテープによるPy-GC/MSに有用な新規サンプル保持方法の検討
受賞者	神谷嘉美（繊維・化学グループ）
受賞名	一般社団法人日本繊維製品消費科学 2014年 年次大会口頭発表 若手研究発表部門 若手優秀発表賞
件名	発表及び質疑に対するプレゼンテーション力
受賞者	菅谷紘子（生活技術開発セクター）
受賞名	Surface Analysis Society of Japan awards Powell Prize (3 <sup>rd</sup> prize) 2014
件名	For the best presentation of the year of 2014
受賞者	樋口智寛（城東支所）
受賞名	データサイエンス・アドベンチャー杯 一般部門 優秀賞
件名	都産技研チーム
受賞者	大平倫宏（情報技術グループ）

## 6.6 研究評価制度

研究事業を産業界や社会のニーズに対応させ、都産技研資産を活用してより効果的・効率的に推進するため、学識経験者および産業界有識者らの評価で構成される研究課題外部評価制度を運用・実施した。

### 6.6.1 評価方法

研究課題の個別評価は、計画性、技術性、発展性の3項目について(A)非常に良い、(B)良い、(C)やや良い、(D)やや悪い、(E)悪い の5段階評価とした。

研究分野の評価は、公共性、技術性、戦略性の3項目について(A)非常に良い、(B)良い、(C)やや良い、(D)やや悪い、(E)悪い の5段階評価とした。

### 6.6.2 評価結果

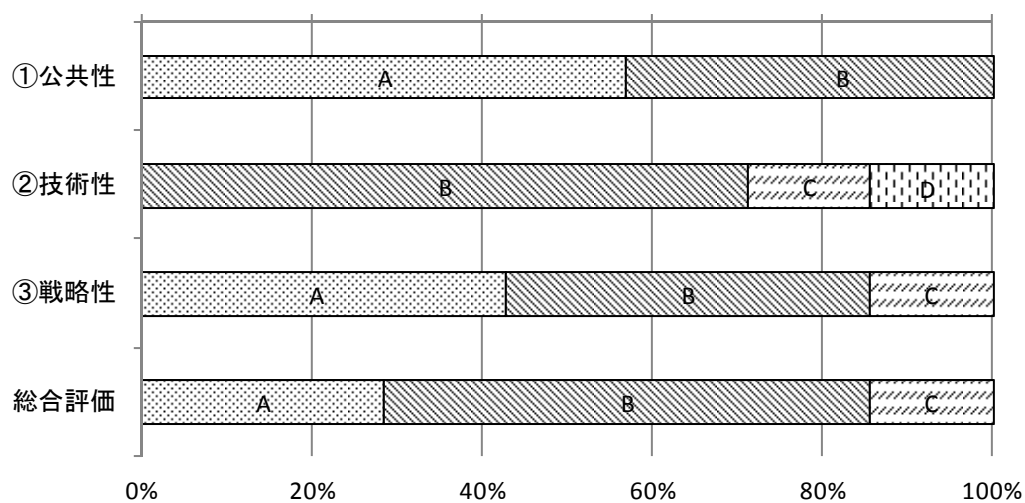
#### (1) 環境・省エネルギー分野（機械系）

評価員7名、評価対象テーマ数：2

テーマ 1：塑性加工用プレス加工機の余剰エネルギーを利用した発電技術の開発

テーマ 2：小試料による音響透過損失測定手法の開発テーマ

評価分布



(2) ものづくり分野

評価員 6 名、 評価対象テーマ数：6

テーマ 1：マグネシウム合金切削屑の無加圧焼結法

テーマ 2：圧力測定用材料の開発

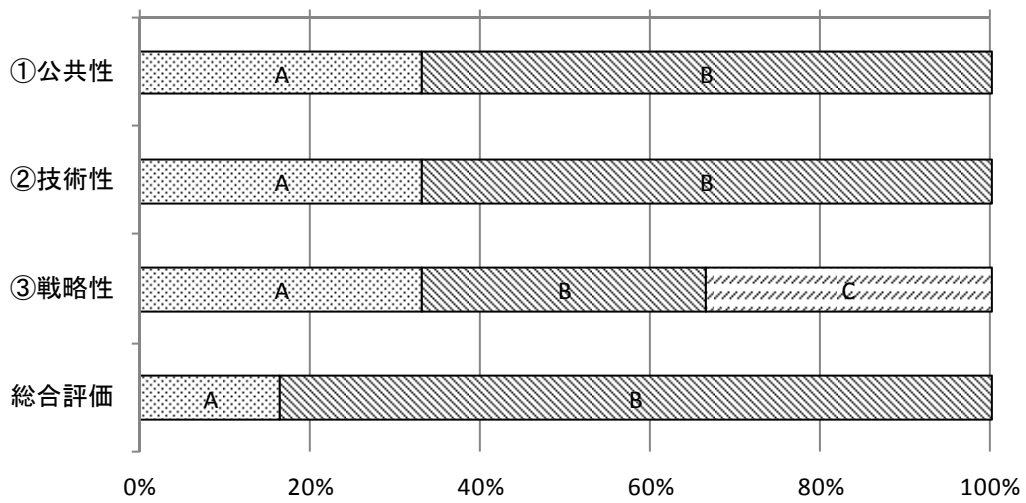
テーマ 3：強ひずみ加工によるアルミ合金切削屑の固化成形

テーマ 4：高剛性サンドイッチ構造の開発

テーマ 5：マイクロ波加熱による炭素粉末材料の酸化処理方法の開発とその評価

テーマ 6：布の風合い評価における荷重特性評価

評価分布

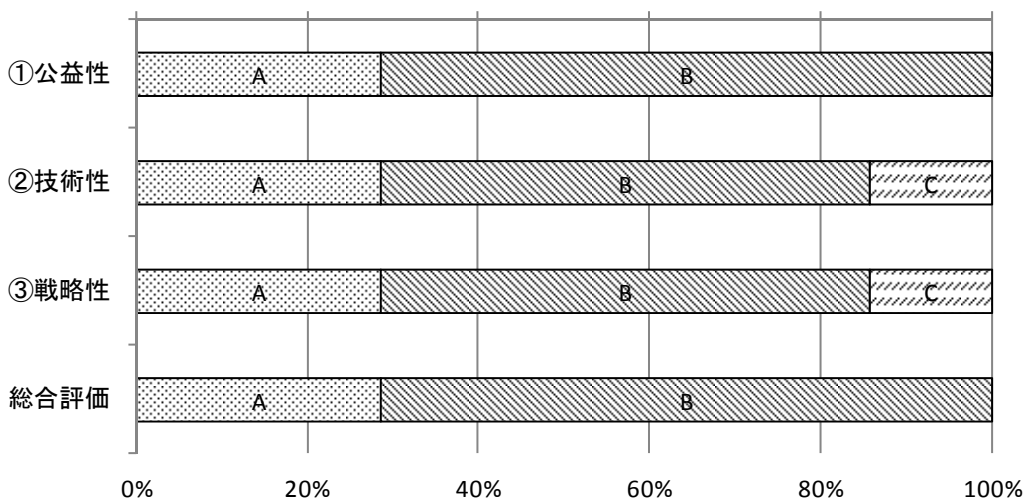


(3) メカトロニクス分野

評価員 7 名、 評価対象テーマ数：1

テーマ 1：バルーンロボットの開発

評価分布



(4) 情報技術分野

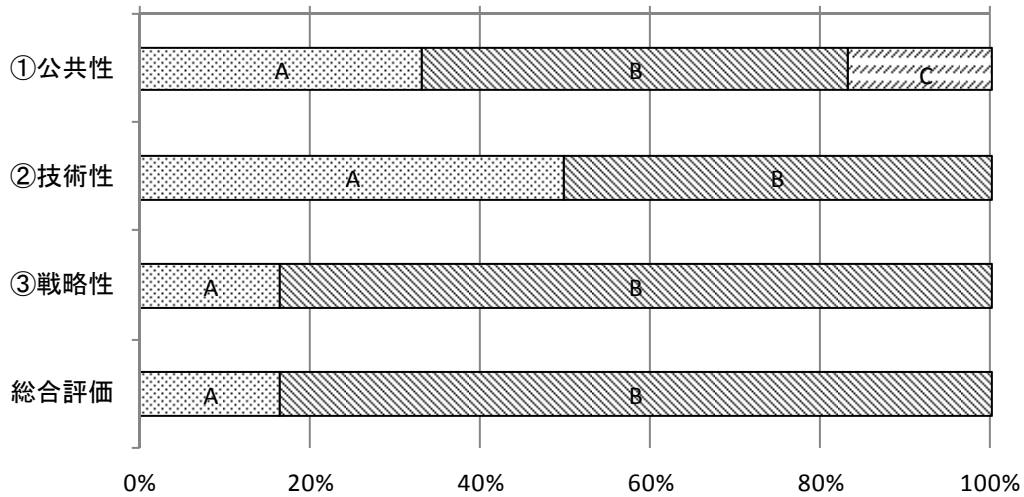
評価員 6 名、評価対象テーマ数：3

テーマ 1：階層的自動タグ付けによるエキスパート検索エンジンの研究・開発

テーマ 2：ロボット制御に用いるための生体電位センサの開発

テーマ 3：低コスト基板上光通信路実装技術の開発

評価分布

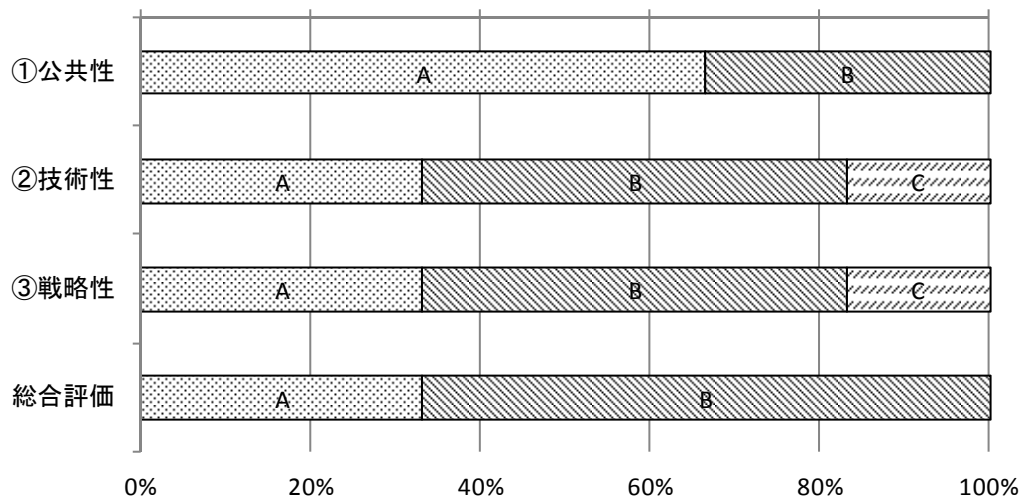


(5) EMC・半導体/エレクトロニクス分野

評価員 6 名、評価対象テーマ数：1

テーマ 1：電磁波抑制シートの電気的特性と抑制効果

評価分布



(6) 環境・省エネルギー分野（化学系）

評価員 6 名、 評価対象テーマ数：6

テーマ 1：環境低負荷型クエン酸ニッケルめっきの電子部品用めっき技術への適用

テーマ 2：天然繊維を用いた金属イオン捕集材の開発

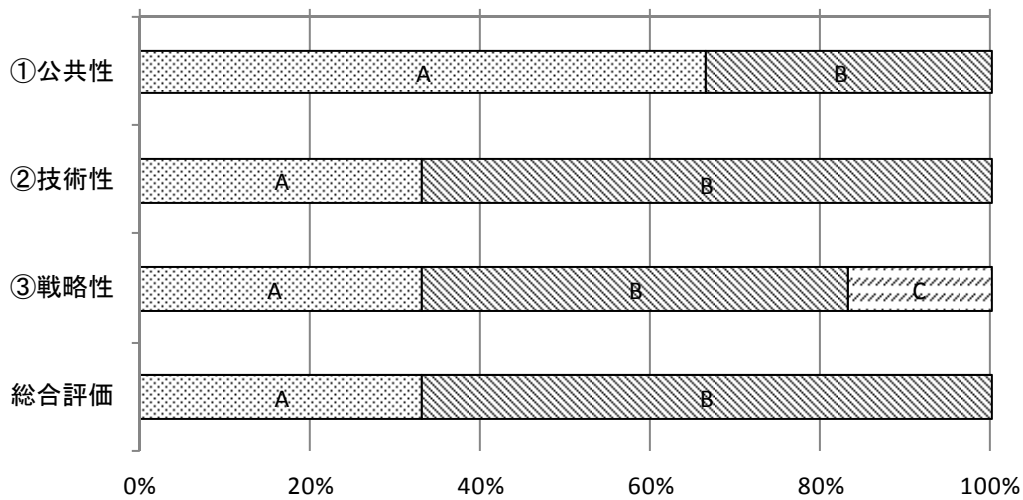
テーマ 3：高効率炭素ドット蛍光体の開発

テーマ 4：酵素分解イオン液体法によるセルロース抽出の高効率化

テーマ 5：アルミニウム合金スクラップの迅速種別判定方法の検討

テーマ 6：塗装した熱処理木材の耐候性

評価分布



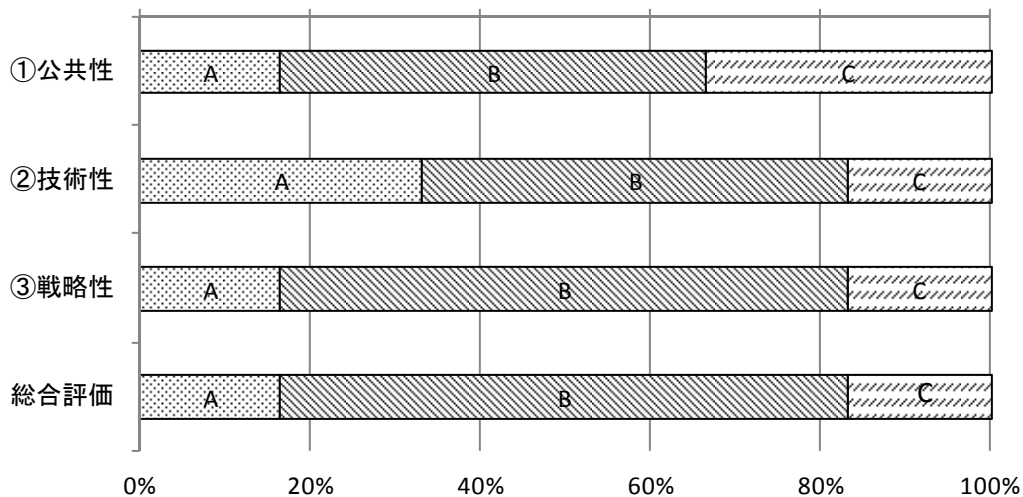
(7) バイオ応用分野

評価員 6 名、 評価対象テーマ数：2

テーマ 1：ESR と放射線照射を利用した OH ラジカル消去能評価法

テーマ 2：シクロデキストリン包装によるピレン骨格蛍光色素の光退色挙動

評価分布



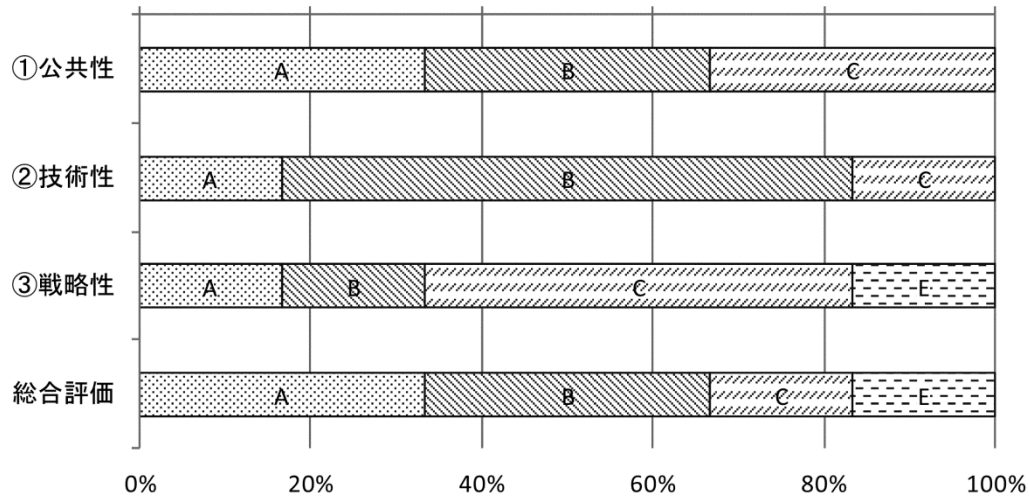
(8) 震災復興分野

評価員 6 名、 評価対象テーマ数：2

テーマ 1：全光束測定における出力安定度の評価方法及び計測システムの開発

テーマ 2：天然抗菌成分を利用した環境調和型木材用防カビ剤の開発

評価分布



(9) 品質強化分野

評価員 6 名、 評価対象テーマ数：4

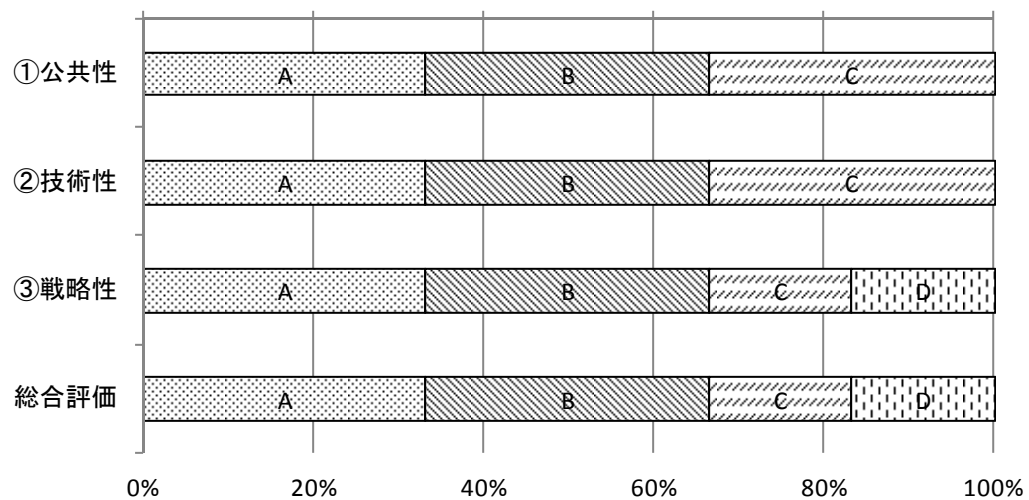
テーマ 1：赤外域における放射照度分布測定の見直し

テーマ 2：熱電対を用いた表面温度測定における誤差の低減化

テーマ 3：レーザー干渉計の不確かさ算出方法の開発

テーマ 4：ガラスの鏡面創成用砥石の研究

評価分布





### 6.6.3 平成26年度委員

	氏名	所属（現職）	評価分野
1	荻野重人	埼玉県産業技術総合センター 主任研究員	環境・省エネルギー（機械系）/メカトロニクス
2	島田文生	都産技研 産学公連携コーディネータ	環境・省エネルギー（機械系）/メカトロニクス
3	高村悦夫	都産技研 産学公連携コーディネータ	環境・省エネルギー（機械系）/メカトロニクス
4	桜井政考	首都大学東京 総合研究推進機構 副機構長 研究推進担当部長	環境・省エネルギー（機械系）/メカトロニクス、 環境・省エネルギー（化学系）/バイオ応用
5	北村泰三	都産技研 産学公連携コーディネータ	環境・省エネルギー（機械系）/メカトロニクス
6	渡邊 勇	(一社)発明推進協会知的財産研究センター知的財産プロデューサーグループ（兼）知的財産総合支援グループ	環境・省エネルギー（機械系）/メカトロニクス
7	森田孝男	(独)産業技術総合研究所 デジタルヒューマン工学研究センター 健康増進技術研究チーム 主任研究員	環境・省エネルギー（機械系）/メカトロニクス
8	井出美恵子	横浜市工業技術支援センター 表面処理担当	ものづくり
9	田中敬三	都産技研 産学公連携コーディネータ	ものづくり
10	武井貴弘	山梨大学 教授	ものづくり
11	寺門一佳	日立オートモティブシステムズ株式会社 主管技師	ものづくり
12	日原政彦	都産技研 エンジニアリングアドバイザー	ものづくり
13	大西 徹	機械振興会 産学官連携センター（東久留米） 技術支援課	ものづくり
14	安藤昌弘	埼玉県産業技術総合センター 担当部長	情報技術/EMC・半導体、 エレクトロニクス
15	金田光範	都産技研 産学公連携コーディネータ	情報技術/EMC・半導体、 エレクトロニクス
16	村越英樹	産業技術大学院大学創造技術専攻 教授	情報技術/EMC・半導体、 エレクトロニクス
17	河面英則	都産技研 エンジニアリングアドバイザー	情報技術/EMC・半導体、 エレクトロニクス
18	柴田義文	都産技研 エンジニアリングアドバイザー	情報技術/EMC・半導体、 エレクトロニクス
19	大屋誠志郎	神奈川県産業技術センター 電子技術部 部長	情報技術/EMC・半導体、 エレクトロニクス
20	志田あずさ	横浜市工業技術支援センター表面処理担当 技術士(化学)、工学博士	環境・省エネルギー（化学系）/バイオ応用
21	石井昭彦	埼玉大学大学院理工学研究科 教授	環境・省エネルギー（化学系）/バイオ応用
22	横瀬敬二	都産技研 エンジニアリングアドバイザー	環境・省エネルギー（化学系）/バイオ応用

	氏名	所属（現職）	評価分野
23	平山良夫	都産技研 エンジニアリングアドバイザー	環境・省エネルギー（化学系）/バイオ応用
24	加藤千尋	神奈川県産業技術センター 化学技術部 副部長	環境・省エネルギー（化学系）/バイオ応用
25	山畑利行	千葉県産業支援技術研究所 生産技術室長	震災復興/品質強化
26	小西 穎	都産技研 産学公連携コーディネータ	震災復興/品質強化
27	山家哲雄	日本大学生産工学部 専任講師	震災復興/品質強化
28	長川雅昭	元都産技研 エンジニアリングアドバイザー	震災復興/品質強化
29	河本康太郎	元都産技研 エンジニアリングアドバイザー	震災復興/品質強化
30	中西俊彦	首都大学東京 産学公連携センター 連携知財係長 兼 統括コーディネータ	震災復興/品質強化

※敬称略

## 7. 産業人材育成

### 7.1 技術セミナー・講習会

中小企業等の技術力向上と振興を図ることを目的として、材料、加工、計測・分析、資源環境、情報、電子、放射線応用、デザイン、繊維、福祉・生活雑貨などの各分野の最新技術、トピックスをテーマとした各種技術セミナー・講習会を開催した。

#### 7.1.1 技術セミナー・講習会一覧

##### (1) 講習会・技術セミナーの応募者・受講者数

名称	担当 G/S・室 支所	人数(名)			規模				
		定員	応募	受講	日数	講義 時間	実習 時間	合計 時間	開催 初日
●講習会									
ナノテクノロジー分野									
MEMS 技術Ⅰ リソグラフィ	電子半導体	4	4	4	1	1	3	4	5/28
MEMS 技術Ⅱ ドライエッチング	電子半導体	4	4	4	1	1	3	4	7/29
MEMS 技術Ⅲ シリコンエッチング	電子半導体	4	4	3	1	1	3	4	10/2
情報技術分野									
チームリーダーのためのプロジェクトマネジメント	情報	25	31	28	1	2	2	4	6/27
ものづくり開発のための組込みC言語入門	情報	12	12	11	2	6	6	12	7/23
GPGPUによる画像処理入門	情報	20	21	19	1	1	5	6	8/28
SoC向けデジタル回路設計入門 (VHDL・Xilinx編)	情報	4	4	3	1	0	6	6	12/11
エレクトロニクス分野									
【多摩テクノプラザで電子製品開発を学ぶ】無線モジュール使い方入門	電子・機械	10	12	10	1	2	2	4	5/23
【多摩テクノプラザで電子製品開発を学ぶ】基板設計入門	電子・機械	10	12	10	1	1	3	4	6/20
【多摩テクノプラザで電子製品開発を学ぶ】組込みマイコン制御入門	電子・機械	10	15	10	1	2	2	4	6/27
【多摩テクノプラザで電子製品開発を学ぶ】スマホで簡単！電子制御入門	電子・機械	10	13	10	1	1.5	2.5	4	7/25
【多摩テクノプラザで電子製品開発を学ぶ】マイコンを活用した無線センサーネットワーク機器開発入門	電子・機械	10	15	10	1	3	3	6	8/1
【多摩テクノプラザで電子製品開発を学ぶ】デジタル回路設計応用【全3回】	電子・機械	9	10	8	3	6	6	12	9/19
<デジタル回路設計応用・オプション講習>CAD使い方講習	電子・機械	4	7	7	1	2	2	4	9/5
【多摩テクノプラザが提唱するフロントローディング】SPICEシミュレータを用いた伝送線路解析入門	電子・機械	10	11	10	1	2	2	4	5/30
電気用品安全法って何だろう	電子半導体	15	20	20	1	3.5	2	5.5	7/1
電源回路設計の基礎	電子半導体	12	12	12	1	4	2.5	6.5	10/8

名称	担当 G/S・室 支所	人数(名)			規模				
		定員	応募	受講	日数	講義 時間	実習 時間	合計 時間	開催 初日
システムデザイン分野									
3D-CAD 入門 (第 1 回)	システム デザイン	8	8	8	1	3	2	5	5/21
3D-CAD 入門 (第 2 回)	システム デザイン	8	8	6	1	3	2.5	5.5	7/16
3D-CAD 入門 (第 3 回)	システム デザイン	8	8	8	1	3	2	5	9/10
3D-CAD 入門 (第 4 回)	システム デザイン	8	8	8	1	3	2	5	12/3
多摩テクノプラザで学ぶ CAD の基礎 3D-CAD 入門	電子・機械	6	8	6	1	1	4	5	6/13
グラフィックソフトを使用したチラシ 作成講座	システム デザイン	6	7	6	1	4	1	5	5/22
グラフィックソフトを使用したチラシ 作成講座	システム デザイン	7	7	6	1	4	1	5	6/24
第 1 回デザイン実践講習会「グラフィ ックデザイン」	城東支所	5	6	6	1	1	4	5	11/26
第 2 回デザイン実践講習会「写真加工」	城東支所	5	7	7	1	1	4	5	11/27
環境・省エネルギー分野									
省エネのための熱設計入門	情報	3	3	2	1	3	3	6	6/13
省エネのための熱設計入門 (第 2 回)	情報	3	3	3	1	3	3	6	1/9
RoHS 指令に対応した六価クロム測定 実習	環境	5	5	5	1	1.5	4	5.5	12/9
バイオ応用分野									
バイオ燃料・バイオプラスチックの 簡易判別法	バイオ応用	5	6	6	1	2.5	1.5	4	8/29
メカトロニクス分野									
【多摩テクノプラザで学ぶ試験の基礎】 振動試験始めの一步	電子・機械	6	10	6	1	3	2	5	5/30
振動試験規格と振動試験の進め方 (第 1 回)	機械	10	12	12	1	4	2	6	6/11
振動試験規格と振動試験の進め方 (第 2 回)	機械	10	10	9	1	4	2	6	11/10
LabVIEW による産業用ロボット実習 (第 1 回)	機械	5	5	5	1	0	4	4	1/14
EMC・半導体分野									
【多摩テクノプラザで電子製品開発を 学ぶ】初めての電子回路設計	電子・機械	10	10	9	1	2	2	4	5/16
【EMC サイトで学ぶ試験の基礎】 実習で学ぶイミュニティ試験の基礎	電子・機械	15	18	16	1	2	4	6	6/27
【EMC サイトで学ぶ試験の基礎】 実習で学ぶ EMI と対策部品の基礎	電子・機械	15	17	17	1	1	5	6	7/4
近傍界解析入門	電子・機械	10	6	5	1	3	1	4	8/22
品質強化分野									
精密万能試験機による製品・材料の 強度評価 (第 1 回)	実証試験	10	11	10	1	1	3	4	5/15
精密万能試験機による製品・材料の 強度評価 (第 2 回)	実証試験	10	11	10	1	1	3	4	8/21
精密万能試験機による製品・材料の 強度評価 (第 3 回)	実証試験	10	10	10	1	1	3	4	11/12

名称	担当 G/S・室 支所	人数（名）			規模				
		定員	応募	受講	日数	講義 時間	実習 時間	合計 時間	開催 初日
精密万能試験機による製品・材料の強度評価（第4回）	実証試験	10	10	10	1	1	3	4	2/12
鉛フリーはんだ付け講習会（作業者向け）	電子半導体	10	10	10	2	0.5	8.5	9	6/26
鉛フリーはんだ付け講習会（監督者向け）	電子半導体	15	15	15	1	3	4	7	8/29
電子機器の非破壊検査入門（X線CT装置）	情報	5	5	5	1	0.5	3.5	4	7/7
現場で役立つ製品事故の解決法～抗菌・抗カビ編～	環境	5	6	5	2	3	7	10	7/8
多摩テクノプラザにおける機器分析ー蛍光X線分析装置実習ー	繊維・化学	6	8	6	1	1	3	4	7/25
熱拡散率測定（第1回）	実証試験	16	18	15	1	3	3	6	8/1
熱拡散率測定（第2回）	材料	16	14	14	1	3	3	6	2/5
品質管理者のための故障解析	電子半導体	20	21	21	2	9	3	12	10/30
蛍光X線分析装置活用講習会	城東支所	5	6	6	1	2	1	3	11/21
ノイズにおけるIEC（国際規格）入門	城東支所	5	5	5	1	1.5	1.5	3	11/27
異物や付着物の分析と解析法	城東支所	5	6	6	1	3	3	6	12/3
現場で役立つ顕微鏡観察テクニック初心者のための顕微鏡活用法～繊維素材の観察法～	生活技術開発	8	8	8	1	1	3	4	2/3
発注者のためのめっきの品質管理	表面	5	5	5	1	2	4	6	2/6
品質管理担当者向け実践 材料分析入門	材料	9	9	9	1	2.5	3.5	6	2/26
現場で役立つ製品事故の解決法電子顕微鏡（SEM）編	高度分析開発	8	4	4	1	3	3	6	3/3
異物発生 その時に！ー異物分析との正しい向き合い方ー	材料	8	8	8	1	3	1	4	3/12
ものづくり基盤技術分野									
接触角計によるぬれ性の評価	繊維・化学	5	7	5	1	3	3	6	6/5
【多摩テクノプラザで学ぶ試験の基礎】粗さ測定入門	電子・機械	6	6	6	1	2	2	4	6/24
【多摩テクノプラザで学ぶ試験の基礎】はじめての形状公差の読み方、測り方	電子・機械	6	9	6	1	2	2	4	1/16
繊維評価技術（繊維物性試験実習）	繊維・化学	8	11	7	1	1	3	4	6/25
（材料試験の実習付き）鉄鋼材料の基礎と材料力学入門	電子・機械	4	4	4	1	2	3	5	7/2
照明技術Ⅰ基礎的な測定・評価・実習	光音	10	11	10	2	6	8	14	7/2
騒音測定技術ー現場でできる騒音測定ー	光音	12	11	11	1	2	4	6	7/25
【機械設計・基礎講座シリーズ】ひずみゲージを用いた応力測定入門	電子・機械	4	7	4	1	2	4	6	8/1
【機械設計・基礎講座シリーズ】はじめてのCAE応力解析入門	電子・機械	4	5	4	1	2	2	4	10/10
光学測定講習会（色彩・ヘーズ・光沢）	城東支所	5	6	6	1	2	1	3	8/1
照明技術Ⅲ光学・照明シミュレーション実習	光音	4	6	6	1	0	5	5	8/22

名称	担当 G/S・室 支所	人数(名)			規模				
		定員	応募	受講	日数	講義 時間	実習 時間	合計 時間	開催 初日
品質工学による製品開発期間の短縮	情報	20	24	23	1	0	6	6	9/10
ものづくりのための機械加工入門	機械	10	10	7	1	3	3	6	9/29
3Dプリンタ造形品への塗装技術	表面	20	15	14	1	2	3.5	5.5	11/12
静電植毛加工技術	城東支所	15	14	13	1	3	1	4	11/14
プラスチック成形と各種物性測定の実験	材料	6	6	5	1	1.5	3.5	5	12/4
営業で役立つものづくり基礎の基礎 金属上の硬質薄膜の評価編	表面	6	6	6	1	1	2	3	12/5
設計から営業まで役立つ実践型木工 塗装技術	表面	5	5	5	2	3	10	13	12/9
品質保証のための測定機器の活用方法	高度分析 開発	10	10	10	1	3.5	1.5	5	2/20
講習会	77件	677	742	669	85	177	245.5	422.5	
●技術セミナー									
エレクトロニクス分野									
【電気安全・開発支援セミナー】 製品安全における電気試験の考え方 と進め方	電子・機械	50	59	58	1	3.5	-	3.5	8/28
システムデザイン分野									
ものづくりを革新するデザインマネ ジメント	システム デザイン	30	42	40	1	3	-	3	6/5
環境・省エネルギー分野									
環境物質規制対策セミナー ーRoHS, REACHー	繊維・化学	50	46	44	1	3.5	-	3.5	7/16
騒音防止技術 ー遮音・吸音・防振・制振ー	光音	20	30	28	1	6	-	6	9/30
バイオ応用分野									
医療機器滅菌の基礎と実務のポイント (放射線/E0/湿熱滅菌・滅菌包装)	バイオ応用	25	36	35	1	3.8	-	3.8	2/10
放射線の基礎、測定の実際と生体へ の影響	バイオ応用	50	17	17	1	6	-	6	3/13
メカトロニクス分野									
営業で役立つものづくり基礎の基礎 振動試験編	機械	20	20	19	1	3.5	-	3.5	2/26
EMC・半導体分野									
イミュニティ対策にお困りの方必見! ノイズに強い製品をつくる	電子・機械	80	36	36	1	3.5	-	3.5	2/10
品質強化分野									
ケアラベルの国際規格化の動向&企 業における消費者対応	生活技術 開発	40	44	40	1	4	-	4	6/12
プラスチック入門セミナー 物性・分析・評価から3Dプリンター による造形まで	電子・機械	30	34	33	1	3	-	3	7/11
初心者のためのやさしい破断面の見方	城南支所	30	50	50	1	5	-	5	7/23
プラスチック材料の基礎 ー合成から強度特性までー	電子・機械	30	55	52	1	3	-	3	9/12
3Dプリンタ事始め	生活技術 開発	40	27	26	1	4	-	4	3/4

名称	担当 G/S・室 支所	人数（名）			規模				
		定員	応募	受講	日数	講義 時間	実習 時間	合計 時間	開催 初日
現場で使える視覚認知入門	生活技術 開発	30	12	10	1	4	-	4	3/12
ものづくり基盤技術分野									
クリエイティブ産業のためのカラートレンド情報と三次元衣服設計の現状	生活技術 開発	40	45	44	1	4	-	4	6/23
騒音の基礎 ～売れる製品のための音の知識～	光音	20	21	21	1	4	-	4	6/27
照明・熱シミュレーションを利用した開発事例ならびに設計の基礎	光音	100	120	111	1	4	-	4	7/4
営業で役立つものづくりの基礎の基礎 ゴム・エラストマーの基本	繊維・化学	20	42	41	1	2.5	-	2.5	7/29
営業で役立つものづくりの基礎の基礎 ニット製造技術	生活技術 開発	40	46	46	1	4	-	4	9/4
営業で役立つものづくりの基礎の基礎 機械加工編	機械	30	28	24	1	6	-	6	9/26
営業で役立つものづくりの基礎 表面処理の基礎（湿式編）	繊維・化学	30	12	11	1	6.5	-	6.5	11/7
営業で役立つものづくりの基礎 表面処理の基礎（乾式編）	繊維・化学	30	12	10	1	6	-	6	11/25
現場と営業で役立つ素材・製品における色の基礎（第1回）	実証試験	30	33	31	1	3	-	3	9/26
現場と営業で役立つ素材・製品における色の基礎（第2回）	生活技術 開発	30	23	21	1	5.2	-	5.2	3/6
鉄鋼製品の表面熱処理と解析法	機械	20	20	18	1	4	-	4	10/29
シミュレーションを活用した吸遮音材料の開発	光音	20	27	25	1	4	-	4	1/20
クリエイティブ産業のためのカラートレンド情報&刺繍の活用	生活技術 開発	40	39	39	1	4	-	4	11/12
【機械設計セミナー】加速するデジタルモノづくり 3D-CAD/CAE・3D計測・3Dプリンターの活用事例	電子・機械	50	34	32	1	3	-	3	2/20
技術セミナー	28件	1,025	1,010	962	28	116	-	116	

(2) ブランド確立実践ワークショップの応募者・受講者数

名称	担当 G/S・室 支所	人数（名）			規模				
		定員	応募	受講	日数	講義 時間	実習 時間	合計 時間	開催 初日
ブランド実践ワークショップ 「商品企画基礎講座」	システム デザイン	30	16	16	14	0	66	66	7/1
ブランド実践ワークショップ 「販売促進企画講座」		30	13	13	12	22	64	86	7/1
ブランド実践ワークショップ 「デザインアドバイザー養成講座」		5	11	11	14	37	92	129	6/26
ブランド実践ワークショップ 「商品企画基礎講座」「販売促進企画講座」2講座同時受講		10	3	3	28	22	112	134	6/26
ブランド確立実践ワークショップ	4件	75	43	43	68	81	334	415	

## (3) 広域首都圏輸出製品技術支援センター (MTEP) 無料セミナーの応募者・受講者数

名称	担当 G/S・室 支所	人数(名)			規模				
		定員	応募	受講	日数	講義 時間	実習 時間	合計 時間	開催 初日
技術者のための知財セミナー 特許 明細書の書き方	MTEP	50	97	79	1	2	0	2	5/21
海外規格入門 改正 RoHS 解説～質疑 応答付		50	61	40	1	2	0	2	5/27
海外規格精通シリーズ 中国編		50	101	92	1	2	0	2	6/4
海外規格入門 改正 RoHS 解説2～質疑 応答付		50	41	30	1	2	0	2	6/10
海外規格入門 CE マーキング超入門		50	67	53	1	2	0	2	6/12
CE マーキング入門・改正 RoHS 指令入 門 (第1弾)		80	108	95	1	3	0	3	7/2
海外規格精通シリーズ IEC60204 徹底解明編		20	10	10	1	4	0	4	7/4
LED 光源・LED 照明器具の国際規格 ～光・照明関連規格の現状と重要点～		50	60	50	1	2	0	2	7/7
CE マーキング入門+改正 RoHS 指令 入門 (第2弾)		80	92	72	1	3.5	0	3.5	8/27
海外規格取得経営者向けセミナー 海外規格取得へ向けた経営者の役割 ～社内体制の作り方～		80	36	35	1	2	0	2	9/3
INNOVESTA!2014 海外規格入門特別 セミナー「深めよう!CE マーキング」		80	46	40	1	1	0	1	9/5
INNOVESTA!2014 海外規格入門特別 セミナー「これからのCEマーキング」		80	50	41	1	1	0	1	9/5
INNOVESTA!2014 海外規格入門特別 セミナー「やってみるCEマーキング」		80	47	38	1	1	0	1	9/5
海外規格入門シリーズ 海外の安全 規格 ～北米、欧州を中心とした世界 の安全規格～		80	88	69	1	2	0	2	9/10
海外規格入門シリーズ CE マーキン グ入門		80	107	103	1	3.5	0	3.5	9/25
海外規格精通シリーズ 電気・電子製 品の中国規格と中国版 RoHS		80	89	82	1	4	0	4	9/29
海外規格入門シリーズ 欧州 医療機 器指令入門		80	56	48	1	2	0	2	10/8
電気用品安全法(PSE)入門～PSE の対 象から販売まで(届出・適合確認・自 主検査の実際)～		80	104	85	1	3	0	3	10/14
海外規格精通シリーズ 北米編 (UL/CSA, FCC)		80	68	56	1	2.5	0	2.5	10/22
海外規格入門シリーズ CE マーキン グ 機械指令入門 ～初歩からリスク 分析、マニュアル作成まで～		80	64	59	1	2	0	2	10/29
海外規格精通シリーズ改正 RoHS 徹底 解説～基礎から実践まで～		80	96	80	1	3	0	3	11/11
CE マーキング入門+改正 RoHS 指令 入門 (第3弾)		80	92	78	1	3	0	3	12/8
海外規格精通シリーズ REACH 徹底理解		50	68	44	1	2.5	0	2.5	12/11
海外規格精通シリーズ CE マーキン グ機械指令	50	54	39	1	2	0	2	12/18	
海外規格精通シリーズ CE マーキン グ低電圧指令	50	95	77	1	2	0	2	1/16	



名称	担当 G/S・室 支所	人数（名）			規模				
		定員	応募	受講	日数	講義 時間	実習 時間	合計 時間	開催 初日
技術者のための知財セミナー 特許明細書の書き方 ～海外展開へ向けて～	MTEP	50	54	41	1	2.5	0	2.5	1/28
海外規格精通シリーズ CE マーケティング EMC 指令		50	101	71	1	2	0	2	2/16
欧州規格における概要と最新動向		100	73	53	1	3.5	0	3.5	2/19
ISO マネジメントシステムの概要と最新動向		100	37	27	1	3.5	0	3.5	2/20
中小企業のこれからのものづくり～国際標準戦略とものづくり～		80	35	29	1	2	0	2	2/23
CE マーケティング入門+改正 RoHS 指令入門（第4弾）		80	98	80	1	3	0	3	2/24
海外規格精通シリーズ 改正 RoHS 徹底解説 ～基礎から実践まで～（第2弾）		80	113	97	1	3	0	3	3/5
製品輸出に向けた国際規格対応～CE マーケティングの取り組み方法と CE マーケティング最新情報～		50	71	57	1	2.5	0	2.5	3/12
MTEP セミナー	33 件	2,260	2,379	1,950	33	81	0	81	

(4) その他のセミナーの応募者・受講者数

名称	担当 G/S・室 支所	人数（名）			規模				
		定員	応募	受講	日数	講義 時間	実習 時間	合計 時間	開催日
●地域新産業創出基盤強化事業・共催セミナー・経産省平成25年度補正予算事業「地域オープンイノベーション促進事業」新規導入設備活用推進セミナー									
地域新産業創出基盤強化事業「表面の光学特性計測技術と活用事例」	光音	50	68	68	1	2.5	-	2.5	8/19
板橋区共催セミナー「躍動するものづくり 3D プリント最前線」	電子・機械	80	28	24	1	3	-	3	10/9
北区共催セミナー「金属加工によるものづくりに必要な基礎知識」	機械	50	83	80	1	4	-	4	1/27
荒川区共催セミナー「3D ものづくりのイマを知る・見る」	交流連携室	100	110	102	1	4	-	4	12/10
経済産業省平成25年度補正予算事業「地域オープンイノベーション促進事業」新規導入設備活用推進セミナー「先端ものづくり（航空機）産業の未来」	経営企画室	200	200	144	1	3	0	3	12/9
経済産業省平成25年度補正予算事業「地域オープンイノベーション促進事業」新規導入設備活用推進セミナー「航空機・高所に適応した製品開発のための減圧環境試験」	実証試験	30	37	36	1	3	-	3	3/26
地域新産業創出基盤強化事業・共催セミナー 6 件		510	526	454	6	19.5	-	19.5	
●知的資産経営講座									
知的資産経営講座①	交流連携室	1	1	1	2	8	0	8	4/22
知的資産経営講座②	交流連携室	1	1	1	5	20	0	20	4/28
知的資産経営講座③	交流連携室	1	1	1	2	8	0	8	6/30
知的資産経営講座④	交流連携室	1	1	1	7	28	0	28	10/14
知的資産経営講座	4 件	4	4	4	16	64	0	64	

●重点4分野技術フォーラム									
環境・省エネルギー分野 世界の化学物質規制を強み・チャンスへと変える環境経営	環境	100	71	45	1	4	-	4	10/16
EMC・半導体分野 ミリ波帯の使われ方と中小企業の参入機会	電子半導体	100	94	71	1	4	-	4	11/12
バイオ応用分野 ものづくり技術による次世代医療への参入の可能性	バイオ	100	63	51	1	3.5	-	3.5	1/22
メカトロニクス分野 ベイエリアにおけるおもてなしロボットの研究開発	ロボット	100	90	66	1	3.5	-	3.5	2/26
重点4分野技術フォーラム	4件	400	318	233	4	15	-	15	
●特別セミナー									
先端計測加工ラボオープン記念セミナー									
製品評価のための精密測定・非破壊検査、破断面の見方	城南支所	50	72	71	1	3.5	-	3.5	1/16
ICP質量分析法による微量分析と局所分析	城南支所	50	27	24	1	2.5	-	2.5	2/20
3Dプリンターによる新しいものづくり～活用事例の紹介	城南支所	50	42	38	1	2.5	-	2.5	3/6
生活技術開発セクター1周年記念講演会									
誰でもできるデザイン人間工学に基づく製品・サービス開発方法	生活技術開発	100	85	85	1	4	-	4	10/8
特別セミナー	4件	250	226	218	4	12.5	-	12.5	

### 7.1.2 重点4 技術分野フォーラム

今後の成長が期待される「バイオ応用」、「環境・省エネルギー」、「メカトロニクス」、「EMC・半導体」の4分野を重点技術分野と位置づけ、新事業へチャレンジできる取り組みを強化した。

#### (1) 環境・省エネルギーフォーラム

「世界の化学物質規制を強み・チャンスへと変える環境経営」をテーマに開催した。

開催日：平成26年10月16日

会場：東京イノベーションハブ

化学物質規制対応を強みへと変える環境経営についてその糸口を探り、都産技研における化学物質管理に関わる研究成果・技術支援の内容について紹介し、今後の展開・展望についてディスカッションを行った。

No.	題 目	発表者名	所 属
1	都産技研の事業紹介	鈴木雅洋	理事
2	世界の化学物質規制を強み・チャンスへと変える経営	笠原秀紀氏	いなほコンサルティング
3	製造現場・品質管理における規制物質の汚染・混入リスク管理について	中澤亮二	環境技術グループ
4	都産技研の化学物質管理に関連した研究成果と技術支援	飯田孝彦	環境技術グループ
5	グループディスカッション	笠原秀紀氏 中澤亮二ほか	いなほコンサルティング 環境技術グループ

#### (2) EMC・半導体フォーラム

「ミリ波帯の使い方と中小企業の参入機会」をテーマに開催した。

開催日：平成26年11月12日

会場：東京イノベーションハブ

創意工夫でミリ波天文学やミリ波産業への参入に成功された講師の製品開発に関する講演と都産技研におけるミリ波分野の研究開発を通じた製品開発支援の取り組みを紹介し、ミリ波関連装置等のデモンストレーションを行った。

No.	題 目	発表者名	所 属
1	都産技研の事業紹介	片岡正俊	理事長
2	ミリ波天文学と超伝導検出器	唐津謙一氏	国立天文台先端技術センター
3	中小企業におけるミリ波関連の開発と都産技研との共同研究成果	浜戸喜之氏	(株)エクサテクノロジー
4	都産技研のミリ波関連の研究成果と技術支援	藤原康平	電子半導体技術グループ
5	展示とデモンストレーション	藤原康平 ほか	電子半導体技術グループ

(3) バイオ応用技術フォーラム

「ものづくり技術による次世代医療への中小企業参入の可能性」をテーマに開催した。

開催日：平成 27 年 1 月 22 日

会 場：東京イノベーションハブ

再生医療をはじめとした次世代医療には日本の強みである「ものづくり」が重要であること、新規ビジネスとして決してハードルの高いものではないことを講演で解説いただき、さらに医療分野へ製品展開を図る中小企業に対して、都産技研における依頼試験、共同研究などのバイオ応用分野の技術支援内容を紹介した。

No.	題 目	発表者名	所 属
1	都産技研の事業紹介	鈴木雅洋	理事
2	再生医工学におけるものづくり ～素材開発から臨床応用への展開～	田畑泰彦氏	京都大学再生医科学研究所
3	古典的コラーゲン科学を脱却する細胞培養マトリクスの高強度化技術	大藪淑美	バイオ応用技術グループ
4	共同研究事例：シンプルな材料設計による創傷被覆材からの抗菌剤の徐放性制御	柚木俊二	バイオ応用技術グループ
5	パネルディスカッション	田畑泰彦氏 平岡陽介氏 金城康人 ほか	京都大学再生医科学研究所 新田ゼラチン(株) バイオ応用技術グループ

(4) メカトロニクスフォーラム

「ベイエリアにおけるおもてなしロボットの研究開発」をテーマに開催した。

開催日：平成 27 年 2 月 26 日

会 場：本部東京イノベーションハブ

東京オリンピック・パラリンピックに向けたベイエリアにおけるおもてなしロボットの研究開発に関する講演と都産技研のサービスロボット製品開発支援の取り組みを紹介し、ベイエリアおもてなしロボット研究会の参画者によるパネルディスカッションやデモンストレーションを行った。

No.	題 目	発表者名	所 属
1	都産技研の事業紹介	片岡正俊	理事長
2	ベイエリアにおけるおもてなしロボット研究について	松日楽信人氏	芝浦工業大学
3	T 型ロボットの研究開発と今後の展開について	坂下和広	ロボット開発セクター
4	T 型ロボットベースと RT ミドルウェアによるロボットアプリケーションの構築	益田俊樹	ロボット開発セクター
5	パネルディスカッションとデモンストレーション	近藤逸人氏 成田雅彦氏 本村陽一氏 山口 亨氏 ほか	東京海洋大学大学院 産業技術大学院大学 産業技術総合研究所 首都大学東京ほか

## 7.2 オーダーメイドセミナー

時期・内容など、個別企業等の依頼者のニーズに合わせ、随時セミナーを実施した。平成 26 年度は 112 件実施した。

担当	実施件数	主な指導内容
情報技術グループ	5	電気適合試験、SoC 向けデジタル回路
電子半導体技術グループ	3	厚膜フォトレジスト、鉛フリーはんだ付け
機械技術グループ	12	トライポロジーの基礎、金属表面熱処理
光音技術グループ	3	機械騒音の測定、スピーカの音響特性測定
材料技術グループ	1	プラスチックの基礎と成形・測定
環境技術グループ	2	改正 RoHS 指令の最新動向と対策
国際化推進室	7	LED 照明、レーザー製品の海外規格
高度分析開発セクター	4	表面性状測定、金属組織のイメージング
システムデザインセクター	17	事業デザインセッション、売れる商品づくり
ロボット開発セクター	1	サービスロボットのセンサ
墨田支所 生活技術開発セクター	25	ニットの基礎知識、人体計測、先染め織物
城南支所	2	材料強度試験の実技
電子・機械グループ	4	PIC マイコンの基礎、インピーダンス測定
繊維・化学グループ	26	繊維の基礎と繊維製品製造工程、撚糸、染色
計	112	

## 7.3 職員派遣

### 7.3.1 委員等の派遣

高度な専門知識を持つ職員を、大学、学術団体、産業界、行政機関などへ評価委員や専門委員として、62機関合計86名を派遣した。

主な派遣機関は以下のとおりである。

東京大学

信州大学

公益社団法人日本分析化学会

一般社団法人日本繊維機械学会

一般社団法人日本トライボロジー学会

一般社団法人日本マグネシウム協会

独立行政法人産業技術総合研究所

公益財団法人東京都中小企業振興公社

独立行政法人中小企業基盤整備機構 など

### 7.3.2 講師等の派遣

大学との連携強化や社会への知的貢献を目的として、高度な専門知識を持つ職員を大学、学術団体、産業界、行政機関などへ非常勤講師や指導員として職員を派遣した。

その他、都産技研のOBであるワイドキャリアスタッフも指導員として多数派遣した。

(延べ51名)

	団体名	氏名	役職
1	沖縄県立芸術大学	近藤幹也	講師（非常勤）
2	文化服装学院	近藤幹也	講師
3	環境省	林 英男	講師
4	学習院大学	上本道久	非常勤講師
5	(独)高齡・障害・求職者雇用支援機構	徳田祐樹	講師
6	(独)高齡・障害・求職者雇用支援機構	中西正一	講師
7	東京都鍍金工業組合	玉置賢次	講師
8	東京都鍍金工業組合	水元和成	講師
9	東京都鍍金工業組合	浦崎香織里	講師
10	明治大学	上本道久	非常勤講師
11	明治大学	神谷嘉美	講師
12	明治大学	神谷嘉美	非常勤講師
13	(公社)日本分析化学会	上本道久	講師
14	(公社)日本分析化学会	林 英男	講師
15	文化学園大学	山田 巧	非常勤講師
16	湘南工科大学	中村健太	講師
17	芝浦工業大学	三尾 淳	非常勤講師
18	加飾技術研究会	海老澤瑞枝	講師
19	多摩美術大学	樋口明久	講師
20	多摩美術大学	唐木由佑	講師
21	ファインブラッキング技術研究会	中村健太	講師
22	横浜商工会議所	阿保友二郎	講師
23	(一社)日本金属プレス工業協会	玉置賢次	講師
24	木材塗装研究会	村井まどか	講師
25	木材塗装研究会	神谷嘉美	講師
26	首都大学東京	福田良司	講師
27	首都大学東京	三尾 淳	講師
28	(一社)日本レーザー歯学会	三尾 淳	講師
29	法政大学	金田泰昌	講師
30	(一社)日本熱処理技術協会	内田 聡	講師・指導員
31	(一社)日本熱処理技術協会	内田 聡	講師
32	(一社)日本熱処理技術協会	三尾 淳	講師
33	(一社)日本防錆技術協会	鈴木雅洋	講師
34	東京工業大学	渡辺世利子	講師

	団体名	氏名	役職
35	神奈川表面技術研究会	湯川泰之	講師
36	(一社)日本分析機器工業会	上本道久	講師
37	日本大学	大西 徹	非常勤講師
38	東京学芸大学	峯 英一	非常勤講師
39	(株)技術情報協会	岩永敏秀	講師
40	東京理科大学	川口雅弘	講師
41	東海大学	横田浩之	講師
42	東海大学	海老澤瑞枝	講師
43	(一社)大阪ニュークリアサイエンス協会	榎本一郎	講師
44	兵庫県立大学	太田優一	講師
45	日本ばね学会	西川康博	講師
46	(株)旭サナック	木下稔夫	講師
47	(地独)大阪府産業技術総合研究所	横山幸雄	講師
48	岡山県工業技術センター	薬師寺千尋	講師
49	東京都産業労働局	中村弘史	講師
50	東京都市大学	川口雅弘	非常勤講師
51	神奈川大学	林 孝星	講師

(順不同)



### 7.3.3 研修学生・インターンシップなどの受け入れ

#### (1) 研修学生の受け入れ

大学・大学院の学生を一定期間受け入れ、人材育成や専門技術の習得に寄与した。  
平成26年度は9大学、1高等専門学校より43名の研修学生を受け入れた。

	受け入れ相手先	人数	受け入れ部署	受け入れ期間	
1	東京理科大学	工学部第一部工業化学科	2	高度分析開発 S	平成26年 4月17日 ～平成27年 3月31日
		工学研究科機械工学専攻	7	高度分析開発 S	平成26年 5月 2日 ～平成27年 3月31日
		工学部第一部機械工学科	1	表面技術 G	平成26年 6月16日 ～平成27年 3月31日
2	名古屋大学	工学研究科機械理工学専攻	7	高度分析開発 S	平成26年 4月24日 ～平成27年 3月31日
		工学研究科マイクロナノシステム工学専攻	1	高度分析開発 S	平成26年 4月24日 ～平成27年 3月31日
3	成蹊大学 理工学部物質生命理工学科	1	表面技術 G	平成26年 4月30日 ～平成27年 3月31日	
4	東京学芸大学 教育学部理科教育学専攻	1	材料技術 G	平成26年 5月14日 ～平成27年 3月31日	
5	東京大学大学院	工学系研究科機械工学専攻	3	高度分析開発 S	平成26年 6月 6日 ～平成27年 3月31日
		工学系研究科マテリアル工学専攻	1	機械技術 G	平成26年 8月21日 ～平成27年 3月31日
6	工学院大学	工学部応用化学科	1	繊維・化学 G	平成26年 6月20日 ～平成27年 3月 2日
		工学部機械工学科	5	材料技術 G	平成26年 8月25日 ～平成27年 3月31日
		機械工学専攻	5	材料技術 G	平成26年 8月25日 ～平成27年 3月31日
7	芝浦工業大学大学院 理工学研究科材料工学専攻	1	材料技術 G	平成26年 8月21日 ～平成27年 3月31日	
8	国立東京工業高等専門学校 物質工学科	2	多摩テクノプラザ	平成26年 9月 1日 ～平成27年 9月 5日	
9	長岡技術科学大学 電気電子情報工学課程	2	電子半導体技術 G	平成26年10月10日 ～平成27年 2月13日	
10	日本工業大学	工学部ものづくり環境学科	2	材料技術 G	平成26年11月 4日 ～平成27年 3月31日
		工学部機械工学科	1	材料技術 G	平成26年11月 4日 ～平成27年 3月31日

#### (2) インターンシップ

職業体験による職業意識の向上と、公設試験研究機関の業務について理解を深めることを目的にインターンシップを実施し、2大学、1高等専門学校、1高等学校より7名を受け入れた。

	受け入れ相手先	人数	受け入れ部署	受け入れ期間	
1	首都大学 東京	都市教養学部都市教養学科 理工学系機械工学コース	1	城南支所	平成26年 8月18日 ～平成26年 8月22日
		都市環境学部都市環境学科 分子応用化学コース	1	環境技術 G	平成26年 8月25日 ～平成26年 8月29日
		システムデザイン学部 システムデザイン学科 インダストリアルアートコース	1	光音技術 G	平成26年 9月 1日 ～平成26年 9月 5日
		システムデザイン学部 システムデザイン学科 経営システムデザインコース	1		
2	東京理科大学 工学部第一部機械工学科	1	電子半導体技術 G	平成26年 8月25日 ～平成26年 8月29日	
3	東京都立産業技術高等専門学校 ものづくり工学科電気電子工学コース	1	電子半導体技術 G	平成26年 8月25日 ～平成26年 8月29日	
4	東京都立多摩工業高等学校 電気科	1	多摩テクノプラザ	平成27年 2月 3日 ～平成27年 2月 5日	

## 8. 情報発信

### 8.1 研究成果発表会

都産技研が保有する技術シーズや研究成果を広く発信するため、平成 26 年 6 月 19 日、20 日に「研究成果発表会」を開催した。都産技研の研究成果だけでなく、企業や他機関と実施した共同研究成果や連携機関からの発表などを行った。2 日で 103 テーマ、467 名の参加があった。東京イノベーションハブでは、研究成果のパネル展示を行い、発表者との交流を図った。

平成 26 年 6 月 19 日（木）

<基調講演> 講堂

題 目	所 属	発表者名
デザイン・シンキングで起こすイノベーション ～デザインから発想するビジネスのモノづくりとコト づくり～	(株)ザ・デザイン・アソシ エイツ CEO	佐藤忠敏氏

<環境・省エネルギー> 研修室 241

題 目	所 属	発表者名
塑性加工用プレス加工機の余剰エネルギーを利用した 発電技術の開発	機械技術 G	中村健太
小試料による音響透過損失測定手法の開発	光音技術 G	西沢啓子
国内立地適合太陽熱発電システムの開発	(一財)機械振興協会 技術研究所	畠山 実
高性能 VOC センサの開発	機械技術G	平野康之
次世代水質計測技術の開発	(独)産業技術総合研究所	鳥村政基
金属製編地の農業用被覆資材への応用	生活技術開発S	唐木由佑
燃料電池白金代替触媒の開発	埼玉県産業技術総合センター	稲本将史
金属空気電池の実用化に向けた新規触媒の開発	城南支所	立花直樹
オレイン酸潤滑下におけるDLC膜の超低摩擦現象の解 析	神奈川県産業技術センター	吉田健太郎
防護服のリサイクル技術	繊維・化学 G	長尾梨紗

<EMC・半導体/エレクトロニクス> 研修室 242

題 目	所 属	発表者名
シリコン粒子表面に形成した鉄シリサイド半導体の光 触媒効果による水素生成	神奈川県産業技術センター	秋山賢輔
ノイズ対策を施した産業用コンピュータの開発	電子・機械 G	佐野宏靖
電磁波シールド効果の評価方法	神奈川県産業技術センター	原 孝彦

題 目	所 属	発表者名
電磁波抑制シートの電気的特性と抑制効果	電子・機械 G	上野武司
四重極ガス質量分析器用高精度電源装置の設計シミュレーション	(株)ティ・エフ・デイ	村井弘道
SPD 分離器における雷インパルス電流性能評価法の開発	電子半導体技術 G	黒澤大樹

<ナノテクノロジー> 研修室 242

題 目	所 属	発表者名
LSPR ガスセンサの温湿度特性評価	電子半導体技術 G	加澤エリト
リガンド分子間相互作用に着目した耐熱性金ナノ粒子の開発	(独)国立高等専門学校機構 東京工業高等専門学校	町田 茂
導電性ポリマーを用いた細胞刺激用マイクロアクチュエータの作製	首都大学東京	金子 新

<ものづくり基盤技術> 研修室 243

題 目	所 属	発表者名
マグネシウム合金切削屑の無加圧焼結法	機械技術 G	岩岡 拓
圧力測定用材料の開発	材料技術 G	吉野 徹
強ひずみ加工によるアルミ合金切削屑の固化成形	実証試験 S	小船諭史
高剛性サンドイッチ構造の開発	電子・機械 G	高橋俊也
マイクロ波加熱による炭素粉末材料の酸化処理方法の開発とその評価	繊維・化学 G	平井和彦
布の風合い評価における荷重特性評価	繊維・化学 G	山田 巧
振動により製品から発生する異常音評価方法について	光音技術 G	宮入 徹
大電流パルスマグネトロンスパッタリング法による成膜技術の開発	広報室	渡部友太郎
近赤外吸収イメージング法を用いた微量水溶液の温度と濃度の可視化	首都大学東京	角田直人
医用チタン材料のマイクロフォーミングと通電加熱効果によるその高精度化	首都大学東京	清水徹英

<情報技術> 研修室 244

題 目	所 属	発表者名
階層的自動タグ付けによるエキスパート検索エンジンの研究・開発	情報技術 G	大平倫宏
ロボット制御に用いるための生体電位センサの開発	ロボット開発 S	村上真之
低コスト基板上光通信路実装技術の開発	情報技術 G	山口隆志

題 目	所 属	発表者名
生活習慣病ハイリスクグループ特定に向けたデータマイニングシステムの開発	(株)サイトライン・ソリューションズ	中山洋一
蓄積された学術論文のアプリケーション開発への応用	産業技術大学院大学	長尾雄行

<バイオ応用> 研修室 244

題 目	所 属	発表者名
重水の広帯域誘電率測定とその応用の可能性	首都大学東京	鈴木敬久
食中毒菌の迅速検出技術の開発	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	富永達矢
iPS 細胞等幹細胞／フィーダー細胞の分離培養膜の開発	バイオ応用技術 G	大藪淑美
体温に应答してゲル化するインジェクタブルコラーゲンの開発	バイオ応用技術 G	柚木俊二

<メカトロニクス> 会議室 531

題 目	所 属	発表者名
自律的に市街地を移動するロボットの開発	芝浦工業大学	内村 裕
信号処理手法のメカトロニクスへの応用—DC モータの省エネルギー制御手法の提案—	東京都立産業技術高等専門学校	青木 立
東京におけるシカによる森林被害と防除品の開発	(公財)東京都農林水産振興財団 東京都農林総合研究センター	新井一司
バルーンロボットの開発	機械技術 G	小林祐介

<特別セッション> 会議室 531

題 目	所 属	発表者名
アーク溶接ロボットで世界ダントツシェアを握る	(株)ダイヘン メカトロ事業部企画部長	中津 淳氏

<ロボット開発技術> 会議室 531

題 目	所 属	発表者名
ロボット開発セクターの活動概要の紹介	ロボット開発 S	坂下和広
T 型ロボットベースの開発支援	ロボット開発 S	益田俊樹
T 型ロボットベースの安全性向上への取り組み	ロボット開発 S	森田裕介
モーションキャプチャシステムによる移動ロボットの運動計測事例	ロボット開発 S	佐々木智典

<メカトロニクス> デザイン支援室

題 目	所 属	発表者名
起立動作計測装置の開発	芝浦工業大学	松日楽信人
自動車乗員の横方向運動時に生じる過渡的身体挙動の定量的評価	首都大学東京	林 祐一郎

<生活関連技術> デザイン支援室

題 目	所 属	発表者名
DhaibaWorks:身体機能中心デザインのためのプラットフォームソフトウェア	(独)産業技術総合研究所	多田充徳
オープンイノベーションによる子どものための製品・環境デザイン	(独)産業技術総合研究所	北村光司
サポート製品の締め付け強さと着心地評価	生活技術開発 S	菅谷紘子
塗装工場からの排出 VOC の捕集・回収技術の開発	生活技術開発 S	島田茂伸
におい識別装置及び GC-MS を活用したにおい分析事例	生活技術開発 S	佐々木直里
生活技術開発セクターでの製品化支援	生活技術開発 S	大泉幸乃
電動車椅子危険探知及び回避システムの開発	電子・機械 G	佐藤 研

平成 26 年 6 月 20 日 (金)

<基調講演> 講堂

題 目	所 属	発表者名
グローバル・ニッチトップ企業論 ～日本の明日を拓くものづくり中小企業～	経済産業省 地域政策研究官	細谷祐二氏

<環境・省エネルギー> 研修室 241

題 目	所 属	発表者名
環境低負荷型クエン酸ニッケルめっきの電子部品用めっき技術への適用	表面技術 G	浦崎香織里
天然繊維を用いた金属イオン捕集材の開発	材料技術 G	梶山哲人
高効率炭素ドット蛍光体の開発	材料技術 G	林 孝星
酵素分解イオン液体法によるセルロース抽出の高効率化	環境技術 G	浜野智子
アルミニウム合金スクラップの迅速種別判定方法の検討	城南支所	湯川泰之
塗装した熱処理木材の耐候性	表面技術 G	村井まどか
新素材「サスティーモ®」を利用した漆器の製品化	ヤマト化工 (株)	中山哲哉
造粒方式の異なるブラウン管パネルガラス発泡体を用いた畜産排水からのリン回収と肥料試験	環境技術 G	中澤亮二

題 目	所 属	発表者名
鉄を含むケイ酸塩ガラスの熱処理によるヘマタイト相析出と可視光応答型光触媒作用の相関	首都大学東京	久富木志郎
あざやかな赤色ガラス「茜硝子」の紹介	実証試験 S	大久保一宏

<震災復興支援技術> 研修室 242

題 目	所 属	発表者名
全光束測定における出力安定度の評価方法及び計測システムの開発	光音技術技術 G	澁谷孝幸
天然抗菌成分を利用した環境調和型木材用防カビ剤の開発	環境技術 G	飯田孝彦
二階建てに展開可能で災害時に活用可能なトレーラーハウスの開発	首都大学東京	土屋 真
木材一ボルト接合の締付け試験	城東支所	松原独歩

<情報技術> 研修室 242

題 目	所 属	発表者名
ソーシャルビッグデータの研究	首都大学東京	石川 博
放送波同期型無線テレメータ	(株) ティ・エフ・ディ	村井弘道
ラジオに文字情報を重畳する手段の検討	東京都立産業技術高等専門学校	高崎和之

<品質強化> 研修室 243

題 目	所 属	発表者名
動物系異物試料解析のための指標化合物の探索	材料技術 G	木下健司
固体 NMR を活用した研究開発事例	高度分析開発 S	渡邊禎之
フェムト秒 LA-ICPTOFMS を活用した微小試料分析事例	高度分析開発 S	林 英男
赤外域における放射照度分布測定の検討	光音技術 G	磯田和貴
熱電対を用いた表面温度測定における誤差の低減化	光音技術 G	中島敏晴
レーザー干渉計の不確かさ算出手法の開発	高度分析開発 S	徳田祐樹
ガラスの鏡面創成用砥石の研究	電子・機械 G	鈴木悠矢
製品における衝撃吸収特性評価事例と課題	実証試験 S	櫻庭健一郎
試験時間を短縮できる調湿建材の新規評価方法の開発	繊維・化学 G	池田紗織

<都市課題解決のための技術戦略プログラム> 研修室 244

題 目	所 属	発表者名
放射線イメージングデバイスの開発	バイオ応用技術 G	櫻井 昇
呼吸・心拍の非接触モニタリングシステムの開発	電子半導体技術 G	藤原康平

<バイオ応用> 研修室 244

題 目	所 属	発表者名
プロテインチップによる免疫ノーム解析	(独)産業技術総合研究所	五島直樹
IT 創薬による抗インフルエンザ薬開発	(独)産業技術総合研究所	広川貴次
Comparing and aligning huge bio-sequence datasets	(独)産業技術総合研究所	フリス マーティン
ESR と放射線照射を利用した OH ラジカル消去能評価法	バイオ応用技術 G	中川清子
シクロデキストリン包接によるピレン骨格蛍光色素の光退色挙動	バイオ応用技術 G	紋川 亮
皮膚保湿に関与する酵素、カスパーゼ 14 の合成促進剤	東京電機大学	長原礼宗

<ものづくり基盤技術> 会議室 531

題 目	所 属	発表者名
粉末焼結法による造形物の機械的性質に対する造形方向の影響	城東支所	木暮尊志
レーザビーム積層造形法により作製した IN718 造形材の組織と強度特性	首都大学東京	笥 幸次
高専におけるインダストリアル・デザインの実践	東京都立産業技術高等専門学校	三隅雅彦
温度場制御技術による薄板構造物の極低歪レーザ溶接方法の開発	千葉県産業支援技術研究所	細谷昌裕
古代紫 (6,6'-ジプロモインジゴ) 染料の特性開発	明星大学	澤田忠信

<特別セッション> 会議室 531

題 目	所 属	発表者名
世界初のオーダーメイドによる精密心臓シミュレーター～現場開発者が語るものづくりイノベーション～	(株)クロスエフェクト 代表取締役	竹田正俊氏

<システムデザイン> デザイン支援室

題 目	所 属	発表者名
ものづくり中小企業の商品開発支援～商品企画基礎講座	システムデザイン S	小池真生
販売促進企画講座 (集合研修) から個別指導へ	システムデザイン S	中田恵子



題 目	所 属	発表者名
フューチャーセッションを活用した製品開発法	システムデザイン S	森 豊史
SNS と連携した新しいものづくりシステムの試行	(独)産業技術総合研究所	佐脇政孝
産業活性化と進化にむけて～東京城東地域産学公金連携構想～	東京理科大学	鶴澤真治

<品質強化> デザイン支援室

題 目	所 属	発表者名
Co-C 共晶点を用いた熱電対高温度校正	実証試験 S	佐々木正史
都産技研における JCSS 校正 (熱電対)	実証試験 S	沼尻治彦
都産技研における JCSS 校正 (直流抵抗器)	実証試験 S	佐々木正史
建築用及び船舶用部材の遮音性能評価方法と事例紹介 ー国際規格に対応した製品開発支援に向けてー	光音技術 G	渡辺茂幸

## 8.2 主催イベント

研究・技術開発により得られた成果および企業と共同で行った製品化の結果などを、広く中小企業や都民に紹介するために、施設公開や講演会などを開催した。

### 8.2.1 施設公開

都産技研の主要施設、設備を中小企業および都民に公開し、各種事業の理解を得るとともに、産業技術の普及を図ることを目的に各事業所で施設公開を開催している。

城東支所は公益財団法人東京都中小企業振興公社城東支社、東京信用保証協会葛飾支店とともに開催した。城南支所は大田区の産業イベントとの同時開催した。多摩テクノプラザでは、産業サポートスクエア・TAMAの各支援機関のイベントと同時開催した。

また、本部および多摩テクノプラザでは、入場者の職層、年齢層を設定し、ビジネスデー、ファミリーデーとして、内容を変えて開催した。

	公開日	日数	入場者数(名)
本部 (INNOVESTA! 2014)	平成26年 9月 5日(金)～ 6日(土)	2日間	1,917
城東支所 (INNOVESTA! East)	平成26年 7月25日(金)～26日(土)	2日間	467
墨田支所 生活技術開発セクター	平成26年10月 9日(木)～10日(金)	2日間	475
城南支所	平成26年10月 2日(木)～ 3日(金)	2日間	448
多摩テクノプラザ(多摩テクノフェア)	平成26年10月24日(金)～25日(土)	2日間	2,576
	計	10日間	5,883

#### (1) 本部 (INNOVESTA! 2014)

##### 1) ビジネスデー (9月5日)

###### ・特別講演

「ロボットの過去と未来」(ロボット開発セクター開設記念講演)

フューチャーセンター推進機構ロボット化コンソーシアム

東京大学名誉教授 佐藤知正氏

「日本経済のゆくえ」

慶應義塾大学大学院教授 岸 博幸氏

「お茶一杯から始まった“はとバス”の経営改革」

株式会社はとバス元社長 宮端清次氏

###### ・ワークショップ

企業向けの技術講習会を11テーマ開催

(熱可塑性プラスチックの基礎、CVD多結晶ダイヤモンドの特性評価など)

##### 2) ファミリーデー (9月6日)

・サイエンスショー 2回開催 チャーリー西村氏

##### 3) 両日開催

・ロボット展示 (玄関ロビー)

ロボット開発セクター開設記念展示

- 商用ロボット展示（アクトロイド、恐竜ロボット）
- 協定締結機関製作ロボット展示（協力：芝浦工業大学 松日楽信人教授）
- ・生活技術開発セクター展示（玄関ロビー、デザイン支援室）
  - 10月に一周年を迎える生活技術開発セクターを玄関ロビーとデザイン支援室で紹介
- ・シンボル展示
  - 江戸っ子1号プロジェクト 実物展示、水深8,000mの映像展示（協力：東京東信用金庫）
- ・体験コーナー・実演・研究紹介
  - 5日：体験コーナー 6テーマ（環境試験機器の紹介、極地世界の体験など）
    - 実演 16テーマ（金属材料引張試験の公開、有機材料分析機器の紹介など）
    - 研究紹介 13テーマ（塗膜性能評価機器の紹介、3次元造形機の紹介など）
  - 6日：体験コーナー 14テーマ（細胞や菌をみてみよう、科学でナゾを解き明かせ！など）
    - 実演 10テーマ（ロボットの塗装をみてみよう、雷を体験しようなど）
    - 研究紹介 9テーマ（情報技術グループ紹介、クリーンルームの紹介など）
- ・工作教室
  - 5日：2テーマ（熱転写プリントでオリジナル巾着をつくろう！など）
  - 6日：13テーマ（すず合金のオリジナル鋳物づくり、手作り空気電池を作ろう！など）
- ・都産技研マルシェ（東京イノベーションハブ）
  - 共同研究企業製品の展示・販売
    - 漆器（サスティーモ）、タオル（ホットマンカラー）、珪藻土驚きコースターなど
  - 近隣商店街の出店
    - 近隣商店街4ヶ所からミニ四駆や食品など

(2) 城東支所（INNOVESTA! East）

1) 講演・展示・実演・体験

講演会および産業セミナー、工作機械などの技術支援機器の展示、関係機関の事業紹介展示、電気自動車展示、葛飾区伝統工芸品の展示および実演、ものづくり実験・実演、ものづくりワークショップ、サイエンスショーなど

2) スタンプラリーによる装置の見学（記念品贈呈）

3) 共催

公益財団法人東京都中小企業振興公社城東支社、東京信用保証協会葛飾支店

(3) 墨田支所 生活技術開発セクター

1) 展示・実演

快適性評価（日射環境試験装置、視線追尾システムなど）  
 安全性評価装置（におい識別装置、有害物質分析装置など）  
 製品化支援（3Dプリンタ、レーザー加工機等）など

2) 体験コーナー

熱転写プリント

(4) 城南支所

1) 展示・実演・体験

3D レーザー加工機による名入れ、光造形システムのテクノロジー、電子顕微鏡での  
80 万倍の世界、グロー放電質量分析装置など

2) スタンプラリーによる装置の見学（記念品贈呈）

3) 同時開催

第 4 回おおた研究・開発フェア

主催：大田区、公益財団法人大田区産業振興協会

(5) 多摩テクノプラザ（多摩テクノフェア）

1) ビジネスデー（10 月 24 日）

・ミニセミナー

はじめての幾何公差の読み方・測り方／振動試験の基礎の基礎／  
電子基板のノイズの可視化／静電気試験のキホン！ ～試験と実際～／  
走査型電子顕微鏡による微小部観察と元素分析／繊維の性能試験とは？／  
繊維製品製造はやわかり

・テクノカフェ

話題提供

「デジタル化物語～レントゲン写真を例として～」

技術経営コンサルタント、元コニカミノルタホールディング株式会社

技術戦略部長島田文生氏

『「元気！勇気！やる気！」で切り開いた技術経営」

特殊電装株式会社 会長 津屋和夫氏

・研究成果や実験装置の紹介（本館、EMC サイト、繊維サイト）

2) ファミリーデー（10 月 25 日）

・体験・ものづくりコーナー

LED ライトを作ろう！／電子部品でアクセサリを作ろう！／熱転写プリントで  
オリジナル巾着袋を作ろう！／アメリカンフラワー（ディップアート）の花を咲  
かせよう！／レーザー加工でネームプレートを作ろう！／ペットボトルで空気  
砲を作ろう！／手織り体験／静電気測定体験／強度試験実演

・記念トークライブ「笑えば理科も、わっかややすい～～」

お笑いサイエンスコミュニケーター 黒ラブ教授

・研究成果や実験装置の紹介・実演（本館、EMC サイト、繊維サイト）

・多摩地域ファッション繊維製品の展示（八王子ファッション協議会、八王子織物工  
業組合、村山織物協同組合、青梅織物工業協同組合）

3) 「産業サポートスクエア・TAMA ウェルカムデー」企画（10 月 25 日）

・スタンプラリーによる産業サポートスクエア・TAMA の各支援機関の見学（記念品贈呈）

・正門隣ポケットパークに各支援機関紹介パネル展示

4) 同時開催

「産業サポートスクエア・TAMA ウェルカムデー」

- ・平成 26 年度広域多摩イノベーションプラットフォーム事業  
「3D プリンター活用セミナー」およびデモストレーション  
(10 月 24 日開催、公益財団法人東京都中小企業振興公社多摩支社)
- ・多摩・島しょ地域、被災地の特産品販売、伊豆大島観光 PR など  
(10 月 24 日開催、東京都商工会連合会)
- ・東京都農林水産フェア 試験研究紹介、園芸体験・教室、農産物の販売など  
(10 月 25 日開催、公益財団法人東京都農林水産振興財団)
- ・技能祭 生徒の作品展示・実習実演、工作教室、模擬店、地域団体による音楽演奏など  
(10 月 25 日開催、東京都立多摩職業能力開発センター)

### 8.2.2 サイエンスアゴラ 2014

独立行政法人科学技術振興機構が主催する「サイエンスアゴラ 2014」を共催した。「サイエンスアゴラ 2014」では、都産技研の他、日本科学未来館、独立行政法人産業技術総合研究所臨海副都心センターなどを会場として、サイエンスに関わる 191 のプログラムが行われた。都産技研は他の出展者へ会場を提供するとともに、下記のイベントを開催した。

開催日：平成 26 年 11 月 7 日～9 日

会場：都産技研 本部

- ・都産技研体験見学ツアー～ものづくりの世界に触れてみよう～
- ・ロボット開発セクター紹介、都産技研の 3D デジタルものづくり
- ・カラフルなオリジナルコースターをつくろう
- ・手描きホログラムキーホルダーをつくろう

同時開催：セーフティ グッズ フェア with サイエンスアゴラ 2014

主催：独立行政法人科学技術振興機構(JST)

### 8.2.3 墨田支所・生活技術開発セクター1周年記念講演会

生活技術開発セクターの開設 1 周年を記念して、記念講演会を開催した。

開催日：平成 26 年 10 月 8 日

会場：第一ホテル両国

基調講演：「誰でも出来るデザイン人間工学に基づく製品・サービス展開方法」

事例紹介：産業技術総合研究所、静岡県工業技術研究所、岐阜県生活技術研究所、富山県工業技術センター生活工学研究所、都産技研

見学会：生活技術開発セクターの見学会を開催

(新規導入した 3D カラープリンター、レーザー加工機などの紹介)

参加者：85 名

### 8.2.4 多摩テクノプラザイベント

(1) 子ども科学技術教室

小学生の夏休み期間に体験型イベントを開催した。

開催日：平成 26 年 7 月 31 日、8 月 1 日

会 場：多摩テクノプラザ会議室 4（7月 31 日）  
東京都中小企業振興公社多摩支社 大会議室（8月 1 日）  
対 象：小中学生と同伴する大人（都内在住もしくは在学）  
内 容：高学年向け：7月 31 日 「偏光で遊ぼう！」、「めっきに挑戦しよう！」  
低学年向け：8月 1 日「手づくり真空ポンプで遊ぼう！」  
「ひも電？ばね電？試してみよう、いろんな糸電話！」  
参加者：59 組 126 名（2 日間合計）

- (2) 多摩テクノプラザ開設 5 周年記念「技術交流会 2015」、記念式典  
多摩テクノプラザ開設 5 周年を記念し、多摩地域を中心とした中小企業者と交流をすすめるため「技術交流会 2015」を開催し、5 年間の成果の報告や特別講演を行い、引き続き記念式典を開催した。

開催日：平成 27 年 2 月 6 日（金）  
会 場：パレスホテル立川 4 階 ローブルーム（東京都立川市曙町 4-40-15）  
内 容：

講 演

「多摩テクノプラザの 5 年とこれから」 多摩テクノプラザ所長 近藤幹也

「開発を加速する多摩テクノプラザ」

繊維・化学グループの成果事例、電子・機械グループの成果報告

特別講演

「小惑星探査機『はやぶさ 2』、太陽系起源を探る新たな挑戦」

独立行政法人宇宙航空研究開発機構 宇宙教育センター

特任担当役 清水幸夫 氏

パネル展示（9 テーマ）

「伝導妨害波の伝搬モード変換モデルの検証」、「CFRP 製環状羽の制作と基本特性評価」、「動吸振器の 3D プリンタを用いた設計」、「曲げに強いサンドイッチコア材」、「繊維の評価事例」、「金属繊維フィルターの開発」、「布の風合い評価における荷重特性について」、「環境にやさしいノーシアン金めっき」、「絹織物へのブリーツ加工」

参加者数：179 名（技術交流会 2015 164 名、記念式典 161 名）

### 8.3 施設見学

都内の中小企業、商工関連業界、学校、自治体等からの要望に応じて、見学・視察を受け入れた。都産技研の役割および各種事業や研究成果、機器など各種事業を紹介し、知名度向上と産業技術の普及に努めている。見学に加え、技術分野の技術動向等の情報提供や意見交換の要望も増えている。さらに来所時、関連する施設見学を要望される場合もあり、見学受け入れは、原則として事前予約制としているが、本部では、当日希望者の見学対応の試行を実施した。見学受け入れ件数は以下のとおりである。

平成 26 年度施設見学受け入れ件数・見学者数

庁 舎	本部	城 東	墨 田	城 南	多摩テクノ プラザ	合 計
件 数 (件)	144	14	44	10	61	273
見学者数 (人)	2,243	215	476	79	864	3,877

#### 主な見学者

##### 本部

関東照明器具協同組合	25 名
芝信用金庫（顧客）	60 名
IEC 国際委員会 化学部門	15 名
公益財団法人産業教育振興中央会（全国工業高校教員）	10 名
東京都市大学工学部エネルギー化学科	110 名

##### 城東支所

東京商工会議所新宿支部工業分科会	28 名
一般社団法人オプトメカトロニクス協会	11 名

##### 墨田支所

東京クリーニング学校	19 名
東信用金庫	3 名
織田ファッション専門学校	35 名
練馬区立開進第二中学校	7 名

##### 城南支所

モンゴル改善協会	16 名
大分大学	2 名

##### 多摩テクノプラザ

東京工業高専のものづくり利用企業	11 名
西武信金日の出支店若手の会	18 名
文化服装学院	52 名
立川・昭島まちあるきの会	40 名

## 8.4 展示会出展およびセミナーの開催

### 8.4.1 展示会出展

研究開発・技術開発の成果および企業と共同して行った製品化事例などを、広く中小企業や都民に紹介するため、都産技研は展示会や講演会などを主催するとともに、外部の展示会にも出展した。パネル展示、試作品、デモ実演、模型などを活用し、技術移転を推進した。加えて、依頼試験や機器利用など事業紹介を行い、都産技研の認知度向上および利用拡大に努めた。

No.	展示会名	主催	開催年月日	場所	産技研出展内容
1	第13回西京信用金庫ビジネス交流会	西京信用金庫	平成26年 4月17日	ハイアットリージェンシー東京	コーディネータ相談、事業・設備などの紹介
2	親子で学ぶよのなかよくするヒトモノシクミ展	(株)日本経済新聞社	平成26年 4月26日 ～5月6日	日本科学未来館	ものづくり教室(熱転写プリンター)、3Dプリンター実演、事業紹介
3	第11回エコカーフェスタ・八王子	エコカー普及日本一・八王子をめざす市民の会	平成26年 5月10日	JR八王子駅北口西放射線ユーロード	エコノムーブ展示、3Dプリンター実演、多摩テクノプラザ事業紹介
4	2014 NEW 環境展	日報ビジネス(株)	平成26年 5月27日 ～5月30日	東京ビッグサイト	研究紹介、研究成果発表会 PR
5	第21回燃料電池シンポジウム	(一社)燃料電池開発情報センター	平成26年 5月29日 ～5月30日	タワーホール船堀	研究紹介
6	2014 マイクロエレクトロニクスショー	(一社)エレクトロニクス実装学会	平成26年 6月4日 ～6月6日	東京ビッグサイト	研究紹介
7	さわやか信用金庫第10回ビジネスフェア	さわやか信用金庫	平成26年 6月10日	大田区産業プラザ(Pi0)	城南支所事業紹介、研究成果発表会 PR
8	第7回大田区加工技術展示商談会	(公財)大田区産業振興協会	平成26年 6月13日	大田区産業プラザ(Pi0)	城南支所事業紹介、研究成果発表会 PR
9	第18回機械要素技術展	リードエグジビションジャパン(株)	平成26年 6月25日 ～6月27日	東京ビッグサイト	研究紹介、設備紹介、INNOVESTA! 2014PR
10	ビジネスマッチング交流会'14	昭和信用金庫	平成26年 7月8日	新宿エルタワー	コーディネータ相談、事業・設備などの紹介
11	国際モダンホスピタルショー2014	(一社)日本病院会 (一社)日本経営協会	平成26年 7月16日 ～7月18日	東京ビッグサイト	研究紹介
12	TECHNO-FRONTIER 2014	(一社)日本能率協会	平成26年 7月23日 ～7月25日	東京ビッグサイト	研究紹介、設備紹介、MTEP 紹介
13	第6回ビジネス交流会	シグマバンクグループ	平成26年 8月5日	東武ホテルレバント東京	コーディネータ相談、事業紹介
14	2014 “よい仕事おこし” フェア	城南信用金庫	平成26年 8月5日 ～8月6日	東京国際フォーラム	コーディネータ相談、事業紹介、採用案内
15	品川区ものづくり商談会	品川区	平成26年 9月4日	品川区立総合区民会館 きゅりあん	コーディネータ相談、事業紹介
16	第30回葛飾区産業フェア	葛飾区、東京商工会議所葛飾支部、葛飾区産業フェア運営委員会	平成26年 9月5日 ～9月7日	東京理科大学 葛飾キャンパス	城東支所紹介、事業紹介
17	イノベーション・ジャパン2014	(独)科学技術振興機構 (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構	平成26年 9月11日 ～9月12日	東京ビッグサイト	都市課題のための技術戦略プログラム(震災復興編)の成果紹介



No.	展示会名	主催	開催年月日	場所	産技研出展内容
18	INTERMEASURE 2014	(一社) 日本計量機器工業連合会	平成26年 9月17日 ～9月19日	東京ビッグサイト	研究紹介、設備紹介
19	第41回国際福祉機器展	(福) 全国社会福祉協議会、(一社) 保健福祉広報協会	平成26年 10月1日 ～10月3日	東京ビッグサイト	支援事例紹介、研究紹介、設備紹介、事業紹介
20	江戸・TOKYO 技とテクノロジーの融合展 2014	東京信用保証協会	平成26年 10月2日	東京国際フォーラム	3D デジタルものづくり支援紹介、事業紹介
21	第4回おた研究・開発フェア	大田区、(公財) 大田区産業振興協会	平成26年 10月2日 ～10月3日	大田区産業プラザ (PiO)	城南支所事業紹介、施設公開 PR
22	平成26年度地域イノベーション技術連携交流会	(一社) 首都圏産業活性化協会	平成26年 10月6日	中野サンプラザ	事業紹介、産学公連携事業紹介
23	CEATEC JAPAN 2014	CEATEC JAPAN 実施協議会	平成26年 10月7日 ～10月11日	幕張メッセ	研究紹介、事業紹介
24	第25回府中市工業技術展 ふちゅうテクノフェア	府中市	平成26年 10月10日 ～10月11日	ルミエール府中	多摩テクノプラザ事業紹介、研究紹介
25	BioJapan 2014 World Business Forum	BioJapan 組織委員会、(株) ICS コンベンションデザイン	平成26年 10月15日 ～10月17日	パシフィコ横浜	研究紹介
26	Japan Robot Week 2014	(株) 日刊工業新聞社	平成26年 10月15日 ～10月17日	東京ビッグサイト	研究紹介、設備紹介、事業紹介
27	The 5 <sup>th</sup> International Greentech & Eco Products Exhibition & Conference Malaysia 2014 (IGEM2014)	マレーシア政府エネルギー・環境技術・水省	平成26年 10月16日 ～10月19日	Kuala Lumpur Convention Centre (KLCC)	地域結集事業成果、事業紹介、MTEP 紹介
28	第14回あおしんビジネス支援マッチング大会	青梅信用金庫	平成26年 10月17日	フォレスト・イン昭和館	事業紹介、産学公連携事業紹介
29	朝日ビジネスマッチング 2014	朝日信用金庫	平成26年 10月21日	東京ドームホテル	事業紹介、コーディネータ相談、MTEP 事業紹介、MTEP 依頼講演
30	新技術創出交流会	(公財) 東京都中小企業振興公社	平成26年 10月28日	パレスホテル立川	産学公連携事業紹介、MTEP 紹介、事業紹介
31	JIMTOF 2014	(一社) 日本工作機械工業会、(株) 東京ビッグサイト	平成26年 10月30日 ～11月4日	東京ビッグサイト	研究紹介、3D デジタルものづくり支援紹介
32	第46回昭島市産業まつり	昭島市	平成26年 11月8日 ～11月9日	昭島市市民会館・公民館および周辺	多摩テクノプラザ事業紹介、イベント紹介 3D プリンター紹介、エコムーブ展示、工作教室
33	Japan Home & Building Show 2014	(一社) 日本能率協会	平成26年 11月12日 ～11月14日	東京ビッグサイト	研究紹介、製品化事例紹介、設備紹介
34	the 東京湾岸・起業家交流会 2014	江東区、品川区、港区	平成26年 11月13日	テレコムセンタービル	事業紹介、コーディネータ相談
35	第18回いたばし産業見本市	いたばし産業見本市実行委員会	平成26年 11月13日 ～11月14日	板橋区立東板橋体育館	都市課題解決のための技術戦略プログラムの成果紹介
36	第16回産業ときめきフェア in EDOGAWA	産業ときめきフェア実行委員会、江戸川区	平成26年 11月14日 ～11月15日	タワーホール船堀	城東支所紹介
37	第15回ビジネスフェア from TAMA	西武信用金庫、(一社) 首都圏産業活性化協会	平成26年 11月16日	新宿 NS ビル	事業紹介、産学公連携事業紹介

No.	展示会名	主催	開催年月日	場所	産技研出展内容
38	産業交流展 2014	産業交流展 2014 実行委員会	平成26年 11月19日 ～11月21日	東京ビッグサイト	事業紹介、研究紹介、 コーディネータ相談、 MTEP 相談
39	Embedded Technology 2014	(一社)組込みシステム 技術協会	平成26年 11月19日 ～11月21日	パシフィコ横浜	研究紹介、事業紹介
40	芝浦工業大学新技術説 明会	芝浦工業大学 (独)科学技術振興機構	平成26年 12月18日	芝浦工業大学	事業紹介
41	第5回クルマの軽量化技 術展	リードエグジビション ジャパン (株)	平成27年 1月14日 ～1月16日	東京ビッグサイト	研究紹介、事業紹介
42	nano tech 2015	nano tech 実行委員会 (株)ICS コンベンショ ンデザイン	平成27年 1月28日 ～1月30日	東京ビッグサイト	研究紹介、事業紹介
43	SURTECH 2015	(一社)表面技術協会 日本鍍金材料協同組合 (株)ICS コンベンショ ンデザイン	平成27年 1月28日 ～1月30日	東京ビッグサイト	研究紹介、事業紹介
44	第8回つくば産産学連携 促進市 in アキバ	つくば市	平成27年 2月3日	秋葉原ダイビル	研究紹介、事業紹介
45	TOKYO TY ビジネス交流 展 2015	東京都民銀行	平成27年 2月6日	東京国際フォーラム	研究紹介、事業紹介、 コーディネータ相談
46	第1回町工場見本市 2015	葛飾区	平成27年 2月12日 ～2月13日	東京国際フォーラム	城東支所紹介、事業紹 介
47	第14回たま工業交流展	たま工業交流展実行委 員会	平成27年 2月26日 ～2月27日	東京都立多摩職業能 力開発センター	多摩テクノプラザ事 業紹介・研究成果紹介
48	第8回としまものづくり メッセ	としまものづくりメッ セ実行委員会	平成27年 3月5日 ～3月7日	サンシャインシティ	事業紹介
49	第36回荒川区産業展	第36回荒川区産業展 実行委員会	平成27年 3月14日 ～3月15日	荒川総合スポーツセ ンター	事業紹介、コーディネ ータ相談

#### 8.4.2 ものづくりセミナー

区市町村との連携を深め、地域に密着した産業振興・技術支援を行うため、展示会において、都産技研の研究成果や事業を普及する「ものづくりセミナー」を開催した。

[ものづくりセミナー in 府中]

第25回府中市工業技術展 ふちゅうテクノフェアにおいて、「頼りになる！多摩テクノプラザの技術支援」をテーマに開催した。

開催日：平成26年10月10日

会場：ルミエール府中（府中市市民会館）1階 第1・第2会議室

No.	題目	発表者名	所属
1	多摩テクノプラザでできる RoHS 対応分析	池田沙織	繊維・化学 G
2	3D ものづくり技術を活用した研究開発支援	高橋俊也	電子・機械 G
3	先端計測加工ラボの開設について	上本道久	城南支所
4	広域首都圏輸出技術支援センター（MTEP）の活用について	西野義典	輸出製品技術支援センター

## 8.5 刊行物

都産技研で発行する刊行物は、技術移転、成果の普及など情報の発信機能を果たし、中小企業などへの技術情報提供に貢献している。研究成果をまとめた「研究報告」、研究発表の要旨を記載した「研究成果発表会要旨集」などの刊行物や研究事業の普及に向けた各種 PR リーフレットなどを発行した。

### 8.5.1 刊行物一覧

平成 26 年度の刊行物は以下のとおりである。

タイトル	発行年月	部数
多摩テクノプラザ案内の改訂	平成 26 年 5 月	3,000
平成 25 年度年報	平成 26 年 6 月	800
研究成果発表会要旨集 平成 26 年度	平成 26 年 6 月	1,000
本部案内の改訂	平成 26 年 7 月	5,000
城東支所案内の改訂	平成 26 年 7 月	3,000
研究報告第 9 号 (2014)	平成 26 年 9 月	1,500
平成 26 年度技術シーズ集	平成 26 年 9 月	500
東京都地域結集型研究開発プログラム 製品化事例集	平成 26 年 10 月	1,500
事業案内(改訂)	平成 26 年 10 月	5,000
平成 26 年度東京都異業種グループ(多摩テクノプラザ)交流カルテ	平成 26 年 10 月	50
平成 26 年度東京都異業種交流グループ(本部)交流カルテ	平成 26 年 11 月	60
経済産業省平成 25 年度補正予算事業「地域オープンイノベーション促進事業」(関東地域)航空機産業向け支援サービスのご紹介	平成 26 年 12 月	2,000
平成 26 年度合同交流会	平成 26 年 12 月	500
城南支所案内(改訂)	平成 26 年 12 月	10,000
広域首都圏輸出製品技術支援センター(MTEP)冊子 EU 指令入門 その 7 / EU 指令応用編 その 1~3	平成 27 年 3 月	8,000
平成 26 年度ブランド確立実践ワークショップ 成果事例集	平成 27 年 3 月	2,000
平成 26 年アウトカム調査報告書	平成 27 年 3 月	200
墨田支所案内(改訂)	平成 27 年 3 月	3,000

(発行年月順)

### 8.5.2 年報

前年度に実施した試験・研究・調査の成果や普及・技術移転業務の実績などを公開・報告するために平成 25 年度の年報を発行した。

### 8.5.3 研究報告

都産技研が取り組んでいる研究を幅広く活用していただくために、研究開発、技術開発の成果をまとめた研究報告第9号（2014）を発行した。論文14本、技術ノート25本の他、都産技研外で発表した論文、口頭発表、ポスター発表、総説などのリストも掲載した。

### 8.5.4 TIRI NEWS

「TIRI NEWS」は、都産技研の活動を都民に広く理解してもらうための月刊広報誌であり、同時に中小企業への技術普及を目的とした技術情報誌でもある。平成24年10月号のリニューアル以降も「よりわかりやすく・伝わる広報誌」をコンセプトとして制作している。A4判、12ページ、カラー印刷で、毎月約6,000部を発行している。配送数は昨年から219件増加し、中小企業および各関係機関1,975件（平成27年3月号）へ送付したほか、各種展示会やイベント、施設見学者等に配布した。また、ホームページにはPDF資料として掲載している。

本年度の特集では、新たに「企業ピックアップ」を設け、ご利用企業の紹介や、都産技研の活用状況等を掲載した。また、新ブランド試験「めっき・塗装複合試験」、「光学特性計測技術」の紹介や、平成26年4月に開設した「ロボット開発セクター」、同12月に開設した「先端計測加工ラボ」を紹介した。

さらに、新連載として「MTEP 専門相談員紹介」、「協定締結機関紹介」を設け、注力している海外展開企業支援の具体例や、協定を締結している関連組織との協働事業を掲載して、さまざまな都産技研の活動をPRした。また、昨年度TIRINEWS 読者対象アンケートでの「都産技研は敷居が高いイメージ」との意見を受け、より都産技研を身近に感じていただき、利活用につなげていただけるよう、職員の業務内容や仕事への思いを紹介する「EXPERTS」のコーナーも新設した。

## 8.6 ホームページ

都産技研は、事業・成果を広く紹介するために、ウェブサイトによる情報発信を行っている。随時内容を更新して効果的な情報提供と使いやすさの向上に努めた。また、初めてのお客さま向けページやキッズ向けページなどを新設した。

また、職員採用情報を提供する採用サイト、東京都地域結集型研究開発プログラムのサイトや、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市の公設試験研究機関が共同で運営する首都圏テクノナレッジフリーウェイ（1都3県1市の公設試験研究機関の設備・技術検索ページ）、公立鉦工業試験研究機関長協議会を掲載している。

コンテンツマネジメントシステムの活用により、コンテンツの迅速な更新を行うとともに、アクセシビリティに配慮したページ作成を実施している。

ページビュー件数は約2,476,000件、アクセスユーザー数は約235,000件であった。

東京都立産業技術研究センター	URL: <a href="http://www.iri-tokyo.jp/">http://www.iri-tokyo.jp/</a>
東京都地域結集型研究開発プログラム	URL: <a href="http://create.iri-tokyo.jp/">http://create.iri-tokyo.jp/</a>
採用サイト	URL: <a href="http://saiyou.iri-tokyo.jp/">http://saiyou.iri-tokyo.jp/</a>
首都圏テクノナレッジフリーウェイ	URL: <a href="http://tkm.iri-tokyo.jp/">http://tkm.iri-tokyo.jp/</a>
公立鉦工業試験研究機関長協議会	URL: <a href="http://info.iri-tokyo.jp/kyogikai/">http://info.iri-tokyo.jp/kyogikai/</a>
INNOVESTA!	URL: <a href="http://tiri-innovesta.jp/">http://tiri-innovesta.jp/</a>

## 8.7 マスコミ報道

平成 26 年度の各種マスコミ報道は以下のとおりである。

### (1) プレス発表

No.	発表日	発表内容
1	4月 2日	「広域首都圏輸出製品技術支援センター」1都10県公設試験研究機関に連携拡大 —製品の海外輸出を希望する中小企業を規格面・技術面から支援—
2	4月14日	東京都立産業技術研究センターと法政大学が協定を締結 —産学公・地域連携活動の活性化を推進—
3	5月 8日	平成 26 年度研究成果発表会を開催
4	6月 3日	東京都立産業技術研究センターと東京東信用金庫が協定を締結 —企業の国際化支援を重点に、産業の活性化を推進—
5	6月11日	東京都立産業技術研究センターと芝信用金庫が協定を締結 —企業支援業務の連携により、地域産業の振興を図る—
6	6月17日	「INNOVESTA! East」 —ものづくりと技術を楽しむ—
7	6月25日	多摩テクノプラザ「子ども科学技術教室」開催 —夏休みものづくり体験! —
8	7月 8日	INNOVESTA (イノベスタ) ! 2014 開催 —子供も大人も! テクノロジーを体感しよう! —
9	7月11日	平成 26 年度東京都異業種交流グループ発足
10	7月14日	東京都立産業技術研究センターと東京商工会議所が協定を締結 —都内中小企業の国際展開を支援し、産業振興活動を強化—
11	7月16日	平成 25 年度補正予算事業に採択「地域オープンイノベーション促進事業」 (設備機器の導入・利活用事業) (関東地域)
12	7月17日	公立大学法人首都大学東京川淵理事長が都産技研を視察
13	8月 7日	生活技術開発セクター 開設1周年記念講演会を開催 ～誰でもできるデザイン人間工学に基づく製品・サービス開発方法～
14	8月21日	東京都立産業技術研究センターと東京都青梅市、青梅商工会議所 「産業の活性化等に関する業務連携協定書」締結式のご案内
15	9月18日	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターにおける経歴書等の紛失について
16	9月24日	航空機産業、医工連携による製品開発を支援「先端計測加工ラボ」開設
17	9月30日	東京都立産業技術研究センターと学校法人千葉工業大学が協定を締結
18	10月 6日	「IGEM2014」東京パビリオンに初出展 —VOC 削減技術でアジア大都市の大気汚染防止に貢献—
19	10月 6日	都産技研バンコク事務所を開設 —ASEAN 地域進出日系中小企業の技術支援を開始—
20	10月31日	東京都立産業技術研究センター本部が JNLA の試験事業者としての登録と国際 MRA 対応認定 事業者としての認定を取得 ～ISO/IEC17025 および JIS に適合した電球形 LED ランプの全光束・色彩測定を開始～
21	11月14日	東京都立産業技術研究センターと墨田区が協定を締結 —技術支援事業の連携により地域産業の活性化を推進—
22	11月14日	平成 25 年度経済産業省補正予算事業 地域オープンイノベーション促進事業 (関東地域) シンポジウム「先端ものづくり (航空機) 産業の未来」開催
23	11月14日	平成 25 年度経済産業省補正予算事業 地域オープンイノベーション促進事業 (関東地域) 広域首都圏の公設試験研究機関が保有する試験研究機器の検索システムの利用を開始
24	11月19日	東京都立産業技術研究センターとタイ工業省が業務協力に関する覚書を締結します
25	11月27日	平成 26 年度「第 8 回 製品安全対策優良企業表彰」 特別賞を受賞しました
26	12月 4日	東京都異業種交流事業 30 周年記念合同交流会開催—中小企業革命— 中小企業のネットワーク作りが日本の経済を復活させる～未来は中小企業から～
27	12月 4日	先端計測加工ラボ開所式および報道機関向け見学会の開催

No.	発表日	発表内容
28	12月 9日	東京都立産業技術研究センターと国立大学法人電気通信大学が協定を締結 —産学公・地域連携活動の活性化を推進—
29	12月12日	多摩テクノプラザ開設 5 周年記念「技術交流会 2015」および「記念式典」開催
30	3月 3日	東京都立産業技術研究センターと荒川区が協定を締結 —技術支援・産業振興事業の連携により地域産業を活性化—
31	3月11日	東京都立産業技術研究センター本部が鉄鋼分野の JNLA 試験事業者を取得 ～ISO/IEC17025 および JIS に適合した「金属材料引張試験」を開始～
32	3月18日	金属粉末積層造形装置（3D プリンター）による 3D デジタルものづくり支援の強化
33	3月26日	平成 27 年度都産技研 研究成果発表会 —世界に勝つものづくりを目指して—

## (2) テレビ・ラジオ報道

No.	報道日	放送局	番組名	内容
1	4月 9日	JCN マイテレビ	デイリーニュース・マイテレビ	立川・昭島町あるきの会のイベント参加者が多摩テクノプラザで工作教室をする様子を放送
	4月12日			
	4月13日			
2	6月17日	NHK WORLD	Science View	平成 22 年 9 月 15 日に放送された NHK E テレ「サイエンス ZERO」シリーズを国際放送用として再放送
3	7月29日	J:COM 多摩	デイリー多摩	多摩テクノプラザへの東京都知事視察の様子を放送
4	7月31日	J:COM 多摩	デイリー多摩	多摩テクノプラザで開催された子ども科学教室の紹介
5	9月 4日	NHK 総合	ひるまえほっと	INNOVESTA！2014 の紹介
6	9月 5日	テレビ朝日	ワイド！スクランブル	INNOVESTA！2014 の紹介
7	9月 5日	フジテレビ	スーパーニュース	INNOVESTA！2014 の紹介（生中継）
8	9月10日	東京ベイネットワーク	日刊ベイネット	INNOVESTA！2014 の紹介
9	10月21日	TOKYO MX	東京インフォメーション	産業サポートスクエア・TAMA「ウェルカムデー」の様子を放送
10	10月23日	TBS ラジオ	都民ニュース	産業サポートスクエア・TAMA「ウェルカムデー」の様子を放送
11	10月24日	J:COM 多摩	デイリー多摩	産業サポートスクエア・TAMA「ウェルカムデー」の様子を放送
12	11月14日	J:COM 多摩	デイリー多摩	多摩テクノプラザが参加した自衛消防訓練の紹介
13	2月 6日	J:COM 多摩	デイリー多摩	多摩テクノプラザ開設 5 周年記念技術交流会の紹介
	2月 7日			
14	2月23日	TOKYO MX	TOKYO MX NEWS NEXT	町工場見本市に出展と城東支所の紹介
15	2月25日	NHK 総合	首都圏ネットワークニュース	ロボット開発に関する取り組みを紹介

## (3) 撮影協力

No.	報道日	放送局	番組名	内容
1	4月 8日	NHK BS プレミアム	イッピン	万能試験機を利用し竹ひごの皮付きと皮なしの曲げ比較を実施
2	5月27日	NHK BS プレミアム	イッピン	防音シールド室において音カメラを使用した鳴子こけしの音響解析を実施

No.	報道日	放送局	番組名	内容
3	6月18日	日本テレビ	news every	ガラス鍋ぶたの特徴的な割れ方を一般視聴者に解説し、取り扱い注意を促す特集で、研究作業風景やひずみ計、ガラス鍋ぶたの特徴的な割れ方について解説
4	7月 8日	よみうりテレビ	かんさい情報ネット ten	ガラス鍋ぶたの特徴的な割れ方を一般視聴者に解説し、取り扱い注意を促す特集で、研究作業風景やひずみ計、ガラス鍋ぶたの特徴的な割れ方について解説
5	7月10日	日本テレビ	ZIP!	高電圧実験室において落雷実験を実施
6	8月11日	日本テレビ	ZIP!	愛知県の落雷事故に関連し、街中や周りに高い建物が何もないときの避雷方法を解説
7	9月14日	TBS テレビ	夢の扉+	コミュニケーションと一般的なスピーカーの音響特性の違いについての解説および測定風景を撮影
	9月17日	TBS ニュースバード		
	9月18日	BS-TBS		
8	10月23日	フジテレビ	情報プレゼンターとくダネ!	スマートフォンの画面が割れてしまう瞬間を撮影するため、落下試験、圧力試験を実施
9	10月25日	テレビ朝日	世界が驚いた→ニッポン!スゴ〜イデスネ!! 視察団	鑢とかんなで削った木材をデジタル顕微鏡、SEM で観察した画像を提供
10	12月12日	NHK BS プレミアム	イッピン	粘土の顕微鏡観察を実施
11	1月13日	NHK 総合	あさイチ	餃子のCT スキャン画像撮影に協力
12	1月14日	テレビ朝日	若大将のゆうゆう散歩:いいものさがし	恒温恒湿室を利用して、通販品「アルミ毛布」と一般的な毛布との比較実験を実施
13	2月10日	テレビ東京	ガイアの夜明け	ニット製品試作風景の撮影
14	3月 4日	NHK 総合	ためしてガッテン	無響室で耳鳴りに関する実験を実施
15	3月10日	NHK BS プレミアム	イッピン	はさみの握り荷重試験を実施
15	3月14日	テレビ朝日	スパッと切って大解明	印鑑のゴムやダイヤモンドカッターの表面を顕微鏡で観察

#### (4) ロケ地協力

No.	報道日	放送局	番組名	内容
1	8月 9日	フジテレビ	カリチュラサークル	番組の撮影に駐車場を使用
	1月17日			
2	9月 6日	日本テレビ	心ゆさぶれ!先輩 ROCK YOU	番組中の再現ドラマの撮影
3	9月18日	BS-TBS	心ゆさぶれ!先輩 ROCK YOU	番組中の再現ドラマの撮影
4	1月22日	NHK BS プレミアム	これが次世代型気象衛星「ひまわり8号」だ!	番組中の再現ドラマの撮影
5	1月31日	フジテレビ	カリチュラサークル	番組の撮影に駐車場を使用
6	3月14日	日本テレビ	心ゆさぶれ!先輩 ROCK YOU	番組中の再現ドラマの撮影

## (5) 新聞報道

No.	掲載日	掲載紙・掲載誌	記事タイトル・内容など
1	4月 3日	新潟日報	企業の海外進出支援強化 県工技総研が MTEP 加入
2	4月 15日	医理産業新聞	都産技研 海外規格解説 テキストを作成
3	4月 17日	塗料報知	キーマン・インタビュー ～サポイン利用を解説～ 「塗装」から「表面処理」へ体系整理 定義広がり一層の技術展開 東京都立産業技術研究センター 開発本部開発第2部長 木下 稔夫氏
4	4月 18日	日刊工業新聞	ウェザリング技術 2件表彰 7件助成 スガウエザリング技術振興財団
5	4月 25日	朝日新聞	東京五輪強化 土壌汚染の壁 第2トレセン着工遅れ
6	5月 1日	医理産業新聞	都産技研 異業種交流参加者募る 申込期間は6月6日まで
7	5月 8日	日本経済新聞	NIKKEI ART REVIEW 海辺のガラス
8	5月 15日	日刊工業新聞	情報フラッシュ 研究成果発表会
9	5月 16日	日刊工業新聞	訂正
10	5月 19日	日刊工業新聞	来月 19、20 日に研究成果発表会 都立産業技術研究センター 施設見学会も
11	5月 25日	産経新聞	手帖 『都産技研の挑戦 世界に勝つものづくり支援の強化』刊行
12	5月 26日	日刊工業新聞	超越化研 放射線遮へい紙開発 タングステン粉体利用 防護服などに用途
13	5月 28日	日経産業新聞	新進気鋭 音響機器のユニバーサル・サウンドデザイン 難聴者に聞き取りやすく
14	6月 1日	中小企業振興	インフォメーション 都産技研、6月 19、20 日に平成 26 年度研究成果発表会開催
15	6月 1日	医理産業新聞	短信 東京都立産業技術研究センター
16	6月 4日	日刊工業新聞	中小支援で業務連携協定 都産技研と東京東信金
17	6月 5日	産経新聞	「都産技研の挑戦」刊行 片岡理事長に聞く 中小の海外進出支援潜在能力高い企業増へ
18	6月 6日	Fuji Sankei Business i.	「都産技研の挑戦」刊行 片岡理事長に聞く 中小の海外進出を強力支援
19	6月 11日	埼玉新聞	底力サイタマ “土と水を守る” 達人 大起理化工業（鴻巣市） 独自の製品開発で環境保全
20	6月 13日	産経新聞	くらしナビ 吸水性抜群「1 秒タオル」 中国製に対抗 “プチぜいたく” 市場ターゲット
21	6月 15日	医理産業新聞	都産技研 電気用品安全 7月 1日 東京
22	6月 20日	日刊工業新聞	研究成果を発表 都立産業技術研究センター
23	7月 4日	科学新聞	無意識センシングで究極の予備診断を
24	7月 11日	日刊工業新聞	支援策活用事例など紹介
25	7月 15日	日刊工業新聞	東商・都産技研 業務連携で協定 中小の海外展開を支援
26	7月 15日	日刊工業新聞	情報フラッシュ 試験機器実演を実施
27	7月 17日	塗装報知	素材を生かし仕上げを向上! 木塗研・基礎講座レポート
28	7月 18日	日本経済新聞	中小の海外展開支援へ連携協定 都産技研と東商
29	7月 22日	日刊工業新聞	航空・宇宙分野 中小参入支援 東京理科大 摩擦・潤滑で研究拠点 金属 3D 装置を開放
30	7月 23日	産経新聞	「中小企業に貢献、将来成果」 首都大・川淵理事長 世界に勝つ設備視察 都立産業技術研究センター



No.	掲載日	掲載紙・掲載誌	記事タイトル・内容など
31	7月26日	東京新聞	中小企業の技や伝統工芸品紹介 葛飾、きょうまで
32	7月30日	日刊工業新聞	都の産業支援施設 舛添知事が視察 中小活用で底力発揮を
33	8月1日	日刊工業新聞	最新のモノづくり技術体験 東京都立産業技術研究センター
34	8月1日	医理産業新聞	都産技研:イノベスタ 2014 ビジネス向けに特別講演会 9月5日～6日イベントを展開
35	8月1日	医理産業新聞	短信 東京都立産業技術研究センター
36	8月8日	日本経済新聞	第2トレセン パラリンピック共用へ整備
37	8月8日	毎日新聞	五輪強化拠点隣接地活用を 文科省有識者会議
38	8月8日	読売新聞	第2トレセン設置へ中間報告
39	8月8日	SANKEI EXPRESS	第2トレセン「都有地に」
40	8月18日	日刊工業新聞	クローズアップ “技術と戦略”融合進む 東日本プラスチック製品加工協同組合 時流捉える 塩ビで災害対応製品 震災機に開発切り替え
41	8月20日	日刊工業新聞	都産技研と遠隔相談 多摩中小の利便性向上 府中市工技情報センター
42	8月21日	日本経済新聞	モーターなど工作教室開催 都産技研
43	8月21日	Fuji Sankei Business i.	イチ押し! 乳がん手術後の胸に優しいブラ
44	8月27日	日本経済新聞	中小向け TV 電話相談 府中市 江東の研究者が助言
45	8月27日	日刊工業新聞	都産技研など 活性化連携で協定 中小の先端技術支援 重点
46	9月1日	日刊工業新聞	都市課題解決へ技術戦略セミ 東京都
47	9月1日	接着剤新聞	月例講演会を開催 評価試験機器など視察 接着学会関東
48	9月3日	産経新聞	都産技研「イノベスタ」5日から開催 最新ロボット技術 体感 3D スキャナーで自分のフィギュアを作ろう
49	9月3日	読売新聞	TOKYO ホームページ 体験 イノベスタ 2014
50	9月5日	日本経済新聞	都産技研 カメラで動作確認/部品の耐久性調査 中小のロボ開発後押し 五輪・高齢化にらむ
51	9月5日	Weekly News 西の風	初の3者一体提携 中小企業への先端技術支援 青梅市、青梅商工会議所、都立産業技術研究センター
52	9月5日	西多摩新聞	産業の活性化へ弾み 青梅市、商議所と産業センター三者で協定
53	9月12日	日刊工業新聞	フラッシュ サービス開発方法テーマに 東京都立産業技術研究センター
54	9月15日	医理産業新聞	短信 東京都立産業技術研究センター
55	9月16日	都政新報	地方独法 都が業績評価を公表 最高評定 血管病医療や商品開発支援など
56	9月22日	日経産業新聞	ものづくり 都内で燃料電池車イベント 普及へコスト低減カギ トヨタ・日産・ホンダ技術者が講演
57	9月29日	日刊工業新聞	生活製品開発ラボ開設 都産技研、墨田支所に来月 3D プリンター導入 試作品製造までサポート
58	10月1日	医理産業新聞	多摩テクノフェア よりどりセミナー開催 10月24日はビジネスデー
59	10月1日	中小企業振興	「イノベスタ 2014」開催 都産技研、実験室公開や講演会
60	10月8日	日刊工業新聞	「感性工学」じわり浸透 生活技術開発セクター 生活製品 使いやすく快適に 高付加価値化で世界へ

No.	掲載日	掲載紙・掲載誌	記事タイトル・内容など
61	10月 9日	東京新聞	23 区の企業力 職人たち鍛金で大臣認定 森銀器製作所（台東区）
62	10月15日	医理産業新聞	東京都立産業技術研究センター
63	10月18日	朝日新聞	Around Tokyo 子ども事故防止グッズ
64	10月18日	Fuji Sankei Business i.	子供の安全配慮した商品一堂に セーフティグッズフェア
65	10月18日	朝日新聞	初の海外事務所 バンコク設置へ 都立産業技術センター
66	10月23日	日刊工業新聞	中小の中計策定支援 東京 TYFG「知財経営」の手法活用
67	10月24日	日本経済新聞	タイで進出企業支援 都の技術支援機関 規格適合など助言
68	10月28日	日刊工業新聞	フラッシュ 研究開発の最終成果報告会
69	10月28日	日刊工業新聞	技術科学図書 3D プリンタによるプロトタイプング 東京都立産業技術研究センター編
70	10月30日	日刊工業新聞	計測・測定 現場環境における3次元測定の高度化 温度ドリフトの評価および補正
71	11月 1日	医理産業新聞	産業交流展2014 首都圏の技術・製品一堂に 11月19～21日 東京ビッグサイトで開催
72	11月 1日	医理産業新聞	短信 東京都立産業技術センター
73	11月 7日	日本経済新聞	都市外交に基金80億円 都来年度予算案 五輪関連は2.4倍 水素エネ普及に151億円
74	11月 9日	東京新聞	子どもの安全守るアイデア商品紹介 江東で見本市 70種類を展示
75	11月10日	週刊循環経済新聞	食品系・バイオマス 臭気改善へ産学連携 「基礎実験から段階踏む」イヅミ環境が新体制で検討
76	11月17日	日刊工業新聞	都産技研・墨田区技術支援で連携
77	11月18日	日本経済新聞	研究設備を一括検索 1都10県カバー 中小の利用を促す 関東経産局など
78	11月19日	日刊工業新聞	情報フラッシュ 航空産業の先端技術関東経済産業局と地域オープンイノベーション促進事業（関東地域）運営協議会
79	11月20日	日刊工業新聞	タイ工業省と業務協力締結 都産技研が海外省庁と初
80	11月20日	日刊工業新聞	理工系3大が地域連携 東京・城東を活性化 産学官金、まず防災技術
81	11月21日	日刊工業新聞	天田財団 今年度前期の助成テーマ決定
82	11月21日	鉄鋼新聞	鋳業協会など 亜鉛ダイカスト年間大会開催 宮川会長「新製品開発で需要拡大期待」
83	11月21日	上毛新聞	10都県の試験場機器検索可に 県産業技術センター
84	11月26日	産経新聞	日系中小支援へタイと覚書 都産技研
85	12月 1日	医理産業新聞	都産技研 CE マーキング 12月8日 東京
86	12月 1日	医理産業新聞	短信 東京都立産業技術センター
87	12月 7日	塗料報知	都産技研 基礎知識から手法まで 3Dプリンタ塗装講習
88	12月11日	日刊工業新聞	都産技研、電通大と協定 産学公連携通じ中小支援
89	12月15日	医理産業新聞	製品安全対策表彰 都産技研が特別賞受賞
90	12月15日	医理産業新聞	都産技研 製品評価 1月16日 東京
91	12月18日	日刊工業新聞	金属3Dプリンター導入 都産技研 加工処理を一貫支援 航空機・医療機器試作など 来年7月利用開始

No.	掲載日	掲載紙・掲載誌	記事タイトル・内容など
92	12月19日	都政新報	都産技研 先端計測加工ラボを開設 城南支所 航空・医工連携を支援
93	12月22日	日刊工業新聞	フラッシュ 異業種交流グループ一堂に
94	12月22日	薬事日報	第2回新規課題とし53件採択 FSステージ・シーズ顕在化タイプ 科学技術振興機構
95	12月27日	毎日新聞	くらしナビライフスタイル 障害や年齢越え楽しく 機能とデザイン優れた商品豊富に
96	12月27日	塗料報知	木材塗料相談所を開設 木塗研が IFFT に出展
97	12月27日	塗料報知	塗料技術伝承を目的に 都産技研 実践型講習会開く
98	1月 5日	日刊工業新聞	首都圏リポート 都産技研が先端計測加工ラボ 航空機・医療分野に照準 側面支援“3本の矢”/ハイテク中小の開発前進
99	1月10日	読売新聞	スポーツ予算 過去最高に 15年度 五輪準備など290億円 政府方針
100	1月10日	産経新聞	拠点「ハイパフォーマンスセンター」に 20年東京五輪・パラ選手強化へ一体化
101	1月12日	週刊循環経済新聞	基礎実験の結果は良好 事業再開へ第1段階 模擬工程で規制値クリア 食り施設(東京・八王子)の臭気問題
102	1月14日	中国新聞	パラと共用でNTC拡充を 東京五輪へ有識者提言
103	1月15日	日刊工業新聞	都、中小の海外進出促す 技術力PR、五輪契機に アジア展開支援タイに情報拠点
104	1月15日	医理産業新聞	短信 東京都立産業技術研究センター
105	1月15日	中小企業振興	有望な航空機関連産業 シンポ「先端ものづくり産業の未来」開催 関東経産局など
106	1月15日	中小企業振興	インフォメーション 都産技研が多摩テクノプラザ5周年記念で技術交流会を開催
107	1月17日	朝日新聞	五輪・福祉に重点配分 都の新年度予算案 6兆9520億円 舛添知事、初めて編成 7基金「いい政策継続へ備え」
108	1月20日	日刊工業新聞	都中小公社 バンコク拠点 今秋開設 中小支援・交流促進 海外展開2000件へ
109	1月23日	日刊工業新聞	列島ネットワーク 都・東北中小 90社出展 ライフサポートフェア 商談支援体制充実 都中小公社きょうまで
110	1月27日	建設通信新聞	NTC拡充に新規着手 基本設計などを委託/文科省
111	2月 1日	医理産業新聞	都中小企業振興 平成27年度助成事業説明会開催(第5~8回)
112	2月 1日	医理産業新聞	セミナー案内 都産技研 滅菌の基礎 2月10日 東京
113	2月 1日	医理産業新聞	短信 東京都立産業技術研究センター
114	2月 2日	週刊循環経済新聞	食り施設(東京・八王子)の臭気問題 実験結果を住民に報告 次ステップへ理解求める
115	2月 8日	読売新聞	「はやぶさ」の取り組み講演 多摩テクノプラザ5周年で
116	2月10日	日刊工業新聞	都産技研バンコク拠点 評価試験機導入へ 日系中小の製品開発支援
117	2月13日	日本経済新聞	地域とアジア タイ企業、中小に紹介 都中小振興公社 今秋メドバンコク進出 情報収集や商談支援
118	2月13日	西多摩新聞	多摩の産業発展に貢献 多摩テクノプラザ5周年記念し式典
119	2月15日	医理産業新聞	セミナー案内 都産技研 改正RoHS 3月5日 東京
120	2月20日	日刊建設工業新聞	旭町地区まちづくり(東京都八王子市)/地権者らの開発協議会が発足/市が支援
121	2月20日	日刊工業新聞	長時間座っても大丈夫 オクトが椅子用空気クッション
123	2月26日	日刊工業新聞	地域連携シンポ

No.	掲載日	掲載紙・掲載誌	記事タイトル・内容など
124	3月 4日	日刊工業新聞	中小の技術力向上 荒川区と包括連携 都産技研
125	3月 7日	塗料報知	旭サナック UTS 熱硬化漆をテーマに 自補修塗料も取り上げ
126	3月11日	日刊工業新聞	都がロボ産業支援加速 産技研に14億円予算 中小の知財活用促す
127	3月12日	日刊工業新聞	都産技研、認定事業者に 鉄鋼分野の JNLA 試験 国際相互承認可能
128	3月15日	医理産業新聞	都産技研 荒川区と協定 技術支援・産業振興
129	3月19日	日刊工業新聞	都産技研 3Dプリンター試作支援 金属粉末式7月導入
130	3月31日	建設通信新聞	人事異動・東京都
131	3月31日	日刊工業新聞	モノづくり産業の未来 ロボット産業 目玉に活性化 都の中小製造業向け施策 産技研核に事業化加速

(6) 雑誌・広報誌報道

No.	発行日	掲載誌	記事タイトル・内容など
1	5月20日	計測標準と計量管理, 日本計量振興協会, Vol. 64, No. 1, pp. 24-31 (2014)	特集 計測標準フォーラム講演会(2) 東京都立産業技術研究センター城南支所 ～ものづくりおおたの最前線と計測技術～
2	5月30日	塗装工学, 日本塗装技術協会, 49巻, 5号, p. 183 (2014)	<研究発表会報告> 第29回塗料・塗装研究発表会レポート
3	6月27日	平成26年版科学技術白書, 文部科学省, pp. 17-35 (2014)	特集2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される2020年を目標とした科学技術に関する展開
4	7月 1日	塗装技術, 理工出版社, 第53巻, 8号, p. 36 (2014)	平成26年度研究成果発表会を開催 (地独)東京都立産業技術研究センター
5	8月	2014 RING!RING!プロジェクト, JKA, p. 22 (2014)	機械工業振興 中小企業の製品開発を支える強度試験規格外の大きさや形にも工夫で対応 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
6	8月28日	東京の産業と雇用就業2014, 東京都産業労働局, p. 47 (2014)	コラム 高速造形機(3次元プリンタ)の活用 ～地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター(江東区)～
7	8月21日	こうとう区報, 江東区, No. 1818, p. 6 (2014)	官公署 都産技研 イノベスタ
8	9月 1日	青梅・五日市線の旅, 東日本旅客鉄道, p. 4 (2014)	多摩テクノプラザ
9	9月10日	アーガス 21, 東京都中小企業振興公社, No. 430, p. 10 (2014)	技術シーズのご紹介 - 東京都立産業技術研究センター - 炭素繊維強化プラスチック(CFRP)製環状ばねの開発
10	9月20日	きらり・たちかわ, 立川市, Vol. 29, p. 29 (2014)	産業サポートスクエア・TAMA「ウェルカムデー」～来て、見て、触れて、わくわく体験!～(入場無料) 多摩テクノプラザ「多摩テクノフェア」
11	10月 1日	広報ひの, 日野市, 第1336号, pp. 2-4 (2014)	工業特集 ものづくりは人づくり～工業を取り巻く「つながり」
12	10月 1日	広報東京, 東京都, 第830号, p. 5 (2014)	産業サポートスクエア・TAMA「ウェルカムデー」
13	10月 1日	こうとう区報, 江東区, No. 1822, p. 4 (2014)	産学連携技術セミナー・施設見学会 都産技研城南支所を見学 3Dプリンターなど先端技術をものづくりのヒントに 11/5(水)
14	10月10日	アーガス 21, 東京都中小企業振興公社, No. 431, p. 13 (2014)	産業サポートスクエア・TAMA ウェルカムデー ～来て、見て、触れて、わくわく体験!!～
15	10月10日	アーガス 21, 東京都中小企業振興公社, No. 431, p. 14 (2014)	東京都地域結集型研究開発プログラム 最終成果報告会のご案内

No.	発行日	掲載誌	記事タイトル・内容など
16	10月10日	アーガス 21, 東京都中小企業振興公社, No. 431, p. 15 (2014)	セミナー・イベントのご案内 経営 3D プリンター活用セミナー
17	10月27日	日刊タイビジネス, Nikkan Thai Business Co., Ltd., 第 1374 号, p. 2 (2014)	バンコク事務所開設へ、東京都技術センター
18	11月 1日	月刊廃棄物, 日報ビジネス, 第 40 巻, 第 11 号, pp. 18-19 (2014)	特別インタビュー 静岡大学大学院工学研究科准教授 松田智氏に聞く 化学工学の手法をフル活用して堆肥施設の臭気問題に挑む ～八王子バイオマス・エコセンターの改善策に名乗り～
19	11月12日	技術総合誌オーム, オーム社, 第 101 巻, 第 11 号, p. 107 (2014)	創刊 100 周年記念 有識者 15 名が選ぶ「心に残る 1 冊」『システムと制御』
20	11月20日	日刊タイビジネス, Nikkan Thai Business Co., Ltd., 第 1392 号, p. 6 (2014)	東京都技術センター、工業省と業務協力へ
21	11月26日	日刊タイビジネス, Nikkan Thai Business Co., Ltd., 第 1396 号, p. 3 (2014)	東京都技術センター、工業省と協力覚書締結
22	12月 1日	月刊廃棄物, 日報ビジネス, 第 40 巻, 第 12 号, pp. 44-45 (2014)	臭気改善の実証実験へ 新体制で住民に理解求める (株) イズミ環境 (東京都八王子市)
23	12月10日	アーガス 21, 東京都中小企業振興公社, No. 433, p. 11 (2014)	技術シーズのご紹介 - 東京都立産業技術研究センター - 面発光パネル照明に対応した小型配光測定装置の開発
24	12月10日	アーガス 21, 東京都中小企業振興公社, No. 433, p. 16 (2014)	優れた製品や技術を有する中小企業が集結する展示商談会 ライフサポートフェア 2015
25	12月25日	東京シーサイドストーリー, 産経新聞社, Vol. 226, p. 24 (2014)	クローズアップ!! 新交通ゆりかもめ オフィス、研究施設が集う街 テレコムセンター駅
26	12月29日	ASEAN 経済通信, 金融ファクシミリ新聞社, 第 299 号, p. 9 (2014)	わが社のアジア戦略 中小企業の技術支援ニーズに対応 東京都立産業技術研究センター
27	1月 1日	月刊廃棄物, 日報ビジネス, 第 41 巻, 第 1 号, p. 18 (2015)	堆肥施設の事業再開目指し “八王子以外” で実験公開へ (株)イズミ環境(東京都八王子市)
28	1月 7日	MACC 通信, 荒川区, 第 31 号, pp. 1-2 (2015)	「都産技研見学ツアー ～3D ものづくりのイマを知る・見る～」を開催!
29	1月10日	アーガス 21, 東京都中小企業振興公社, No. 434, pp. 10-11 (2015)	開幕直前! 優れた製品や技術を有する中小企業が集結する展示商談会 ライフサポートフェア 2015 同時開催 イベント 東京都異業種産業交流グループ合同交流会
30	1月10日	アーガス 21, 東京都中小企業振興公社, No. 434, p. 20 (2015)	東京が世界に誇る新技術 平成 27 年度 助成事業説明会のご案内
31	1月12日	週刊金融財政事情, きんざい, 第 3102 号, pp. 12-18 (2015)	【特集】地銀再編-当事者たちの証言 東京都民銀行=八千代銀行 東京・神奈川の金融勢力図を塗り替える起爆剤に
32	1月16日	機関誌 Bulletin JASA, 組込みシステム技術協会, Vol. 53, p. 17 (2015)	第 6 回日本プラグフェスト開催報告 - 技術本部ハードウェア委員会 -
33	1月26日	葛飾ブランド葛飾町工場物語第 8 回 (平成 26 年度) 認定製品ストーリーマンガ, 葛飾区, pp. 66-75 (2015)	光技術にたくす若き会社の「想い」 ～光コネクタ端面クリーナー「くるるんぱっ」シリーズ～ 株式会社オプトゲート

No.	発行日	掲載誌	記事タイトル・内容など
34	2月 1日	月刊廃棄物, 日報ビジネス, 第 41 巻, 第 2 号, p. 51 (2015)	臭気改善へ基礎実験の結果は「良好」 (株) イズミ環境(東京都八王子市)
35	2月 5日	精密工学会誌, 精密工学会, 第 962 号, pp. 117-122 (2015)	2014 年度 (第 34 回) 精密工学会技術賞 低熱膨張セラミックスの開発と精密測定での標準器への活用
36	2月 10日	応用物理, 応用物理学会, 第 84 号, 第 2 号, p. 177 (2015)	うちのキャラクターをどうぞよろしく!! [第 3 回] 東京都立産業技術研究センター
37	3月 1日	戦略経営者, (株)TKC, 第 30 巻, 第 3 号, pp. 30-31 (2015)	第 3 特集 3D プリンターの可能性
38	3月 20日	きらり・たちかわ, 立川市, Vol. 31, p. 19 (2015)	(地独)東京都立産業技術研究センター多摩テクノプラザ「子ども科学技術教室」～夏休みものづくり体験!～
39	3月 21日	こうとう区報, 江東区, No. 1845, p. 1 (2015)	区内中小企業・事業所をサポート 都立産業技術研究センター利用料

### (7) ウェブ報道

No.	日付	サイト名	見出し
1	4月 2日	ファスニングジャーナル	第 75 回締結問題研究会定例会 ねじ設計に関する特別講演等を実施
2	4月 2日	日本食糧新聞	日本発明振興協会、「発明大賞」表彰式 24 件に栄誉
3	4月 4日	J-Net21	「広域首都圏輸出製品技術支援センター」1 都 10 県公設試験研究機関に連携拡大
4	4月 10日	J-Net21	製品開発支援講演会「創業ベンチャー向け資本性ローン融資の活用」
5	4月 10日	J-Net21	専門家等の派遣・募集 (製品開発支援ラボマネージャーの公募について)
6	4月 11日	J-Net21	海外法規制の基礎解説その 4～RoHS (II) 指令が要求する CE マーキング用対応 BOM の作り方～
7	4月 17日	電子ジャーナル	【Pick Up Seminar】実験用具や測定器を用いてその実務・実践を詳解
8	4月 18日	J-Net21	セミナー：海外規格精通シリーズ「中国編」
9	4月 18日	J-Net21	セミナー「海外規格入門 CE マーキング超入門」
10	4月 18日	J-Net21	セミナー「海外規格入門 改正 RoHS 解説～質疑応答付」
11	4月 18日	J-Net21	セミナー「海外規格入門 改正 RoHS 解説 2～質疑応答付」
12	4月 18日	J-Net21	技術者のための知財セミナー「特許明細書の書き方」
13	4月 18日	J-Net21	第 308 回塑性加工シンポジウム「コンパクト化が進む冷間鍛造の進歩と最近の動向」
14	4月 21日	オフィスマガジン online	『I want this!』欲しいと思わせる、魅力的なソフト PVC デザイン提案・製品を募集 賞金 100 万円「PVC Design Award 2014」
15	4月 25日	goo ニュース	五輪選手強化拠点、建設予定地から汚染物質 着工に遅れ
16	4月 25日	mixi ニュース	五輪選手強化拠点、建設予定地から汚染物質 着工に遅れ
17	4月 25日	Yahoo! ニュース	五輪選手強化拠点、建設予定地から汚染物質 着工に遅れ
18	4月 25日	朝日新聞デジタル	五輪選手強化拠点、建設予定地から汚染物質 着工に遅れ
19	5月 1日	電子ジャーナル	【Pick Up Seminar】実験用具や測定器を用いてその実務・実践を詳解
20	5月 2日	Jタウンネット	親子で学ぶよのなかよくするヒトモノシクミ展 小中学生や親子向けに人々の暮らしを支え豊かさを提供する製品やサービスを紹介
21	5月 12日	電子ジャーナル	【Pick Up Seminar】実験用具や測定器を用いてその実務・実践を詳解

No.	日付	サイト名	見出し
22	5月14日	YOMIURI ONLINE	工業製品輸出を広域で支援 県研究所が他都県と
23	5月20日	J-Net21	セミナー「CE マーケティング・改正 RoHS 指令入門（第1弾）」
24	5月20日	J-Net21	セミナー「カラートレンド情報と三次元衣服設計の現状」
25	5月20日	J-Net21	セミナー「ものづくりを革新するデザインマネジメント」
26	5月20日	J-Net21	セミナー「照明・熱シミュレーションを利用した開発事例ならびに設計の基礎」
27	5月20日	J-Net21	プラスチック入門セミナー 物性・分析・評価から 3D プリンターによる造形まで
28	5月20日	J-Net21	技術セミナー「ケアラベルの国際規格化の動向&企業における消費者対応」
29	5月20日	J-Net21	講演会「デジタル・イメージング技術の最前線」
30	5月20日	J-Net21	講習会「チームリーダーのためのプロジェクトマネジメント」
31	5月20日	J-Net21	都産技研の挑戦―世界に勝つものづくり支援の強化―
32	5月20日	J-Net21	木材塗装研究会、東京都立産業技術研究センター
33	5月22日	@nifty ビジネス	お客様の声から生まれた「LIFEPROOF nüüd for iPhone5」シリーズ専用ガラスプロテクターを販売
34	5月22日	Bizloop サーチ	お客様の声から生まれた「LIFEPROOF nüüd for iPhone5」シリーズ専用ガラスプロテクターを販売
35	5月22日	EnterpriseZine	お客様の声から生まれた「LIFEPROOF nüüd for iPhone5」シリーズ専用ガラスプロテクターを販売
36	5月22日	goo ビジネス EX	お客様の声から生まれた「LIFEPROOF nüüd for iPhone5」シリーズ専用ガラスプロテクターを販売
37	5月22日	Japan.internet.com	お客様の声から生まれた「LIFEPROOF nüüd for iPhone5」シリーズ専用ガラスプロテクターを販売
38	5月22日	Ketchapp!	お客様の声から生まれた「LIFEPROOF nüüd for iPhone5」シリーズ専用ガラスプロテクターを販売
39	5月22日	livedoor ニュース	お客様の声から生まれた「LIFEPROOF nüüd for iPhone5」シリーズ専用ガラスプロテクターを販売
40	5月22日	MarkeZine	お客様の声から生まれた「LIFEPROOF nüüd for iPhone5」シリーズ専用ガラスプロテクターを販売
41	5月22日	potaru.com	お客様の声から生まれた「LIFEPROOF nüüd for iPhone5」シリーズ専用ガラスプロテクターを販売
42	5月22日	RBB TODAY	お客様の声から生まれた「LIFEPROOF nüüd for iPhone5」シリーズ専用ガラスプロテクターを販売
43	5月22日	SEO ツールズ	お客様の声から生まれた「LIFEPROOF nüüd for iPhone5」シリーズ専用ガラスプロテクターを販売
44	5月22日	SourceForge.JP	お客様の声から生まれた「LIFEPROOF nüüd for iPhone5」シリーズ専用ガラスプロテクターを販売
45	5月22日	エキサイトニュース	お客様の声から生まれた「LIFEPROOF nüüd for iPhone5」シリーズ専用ガラスプロテクターを販売
46	5月22日	エヌプラス	お客様の声から生まれた「LIFEPROOF nüüd for iPhone5」シリーズ専用ガラスプロテクターを販売
47	5月22日	ドリームニュース	お客様の声から生まれた「LIFEPROOF nüüd for iPhone5」シリーズ専用ガラスプロテクターを販売
48	5月22日	とれまがニュース	お客様の声から生まれた「LIFEPROOF nüüd for iPhone5」シリーズ専用ガラスプロテクターを販売
49	5月22日	なまら北海道	お客様の声から生まれた「LIFEPROOF nüüd for iPhone5」シリーズ専用ガラスプロテクターを販売
50	5月22日	ぷろなび	お客様の声から生まれた「LIFEPROOF nüüd for iPhone5」シリーズ専用ガラスプロテクターを販売

No.	日付	サイト名	見出し
51	5月22日	マピオンニュース	お客様の声から生まれた「LIFEPROOF nüüd for iPhone5」シリーズ専用ガラスプロテクターを販売
52	5月22日	起業 SNS	お客様の声から生まれた「LIFEPROOF nüüd for iPhone5」シリーズ専用ガラスプロテクターを販売
53	5月23日	IBTimes	お客様の声から生まれた「LIFEPROOF nüüd for iPhone5」シリーズ専用ガラスプロテクターを販売
54	5月25日	快適家電 Life	『都産技研の挑戦 世界に勝つものづくり支援の強化』
55	5月25日	MSN 産経ニュース	『都産技研の挑戦 世界に勝つものづくり支援の強化』刊行
56	5月25日	goo ニュース	【手帖】『都産技研の挑戦 世界に勝つものづくり支援の強化』刊行
57	5月26日	@nifty ビジネス	テクトロニクス、ワイヤレス・テクノロジー・パークに出展し、最新のワイヤレス通信規格測定／解析ソリューションを展示
58	5月26日	AFP BB News	テクトロニクス、ワイヤレス・テクノロジー・パークに出展し、最新のワイヤレス通信規格測定／解析ソリューションを展示
59	5月26日	BIGLOBE ニュース	テクトロニクス、ワイヤレス・テクノロジー・パークに出展し、最新のワイヤレス通信規格測定／解析ソリューションを展示
60	5月26日	CNET Japan	テクトロニクス、ワイヤレス・テクノロジー・パークに出展し、最新のワイヤレス通信規格測定／解析ソリューションを展示
61	5月26日	Digital PR Platform	テクトロニクス、ワイヤレス・テクノロジー・パークに出展し、最新のワイヤレス通信規格測定／解析ソリューションを展示
62	5月26日	goo ビジネス EX	テクトロニクス、ワイヤレス・テクノロジー・パークに出展し、最新のワイヤレス通信規格測定／解析ソリューションを展示
63	5月26日	Infoseek ニュース	テクトロニクス、ワイヤレス・テクノロジー・パークに出展し、最新のワイヤレス通信規格測定／解析ソリューションを展示
64	5月26日	Japan. internet. com	テクトロニクス、ワイヤレス・テクノロジー・パークに出展し、最新のワイヤレス通信規格測定／解析ソリューションを展示
65	5月26日	livedoor ニュース	テクトロニクス、ワイヤレス・テクノロジー・パークに出展し、最新のワイヤレス通信規格測定／解析ソリューションを展示
66	5月26日	SankeiBiz	テクトロニクス、ワイヤレス・テクノロジー・パークに出展し、最新のワイヤレス通信規格測定／解析ソリューションを展示
67	5月26日	YOMIURI ONLINE	テクトロニクス、ワイヤレス・テクノロジー・パークに出展し、最新のワイヤレス通信規格測定／解析ソリューションを展示
68	5月26日	ZDNet Japan	テクトロニクス、ワイヤレス・テクノロジー・パークに出展し、最新のワイヤレス通信規格測定／解析ソリューションを展示
69	5月26日	エキサイトニュース	テクトロニクス、ワイヤレス・テクノロジー・パークに出展し、最新のワイヤレス通信規格測定／解析ソリューションを展示
70	5月26日	ジョルダンニュース!	テクトロニクス、ワイヤレス・テクノロジー・パークに出展し、最新のワイヤレス通信規格測定／解析ソリューションを展示
71	5月26日	マピオンニュース	テクトロニクス、ワイヤレス・テクノロジー・パークに出展し、最新のワイヤレス通信規格測定／解析ソリューションを展示



No.	日付	サイト名	見出し
72	5月26日	楽天 woman	テクトロニクス、ワイヤレス・テクノロジー・パークに出展し、最新のワイヤレス通信規格測定／解析ソリューションを展示
73	5月26日	財経新聞	テクトロニクス、ワイヤレス・テクノロジー・パークに出展し、最新のワイヤレス通信規格測定／解析ソリューションを展示
74	5月26日	朝日新聞デジタル	テクトロニクス、ワイヤレス・テクノロジー・パークに出展し、最新のワイヤレス通信規格測定／解析ソリューションを展示
75	5月26日	毎日新聞	テクトロニクス、ワイヤレス・テクノロジー・パークに出展し、最新のワイヤレス通信規格測定／解析ソリューションを展示
76	5月26日	日刊工業新聞	超越化研、放射線遮へい紙を開発ータンクスステン粉体利用
77	5月28日	ジャパンデザインネット	ものづくりを革新するデザインマネジメント
78	5月29日	イプロス製造業	IEEE802.11adの信号解析を従来比1/10のコストで構築可能な評価システム
79	5月29日	EE Times Japan	IEEE802.11adの信号解析を従来比1/10のコストで構築可能な評価システム (1/2)
80	5月29日	EE Times Japan	IEEE802.11adの信号解析を従来比1/10のコストで構築可能な評価システム (2/2)
81	5月30日	商店建築	セミナー情報 「第26回 木材塗装基礎講座」
82	5月30日	コンフォルト	第26回 木材塗装基礎講座
83	6月2日	NewsAsiaBiz2	「LIFEPROOF nuud for iPhone5」専用プロテクター
84	6月3日	@nifty ニュース	【レポート】 IEEE802.11ad 対応の 60GHz 帯の計測・解析が可能なソリューションーテクトロ
85	6月3日	goo ニュース	【レポート】 IEEE802.11ad 対応の 60GHz 帯の計測・解析が可能なソリューションーテクトロ
86	6月3日	livedoor ニュース	【レポート】 IEEE802.11ad 対応の 60GHz 帯の計測・解析が可能なソリューションーテクトロ
87	6月3日	MSN マネー	【レポート】 IEEE802.11ad 対応の 60GHz 帯の計測・解析が可能なソリューションーテクトロ
88	6月3日	ニコニコニュース	【レポート】 IEEE802.11ad 対応の 60GHz 帯の計測・解析が可能なソリューションーテクトロ
89	6月3日	Infoseek ニュース	【レポート】 IEEE802.11ad 対応の 60GHz 帯の計測・解析が可能なソリューションーテクトロ_1
90	6月3日	Infoseek ニュース	【レポート】 IEEE802.11ad 対応の 60GHz 帯の計測・解析が可能なソリューションーテクトロ_2
91	6月3日	楽天 woman	【レポート】 IEEE802.11ad 対応の 60GHz 帯の計測・解析が可能なソリューションーテクトロ_1
92	6月3日	楽天 woman	【レポート】 IEEE802.11ad 対応の 60GHz 帯の計測・解析が可能なソリューションーテクトロ_2
93	6月3日	楽天 woman	【レポート】 IEEE802.11ad 対応の 60GHz 帯の計測・解析が可能なソリューションーテクトロ_3
94	6月3日	BIGLOBE ニュース	IEEE802.11ad 対応の 60GHz 帯の計測・解析が可能なソリューションーテクトロ
95	6月3日	mediajam	IEEE802.11ad 対応の 60GHz 帯の計測・解析が可能なソリューションーテクトロ
96	6月3日	Yahoo! ニュース	IEEE802.11ad 対応の 60GHz 帯の計測・解析が可能なソリューションーテクトロ
97	6月3日	ジョルダンニュース!	IEEE802.11ad 対応の 60GHz 帯の計測・解析が可能なソリューションーテクトロ
98	6月3日	マイナビニュース	IEEE802.11ad 対応の 60GHz 帯の計測・解析が可能なソリューションーテクトロ

No.	日付	サイト名	見出し
99	6月 3日	マピオンニュース	IEEE802.11ad 対応の 60GHz 帯の計測・解析が可能なソリューション -テクトロ
100	6月 3日	ウーマンエキサイト	IEEE802.11ad 対応の 60GHz 帯の計測・解析が可能なソリューション -テクトロ_1
101	6月 3日	ウーマンエキサイト	IEEE802.11ad 対応の 60GHz 帯の計測・解析が可能なソリューション -テクトロ_2
102	6月 3日	ウーマンエキサイト	IEEE802.11ad 対応の 60GHz 帯の計測・解析が可能なソリューション -テクトロ_3
103	6月 3日	ウーマンエキサイト	IEEE802.11ad 対応の 60GHz 帯の計測・解析が可能なソリューション -テクトロ_4
104	6月 3日	エキサイトニュース	IEEE802.11ad 対応の 60GHz 帯の計測・解析が可能なソリューション -テクトロ_1
105	6月 3日	エキサイトニュース	IEEE802.11ad 対応の 60GHz 帯の計測・解析が可能なソリューション -テクトロ_2
106	6月 3日	J-Net21	平成 26 年度ブランド確立実践ワークショップ「商品企画基礎講座」
107	6月 3日	J-Net21	平成 26 年度ブランド確立実践ワークショップ「販売促進企画講座」
108	6月 4日	J-Net21	都産技研と東京東信金、中小支援で業務連携協定
109	6月 5日	イプロス製造業	「世界で戦う中小企業を増やす」高い潜在能力を強力支援 片岡正俊・東京都産業技術研理事長
110	6月 5日	SankeiBiz	「世界で戦う中小企業を増やす」高い潜在能力を強力支援 片岡正俊・東京都産業技術研理事長 (1/2 ページ)
111	6月 5日	SankeiBiz	「世界で戦う中小企業を増やす」高い潜在能力を強力支援 片岡正俊・東京都産業技術研理事長 (2/2 ページ)
112	6月 5日	MSN 産経ニュース	「世界で戦う中小企業を増やす」高い潜在能力を強力支援 片岡正俊・東京都産業技術研理事長_1
113	6月 5日	MSN 産経ニュース	「世界で戦う中小企業を増やす」高い潜在能力を強力支援 片岡正俊・東京都産業技術研理事長_2
114	6月 6日	goo ニュース	「都産技研の挑戦」刊行、片岡理事長に聞く 中小の海外進出を強力支援
115	6月 6日	SankeiBiz	「都産技研の挑戦」刊行、片岡理事長に聞く 中小の海外進出を強力支援
116	6月 6日	Yahoo! ニュース	「都産技研の挑戦」刊行、片岡理事長に聞く 中小の海外進出を強力支援
117	6月 6日	Yahoo! ニュース BUSINESS	「都産技研の挑戦」刊行、片岡理事長に聞く 中小の海外進出を強力支援
118	6月 9日	塗料報知新聞社	インフォメーション 東京都立産業技術研究センターは、6月19日(木)・20日(金)に同センター本部で、平成26年度研究成果発表会を開催する。
119	6月10日	電子ジャーナル	実験用具や測定器を用いてその実務・実践を詳解
120	6月11日	日刊工業新聞	東京都立産業技術研究センター、自社の技術を生かすものづくりを学ぶ「商品企画基礎講座」の12期受講生募集
121	6月11日	@Press	東京都立産業技術研究センターが、自社の技術を生かすものづくりを学ぶ「商品企画基礎講座」の12期受講生募集 ～ 受講企業のうち75%が自社商品開発に利用できたと回答 ～
122	6月12日	J-Net21	東京都立産業技術研究センターと芝信用金庫が協定を締結
123	6月13日	MSN 産経ニュース	吸水性抜群「1秒タオル」中国製に対抗 “プチぜいたく”市場ターゲット
124	6月13日	インテリア情報サイト	吹きガラスと幾何学模様の糸が素材を引き立てあうテーブルウェア「bloom」
125	6月13日	メカニカル・テック	都産技研と東京東信用金庫、中小支援で業務連携協定

No.	日付	サイト名	見出し
126	6月17日	電子ジャーナル	【Pick Up Seminar】実験用具や測定器を用いてその実務・実践を詳解
127	6月19日	@Press	脱自己流マーケティングの「販売促進企画講座」受講生募集 情報過多の時代で商品やサービスの情報を確実に届ける方法
128	6月20日	J-Net21	INNOVESTA! East—ものづくりと技術を楽しむ—
129	6月22日	ファスニングジャーナル	日本塑性加工学会 ねじ関連企業では旭サナックなど講演
130	6月23日	J-Net21	セミナー「LED 光源・LED 照明器具の国際規格～光・照明関連規格の現状と重要点～」
131	6月23日	J-Net21	環境物質規制対策セミナー -RoHS, REACH-
132	6月27日	Yahoo!ニュース	「U マーク」、ファッションにもバリアフリーを
133	6月27日	オルタナ S	「U マーク」、ファッションにもバリアフリーを
134	7月 1日	J-Net21	「平成 25 年度 年報」掲載
135	7月 1日	J-Net21	TIRI News 2014 年 7 月号掲載
136	7月 3日	mediajam	締結問題研究会 副会長に佐藤氏就任、新年度事業計画を策定
137	7月 3日	ファスニングジャーナル	締結問題研究会 副会長に佐藤氏就任、新年度事業計画を策定
138	7月 4日	Business Journal	東京、埋もれた内部被ばくを示唆するデータ 放射線量と放射性物質濃度が一時ピークに
139	7月 4日	Infoseek ニュース	東京、埋もれた内部被ばくを示唆するデータ 放射線量と放射性物質濃度が一時ピークに
140	7月 4日	livedoor ニュース	東京、埋もれた内部被ばくを示唆するデータ 放射線量と放射性物質濃度が一時ピークに
141	7月 4日	mixi ニュース	東京、埋もれた内部被ばくを示唆するデータ 放射線量と放射性物質濃度が一時ピークに
142	7月 4日	MSN トピックス	東京、埋もれた内部被ばくを示唆するデータ 放射線量と放射性物質濃度が一時ピークに
143	7月 4日	Yahoo!ニュース	東京、埋もれた内部被ばくを示唆するデータ 放射線量と放射性物質濃度が一時ピークに
144	7月 4日	エキサイトニュース	東京、埋もれた内部被ばくを示唆するデータ 放射線量と放射性物質濃度が一時ピークに
145	7月 4日	コネタ by au ニュース	東京、埋もれた内部被ばくを示唆するデータ 放射線量と放射性物質濃度が一時ピークに
146	7月 4日	楽天 woman	東京、埋もれた内部被ばくを示唆するデータ 放射線量と放射性物質濃度が一時ピークに
147	7月 9日	J-Net21	INNOVESTA (イノベスタ) ! 2014
148	7月 9日	建設通信新聞	東京都の産業交流拠点／基本計画を今夏委託／八王子旭町・明神町地区 大規模街づくり前進
149	7月11日	建設通信新聞	人事異動・東京都
150	7月14日	J-Net21	企画展示図書<7月>のお知らせ
151	7月15日	J-Net21	東商と都産技研、業務連携で協定—中小の海外展開支援
152	7月22日	J-Net21	製品開発支援ラボ 入居者募集
153	7月22日	財経新聞	製品開発支援ラボ 入居者募集
154	7月22日	日刊工業新聞	東京理科大、固体の摩擦・潤滑で研究拠点を設立—航空・宇宙分野で中小参入支援

No.	日付	サイト名	見出し
155	7月23日	Jpubb	都市課題解決のための技術戦略プログラム（安全・安心編）の普及セミナーを開催します - 成長産業分野への参入支援セミナー
156	7月24日	J-Net21	本部 3m 法電波暗室の校正およびメンテナンスに伴う利用停止のお知らせ
157	7月25日	J-Net21	INNOVESTA!2014 海外規格入門特別セミナー
158	7月25日	J-Net21	都市課題解決のための技術戦略プログラム（安全・安心編）の普及セミナー
159	7月28日	J-Net21	TIRI News 2014年8月号掲載
160	7月31日	J-Net21	平成26年度（第2回）共同研究募集案内
161	7月31日	J-Net21	平成26年度東京都異業種交流グループが発足しました
162	8月4日	J-Net21	【重点4 技術分野フォーラム】世界の化学物質規制を強み・チャンスへと変える環境経営
163	8月6日	江東おでかけ情報局	INNOVESTA!（イノベスタ）2014
164	8月5日	J-Net21	広域首都圏輸出製品技術支援センター専門相談員スケジュール（8～9月）
165	8月7日	BIGLOBE ニュース	<東京五輪>NTC 拡充 隣接地で18年秋稼働目指す
166	8月7日	goo ニュース	<東京五輪>NTC 拡充 隣接地で18年秋稼働目指す
167	8月7日	TNC ニュース	<東京五輪>NTC 拡充 隣接地で18年秋稼働目指す
168	8月7日	Yahoo! ニュース	<東京五輪>NTC 拡充 隣接地で18年秋稼働目指す
169	8月7日	エキサイトニュース	<東京五輪>NTC 拡充 隣接地で18年秋稼働目指す
170	8月7日	@nifty ニュース	5 競技練習場新設、パラ共用推進
171	8月7日	be amie	5 競技練習場新設、パラ共用推進
172	8月7日	So-net ニュース	5 競技練習場新設、パラ共用推進
173	8月7日	デイリースポーツ	5 競技練習場新設、パラ共用推進
174	8月7日	ロイター	5 競技練習場新設、パラ共用推進
175	8月7日	佐賀新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進
176	8月7日	大分合同新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進
177	8月7日	福島民報	5 競技練習場新設、パラ共用推進
178	8月7日	@S	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
179	8月7日	47NEWS	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
180	8月7日	Infoseek ニュース	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
181	8月7日	livedoor ニュース	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
182	8月7日	MY J:COM	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
183	8月7日	Web 東奥	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
184	8月7日	エキサイトニュース	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省

No.	日付	サイト名	見出し
185	8月 7日	さきがけ onTheWeb	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
186	8月 7日	さんようタウンナビ	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
187	8月 7日	デーリー東北新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
188	8月 7日	ニコニコニュース	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
189	8月 7日	愛媛新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
190	8月 7日	下野新聞 SOON	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
191	8月 7日	河北新報	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
192	8月 7日	楽天 woman	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
193	8月 7日	岩手日報	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
194	8月 7日	岐阜新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
195	8月 7日	宮崎日日新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
196	8月 7日	京都新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
197	8月 7日	高知新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
198	8月 7日	山陰中央新報	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
199	8月 7日	山形新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
200	8月 7日	山陽新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
201	8月 7日	山梨日日新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
202	8月 7日	四国新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
203	8月 7日	上毛新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
204	8月 7日	信濃毎日新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
205	8月 7日	新潟日報	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
206	8月 7日	神戸新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
207	8月 7日	西日本新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
208	8月 7日	千葉日報	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
209	8月 7日	大阪日日新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
210	8月 7日	中国新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
211	8月 7日	中日スポーツ	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
212	8月 7日	中日新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省

No.	日付	サイト名	見出し
213	8月 7日	長崎新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
214	8月 7日	東京新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
215	8月 7日	徳島新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
216	8月 7日	日本オリンピック委員会	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
217	8月 7日	日本海新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
218	8月 7日	富山新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
219	8月 7日	福井新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
220	8月 7日	福島民友	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
221	8月 7日	北海道新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
222	8月 7日	北國新聞	5 競技練習場新設、パラ共用推進 五輪へトレセン拡充、文科省
223	8月 7日	@T COM ニュース	NTC 拡充 隣接地で 18 年秋稼働目指す
224	8月 7日	SANSPO.COM	トレセン拡充、パラリンピック共用を推進 文科省会議で中間報告書
225	8月 7日	時事ドットコム	パラ共用トレセン新設を提言＝文科省有識者会議
226	8月 7日	J-Net21	生活技術開発セクター 開設 1 周年記念講演会「誰でもできるデザイン人間工学に基づく製品・サービス開発方法」
227	8月 7日	goo ニュース	第 2 トレセンは都有地に 文科省の有識者会議が中間報告まとめる
228	8月 7日	livedoor ニュース	第 2 トレセンは都有地に 文科省の有識者会議が中間報告まとめる
229	8月 7日	MSN 産経ニュース	第 2 トレセンは都有地に 文科省の有識者会議が中間報告まとめる
230	8月 7日	Yahoo! ニュース	第 2 トレセンは都有地に 文科省の有識者会議が中間報告まとめる
231	8月 7日	イザ!	第 2 トレセンは都有地に 文科省の有識者会議が中間報告まとめる
232	8月 7日	cybozu.net	東京五輪：NTC 拡充 隣接地で 18 年秋稼働目指す
233	8月 7日	毎日新聞	東京五輪：NTC 拡充 隣接地で 18 年秋稼働目指す
234	8月 7日	スポーツ報知	東京五輪に向けてトレセン拡充を提案へ
235	8月 8日	mixi ニュース	<東京五輪>NTC 拡充 隣接地で 18 年秋稼働目指す
236	8月 8日	毎日新聞	20 年東京五輪・パラリンピック：強化拠点、隣接地活用を－文科省有識者会議
237	8月 8日	イノベーションズアイ	世界に勝つ「人づくり」「ものづくり」
238	8月 8日	SankeiBiz	世界に勝つ「人づくり」「ものづくり」 (1/6 ページ)
239	8月 8日	SankeiBiz	世界に勝つ「人づくり」「ものづくり」 (2/6 ページ)
240	8月 8日	SankeiBiz	世界に勝つ「人づくり」「ものづくり」 (3/6 ページ)
241	8月 8日	SankeiBiz	世界に勝つ「人づくり」「ものづくり」 (4/6 ページ)
242	8月 8日	SankeiBiz	世界に勝つ「人づくり」「ものづくり」 (5/6 ページ)

No.	日付	サイト名	見出し
243	8月 8日	SankeiBiz	世界に勝つ「人づくり」「ものづくり」 (6/6 ページ)
244	8月 8日	MSN 産経ニュース	世界に勝つ「人づくり」「ものづくり」 「中小企業のパートナー」 都立産業技術研究センター (1/4 ページ)
245	8月 8日	MSN 産経ニュース	世界に勝つ「人づくり」「ものづくり」 「中小企業のパートナー」 都立産業技術研究センター (2/4 ページ)
246	8月 8日	MSN 産経ニュース	世界に勝つ「人づくり」「ものづくり」 「中小企業のパートナー」 都立産業技術研究センター (3/4 ページ)
247	8月 8日	MSN 産経ニュース	世界に勝つ「人づくり」「ものづくり」 「中小企業のパートナー」 都立産業技術研究センター (4/4 ページ)
248	8月12日	プレスリリース ゼロ	《無料イベント》 INNOVESTA! (イノベスタ) 2014 を9月5日・6日に開催!— 子供も大人も!テクノロジーを体感しよう!—
249	8月12日	イプロス製造業	10/8【セミナー】LED照明に求められる“光の質”と光学設計、演色性評価
250	8月12日	AEROPRES	都産技研が《無料イベント》 INNOVESTA! (イノベスタ) 2014 を9月5日・6日に開催!— 子供も大人も!テクノロジーを体感しよう!—
251	8月12日	OpenPress	都産技研が《無料イベント》 INNOVESTA! (イノベスタ) 2014 を9月5日・6日に開催!— 子供も大人も!テクノロジーを体感しよう!—
252	8月12日	REGNAS	都産技研が《無料イベント》 INNOVESTA! (イノベスタ) 2014 を9月5日・6日に開催!— 子供も大人も!テクノロジーを体感しよう!—
253	8月12日	REGRESE	都産技研が《無料イベント》 INNOVESTA! (イノベスタ) 2014 を9月5日・6日に開催!— 子供も大人も!テクノロジーを体感しよう!—
254	8月12日	電話帳ナビ	都産技研が《無料イベント》 INNOVESTA! (イノベスタ) 2014 を9月5日・6日に開催!— 子供も大人も!テクノロジーを体感しよう!—
255	8月13日	エヌプラス	都産技研が《無料イベント》 INNOVESTA! (イノベスタ) 2014 を9月5日・6日に開催!
256	8月14日	Value Press	都産技研が《無料イベント》 INNOVESTA! (イノベスタ) 2014 を9月5日・6日に開催!— 子供も大人も!テクノロジーを体感しよう!—
257	8月15日	J-Net21	生活技術開発セクター 1周年記念講演会「誰でもできるデザイン人間工学に基づく製品・サービス開発方法」
258	8月15日	J-Net21	生活技術開発セクター 施設公開
259	8月18日	Jpubb	数学イノベーション委員会 (第16回) 議事録
260	8月20日	fabcross	デジタル工作機で川に浮くものを作る連続ワークショップから、家族をつなぐ家電を考えるアイデアソンまで (8/23~開催のイベント)
261	8月20日	マイナビニュース	デジタル工作機で川に浮くものを作る連続ワークショップから、家族をつなぐ家電を考えるアイデアソンまで (8/23~開催のイベント)
262	8月20日	J-Net21	府中市工技情報センター、都産技研と遠隔対面相談サービス—多摩中小の利便性向上
263	8月21日	SankeiBiz	【茨城発 元気印】モーハウス 国内初の授乳服ブランド、全国に販路 (4/4 ページ)
264	8月22日	建通新聞	産業交流拠点新設で基本計画検討—都
265	8月25日	建設通信新聞	基本計画は総企画/産業交流拠点複合施設/東京都財務局
266	8月25日	tabico	東京都江東区で、ものづくり技術や科学を体感できる「INNOVESTA!」開催
267	8月26日	J-Net21	TIRI News 2014年9月号掲載

No.	日付	サイト名	見出し
268	8月26日	J-Net21	海外規格精通シリーズ 電気・電子製品の中国規格と中国版 RoHS
269	8月26日	J-Net21	海外規格入門シリーズ CE マーキング入門
270	8月26日	J-Net21	海外規格入門シリーズ 海外の安全規格 ～北米、欧州を中心とした世界の安全規格～
271	8月26日	Ameba News	東京都江東区で、ものづくり技術や科学を体感できる「INNOVESTA!」開催
272	8月26日	BIGLOBE ニュース	東京都江東区で、ものづくり技術や科学を体感できる「INNOVESTA!」開催
273	8月26日	ネタリか	東京都江東区で、ものづくり技術や科学を体感できる「INNOVESTA!」開催
274	8月26日	マイナビニュース	東京都江東区で、ものづくり技術や科学を体感できる「INNOVESTA!」開催
275	8月26日	日本経済新聞	府中市、中小向けテレビ電話相談 都産技研の研究者が助言
276	8月26日	J-Net21	本部製品開発支援ラボ（化学系）1室 入居者募集
277	8月29日	ROBOCON Magazine	東京都立産業技術研究センター「ロボット開発セクター」のオープニング記念講演（9/5）が開催されます。
278	9月1日	Colla:J	木材塗装のイロハを一日で 第26回木材塗装基礎講座
279	9月2日	BIGLOBE ニュース	最新ロボット技術を体感 都産研「INNOVESTA!」5日から開催
280	9月2日	goo ニュース	最新ロボット技術を体感 都産研「INNOVESTA!」5日から開催
281	9月2日	goo ビジネス EX	最新ロボット技術を体感 都産研「INNOVESTA!」5日から開催
282	9月2日	Infoseek ニュース	最新ロボット技術を体感 都産研「INNOVESTA!」5日から開催
283	9月2日	livedoor ニュース	最新ロボット技術を体感 都産研「INNOVESTA!」5日から開催
284	9月2日	Yahoo!ニュース	最新ロボット技術を体感 都産研「INNOVESTA!」5日から開催
285	9月2日	イザ!	最新ロボット技術を体感 都産研「INNOVESTA!」5日から開催
286	9月2日	楽天 woman	最新ロボット技術を体感 都産研「INNOVESTA!」5日から開催
287	9月2日	MSN 産経ニュース	最新ロボット技術を体感、3D スキャナーで自分のフィギュアを作ろう 都産研「INNOVESTA!」5日から開催
288	9月2日	SankeiBiz	最新ロボット技術を体感、3D スキャナーで自分のフィギュアを作ろう 都産研「INNOVESTA!」5日から開催
289	9月2日	バイオインパクト	最新ロボット技術を体感、3D スキャナーで自分のフィギュアを作ろう 都産研「INNOVESTA!」5日から開催
290	9月2日	ゴム報知新聞	十川ゴム、硫酸バリウム配合の放射線遮蔽ゴムシートなど展開
291	9月2日	建設通信新聞	新規にトレセン拡充／五輪に向け倍増 540 億／文科省スポーツ関連概算要求
292	9月2日	Jpubb	産業サポートスクエア・TAMA 「ウェルカムデー」開催
293	9月3日	PC Watch	ダイジェスト・ニュース
294	9月3日	47NEWS	最新ロボット技術を体感 5日から都産技研「イノベスタ」
295	9月3日	goo ニュース	最新ロボット技術を体感 5日から都産技研「イノベスタ」
296	9月3日	MSN 産経ニュース	最新ロボット技術を体感 5日から都産技研「イノベスタ」
297	9月3日	Yahoo!ニュース	最新ロボット技術を体感 5日から都産技研「イノベスタ」



No.	日付	サイト名	見出し
298	9月 3日	Ameba News	都産技研の技術や設備を体感できる「イノベスタ 2014」
299	9月 3日	livedoor ニュース	都産技研の技術や設備を体感できる「イノベスタ 2014」
300	9月 3日	MdN Design Interactive	都産技研の技術や設備を体感できる「イノベスタ 2014」
301	9月 3日	エキサイトニュース	都産技研の技術や設備を体感できる「イノベスタ 2014」
302	9月 3日	マピオンニュース	都産技研の技術や設備を体感できる「イノベスタ 2014」
303	9月 3日	fabcross	文字を使わないプログラミング講座から、関西初のメイカーズイベントまで (9/4～開催のイベント)
304	9月 3日	マイナビニュース	文字を使わないプログラミング講座から、関西初のメイカーズイベントまで (9/4～開催のイベント)
305	9月 4日	J-Net21	多摩テクノフェア―産業サポートスクエア・TAMA ウェルカムデー―
306	9月 5日	AAB 秋田朝日放送	五輪、介護…中小企業のロボット事業参入を支援
307	9月 5日	ABC WEBNEWS	五輪、介護…中小企業のロボット事業参入を支援
308	9月 5日	Gya0!	五輪、介護…中小企業のロボット事業参入を支援
309	9月 5日	Yahoo!ニュース	五輪、介護…中小企業のロボット事業参入を支援
310	9月 5日	テレ朝 news	五輪、介護…中小企業のロボット事業参入を支援
311	9月 5日	広島ホームテレビ	五輪、介護…中小企業のロボット事業参入を支援
312	9月 5日	FNN-NEWS.COM	最先端技術を楽しむことができるイベントが開催されました。
313	9月 5日	Gya0!	最先端技術を楽しむことができるイベントが開催されました。
314	9月 5日	So-net ニュース	最先端技術を楽しむことができるイベントが開催されました。
315	9月 5日	Yahoo!ニュース	最先端技術を楽しむことができるイベントが開催されました。
316	9月 5日	AAB 秋田朝日放送	人間そっくりのロボット…中小企業が最先端技術公開
317	9月 5日	ABC WEBNEWS	人間そっくりのロボット…中小企業が最先端技術公開
318	9月 5日	Gya0!	人間そっくりのロボット…中小企業が最先端技術公開
319	9月 5日	Yahoo!ニュース	人間そっくりのロボット…中小企業が最先端技術公開
320	9月 5日	テレ朝 news	人間そっくりのロボット…中小企業が最先端技術公開
321	9月 5日	広島ホームテレビ	人間そっくりのロボット…中小企業が最先端技術公開
322	9月 5日	快適家電 Life	都産技研、中小のロボット開発を支援
323	9月 5日	日本経済新聞	都産技研、中小のロボット開発を支援
324	9月 5日	日本経済新聞	都産技研、中小のロボ開発後押し カメラで動作確認など、五輪・高齢化にらむ
325	9月 5日	J-Net21	物品譲渡に関するお知らせ
326	9月10日	J-Net21	広域首都圏輸出製品技術支援センター専門相談員スケジュール (10～11月)
327	9月17日	金属産業新聞社	締結問題研究会、都産技研生活技術開発セクターを見学
328	9月17日	Jpubb	東京都地域結集型研究開発プログラム ― 都市の安全・安心を支える環境浄化技術開発 最終成果報告会 参加者募集

No.	日付	サイト名	見出し
329	9月19日	goo ニュース	すし桶ラップいらず 手軽に保冷、環境優しく 横浜・福蔵商事が開発
330	9月19日	Yahoo!ニュース	すし桶ラップいらず 手軽に保冷、環境優しく 横浜・福蔵商事が開発
331	9月19日	神奈川新聞	すし桶ラップいらず 手軽に保冷、環境優しく 横浜・福蔵商事が開発
332	9月19日	J-Net21	東京都地域結集型研究開発プログラム（平成18年12月～平成26年11月）最終成果報告会
333	9月22日	Jpubb	セーフティ グッズ フェアを開催
334	9月22日	BIGLOBE ニュース	子供の安全に配慮した商品見本市、都が初開催
335	9月22日	Infoseek ニュース	子供の安全に配慮した商品見本市、都が初開催
336	9月22日	livedoor ニュース	子供の安全に配慮した商品見本市、都が初開催
337	9月22日	mixi ニュース	子供の安全に配慮した商品見本市、都が初開催
338	9月22日	MSN トピックス	子供の安全に配慮した商品見本市、都が初開催
339	9月22日	RBB TODAY	子供の安全に配慮した商品見本市、都が初開催
340	9月22日	Yahoo!ニュース	子供の安全に配慮した商品見本市、都が初開催
341	9月22日	楽天 woman	子供の安全に配慮した商品見本市、都が初開催
342	9月22日	J-Net21	重点4技術分野フォーラム「ミリ波帯の使われ方と中小企業の参入機会」
343	9月23日	Response	ママ注目…子どもの安全・事故防止のグッズを集めた見本市
344	9月23日	ReseMom	子どもの安全に配慮した商品見本市 11/7-9 開催、親子向け体験プログラムも実施
345	9月29日	J-Net21	城南支所「施設公開」
346	10月1日	J-Net21	【産業交流展2014】広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）「海外規格特別相談会」のお知らせ
347	10月1日	ファスニングジャーナル	締結問題研究会 墨田支所で定例会開く
348	10月1日	Jpubb	群馬県立産業技術センターの利用率が9年連続全国第1位（群馬産業技術センター）
349	10月2日	SciencePortal	科学の祭典を11月7～9日東京・お台場で
350	10月3日	マイナビニュース	科学の祭典を11月7～9日東京・お台場で
351	10月7日	ハフィントン・ポスト	科学の祭典を11月7～9日東京・お台場で
352	10月8日	日刊工業新聞	「感性工学」じわり浸透ー生活製品使いやすく快適に
353	10月9日	J-Net21	セミナー「安全な省エネ社会の構築と中小企業支援」
354	10月9日	J-Net21	第3回ラウンドイブニングセミナー
355	10月12日	Banq	子どもも大人も科学の魅力に触れられる！お台場「サイエンスアゴラ2014」開催
356	10月15日	J-Net21	セミナー「【営業で役立つものづくりの基礎】表面処理の基礎（乾式編）」
357	10月15日	J-Net21	セミナー「【営業で役立つものづくりの基礎】表面処理の基礎（湿式編）」
358	10月15日	J-Net21	セミナー「クリエイティブ産業のためのカラートレンド情報&刺繍の活用」
359	10月15日	J-Net21	セミナー「鉄鋼製品の表面熱処理と解析法」

No.	日付	サイト名	見出し
360	10月15日	J-Net21	セミナー「品質管理者のための故障解析」
361	10月15日	J-Net21	講習会「3Dプリンタ造形品への塗装技術」
362	10月15日	J-Net21	セミナー「海外規格精通シリーズ改正 RoHS 徹底解説～基礎から実践まで～」
363	10月17日	NNA. ASIA	環境展、成約 12 億リング見込む：東京都など日本の官民が存在感 [経済]
364	10月18日	SankeiBiz	セーフティグッズフェア 子供の安全配慮した商品一堂に
365	10月18日	イプロス製造業	セーフティグッズフェア 子供の安全配慮した商品一堂に
366	10月18日	朝日新聞デジタル	子どもの事故防止グッズ、70点展示 東京・江東
367	10月24日	@Press	「第16回産業ときめきフェア in EDOGAWA」11月14日・15日 東京「タワーホール船堀」にて開催 入場料無料 ～現在（いま）を造る 未来を創る 江戸川のものづくり～
368	10月24日	快適家電 Life	タイで進出企業支援 東京都の技術支援機関
369	10月24日	日本経済新聞	タイで進出企業支援 東京都の技術支援機関
370	10月25日	東京国際科学フェスティバル実行委員会	東京都立産業技術研究センター 多摩テクノプラザ一般公開日ファミリーデーに伺いました～(*'ω'*)
371	10月27日	mst	東西のコーティング研究会が第7回合同研究会を開催
372	11月 3日	金属産業新聞社	他業界に見る規格変更による準備の必要性
373	11月 5日	東京ベイ経済新聞	お台場で「セーフティグッズフェア」ー子どもの安全に配慮した商品ズラリ
374	11月 5日	Yahoo!ニュース	お台場で「セーフティグッズフェア」ー子どもの安全に配慮した商品ズラリ /東京
375	11月 7日	@Press	いよいよ開催！「第16回産業ときめきフェア in EDOGAWA」11月14日・15日 タワーホール船堀にて開催
376	11月 7日	文マガ	セーフティグッズフェア開催 子どもの事故防止視点の商品集める
377	11月 9日	47NEWS	子どもの安全を守るアイデア商品紹介 江東で見本市 70種類を展示
378	11月 9日	goo ニュース	子どもの安全を守るアイデア商品紹介 江東で見本市 70種類を展示
379	11月 9日	東京新聞	子どもの安全を守るアイデア商品紹介 江東で見本市 70種類を展示
380	11月10日	Jpubb	「第8回 製品安全対策優良企業表彰」受賞企業が決定しました～製品安全に対して積極的に取り組む企業を表彰します！～
381	11月10日	livedoor ニュース	日本ブラインド工業会 「セーフティグッズフェア」に出展
382	11月10日	オンラインインテリアビジネスニュース	日本ブラインド工業会 「セーフティグッズフェア」に出展
383	11月11日	J-Net21	航空機産業、医工連携による製品開発を支援「先端計測加工ラボ」開設
384	11月11日	J-Net21	第30回都産技研・都公社異業種交流グループ合同交流会
385	11月12日	J-Net21	都産技研見学ツアー～3D デジタルものづくりのイマを知る・見る～
386	11月13日	J-Net21	10月より、抗菌試験のサービスを開始
387	11月13日	J-Net21	3Dプリンタによるプロトタイプング
388	11月13日	ドリームニュース	音声合成のユーアイ 11/19～21 開催の「産業交流展2014」に出展

No.	日付	サイト名	見出し
389	11月14日	J-Net21	シンポジウム「先端ものづくり（航空機）産業の未来」
390	11月20日	NNA	《日系進出》東京都の技術支援機関が支局開設 [製造]
391	11月20日	J-Net21	移動支援機器・福祉技術セミナー
392	11月21日	タイランド通信	都産技研、海外初拠点をバンコクに
393	11月21日	J-Net21	東京都立産業技術研究センターとタイ工業省が業務協力に関する覚書を締結します (PDF ファイル)
394	11月22日	@nifty ニュース	【タイ】東京都立産業技術研究センター「バンコク支所」開設へ
395	11月22日	GLOBAL NEWS ASIA	【タイ】東京都立産業技術研究センター「バンコク支所」開設へ
396	11月22日	Infoseek ニュース	【タイ】東京都立産業技術研究センター「バンコク支所」開設へ
397	11月22日	Yahoo! ニュース	【タイ】東京都立産業技術研究センター「バンコク支所」開設へ
398	11月22日	エキサイトニュース	【タイ】東京都立産業技術研究センター「バンコク支所」開設へ
399	11月22日	楽天 woman	【タイ】東京都立産業技術研究センター「バンコク支所」開設へ
400	11月26日	NNA	東京都の技術支援機関、工業省と覚書締結 [経済]
401	11月26日	J-Net21	JNLA 試験サービス一時停止のお知らせ
402	11月26日	47NEWS	都産技研、日系中小支援へタイと覚書
403	11月26日	産経ニュース	都産技研、日系中小支援へタイと覚書
404	11月26日	J-Net21	物品譲渡に関するお知らせ
405	11月26日	J-Net21	平成26年度共同研究テーマ 第2回(9月募集)採択テーマ
406	11月26日	Jpubb	「産業交流展2014」の開催結果について
407	11月27日	J-Net21	TIRI NEWS 2014年12月号掲載
408	11月28日	mst	都産技研、城南支所に先端計測加工ラボを新設
409	12月1日	ファスニングジャーナル	東京都立産業技術研究センター バンコク事務所開設へ
410	12月1日	J-Net21	東京都立産業技術研究センター 広域首都圏輸出製品技術支援センター (MTEP)
411	12月3日	J-Net21	小型多関節ロボットを使って熟練者に代わる自動製造ラインを開発【株式会社デンテック】
412	12月3日	J-Net21	城南支所「先端計測加工ラボ」12月15日新設
413	12月3日	J-Net21	先端計測加工ラボ オープン記念セミナー「製品評価のための精密測定・非破壊検査、破断面の見方」
414	12月4日	@Press	優れた製品や技術を有する中小企業が集結 展示商談会「ライフサポートフェア2015」1月22・23日に浜松町で開催
415	12月11日	J-Net21	都産技研、電通大と協定一産学公連携通じ中小支援
416	12月12日	金属産業新聞社	締結問題研究会、平戸氏を招き JIS 改正について特別講演
417	12月15日	J-Net21	研究・技術・産学連携
418	12月16日	J-Net21	大型配光測定装置 サービス一時停止のお知らせ

No.	日付	サイト名	見出し
419	12月18日	J-Net21	東京都立産業技術研究センター、金属3Dプリンター導入 ー加工処理を一貫支援
420	12月18日	朝日新聞デジタル	東京都立産業技術研究センター、金属3Dプリンター導入 ー加工処理を一貫支援
421	12月18日	日刊工業新聞	東京都立産業技術研究センター、金属3Dプリンター導入 ー加工処理を一貫支援
422	12月19日	J-Net21	広域首都圏輸出製品技術支援センター専門相談員スケジ ュール（2014年12月～2014年2月）
423	12月22日	J-Net21	セミナー・展示会「カラーユニバーサルデザインの10年 これまでとこれから」
424	12月22日	J-Net21	重点4技術分野フォーラム「ものづくり技術による次世 代医療への参入の可能性」
425	12月24日	イプロス製造業	（株）東日製作所 軸力安定化剤「Fcon（エフコン）」の 国際特許を取得-登録国はドイツ・フランス・イギリス- 締付けトルク管理でボルトの軸力管理が可能に
426	12月24日	日経テクノロジーオン ライン	トルク管理でボルトの軸力管理が可能に-（株）東日製作 所 軸力安定化剤「Fcon（エフコン）」が日本に次いで国 際特許を取得
427	12月26日	goo ニュース	10年構想まとめ 都が「長期ビジョン」 福祉を充実 待機 児童解消
428	12月26日	東京新聞	10年構想まとめ 都が「長期ビジョン」 福祉を充実 待機 児童解消
429	12月26日	東京新聞	福祉充実、待機児童解消 都が10年構想で長期ビジョン
430	12月27日	毎日新聞	衣：障害や年齢越え楽しく 機能とデザイン優れた商品豊 富に
431	1月 6日	Jpubb	「3Dプリンタの使い方」セミナーを開催します
432	1月 6日	Jpubb	「第8回つくば産産学連携促進市 in アキバ」を開催
433	1月 8日	Jpubb	27年度中小企業経営助成事業説明会を開催
434	1月 9日	建通新聞	NTC 拡充、都用地活用は選択肢の一つ
435	1月 9日	@nifty ニュース	パラと共用で NTC 拡充を
436	1月 9日	be amie	パラと共用で NTC 拡充を
437	1月 9日	デイリースポーツ	パラと共用で NTC 拡充を
438	1月 9日	ロイター	パラと共用で NTC 拡充を
439	1月 9日	茨城新聞	パラと共用で NTC 拡充を
440	1月 9日	高知新聞	パラと共用で NTC 拡充を / 東京五輪へ、有識者提言
441	1月 9日	@S	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
442	1月 9日	47NEWS	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
443	1月 9日	Infoseek ニュース	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
444	1月 9日	livedoor ニュース	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
445	1月 9日	MY J:COM	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
446	1月 9日	Web 東奥	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
447	1月 9日	エキサイトニュース	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
448	1月 9日	さきがけ onTheWeb	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言

No.	日付	サイト名	見出し
449	1月 9日	さんようタウンナビ	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
450	1月 9日	デーリー東北新聞社	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
451	1月 9日	ニコニコニュース	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
452	1月 9日	下野新聞 SOON	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
453	1月 9日	河北新報	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
454	1月 9日	楽天 woman	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
455	1月 9日	岩手日報	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
456	1月 9日	岐阜新聞	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
457	1月 9日	宮崎日日新聞	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
458	1月 9日	京都新聞	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
459	1月 9日	佐賀新聞	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
460	1月 9日	山陰中央新報	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
461	1月 9日	山形新聞	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
462	1月 9日	山陽新聞	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
463	1月 9日	上毛新聞	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
464	1月 9日	信濃毎日新聞	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
465	1月 9日	新潟日報	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
466	1月 9日	神戸新聞	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
467	1月 9日	西日本新聞	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
468	1月 9日	千葉日報	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
469	1月 9日	大阪日日新聞	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
470	1月 9日	大分合同新聞	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
471	1月 9日	中國新聞	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
472	1月 9日	中日スポーツ	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
473	1月 9日	中日新聞	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
474	1月 9日	長崎新聞	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
475	1月 9日	東京新聞	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
476	1月 9日	徳島新聞	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
477	1月 9日	日本海新聞	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
478	1月 9日	福井新聞	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
479	1月 9日	福島民報	パラと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ、有識者提言
480	1月 9日	富山新聞	パラと共用で NTC 拡充をー東京五輪へ、有識者提言
481	1月 9日	北國新聞	パラと共用で NTC 拡充をー東京五輪へ、有識者提言

No.	日付	サイト名	見出し
482	1月 9日	愛媛新聞	パラと共用で NTC 拡充を／東京五輪へ、有識者提言
483	1月 9日	四国新聞	パラと共用で NTC 拡充を／東京五輪へ、有識者提言
484	1月 9日	北海道新聞	パラリンピックと共用で NTC 拡充を 東京五輪へ有識者提言
485	1月 15日	建設工業新聞	文科省／ナショナルトレーニングセンター（東京都北区）拡充整備／新施設設計へ
486	1月 15日	@Press	優れた製品や技術を有する中小企業が集結 展示商談会「ライフサポートフェア 2015」1月 22・23 日に浜松町で開催 開幕迫る！
487	1月 21日	J-Net21	先端計測加工ラボ オープン記念セミナー「ICP 質量分析法による微量分析と局所分析」
488	1月 27日	建設通信新聞	NTC 拡充に新規着手／基本設計などを委託／文科省
489	1月 29日	J-Net21	セミナー「CE マーキング入門シリーズ CE マーキング入門+改正 RoHS 指令入門（第 4 弾）」
490	1月 29日	J-Net21	セミナー「海外規格精通シリーズ CE マーキング EMC 指令」
491	1月 29日	J-Net21	セミナー「海外規格精通シリーズ 改正 RoHS 徹底解説～基礎から実践まで～（第 2 弾）」
492	1月 29日	J-Net21	セミナー「中小企業のこれからのものづくり～国際標準戦略とものづくり～」
493	2月 1日	goo ニュース	スゴ技 Q ギョーザ ワンランクアップ術 ◇あんをジュシーに！！肉の保水力を上げて、肉汁 UP【NHK あさイチ】
494	2月 2日	J-Net21	セミナー「3D プリンタ事始め」
495	2月 2日	J-Net21	セミナー「イミュニティ対策にお困りの方必見！ノイズに強い製品をつくる」
496	2月 2日	J-Net21	セミナー「営業で役立つものづくり基礎の基礎 振動試験編」
497	2月 2日	J-Net21	セミナー「現場で使える視覚認知入門」
498	2月 2日	J-Net21	セミナー「現場と営業で役立つ 素材・製品における色の基礎」
499	2月 2日	J-Net21	セミナー「放射線の基礎、測定の実際と生体への影響」
500	2月 2日	J-Net21	フォーラム「バイエリアにおけるおもてなしロボットの研究開発」
501	2月 2日	J-Net21	多摩テクノプラザ機械設計セミナー 加速するデジタルものづくり
502	2月 4日	共同通信 PR ワイヤー	産業技術大学院大学（AIIT）創立 10 周年記念プレイベントの開催 ～起業家・創業者のキャリア戦略～
503	2月 6日	CoatingMedia Online	ユーザー技術教室（愛知） 旭サナック
504	2月 9日	J-Net21	先端計測加工ラボ オープン記念セミナー「3D プリンターによる新しいものづくり～活用事例の紹介」
505	2月 12日	J-Net21	平成 26 年度地域連携シンポジウム「産学公金連携で事業拡大」
506	2月 13日	mst	トライボコーティング研、2/27 にシンポジウム「トライボコーティングの現状と将来」開催
507	2月 20日	快適家電 Life	長時間座り続けても大丈夫ーオクトが椅子用空気クッション、腰の痛みを予防・改善
508	2月 20日	日刊工業新聞	長時間座り続けても大丈夫ーオクトが椅子用空気クッション、腰の痛みを予防・改善
509	2月 24日	情報管理 Web	データサイエンス・アドベンチャー杯の予選審査通過チームがついに決定
510	2月 25日	J-Net21	キッズデザイン賞の審査料補助制度説明会

No.	日付	サイト名	見出し
511	2月25日	ROBOCON Magazine	「RSNP と Raspberry PI を使ったロボットの実装講習会」が開催
512	2月26日	J-Net21	TIRI NEWS 2015年3月号掲載
513	2月27日	@Press	漆の講演会「スペインの南蛮漆器の文化と科学 2015」 3月6日（金）駿河台キャンパスにて開催
514	2月27日	J-Net21	平成27年度（第1回）共同研究募集案内
515	2月27日	財経新聞	平成27年度（第1回）共同研究募集案内
516	2月28日	大学プレスセンター	漆の講演会「スペインの南蛮漆器の文化と科学 2015」 3月6日（金）駿河台キャンパスにて開催 ——明治大学
517	3月3日	J-Net21	東京都立産業技術研究センターと荒川区が協定を締結
518	3月4日	J-Net21	セミナー「航空機・高所に適応した製品開発のための減圧環境試験」
519	3月4日	mst	表面技術協会、第66回通常総会・協会賞など授与式を開催
520	3月9日	PRONWEB Watch	第93回 IADR（国際歯科研究学会）総会にて研究発表
521	3月9日	金属産業新聞社	締結研、表面処理と破断面観察で講演
522	3月11日	J-Net21	東京都、ロボ産業支援加速—産技研に14億円予算、中小の知財活用促す
523	3月11日	Jpubb	27年度 東京都科学技術週間特別行事のお知らせ
524	3月16日	J-Net21	セミナー「IEC 62368-1 第2版の概要と安全設計の考え方」
525	3月18日	J-Net21	金属粉末積層造形装置（3Dプリンター）による3Dデジタルものづくり支援の強化
526	3月19日	日刊工業新聞	東京都立産業技術研究センター、金属粉末式3Dプリンターの利用サービスを7月開始
527	3月20日	メカニカル・テック	都産技研、金属3Dプリンタ導入で3Dデジタルものづくり支援強化
528	3月27日	@Press	地域に貢献する“おもてなしロボット”のデモンストレーションを実施～道案内からビッグデータの収集・活用まで～
529	3月29日	goo ニュース	【戦経レポート】3Dプリンターの可能性_1
530	3月29日	goo ニュース	【戦経レポート】3Dプリンターの可能性_2
531	3月29日	goo ニュース	【戦経レポート】3Dプリンターの可能性_3
532	3月30日	BIGLOBE ニュース	芝浦工大、おもてなしロボット「コンシェルジュ」のデモを実施
533	3月30日	CycleStyle	芝浦工大、おもてなしロボット「コンシェルジュ」のデモを実施
534	3月30日	Infoseek ニュース	芝浦工大、おもてなしロボット「コンシェルジュ」のデモを実施
535	3月30日	livedoor ニュース	芝浦工大、おもてなしロボット「コンシェルジュ」のデモを実施
536	3月30日	mixi ニュース	芝浦工大、おもてなしロボット「コンシェルジュ」のデモを実施
537	3月30日	RBB TODAY	芝浦工大、おもてなしロボット「コンシェルジュ」のデモを実施
538	3月30日	T-SITE	芝浦工大、おもてなしロボット「コンシェルジュ」のデモを実施
539	3月30日	Yahoo!ニュース	芝浦工大、おもてなしロボット「コンシェルジュ」のデモを実施



No.	日付	サイト名	見出し
540	3月30日	楽天 woman	芝浦工大、おもてなしロボット「コンシェルジュ」のデモを実施
541	3月31日	@nifty ニュース	顔にタッチするおもてなしロボット「コンシェルジュ」のデモ、芝浦工大ほか
542	3月31日	BCN ランキング	顔にタッチするおもてなしロボット「コンシェルジュ」のデモ、芝浦工大ほか
543	3月31日	GREE	顔にタッチするおもてなしロボット「コンシェルジュ」のデモ、芝浦工大ほか
544	3月31日	J-CAST ニュース	顔にタッチするおもてなしロボット「コンシェルジュ」のデモ、芝浦工大ほか
545	3月31日	livedoor ニュース	顔にタッチするおもてなしロボット「コンシェルジュ」のデモ、芝浦工大ほか
546	3月31日	mixi ニュース	顔にタッチするおもてなしロボット「コンシェルジュ」のデモ、芝浦工大ほか
547	3月31日	OKGuide ちょっと一息にぎやカフェ	顔にタッチするおもてなしロボット「コンシェルジュ」のデモ、芝浦工大ほか
548	3月31日	Pi-Chiku Park	顔にタッチするおもてなしロボット「コンシェルジュ」のデモ、芝浦工大ほか
549	3月31日	Yahoo!ニュース	顔にタッチするおもてなしロボット「コンシェルジュ」のデモ、芝浦工大ほか
550	3月31日	ウレぴあ総研	顔にタッチするおもてなしロボット「コンシェルジュ」のデモ、芝浦工大ほか
551	3月31日	エキサイトニュース	顔にタッチするおもてなしロボット「コンシェルジュ」のデモ、芝浦工大ほか
552	3月31日	朝日新聞デジタル	顔にタッチするおもてなしロボット「コンシェルジュ」のデモ、芝浦工大ほか
553	3月31日	建設通信新聞	人事異動・東京都

## 8.8 都産技研メールニュース

都産技研メールニュースを週一回配信し、技術セミナー・講習会の募集や刊行物の紹介、各種イベント開催案内、連携機関からのお知らせなど、最新の技術支援情報を提供している。また、技術セミナー受講者やイベント参加者などから配信希望を募り、登録を随時行っている。

配 信 数：約 11,315 件

発行回数：54 回

## 8.9 図書室

試験、研究、相談などの事業実施において、技術資料の収集・活用は不可欠である。都産技研では、国内外の専門誌・図書・技術文献等を購入するとともに、国、地方自治体、業界団体、大学および企業などから各種資料の寄贈を受け、事業に活用している。また、本部図書室は中小企業者らに公開しており、調査研究活動に利用できるようになっている。

平成 26 年度は月 1 回の企画展示や蔵書の充実を行った。外部利用者数は、延べ約 1,073 名であった。図書システムで登録・管理している蔵書数は次のとおりである。

平成 26 年度図書管理数

蔵書種類	本部	多摩 テクノプラザ	墨田支所
和書（冊）	14,136	3,493	2,505
洋書（冊）	1,055	66	117
和文雑誌（種）	349	86	93
欧文雑誌（種）	23	15	16

## 9. 業務運営

### 9.1 組織運営

平成 23 年度からの第二期中期計画の着実な実施と、都産技研の業務運営および中小企業の動向を踏まえ、新たな組織体制での平成 26 年度版「都産技研戦略ロードマップ」を策定し、ホームページで公開した。また、効率的な事業運営のための業務改革の推進や、職員育成のための各種研修を行った。

#### 9.1.1 都産技研戦略ロードマップ

中小企業の技術支援を通じた産業振興を図り、技術支援の実施にあたってきめ細かいサービスを提供することを目的とし、中長期的な視点に立った戦略的な事業展開のための「都産技研戦略ロードマップ」を作成して、公開版をホームページに掲載した。

また、平成 26 年 4 月に開設した「ロボット開発セクター」など、新たな事業展開を取り入れ、以下の 3 種類のロードマップの改訂を行った。

- ① 事業戦略ロードマップ：現行事業と今後新たに取り組むべき事業を明確にしたもの
- ② 事業運営ロードマップ：都産技研の運営に関わる取り組みを明確にしたもの
- ③ 技術分野ロードマップ：現行技術と今後注力する技術分野を明確にしたもの

#### 9.1.2 業務改革

平成 26 年度は、昨年度に引き続き「業務品質向上」を重点テーマに所内各部門が業務改革に取り組んだ。また、職場の業務改善や課題解決を図るために、昨年度同様「小集団活動」を実施した。小集団活動を有意義なものにするため、活動開始前に外部講師による所内研修を実施した。活動は、研究員、主事、副主任研究員を中心に少人数のグループを 21 チームづくり、それぞれお客さまサービス向上策を検討する活動を行った。活動終了後、検討結果を発表する報告会を開催した。小集団活動の提案に対して関連部署が実施の可否、実施方法、スケジュールを検討することで実効性をもたせ、業務品質向上を推進した。

「業務品質向上」を重点テーマとした業務改革活動には、管理部門への要望なども含め、合計 56 件の提案があり、それぞれ取り組みを実施した。実施済みおよび継続取り組み中の代表的な内容は以下のとおりである。

代表的な取り組み内容

事業	取り組み内容
依頼試験	依頼試験業務および各部門間の業務の見える化、改正 JIS 規格の内容検討会の実施、依頼試験の担当者間情報共有と対応の統一
機器利用	機器の予約状況 WEB 公開拡大、機器ハンドブックの印刷・製本、ライセンス制度機器利用業務の均一化
研究推進	共同研究 A の質・量の向上と製品化・事業化の推進、外部資金獲得ガイドブックの作成
管理運営	契約手続きの迅速化・標準化、エネルギー管理システムの導入、技術分野名の変更方法のルール化

また、過去3年間で発生した業務上の事故やヒヤリハットの事例を分析し、傾向を把握することで業務事故の防止に努めた。

### 9.1.3 人材育成

職員の能力開発を促進するため、各種職員研修を実施した。

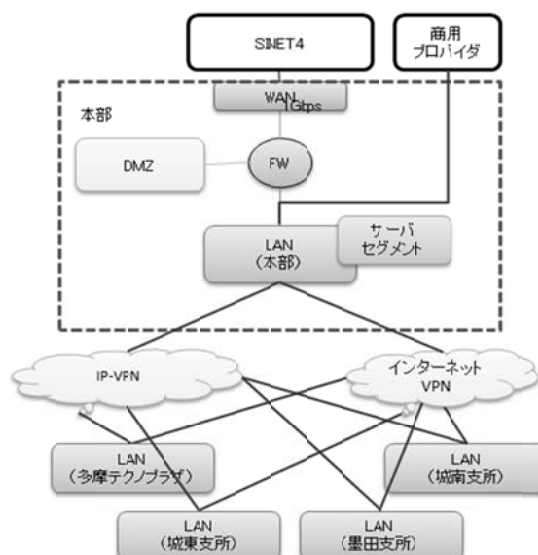
- ① 新任研修：新規採用および転入職員に対する事業説明など 13件
- ② 職層別研修：職層ごとに必要な知識の習得や実務研修など 46件
- ③ 専門研修：職務上必要な専門知識の習得 34件
- ④ 派遣研修：中小企業大学校など外部機関における研修 179件（206名）、  
大学院博士課程 1件
- ⑤ 出向研修：中小企業への派遣 1件、東京都庁への派遣 1件

## 9.2 都産技研情報システム

### 9.2.1 概要

情報ネットワークの基盤であるとともに、ウェブ閲覧、メール、ファイル共有、ファイル転送などのサービスを提供した。

本部、多摩テクノプラザ、城東支所、墨田支所、城南支所の各拠点をネットワークで接続している。組織全体でサービスを共有することにより、試験・研究・技術支援などの産業支援業務および各種事務の効率向上に寄与した。



### 9.2.2 業務運営

#### (1) ネットワーク機能の概要

学術情報ネットワーク（SINET）および民間プロバイダ経由のインターネット接続、5拠点を結ぶ拠点間通信網で構成されており、ウィルス対策、不正侵入対策、不正端末対策などの機能を有している。

#### (2) 提供サービスの概要

- ・一般ユーザ環境（ファイル共有サーバー、ウェブサイト閲覧、メール、認証印刷、ファイル転送、リモートアクセス機能など）
- ・グループウェア（予定表、施設予約、掲示板、汎用申請機能など）
- ・メールアーカイブシステム
- ・メール受付共有システム
- ・内部向け情報サーバー（簡易利用手順、FAQなどの掲載）
- ・産業支援業務システム（技術相談・依頼試験・機器利用等事業管理）
- ・首都圏テクノナレッジフリーウェイ (<http://tkm.iri-tokyo.jp/>)
- ・外部公開サイト (<http://www.iri-tokyo.jp/>)
- ・東京都地域結集型研究開発プログラム成果報告サイト (<http://create.iri-tokyo.jp/>)
- ・採用情報サイト (<http://saiyou.iri-tokyo.jp/>)
- ・公立鉦工業試験研究機関長協議会サイト (<http://info.iri-tokyo.jp/kyogikai/>)
- ・予約状況表示システム
- ・図書管理システム（蔵書検索、NACSIS連携）
- ・総務システム（庶務事務・人事管理事務）
- ・財務システム（購買・資産管理事務）
- ・拠点間テレビ会議・映像配信システム
- ・薬品管理システム

内、産業支援業務システム、ファイル共有サーバー、グループウェアについて、事業継続対応用として多摩テクノプラザに待機系を設置。

#### (3) その他

- ・アカウント数 約450アカウント
- ・ネットワーク接続情報端末数 約1,100台、スタンドアロン情報端末数 約1,050台

## 9.3 業務実績報告書と業務実績評価

### 9.3.1 業務実績報告書の提出

平成 25 年度における業務実績報告書を地方独立行政法人法第 29 条第 1 項の規定に基づき、平成 26 年 6 月 30 日に東京都へ提出を行った。

### 9.3.2 業務実績評価

東京都地方独立行政法人評価委員会は、地方独立行政法人法第 28 条の規定に基づき、東京都が設立した地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターについて、平成 25 年度における業務の実績に関する事業評価を行った。

全体評価の総評は以下のとおりであった。

#### ○平成 25 年度事業評価

##### 総 評

中期計画の達成に向け、業務全体が優れた進捗状況にある。

第二期中期目標期間の三年目を迎えた東京都立産業技術研究センター（以下「都産技研」という。）は、現有の力を十分に発揮し、本部や支所等を通年で安定稼働させるとともに、サービスの充実等に積極的に取り組んだ結果、技術相談や依頼試験、機器利用で過去最高の中小企業支援の実績を上げた。

依頼試験では、ブランド試験 に 2 分野を追加して 9 分野とし、高い精度と信頼性のもとで実績増を達成させている。また機器利用サービスの提供では、高速造形機や環境試験機器など、中小企業では導入が困難な最新の加工機器や分析機器の整備を進め、利用者の高い満足を得ている。

平成 25 年 10 月には、生活関連製品の開発支援を強化するため、「快適・健康、安全・安心」に関連する機能や性能等の評価機器を拡充した「生活技術開発セクター」を墨田支所に開設した。本セクターでは、日射環境試験、におい識別試験などの独自性の高いサービスを提供し、生活関連製品の付加価値向上に貢献している。

平成 24 年 10 月に 1 都 4 県の公設試験研究機関と連携して開始した「広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）」では、平成 25 年 10 月に参画機関を 1 都 9 県に拡大させた。加えて、参画機関等の管理法人として競争的外部資金（経済産業省平成 24 年度補正予算事業）の獲得に取り組み、試験機器等設備を強化した。さらに、専門相談員を増員して専門性の強化も図っている。こうした取り組みにより相談実績が大きく伸びており、中小企業製品の海外規格への適合支援を充実させている。

東京の産業を支える産業人材の育成では、既存のセミナー・講習会の内容の充実に加え、将来の大きな波及効果が見込まれるバイオ応用、メカトロニクス、環境・省エネルギー、EMC・半導体の重点 4 分野に関するセミナーを新規に企画するなど、多分野にわたり都内各地で開催し、受講者数も増加させた。

このように、都産技研は、臨機応変な対応が可能な地方独立行政法人のメリットを生かし、都内中小企業の技術振興に正面から向き合いニーズに合致した支援の充実を努め、十分な結果を出したと言える。

今後も、ニーズオリエンティドな事業運営、戦略的技術力強化、事業化を見据えた技術支援を 3 本柱とする都産技研の基本理念に基づき、グローバル化した市場において高付加価値化で競う

都内中小企業が、技術力の高い製品を製造・販売し続けられるよう、積極的な支援の継続を期待する。そのため、研究開発の充実においても、最終製品の機能や価格、産業の動向に引き続き注意を払うとともに、都産技研の支援の結果、東京にどのような産業が育成されたのか、より一層の成果把握を期待したい。

また、機器整備においては、支援事業、研究開発における活用状況の把握はもとより、導入目的の達成についての検証を継続的に行うとともに、設備機器の増加を踏まえ、適切な校正・保守を継続して頂きたい。

こうした都産技研の取組みの結果、都内中小企業の実態を踏まえたサービス提供が、高度な好循環によりさらに向上していくことを期待する。

## 9.4 施設整備

都内中小企業の技術の向上とその成果の普及を図る上で、事業実施のために必要となる施設の整備を行った。

本部においては平成26年4月に開設したロボット開発セクターの施設整備を、城南支所においては平成26年12月に開設した先端計測加工ラボの施設整備をそれぞれ実施した。

### 9.4.1 本部

施設整備・修繕工事 合計47件

- ① ロボット走行試験開発室改装、② 同空調設備改修、③ 同室内線電話移設、
- ④ 金属3Dプリンター導入に伴う改装、⑤ 同電気工事、⑥ 機械加工実験室内機器撤去、
- ⑦ 同室内他機器移設、⑧ 同室電気設備改修工事、
- ⑨ 同室内他不燃ローパーテーション設置、⑩ 減圧恒温槽機器据付け、
- ⑪ 電気実験測定室冷却水設備改修、⑫ 同室電気設備改修、
- ⑬ 第1照明実験室扉等増設、⑭ 同室内カーテン増設、
- ⑮ パネル施工室ネットワークカメラ設置、⑯ 同室屋外照明設置、
- ⑰ 材料実験室コンプレッサー開閉器移設、⑱ 高電圧実験室接地線新設、
- ⑲ 機能性材料実験室高圧ガス用圧力調整器修繕、⑳ 業務案内屋外サイン改修、
- ㉑ サーバー電源室パッケージエアコン修繕、㉒ サーバー室系統空調室外機修繕、
- ㉓ 無響室歩廊床改修、㉔ 半無響室他扉安全対策、㉕ 残響室扉等安全対策、
- ㉖ ピクチャーレール等設置、㉗ エントランス9面マルチモニター修繕、
- ㉘ 半導体材料実験室圧縮空気配管改修、㉙ 廊下長尺シート修繕、
- ㉚ 仮設電源切替装置設置、㉛ 段差解消機荷重検知設備設置、
- ㉜ 駐車場路面文字標示、㉝ 入退室管理装置操作表示器取替、
- ㉞ エントランス自動扉等修繕、㉟ 第2プロジェクト実験室他機器撤去、
- ㊱ 空調機・排風機修繕、㊲ 各種安全対策、㊳ 執務室等電話設備増設移設、
- ㊴ 電話交換機多機能電話用回路増設、㊵ 幹部用執務室増設、
- ㊶ 同電気設備改修、㊷ 執務室内パーテーション増設、㊸ 執務室内他照明スイッチ改修、
- ㊹ 非破壊検査暗室漏光対策、㊺ 実践セミナー室排気ダクト設置、
- ㊻ イオン成膜室冷却水系統増圧ポンプ設置、㊼ 倉庫可動棚設置工事

### 9.4.2 城東支所

施設整備・修繕工事 合計11件

- ① 空気圧縮機交換、② オートエアートラップ修繕、
- ③ 純水・超純水装置転倒防止器具取り付け、④ 事務室硝子扉修繕、
- ⑤ 地下1階冷温水・冷却水・排水配管補修、⑥ 外灯補修他修繕、
- ⑦ デザインルーム屋上排水詰まり修繕、⑧ 冷却塔用私設量水器取替修繕、
- ⑨ 非常用照明設置および誘導灯取替修繕、⑩ 屋上防水等改修、⑪ 受変電設備修繕

### 9.4.3 墨田支所 生活技術開発セクター

施設整備・修繕工事 合計7件

- ① 機器移設および廃棄、② 電話機増設、③ 脱臭装置用排気ファンの修繕、
- ④ 電気工事、⑤ 空調設備改修、⑥ 排水設備、⑦ LAN敷設

### 9.4.4 城南支所

施設整備・修繕工事 合計12件

- ① 先端計測加工ラボ整備、② 同空調設備等改修、③ 同照明設備改装工事、



- ④ 化学実験室他改装、⑤ 外壁サイン設置、⑥ エアー配管修理、
- ⑦ 技術開発第一実験室内線電話増設及び移設、⑧ 排気ファン増設および水栓交換、
- ⑨ LAN 配線等、⑩ 室内サイン改修、⑪ 吹出口フィルターおよび混合栓レバー交換、
- ⑫ 写真室前室混合水栓交換

#### 9.4.5 多摩テクノプラザ

施設整備・修繕工事 合計 22 件

- ① 材料強度試験室天井吊り下げ配線ダクト撤去、② 繊維サイト蒸気配管交換、
- ③ 防火シャッターバッテリー交換等、④ 染色ゾーン蒸気サイフォン管交換、
- ⑤ 自動火災報知設備 B 棟中継器交換、⑥ 自動制御機器付属プリンター交換、
- ⑦ C 棟全熱交換器改修工事、⑧ 各種安全対策、⑨ 精密測定室加湿器修繕、
- ⑩ D 棟電話機移設、⑪ 精密測定室前室加湿器蒸気ホース交換、
- ⑫ C 棟全熱交換器改修、⑬ 環境試験室電源増設、⑭ 電極式蒸気加湿器修繕、
- ⑮ A/B 棟加湿器シリンダー取替、⑯ GHP 油圧スイッチ交換、
- ⑰ A 棟化学分析室蒸気シリンダー他部品交換、⑱ B 棟ボイラーおよび配管修繕、
- ⑲ クリーンルーム振動対策及び振動試験室ダクト漏水補修、
- ⑳ B 棟仕上げゾーン仮天井取り付け、㉑ D 棟 GH 室外機レギュレーター交換、
- ㉒ A 棟恒温恒湿加湿器蒸気ホース交換

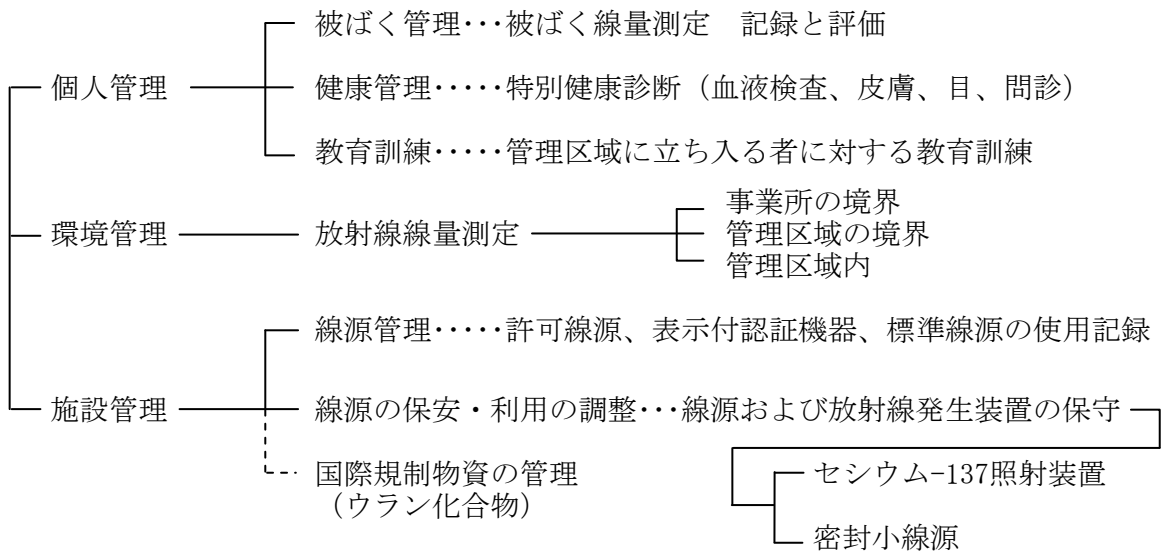
※城東支所、城南支所、多摩テクノプラザは、東京都から建物管理を受託しており、受託費により施設整備を行っている。

## 9.5 安全衛生管理

### 9.5.1 放射線安全管理

放射性同位元素・放射線を取り扱う公設事業所として、職員の安全確保と社会的責任を果たすため、放射線障害防止法関連法令の規定に基づく個人管理、施設・線源管理、環境測定などの放射線管理を実施した。

#### (1) 本部放射線施設における放射線管理の概要



#### (2) 本部における放射線施設の概要

##### 1) 使用許可 平成23年1月17日付許可済み（許可証番号 使第5725号）

許可内容

放射線管理区域：第一非破壊検査室、第二非破壊検査室

許可線源： ガンマ線照射装置（Cs-137：81.4TBq×3個）

密封小線源（Co-60:370MBq、Co-60:37MBq、Cs-137:37MBq）

平成25年3月現在未搬入

##### 2) 表示付認証機器（平成23年10月27日届出）

ガンマ線標準照射線量線源 Co-60:10MBq、Cs-137:10MBq、Cf-252:3.7MBq

ガスクロマトグラフ用線源 Ni-63:370MBq

#### (3) 個人管理

##### 1) 被ばく管理

##### ① 放射線管理対象者

単位：人

	職員	外来者	合計
放射線業務従事者	23	0	23
一時立入者	6	447	453
合計	29	447	476

② 被ばく測定結果

全員0.1ミリシーベルト未満であった。

【参考】法定被ばく限度 放射線業務従事者： 50ミリシーベルト/年  
 100ミリシーベルト/5年  
 一時立入者： 1ミリシーベルト/年

2) 放射線健康診断

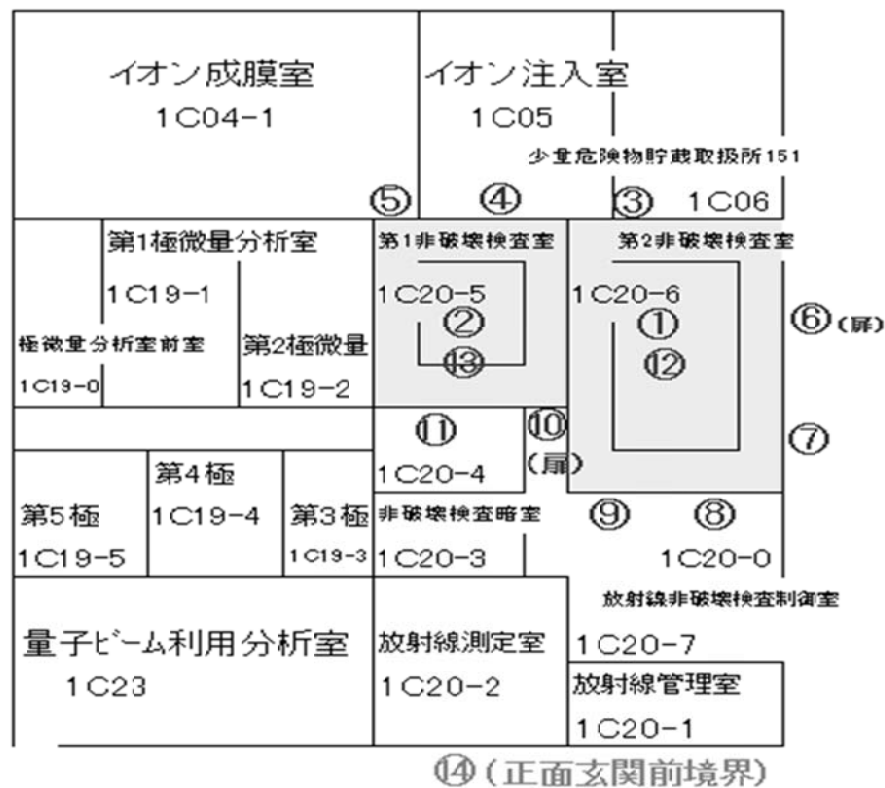
放射線業務従事者を対象に法定項目について実施したところ、全員異常は認められなかった。

3) 教育訓練

- ① 初めて管理区域に立ち入る前の教育訓練・・・2人
  - ② 管理区域に立ち入った後の教育訓練（再教育）・・・21人
- 訓練内容 ・放射線の基礎  
 ・放射線安全取り扱いに関する法律  
 ・放射線の人体影  
 ・放射線安全取り扱いの実際

(1) 環境測定

毎月1回、ガンマ線照射装置を稼働状態にして、管理区域内（下図①、②）管理区域境界（③～⑬）、事業所境界（⑭）における1センチメートル線量当量率を測定した。



- ⑫ 上階(研修室243) 右
- ⑬ 上階(研修室243) 左
- : 放射線管理区域

測定結果はいずれの月も測定点①～⑬については0.5マイクロシーベルト/h以下、⑭については0.1マイクロシーベルト/h以下であった。

【参考】

- (1) 人が常時立ち入る場所（管理区域内）における線量限度：  
実効線量で1ミリシーベルト/週（40h）＝25マイクロシーベルト/h
- (2) 管理区域の境界における線量限度：  
実効線量で1.3ミリシーベルト/3月（40h×13週）＝2.5マイクロシーベルト/h
- (3) 事業所の境界における線量限度：  
実効線量で250マイクロシーベルト/3月＝0.116マイクロシーベルト/h

(5) 線源などの使用管理

- 1) 線源等の搬入および搬出：2件  
搬入（購入）：表示付認証機器 1個  
搬出（引き渡し）：表示付認証機器 1個
- 2) 線源等使用状況

照射装置名	使用件数		
	研究等	依頼試験等	計
ガンマ線照射装置	36	60	96
表示付認証機器（ガンマ線源）	0	136	136
ガスクロマトグラフ用線源	0	0	0

(6) 安全点検

管理区域について以下の安全点検を実施し、安全を確認した。

- ① 線源等使用者による始業・終業時における日常点検（毎日）
- ② 線源の保管状況の点検（毎週）
- ③ 放射線取扱主任者および安全管理責任者による施設・設備、線源の管理状況、法定帳簿の記帳・保管など、放射線管理全般についての点検（6月毎）
- ④地震（震度4以上）直後の安全点検（1回）

## 9.5.2 安全衛生管理

### (1) 安全衛生委員会

本部において、安全衛生に関する事項を調査審議するため、労働安全衛生関係法令に基づき、安全衛生委員会を開催した。

### (2) 衛生委員会

多摩テクノプラザにおいて、衛生に関する事項を調査審議するため、労働安全衛生関係法令に基づき、衛生委員会を開催した。

### (3) 安全衛生推進部会

安全衛生推進部会ごとに職場の状況に応じた自主的な安全衛生活動を実施した。

#### <安全衛生推進部会>

- |             |             |
|-------------|-------------|
| ①事業化支援部会    | ⑤城東部会       |
| ②開発本部開発第一部会 | ⑥墨田部会       |
| ③開発本部開発第二部会 | ⑦城南部会       |
| ④企画・総務部会    | ⑧多摩テクノプラザ部会 |

#### 【構成員】

##### ・部会長

- ①～④：各部の室長、上席研究員、課長の中から1名選出
- ⑤～⑦：各支所長
- ⑧：多摩テクノプラザ 総合支援課長

##### ・安全衛生推進員

- ①～④：各部内の室・グループ・課ごとに1名ずつ選出
  - ⑤～⑦：各支所の管理係から1名、技術支援係（放射線安全係）から1～3名程度選出
  - ⑧：総合支援課から1名、電子・機械グループ、繊維・化学グループから1名ずつ選出
- ・その他部会長が指名した者

#### 【活動内容】

- ・月1回以上、安全衛生推進部会を開催
- ・災害ポテンシャルの摘出と排除を実施
- ・安全衛生上の課題検討と排除を実施

### (4) 安全衛生手帳

安全衛生手帳を活用して安全に関する基本的な知識を習得し、日常業務の安全化に努めた。

### (5) 法令などに基づく活動

労働安全衛生関係法令に基づき、健康診断、健康相談、保護具の適正配布、作業主任者らの適正配置、作業環境測定、施設整備などを実施した。

#### (6) 健康づくり活動

職員の健康促進のため、健康習慣のきっかけづくりを支援する「健康づくり活動」を2回実施した(6月1日～30日、10月1日～31日)。今年度は全職員対象に毎営業日の休憩時間にラジオ体操を行い、職員の健康状態把握のきっかけづくりを支援した。また新規採用職員向けに、生活習慣病予防研修(10月)を実施した。

#### (7) メンタルヘルス

安全衛生委員会を通じて、職員向けにメンタルヘルス対策に関するアンケートを実施し、職員の要望に即した対策を実施した。具体的には、従来の管理職向け・一般職向けの研修の他に、係長級向けの研修も企画し、よりきめ細やかな対策を実現した。また、訪問健康教室によるストレスマネジメント講習会も実施した。

#### (8) 薬品研修

平成26年度の労働安全衛生法の改正を踏まえ、薬品のリスクアセスメントに関する研修を実施した。

### 9.5.3 リスクマネジメント

都産技研では、平成22年度に制定した「リスクマネジメント活動の中期計画(平成23～27年度の5ヶ年計画)」に基づき、リスクマネジメント活動を実施している。平成26年度は、都産技研事業継続計画(BCP)地震編の改訂、BCP対応訓練の実施、平成25年度に実施したリスクアセスメント活動成果の所内普及活動を行った。都産技研のリスクアセスメントは、①作業における危険性または有害性の洗い出し、②リスクの見積り、③リスク低減措置の検討、④リスク低減措置の実施、⑤結果の記録、を通してリスクの発生を抑制する活動である。

#### (1) 都産技研事業継続計画(BCP)地震編の改訂

平成25年度に制定した都産技研BCP地震編の内容を見直し、代替拠点(多摩テクノプラザ)での業務執行体制、情報システムのバックアップ体制等について改訂を行った。

#### (2) BCP対応訓練の実施

- ・本部に所属する研究員を対象に、BCP対応訓練を実施した。初動対応から事業継続活動に至る緊急時の対応手順に沿った訓練を本部地震対応訓練と合わせて実施した(平成26年12月1日実施)。
- ・BCP発動時の応援要員による相談業務の継続を想定し、本部に所属する主任研究員以上を対象に総合支援窓口業務訓練を実施した(平成27年2月3日～3月10日)。

#### (3) リスクアセスメント活動成果の所内普及活動

- ・平成28年6月までに義務化される化学物質に関するリスクアセスメントの実施に向け化学物質を取り扱う職員を対象に導入研修を実施した。

## 9.6 情報開示

都産技研は、「東京都情報公開条例」(第二条)、「東京都個人情報保護に関する条例」(第二条)

に基づき、「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターが行う情報公開事務に関する要綱」および「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター個人情報の保護に関する要綱」を制定・施行している。

平成 26 年度は、情報公開請求 0 件、個人情報の開示請求 0 件であった。

# 資 料

## 1 沿革

大正10年10月	東京府立東京商工奨励館（東京都立工業奨励館の前身）設立
大正13年 8月	東京市電気研究所（東京都電気研究所の前身）設立
昭和34年 7月	東京都立アイソトープ総合研究所設立
昭和45年12月	東京都立工業奨励館と東京都電気研究所を統合し、東京都立工業技術センター設立
平成 3年 7月	城東地域中小企業振興センター発足
平成 8年 2月	城南地域中小企業振興センター発足
平成 9年 4月	東京都立工業技術センターと東京都立アイソトープ総合研究所を統合し、東京都立産業技術研究所として発足
平成12年 4月	東京都立産業技術研究所に東京都立繊維工業試験場を統合
平成14年 4月	多摩中小企業振興センター発足
平成18年 4月	城東地域中小企業振興センター、城南地域中小企業振興センター、多摩中小企業振興センターの技術支援部門を統合し、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターとして発足
平成22年 2月	多摩テクノプラザ開設 多摩支所および八王子支所閉鎖
平成23年 3月	駒沢支所閉鎖
平成23年 9月	西が丘本部閉鎖
平成23年10月	本部（江東区青海）開設
平成27年 4月	バンコク支所開設



## 2 施設

### 1) 本部（平成 23 年 10 月 3 日業務開始）

所在地 東京都江東区青海二丁目 4 番 10 号

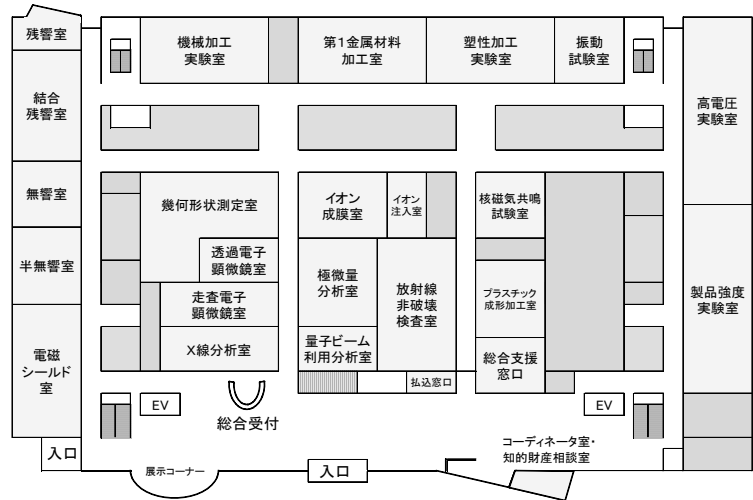
敷地面積 14,519.35 m<sup>2</sup>

建築面積 8,573.38 m<sup>2</sup>

延床面積 33,129.80 m<sup>2</sup>（本体建屋：33,032.30 m<sup>2</sup>、付属建屋：97.50 m<sup>2</sup>）

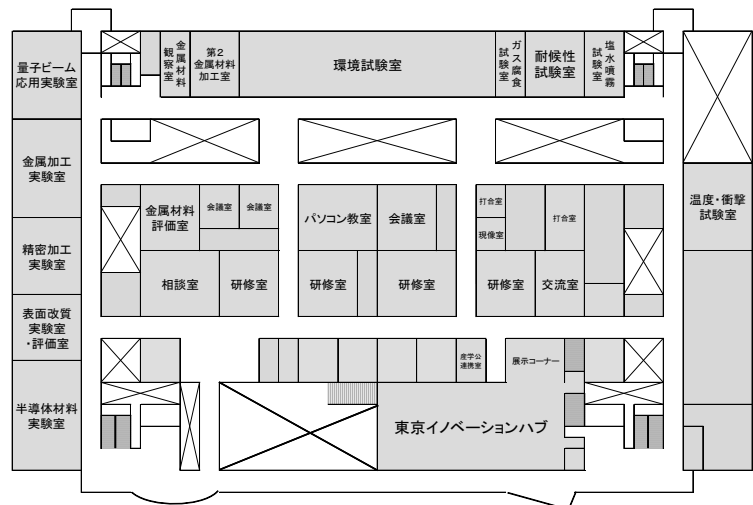
### 1 階

総合受付  
総合支援窓口  
払込窓口  
コーディネータ室  
知的財産相談室  
高度分析開発セクター



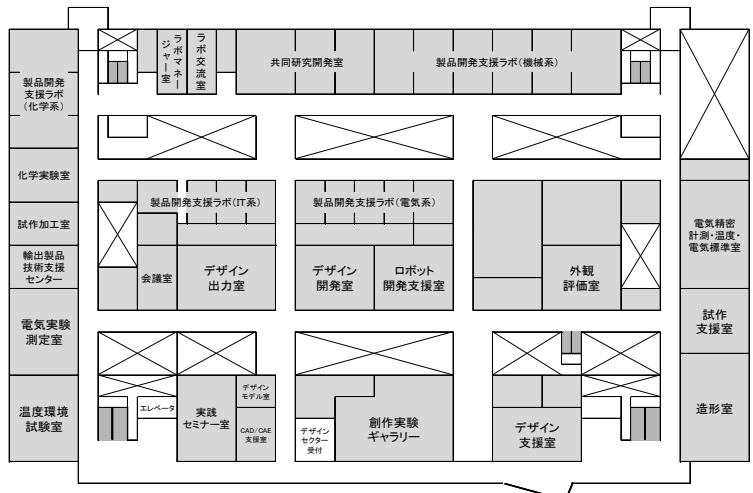
### 2 階

東京イノベーションハブ  
研修室・会議室  
実証試験セクター

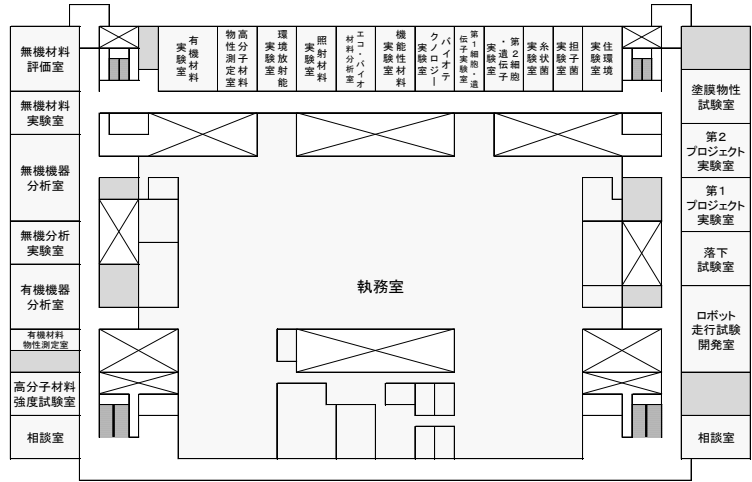


### 3 階

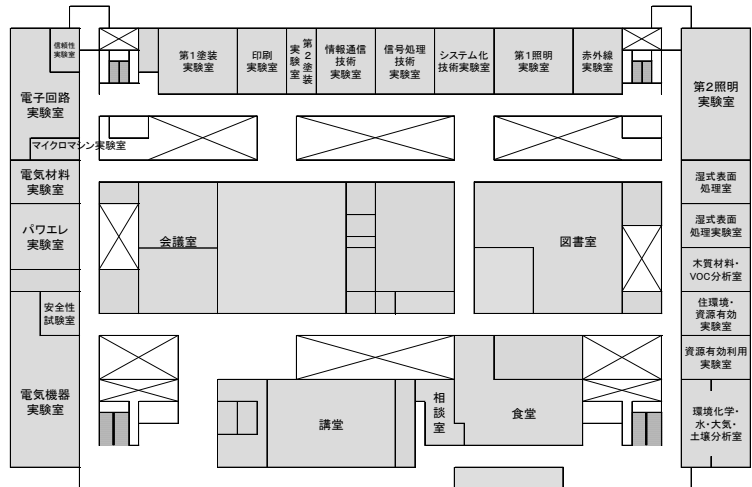
創作実験ギャラリー  
実践セミナー室  
製品開発支援ラボ  
共同研究開発室  
システムデザインセクター  
ロボット開発セクター  
輸出製品技術支援センター



4階  
執務室  
相談室



5階  
講堂  
図書室  
会議室  
相談室  
食堂



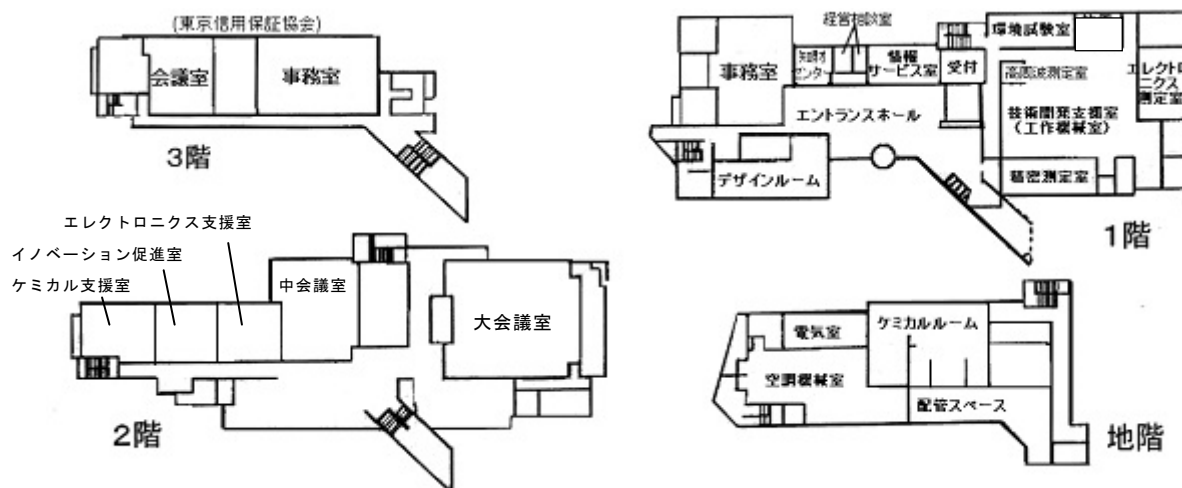
○本部建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
塔屋	鉄骨鉄筋コンクリート造 (一部、鉄骨造)	121.95 m <sup>2</sup>	機械室など
5階		6,397.80 m <sup>2</sup>	講堂、図書室、会議室、食堂など
4階		6,719.04 m <sup>2</sup>	執務室など
3階		6,352.55 m <sup>2</sup>	製品開発支援ラボ、 システムデザインセクターなど
2階		6,170.43 m <sup>2</sup>	東京イノベーションハブ、 実証試験セクターなど
1階		7,081.91 m <sup>2</sup>	総合支援窓口、 高度分析開発セクターなど
地階		188.62 m <sup>2</sup>	一般廃棄物処理施設など
付属建屋		鉄筋コンクリート造	97.50 m <sup>2</sup>
合計		33,129.80 m <sup>2</sup>	

2) 城東支所

所在地 東京都葛飾区青戸七丁目2番5号（城東地域中小企業振興センター内）

使用面積 1,564.82 m<sup>2</sup> 延床面積 4,402.90 m<sup>2</sup>



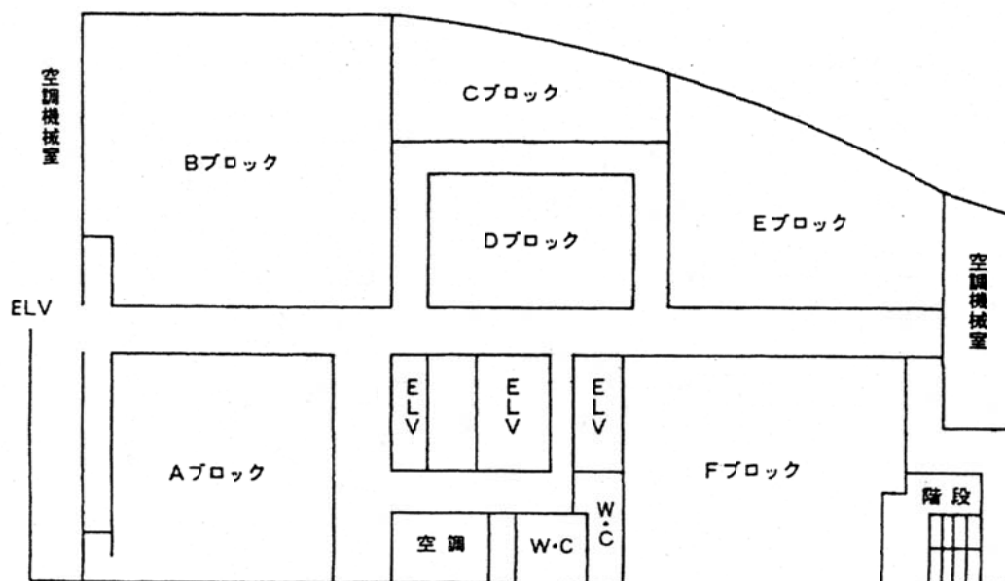
○城東支所内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
地階	鉄筋コンクリート造	182.00 m <sup>2</sup>	ケミカルルーム
1階	鉄筋コンクリート造	728.80 m <sup>2</sup>	事務室、デザインルーム、 技術開発支援室、 エレクトロニクス測定室、 精密測定室、環境試験室
2階	鉄筋コンクリート造	654.02 m <sup>2</sup>	大会議室、中会議室、 エレクトロニクス支援室、 イノベーション促進室、 ケミカル支援室
合計		1,564.82 m <sup>2</sup>	

3) 墨田支所 生活技術開発セクター

所在地 東京都墨田区横網一丁目6番1号(国際ファッションセンタービル12階)

使用面積 1,920.02 m<sup>2</sup> 延床面積 2,325.94 m<sup>2</sup>



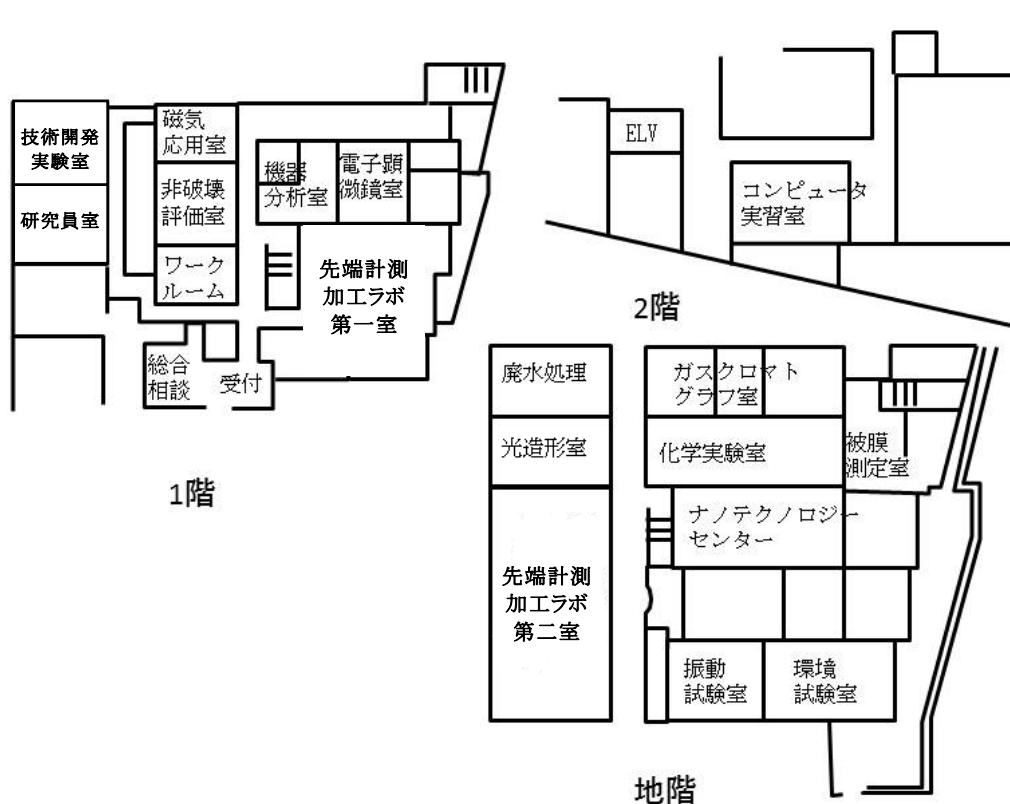
○墨田支所建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
Aブロック	鉄骨	296.46 m <sup>2</sup>	総合受付、相談コーナー、図書室、 応接室、会議室、セミナー室
Bブロック	鉄骨	417.65 m <sup>2</sup>	ニット設計室、ニット試験工場、 染色加工試験室、品質評価試験室、 安全技術評価室、耐光性試験室、 クリーニング試験室
Cブロック	鉄骨	118.62 m <sup>2</sup>	高度観察システム室、 生活科学試験室
Dブロック	鉄骨	123.00 m <sup>2</sup>	恒温恒湿室、官能検査室、 デザイン室
Eブロック	鉄骨	218.31 m <sup>2</sup>	被服科学試験室、生活環境試験室、 日射フィールド試験室
Fブロック	鉄骨	310.49 m <sup>2</sup>	執務室、アパレル設計室
その他		435.49 m <sup>2</sup>	通路、空調機械室など
合計		1,920.02 m <sup>2</sup>	

4) 城南支所

所在地 東京都大田区南蒲田一丁目 20 番 20 号(城南地域中小企業振興センター内)

使用面積 2,668.52 m<sup>2</sup> 延床面積 8,054.61 m<sup>2</sup>



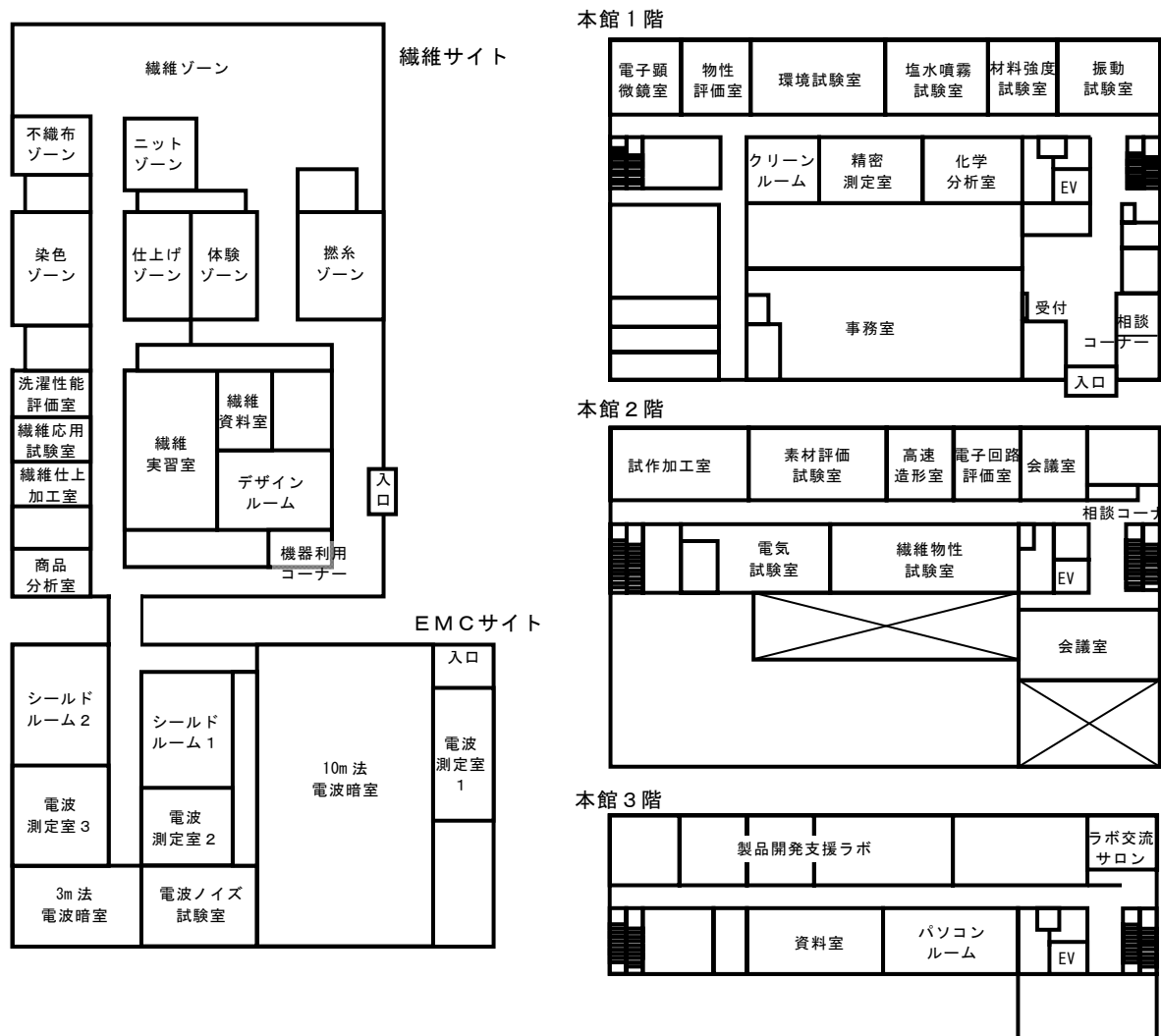
○城南支所建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
地階	鉄筋コンクリート造	1,020.66 m <sup>2</sup>	ナノテクノロジーセンター、各種試験室、光造形室、ガスクロマトグラフ室、先端計測加工ラボ第二室
1階	鉄筋コンクリート造	1,292.68 m <sup>2</sup>	受付、先端計測加工ラボ第一室、電子顕微鏡室、磁気応用室、非破壊評価室、機器分析室、技術開発実験室
2階	鉄筋コンクリート造	108.24 m <sup>2</sup>	コンピュータ実習室
その他	鉄筋コンクリート造	246.94 m <sup>2</sup>	事務室他
合計		2,668.52 m <sup>2</sup>	

5) 多摩テクノプラザ

所在地 東京都昭島市東町三丁目6番1号（産業サポートスクエア・TAMA内）

使用面積 6,120.10 m<sup>2</sup>（産業サポートスクエア・TAMA延床面積9,327.18 m<sup>2</sup>）



○多摩テクノプラザ建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
テクノプラザ本館	鉄筋コンクリート 地上3階建	3,353.53 m <sup>2</sup>	事務室、振動試験室、 環境試験室、塩水噴霧試験室、 精密測定室、電子顕微鏡室、 化学分析室、高速造形室、 素材評価試験室、会議室、 製品開発支援ラボ
繊維サイト EMCサイト	鉄骨 地上1階建	2,766.57 m <sup>2</sup>	デザインルーム、織物ゾーン、 染色ゾーン、10m法電波暗室、 3m法電波暗室、シールドルーム、 電波ノイズ試験室
合計		6,120.10 m <sup>2</sup>	

### 3 第二期中期計画・平成 26 年度計画

#### 3.1 第二期中期計画

地方独立行政法人法（平成 15 年法律第 118 号）第 25 条の規定に基づき、東京都知事から指示を受けた平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの 5 年間に於ける地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下「都産技研」という。）の中期目標を達成するための計画（以下「中期計画」という。）を、以下のとおり定める。

都産技研は、平成 18 年 4 月地方公設試験研究機関で初めて地方独立行政法人化し、デザインセンターや企業の要望に応じたオーダーメイド型の支援事業を新たに展開するなど事業の幅を広げるとともに、こうした技術支援に適した組織変更を行うなど、法人の経営判断に基づく機動性の高い組織運営や柔軟かつ迅速な業務運営を積極的に推進し東京の産業の発展と都民生活の向上に寄与してきた。

近年、経済のグローバル化や新興国の台頭による市場競争の激化など、都内中小企業を取り巻く環境は厳しさを増していることを踏まえ、第二期中期計画期間においては、平成 22 年 2 月に開設の多摩テクノプラザの設備や機器を一層有効に活用した取組を進めるとともに、平成 23 年度江東区青海に開設の本部において高度な技術開発に対する支援を新たに開始するなど事業の拡充・強化を図り、都内中小企業の製品化や事業化及び新分野への進出等に対する支援をさらに推し進めていく。

具体的には、

#### 1. ものづくりの高度化や迅速な製品開発の促進

中小企業の高度な製造技術の開発支援やものづくりの上流工程の支援、安全で信頼性の高い製品及び技術開発への支援に必要な機器を備えた 3 つの技術セクターを開設し、高付加価値な製品開発を加速させる。

また、急激に発展する技術革新に対応する取組として、開発期間の短縮を求められている都内中小企業に対し効率的な製品開発ができる場を提供することにより、製品開発や事業化のスピードアップに貢献する。

#### 2. イノベーションの創出・新事業創出への取り組み

都内中小企業間の交流や企業と大学、研究機関との交流による製品開発やビジネスを創出する場として「東京イノベーションハブ」を設置するなど都内中小企業によるイノベーション創出を支援する。

また、環境、福祉、安全・安心などの東京の将来の活力を支える産業分野の育成に向けて、今後の成長が期待される環境・省エネルギー等の技術分野の研究等を通じた支援を実施し、中小企業の新事業への展開などを促進するとともに、大都市課題の解決や都民生活の向上に貢献する。

### 3. 中小企業の国際競争力の強化

経済のグローバル化等への中小企業の対応を支援するため、国際規格に即した製品開発等に関する情報提供や相談体制の確保に努めるとともに、国際的に通用する証明書の発行を進め、都内中小企業の国際競争力の強化や海外展開に貢献する。

### 4. サービス産業への技術支援サービスの拡充

情報通信業、卸売業・小売業、サービス業等のサービス産業の経済活動の重要性が増していることを踏まえ、こうした分野における技術開発の促進に向けた技術支援サービスの拡充を図る。

### 5. 産業人材の育成

新製品・新技術開発、高度化する研究開発や製造技術において、ものづくりの上流工程である製品の企画・設計を担う中小企業の技術者の育成を行う。また、サービス産業において新たなサービス市場の開発を担う人材育成のニーズにも対応する。

## I. 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

### 1. 中小企業の製品・技術開発、新事業展開を支える技術支援

#### 1-1 技術的課題の解決のための支援

##### (1) 技術相談

ものづくりの基盤的技術分野の技術支援ニーズのみならず、環境、福祉、安全・安心など都市課題の解決に向け、サービス産業の分野の相談にも積極的に対応するなど都内中小企業が必要とする幅広い技術支援に取り組む。

第一期中期計画期間に本部において試行してきた総合支援窓口の取組みを本格実施し、料金収納及び成績証明書の発行窓口の統合や複数技術分野にまたがる相談への一括対応などサービス機能の総合化を図り、お客様へのワンストップサービスを充実する。

中小企業の現場での支援が必要な場合は、職員や専門家を現地に派遣する実地技術支援を実施する。

都産技研が保有していない技術分野の相談があった場合は、他の試験研究機関や大学へ紹介するなど、お客様の利便性向上に努める。

相談業務の効率的・効果的な実施と利用者の利便性向上の視点から、新たに、ITを活用し協定締結機関と連携した技術相談体制を構築するとともに、区市町村と連携した現地での技術相談会等の開催や来所相談における予約制の導入など、相談体制の充実を図る。

技術相談件数については、第二期中期計画期間の最終年度である平成27年度の年間実績80,000件を目標とする。



## (2) 依頼試験

製品の品質・性能証明や事故原因究明など都内中小企業の技術的課題の解決及び高品質、高性能、高安全性など付加価値の高いものづくりを支援できるよう、依頼試験の充実を図るとともに、効果的な技術的アドバイスを実施する。

高付加価値な製品の開発に必要となる高度かつ多様な試験ニーズに対応するため、試験項目の追加等を適宜行うとともに、全国の公設試験研究機関にはない都産技研の特徴ある技術分野（EMC、非破壊検査、照明、音響、高電圧等）については、試験精度の向上や試験内容の拡充を図るなど一層高品質なサービスの提供に努める。

J I S等に定めのない分析・評価など、お客様の個別の試験ニーズに対しては、オーダーメイド試験により柔軟に対応する。

膨大かつ多様な試験ニーズに対応するため、首都圏公設試連携体（以下「TKF」という。）に参加している近隣の公設試験研究機関と連携し、お客様の相互紹介を行うなどのサービスを進める。

中小企業の海外取引の拡大や高度化する製品開発に伴って必要となる品質証明に関するニーズに対応し、公的試験研究機関としての信頼の維持向上を図るため、機器の保守・更新、校正管理をより適切に行うとともに、強度試験等の国際的に通用する試験所認定の登録分野を拡充する。登録分野数については、第二期中期計画期間終了時 5 件を目標とする。

### 1-2 製品開発、品質評価のための支援

#### (1) 機器利用サービスの提供

中小企業では導入が困難な測定機器や分析機器を整備し、中小企業における新製品・新技術開発のために機器の直接利用のサービスを提供する。利用に際しては、職員の豊富な知識を活かして、的確な機器利用に関する指導・助言を行う。

第一期中期目標期間に機器利用の対象としていなかった高度な先端機器についても、利用方法習得セミナーを開催して機器利用ライセンスを発行する制度を導入し、中小企業の機器利用の促進を図る。

新たに、都産技研ホームページ（以下、「都産技研 HP」という。）を活用し、利用可能情報を提供するなど、機器利用に際しての利便性向上を図る。

#### (2) 高付加価値製品の開発支援

機能性材料、環境対応製品、高精度加工製品等の開発や、製品の不具合発生の原因究明などに用いる高度先端機器を集中配置した「高度分析開発セクター」を開設し、中小企業による高度な研究開発や技術課題の解決を支援する。「高度分析開発セクター」における依頼試験と機器利用の総件数については、第二期中期計画期間の最終年度である平成 27 年度の年間実績 5,000 件を目標とする。

第一期で開設した「デザインセンター」の機能と設備を拡充・強化し、中小企業のブランド確立支援、デザインギャラリーによる製品企画支援、ラピッド・プロトタイピング設備による試作支援、三次元CADデータ作成等のデジタルエンジニアリング支援を行うための「システムデザインセクター」を開設し、デザインを活用した製品開発を総合的に支援する。「システムデザインセクター」における依頼試験と機器利用の総件数については、第二期中期計画期間の最終年度である平成27年度の年間実績9,000件を目標とする。

中小企業が自社製品を開発する際の上流工程の技術課題解決に対応するため、オーダーメイド開発支援を実施し、新製品や新技術の開発を支援する。オーダーメイド開発支援の利用件数については、第二期中期計画期間の最終年度である平成27年度の年間利用実績120件を目標とする。

新製品・新技術開発を目指す中小企業の研究・実験スペースへのニーズに対応するため、多摩テクノプラザの製品開発支援ラボ5室を引き続き利用に供するとともに、本部に製品開発支援ラボを新たに18室設置し、支援対象の拡充を図る。

共同研究企業が無料で利用可能な共同研究開発室を3室設置し、共同研究の成果を活用した迅速な製品の開発を促進する。

製品開発支援ラボと共同研究開発室の入居者による製品化・事業化を支援するため、共同利用の試作加工室を提供するとともに、技術経営相談などにも幅広く対応できる人材を配置し、技術及び経営の両面からの支援を行う。第二期中期計画期間中に製品開発支援ラボ及び共同研究開発室入居者が製品化又は事業化に至った件数については、20件を目標とする。

### (3) 製品の品質評価支援

中小企業の安全で信頼性の高い製品開発のために必要な温湿度、振動、衝撃、劣化、ノイズ等の試験を行う際に、技術相談、依頼試験、機器利用を一貫して支援することができるよう、環境試験機器を集約した「実証試験セクター」を開設し、迅速かつ効率的な試験サービスを提供する。「実証試験セクター」における依頼試験と機器利用の総件数については、第二期中期計画期間の最終年度である平成27年度の年間実績20,000件を目標とする。

## 1-3 新事業展開、新分野開拓のための支援

### (1) 技術経営への支援

中小企業が自社の「技術力」を強力な経営基盤として活用し、戦略的な事業展開や技術経営手法の導入等に活かしていけるよう、財団法人東京都中小企業振興公社（以下、「中小企業振興公社」という。）などの経営支援機関と連携して、セミナーの開催や企業への実地技術支援等を行う。

都産技研を利用して製品開発等に取り組む中小企業に対し、東京都知的財産総合センターなどの知的財産支援機関の持つ支援機能を活用しつつ、知的財産の取得やそれを活用した事業戦略を促す。

都産技研の成果として蓄積した優れた新技術や技術的知見を、中小企業の技術開発や製品開発に活かすため、知的財産権の出願やそれらを活用する使用許諾を推進する。第二期中期計画期間中の知的財産権出願件数については、75件を目標とする。また、都産技研の知的財産権を中小企業等へ実施許諾する件数については、第二期中期計画期間中10件を目標とする。

## (2) 国際規格対応への支援

中小企業が製品輸出や海外進出などを行う際に、相手国の規格への適合性を確認するための測定や分析の必要性などの情報が中小企業に十分に提供されていない現状を踏まえ、国際規格に関する相談や国際規格の動向に関するセミナーを実施し、海外展開を目指す都内中小企業を支援する。

## (3) 技術審査への貢献

東京都や自治体、経営支援機関等が実施する中小企業等への助成や表彰などの際に行われる技術審査に積極的に協力する。

公的試験研究機関として公平・公正・中立な審査を効率的に行えるよう、学会や展示会などでの最新の技術情報の収集・研究や研修等の実施により審査スキルの向上に努める。

## 2. 中小企業の製品・技術開発、新事業展開等を支える連携の推進

### 2-1 産学公連携による支援

本部に開設する「東京イノベーションハブ」において、中小企業と大学、学協会、研究機関との連携を促進するセミナーや交流会、展示会を開催し、産学公連携支援を推進する。

公立大学法人首都大学東京（以下「首都大学東京」という。）など豊富な技術シーズを有する大学や研究機関と中小企業とのマッチングの場を提供する。

都産技研の本部や多摩テクノプラザに配置した産学公連携コーディネーターによる中小企業のニーズと大学等のシーズとのマッチングを実施し、共同研究につなげるなど、中小企業の技術開発・製品開発支援を推進する。

企業同士の連携に意欲のある企業に対して、異業種交流会や技術研究会の設立支援、業界団体との業種別交流会の開催等を継続実施し、単独企業では困難な技術的課題の解決や新製品・新技術開発を促進する。

## 2-2 行政及び他の支援機関との連携による支援

区市町村やそれらの自治体が運営する中小企業支援機関が開催する展示会及びセミナーへの参加の要請や、職員派遣の要請等にきめ細かく対応することで、地域における産業振興の取組みに貢献するとともに都産技研の利用促進を図る。

首都圏の公設試験研究機関が相互に連携・補完して広域的に中小企業の支援を実施している TKF の活動を継続することにより、広域的なワンストップサービスを確保し、中小企業への技術支援の充実を図る。

都産技研を利用した中小企業において、製品化や事業化の際に生じる開発資金の調達、販路の開拓などが円滑に進められるよう、中小企業振興公社等の経営支援機関と連携して技術と経営の両面から総合的な支援に努める。

## 3. 東京の産業発展と成長を支える研究開発の推進

### 3-1 基盤研究

#### (1) 基盤研究

機械、電気・電子、化学等の基盤技術分野に対する基盤研究を着実に実施するとともに、中小企業の技術ニーズを踏まえ、付加価値の高い新製品・新サービス開発や技術課題の解決に役立つ技術シーズの蓄積、今後発展が予想される技術分野の強化、都市課題の解決や都民生活の向上に資する研究を基盤研究として取組む。

なかでも、今後の成長が期待される4つの技術分野を重点として、新産業育成を図る研究に取組み、都内中小企業による新しいサービスの創出に貢献する。

#### ア) 環境・省エネルギー分野

製品のライフサイクルを見通した環境性能評価に関する研究により、ものづくりの上流工程からの省エネルギー製品開発の研究を通じて都市課題の解決に貢献する。

#### イ) EMC・半導体分野

電磁ノイズ対策、電子機器の高密度化、FPGA の応用などに対応する研究に取り組み、高信頼・高機能製品開発の研究を通じて、付加価値の高い新製品や新サービスの創出に貢献する。

FPGA : Field-Programmable Gate Array の略

#### ウ) メカトロニクス分野

メカトロニクス技術の応用による、製品の高速化や高精度化、インテリジェント化などの研究を通じた付加価値の高い製品開発により都民生活の向上に寄与する。

#### エ) バイオ応用分野

今後発展が予想されるバイオセンサやバイオチップ等のバイオ応用研究に取り組み、都民生活の向上に寄与する技術開発を促進する。

基盤研究の成果は、都産技研の技術レベルの向上、対応技術分野の拡充、新たな依頼試験項目の追加など中小企業への技術支援の強化につなげていくほか、中小企業との共同研究の実施や外部資金導入研究にも発展させていく。基盤研究の成果を基に、事業化・製品化された件数、共同研究に発展した件数、外部資金導入研究に採択された件数を合わせて、第二期中期計画期間中に 60 件を目標とする。

### 3-2 共同研究

基盤研究で得られた研究成果を効率的かつ効果的に実用化へつなげていくため、独自の技術やノウハウを有し意欲のある中小企業や業界団体、大学、研究機関と協力して、共同研究に積極的に取り組む。共同研究の実施により、第二期中期計画期間中に製品化又は事業化に至った件数については、20 件を目標とする。

### 3-3 外部資金導入研究・調査

都産技研が保有する研究成果を基に、科学技術研究費や産業振興を目的とする外部資金等に積極的に応募し採択を目指す。外部資金を導入した研究・調査を実施した成果をもって、中小企業のニーズや社会的ニーズの解決に応じていく。外部資金導入研究・調査の採択件数については、第二期中期計画期間中に 60 件を目標とする。

### 3-4 都市課題解決に資する研究開発

大都市課題に先駆的に取り組んでいる首都大学東京と連携を強化し、それぞれが有する知的資源を有効活用した取組を推進する。

東京都が進めている「都市科学・産業技術連携戦略会議」が策定する技術戦略ロードマップに基づき、首都大学東京との共同研究を実施し、その成果を中小企業の事業化に結び付けることにより都市課題の解決に貢献する。

## 4. 東京の産業を支える産業人材の育成

### 4-1 技術者の育成

新技術、産業動向、国際化対応などに関するセミナーや実践に役立つ講習会の開催により、中小企業の新製品・新サービスの創出を担う人材育成を進めるとともに、本部の開設に伴い整備した機器を活用し、研究開発や製造技術の高度化を担う中小企業の産業人材の育成を支援する。

サービス業や卸売業・小売業においても、製品の製造や品質管理に関する知識を有する人材育成が必要となっていることを踏まえ、都産技研の設備や人材を活かした実践的なセミナーを実施する。

個別企業や業界団体等の人材育成ニーズに対して、希望に対応したカリキュラムを編成するオーダーメイドセミナーを実施し、人材育成ニーズにきめ細かく対応する。

#### 4-2 関係機関との連携による人材育成

首都大学東京をはじめとする大学、学術団体、業界団体、行政機関等が実施している産業人材育成の取組みに対して、職員の講師派遣、インターンシップによる学生の受入れなどで積極的に協力する。

都産技研の設備や研究員の有する知識を活用し、東京都立職業能力開発センターや中小企業振興公社が実施する人材育成事業に積極的に協力する。

### 5. 情報発信・情報提供の推進

#### 5-1 情報発信

東京都、区市町村、中小企業振興公社、商工会議所、商工会などの支援機関等が実施する講演会、イベント・展示会への参加を通じ、都産技研の事業を積極的にPRし利用拡大につなげる。

都産技研が開催する研究発表会と、首都大学東京やTKF参加の各公設試験研究機関等が行う研究発表会の間で、相互に発表者を派遣し合うなど、多様な連携により研究機関が保有する技術シーズや研究成果を広く中小企業に発信する。

#### 5-2 情報提供

中小企業の製品開発や生産活動に役立つ以下の情報をインターネットや技術情報誌等の広報媒体により速やかに提供する。

- ・研究開発の成果
- ・保有する技術情報やノウハウ
- ・依頼試験や設備機器の利用に関する情報
- ・産業人材育成に関するセミナー開催情報
- ・産学公連携コーディネートに関する情報
- ・共同研究や受託研究の公募に関する情報
- ・最近の技術動向等に関する情報

## II. 業務運営の改善及び効率化に関する事項

### 1. 組織体制及び運営

#### 1-1 機動性の高い組織体制の確保

社会経済情勢や中小企業の変化する技術ニーズに的確に対応できる機動性の高い執行体制を確保するため、地方独立行政法人のメリットを活かした柔軟かつ迅速な経営判断により、組織体制を弾力的に見直していく。

## 1-2 適正な組織運営

地方独立行政法人法の主旨に則った事業経費の適切な執行管理を行うとともに、事業別のセグメント管理の導入により、各事業において投入した経営資源と事業効果を検証し、技術支援事業と研究開発事業とのバランスの取れた事業執行をめざすなど、都内中小企業に対して高品質な技術支援サービスを安定的かつ継続的に提供する適切な組織運営を実施する。

## 1-3 職員の確保・育成

技術革新の著しい産業や技術に対し将来を見据えた中長期的な視点に立って、必要とされる技術を適時に中小企業に対して提供できるよう、大学訪問などの積極的なリクルート活動により優秀な技術職員を計画的に採用する。

地方独立行政法人の機動的で柔軟な組織運営に必要な事務職員についても、計画的に確保していく。

地方独立行政法人の任用・給与制度の特徴を活かして、公平な業績評価とその昇給等への適切な反映により、職員一人ひとりのモチベーションを高めるとともにそのレベルアップを進め、組織運営の効率化や、技術支援及び研究開発の水準の向上を図る。

中小企業のグローバル化を適切に支援していくため、職員の海外での学会参加による情報収集などを通じて国際規格の相談に対応できる職員の確保・育成に努める。

## 1-4 情報システム化の推進

ネットワークやインターネット、人事・庶務システムなどの都産技研の業務運営に欠かせない情報システム基盤を活用し、情報システムの利便性向上、業務の効率化、セキュリティの向上等を図る。

テレビ会議システムによる遠隔相談等を実施し、お客様へのサービスの向上に努める。

## 2. 業務運営の効率化と経費節減

### 2-1 業務改革の推進

お客様へのサービスの向上、業務の効率化、経費の削減等を目的として、組織と職員からの提案による業務内容や処理手続きの見直し等の業務改革を推進し、外部機関や専門家の活用も含め高い経営品質の実現や利用者満足度の向上を目指す。

### 2-2 財政運営の効率化

標準運営費交付金（プロジェクト的経費を除く。）を充当して行う業務については、中小企業ニーズの低下した業務の見直しや複数年契約の推進等により、毎年度平均で前年度比一パーセントの財政運営の効率化を図る。

### Ⅲ. 財務内容の改善に関する事項

#### 1. 資産の適正な管理運用

安全かつ効率的な資金運用管理を推進し、建物、施設については、計画的な維持管理を行うとともに、設備機器については校正・保守・点検を的確に行うことにより国内規格や国際規格に適合する測定等が確実に実施できるよう管理運用する。

#### 2. 剰余金の適切な活用

的確な経営判断に基づき、新しい事業の開始、研究開発の推進、設備の更新・導入などにより、都内中小企業に提供するサービス水準の向上を図るとともに、事業実績や成果の向上につながるよう、剰余金を有効に活用する。

### Ⅳ. 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画 別紙

### Ⅴ. 短期借入金の限度額

#### 1. 短期借入金の限度額

15 億円

#### 2. 想定される理由

運営費交付金の受入れ遅滞及び予見できなかった不測の事態の発生等により、緊急に借入れの必要が生じることが想定される。

### Ⅵ. 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときはその計画

江東区青海に設置する本部の土地及び建物の出資を都から受ける際に、出資と同時に次の資産を都に譲渡する。

旧西が丘本部の土地及び建物

### Ⅶ. 剰余金及び積立金の使途

#### 1. 剰余金の使途

当該中期目標期間の決算において剰余金が発生した場合、中小企業支援の充実、研究開発の質の向上、法人の円滑な業務運営の確保又は施設・設備の整備及び改善に充てる。

#### 2. 積立金の使途

前期中期目標期間の最終年度において地方独立行政法人法第 40 条第 1 項又は第 2 項の処理を行ってなお積立金があるときは、その額に相当する金額のうち設立団体の長の承認を受けた金額について、中期計画の剰余金の使途に規定されている、中小企業支援の充実、研究開発の質の向



上、法人の円滑な業務運営の確保又は施設・設備の整備及び改善に充てる。

## VIII. その他業務運営に関する重要事項

### 1. 施設・設備の整備と活用

業務の確実な実施と機能向上のための施設・設備の整備を計画的に実施する。

実施に当たっては、東京都からの施設整備補助金等の財源を確保し、先端技術への対応や省エネルギー対策を含めた総合的・長期的観点に立った整備・更新を適切に行う。

### 2. 危機管理対策の推進

個人情報や企業情報、また製品開発等の職務上知り得た秘密については、適正な取扱いと確実な漏洩防止を図るために、全職員の受講を必須とする研修を実施する。

健全な事業活動の確保や事故・事件の未然防止を図るため、環境保全や規制物質管理、労働安全衛生に関する法令を遵守し、危険物、劇毒物の管理と取扱い、災害に対する管理体制を確保するとともに、防災訓練等の実施や職員に対する意識向上のための研修を実施する。

震災の発生や新興感染症の流行などに備え、対応策を定めるとともに、万が一発生した場合には、被害拡大の防止に向けた対策を実施する。

緊急事態の発生を想定し、対策委員会の設置、緊急連絡網の設定、通報訓練の実施等をマニュアルとしてまとめるなど、迅速な情報伝達・意思決定に向けた管理体制の整備を図る。

### 3. 社会的責任

#### 3-1 情報公開

公共性を有する法人として、運営状況の一層の透明性を確保するため、都産技研 HP や刊行物の発行等により経営情報の公開に取り組む。

事業内容や事業運営状況に関する情報開示請求については、規則に基づき迅速かつ適正に対応する。

#### 3-2 環境への配慮

法人の社会的責任を踏まえ、省エネルギー対策の推進、CO<sub>2</sub>削減等、「環境方針」に沿った取組により環境負荷の低減や環境改善に配慮した業務運営を行う。

#### 3-3 法人倫理

都民から高い信頼性を得られるよう、「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター憲章」等を踏まえ、法令遵守を徹底するとともに、職務執行に対する中立性と公平性を確保しつつ、高い倫理観を持って業務を行う。

予算（人件費の見積を含む。）、収支計画および資金計画

1. 予算

平成 23 年度～平成 27 年度予算

(単位：百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	33,511
施設整備費補助金	50
自己収入	4,880
事業収入	2,273
補助金収入	150
外部資金研究費等	500
地域結集型研究開発プログラム	31
その他収入	1,927
積立金取崩	743
計	39,185
支出	
業務費	29,746
試験研究経費	7,644
外部資金研究経費等	500
地域結集型研究開発プログラム	82
産業支援拠点整備費	7,288
東京緊急対策	249
役職員人件費	13,983
一般管理費	9,439
計	39,185

[人件費の見積り]

中期目標期間中、総額 13,009 百万円支出する。(退職手当は除く。)

※金額については見込みであり、今後、変更する可能性がある。

## 2. 収支計画

### 平成 23 年度～平成 27 年度収支計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
費用の部	42,193
経常費用	42,239
業務費	21,521
試験研究経費	5,197
外部資金研究経費等	500
地域結集型研究開発プログラム	82
産業支援拠点整備費	1,568
役職員人件費	13,983
東京緊急対策	145
一般管理費	9,439
減価償却費	11,279
収入の部	42,172
経常収益	42,172
運営費交付金収益	26,112
事業収益	2,273
外部資金研究費等収益	500
地域結集型研究開発プログラム	31
補助金収益	50
その他収益	1,927
資産見返運営費交付金等戻入	11,114
資産見返補助金等戻入	108
資産見返物品受贈額戻入	50
資産見返寄付金等戻入	7
純利益	△21
前中期目標期間繰越積立金取崩額	21
総利益	0

※金額については見込みであり、今後、変更する可能性がある。

### 3. 資金計画

#### 平成 23 年度～平成 27 年度資金計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
資金支出	39,185
業務活動による支出	30,914
投資活動による支出	8,271
資金収入	39,185
業務活動による収入	38,422
運営費交付金による収入	33,511
事業収入	2,273
外部資金研究費等による収入	500
地域結集型研究開発プログラムによる収入	31
補助金等による収入	200
その他の収入	1,927
前期中期目標期間よりの繰越金	743

※金額については見込みであり、今後、変更する可能性がある。

### 3.2 平成 26 年度計画

地方独立行政法人法（平成 15 年法律第 118 号）第 25 条の規定に基づき、東京都知事から認可を受けた平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの 5 年間に於ける地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という。）の中期計画を達成するための平成 26 年度の業務運営に関する計画を、以下のとおり定める。

#### I 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

##### 1. 中小企業の製品・技術開発、新事業展開を支える技術支援

##### 1-1 技術的課題の解決のための支援

###### (1) 技術相談

中小企業等に対し、職員の専門的な知識に基づく技術相談を実施し、製品開発支援や技術課題の解決を図る。

①お客様への確かな技術相談を提供するため、本部の実施体制を継続する。

②総合支援窓口の取組みにより、料金収納及び成績証明書の発行窓口の統合や複数技術分野にまたがる相談への一括対応などサービス機能の総合化を継続する。

③都市課題の解決に貢献するため、環境、福祉、安全・安心などの技術相談に対応する。特に、平成 26 年度は福祉、安全・安心分野への対応を継続する。

④ものづくりに関連するサービス産業等の技術分野の相談について積極的に対応する。

⑤中小企業の現場での支援が必要な場合は、職員や専門家を現地に派遣する実地技術支援を実施する。

⑥都産技研の保有していない技術については、他の試験研究機関や大学、専門知識を有する外部専門家を活用して課題の解決を図り、利用者の要望に応える。

⑦協定締結機関と連携した技術相談体制を継続および拡充する。

⑧震災による電力不足に対応するため、都内および被災地中小企業の節電や省エネルギーに関する技術相談や実地技術支援を継続実施する。

⑨被災地公設試験研究機関と連携し、現地の課題に対応した震災対応技術支援を実施し、被災地復興に貢献する。

###### (2) 依頼試験

製品等の品質・性能の評価や、事故原因究明など中小企業の生産活動に伴う技術課題の解決を目的として、依頼試験を実施する。

①導入した機器を活用し、高品質、高性能、高安全性など付加価値の高いものづくりを支援できるよう、依頼試験の充実を図る。

- ②都産技研の特徴的な技術分野である非破壊検査、照明、音響、高電圧、ガラス技術、環境・防かび、放射線技術、高速通信、めっき・塗装複合分野において、試験精度の向上や試験範囲の拡充など一層高品質なサービスを実施する。
- ③J I S等に定めのない分析・評価など、お客様の個別の試験ニーズに対しては、オーダーメイド試験により柔軟に対応する。
- ④首都圏公設試験研究機関連携体（以下、「TKF」という。）に参加している近隣の公設試験研究機関と連携した試験実施体制を継続する。
- ⑤本部において、電気分野の計量法認定事業者（JCSS）として試験業務を継続実施する。
- ⑥多摩テクノプラザ EMC サイトにおいて、EMC 分野の試験所認定事業者（VLAC）として試験業務を継続実施する。
- ⑦本部において、照明分野の試験所認定（JNLA）を取得し、試験所認定事業者（JNLA）として試験業務を開始する。
- ⑧公的試験研究機関としての信頼の維持向上を図るため、機器の保守・更新、校正管理をより適切に行う。
- ⑨中小企業ニーズ及び最新の技術動向等に基づき、試験・研究設備及び機器の導入・更新を実施する。
- ⑩震災による電力不足に対応するため、中小企業の省エネルギー、高効率化に関する製品開発を促進する依頼試験の強化を行う。
- ⑪原子力発電所の事故に伴い、工業製品等の放射線量測定試験を継続実施する。

## 1-2 製品開発、品質評価のための支援

### (1) 機器利用サービスの提供

- ①中小企業では導入が困難な測定機器や分析機器を整備し、中小企業における新製品・新技術開発のために機器利用のサービスを提供する。
- ②機器の操作方法のアドバイスや、測定データの説明、課題解決のための的確な指導・助言を行う。
- ③高度な先端機器は利用方法習得セミナーを開催して、機器利用ライセンス制度により利用可能な機器を拡張する。
- ④都産技研ホームページを活用し、機器利用可能情報の提供を拡大する。また、インターネット経由での予約申し込み受付の対象機器を拡大する。
- ⑤墨田支所において、「生活技術開発セクター」を拠点とし、サービス産業等への技術支援サービスを拡充する。

### (2) 高付加価値製品の開発支援

- ①本部において、「高度分析開発セクター」を活用し、中小企業による高度な研究開発や技術課題の解決を支援する。特に、高精度加工製品の開発支援を継続するとともに、機能性材料開発を継続する。

- ②本部において、「システムデザインセクター」を活用し、デザインを活用した製品開発を支援する。特に、デザイン分野でニーズの高い、三次元ものづくり支援を拡充する。
- ③中小企業が自社製品を開発する際の上流工程の技術課題解決に対応するため、オーダーメイド開発支援を強化する。
- ④新製品・新技術開発を目指す中小企業に対する支援施設として「製品開発支援ラボ」を本部に19室、多摩テクノプラザに5室を引き続き提供する。
- ⑤共同研究企業が無料で利用可能な共同研究開発室を3室引き続き提供し、迅速な製品の開発を促進する。
- ⑥製品開発支援ラボと共同研究開発室の入居者による製品化・事業化を支援するため、共同利用の試作加工室を提供するとともに、技術経営相談などにも幅広く対応できる人材を配置する。

### (3) 製品の品質評価支援

本部において、「実証試験セクター」を活用し、中小企業の安全で信頼性の高い製品開発を支援するために、技術相談、依頼試験、機器利用をワンストップで効率的に技術支援する。

特に、温湿度、機械、電気試験分野において、各種規格に対応した質の高い試験を継続させる。

## 1-3 新事業展開、新分野開拓のための支援

### (1) 技術経営への支援

- ①公益財団法人東京都中小企業振興公社（以下、「中小企業振興公社」という。）の経営支援部門等他の機関との連携を活用して、セミナーの開催や企業への実地技術支援等を行う。
- ②都産技研を利用して製品開発等に取り組む中小企業に対し、東京都知的財産総合センターなどの知的財産支援機関の持つ支援機能を活用しつつ、知的財産の取得やそれを活用した事業戦略を促す。
- ③研究の成果として得た新技術に関して特許の出願に努めるとともに、使用許諾を推進し中小企業支援に活用する。

### (2) 国際規格対応への支援

- ①輸出製品技術支援センターを支援拠点として、中小企業が製品輸出や海外進出を行う際に必要な国際規格への適合性などの技術情報を提供する。
- ②海外展開を目指す中小企業を支援するため、輸出製品に関する相談体制や情報提供を拡充するとともに、海外取引に関する技術セミナーを開催する。
- ③海外進出した企業への現地技術支援事業試行の準備活動を開始する。

### (3) 技術審査への貢献

- ①東京都や自治体、経営支援機関等が実施する中小企業等への助成や表彰などの際に行われる技術審査に積極的に協力する。

②審査・評価の公平かつ中立な実施と、精度の維持向上を図るため、最新の技術情報の収集・研究や研修等の実施により審査スキルの向上に努める。

③技術審査事業を通じた産業振興への貢献度把握を開始する。

## 2. 中小企業の製品・技術開発、新事業展開等を支える連携の推進

### 2-1 産学公連携による支援

①本部において、産学公連携の拠点となる「東京イノベーションハブ」を活用し、中小企業と大学、学協会、研究機関との連携を促進するセミナーや交流会、展示会を開催する。

②公立大学法人首都大学東京（以下、「首都大学東京」という。）など豊富な技術シーズを有する大学や研究機関と中小企業とのマッチングの場を提供する。

③本部や多摩テクノプラザに配置した産学公連携コーディネーターを活用し、中小企業のニーズと大学等のシーズとのマッチングを実施し、中小企業の技術開発・製品開発支援を推進する。

④企業同士の連携に意欲のある企業に対して、本部及び多摩テクノプラザで異業種交流会を各1グループ立ち上げるとともに、既存グループの活動支援を実施する。

⑤業界団体との業種別交流会を開催し、研究成果や新技術等の情報提供及び技術ニーズの収集を行う。

⑥中小企業の技術者等で構成する技術研究会を通じて、共同で技術的課題の解決を図る。

### 2-2 行政及び他の支援機関との連携による支援

①区市町村との連携強化に努め、地域における産業振興の取組に貢献するとともに都産技研の利用促進を図る。

②首都圏の公設試験研究機関が相互に連携・補完して広域的に中小企業の支援を実施している TKF の活動を継続することにより、広域的なワンストップサービスを確保し、中小企業への技術支援の充実を図る。

③都産技研を利用した中小企業において、製品化や事業化の際に生じる開発資金の調達、販路の開拓などが円滑に進められるよう、中小企業振興公社等の経営支援機関と連携した事業を実施する。

④東京都との「放射性物質等による災害時等対応に関するに協定」に基づき、放射能測定試験を継続実施する。

## 3. 東京の産業発展と成長を支える研究開発の推進

### 3-1 基盤研究

機械、電気・電子、化学等の基盤技術分野に対する基盤研究を着実に実施するとともに、中小企業の技術ニーズを踏まえ、付加価値の高い新製品・新サービス開発や技術課題の解決に役立つ技術シー



ズの蓄積、今後発展が予想される技術分野の強化、都市課題の解決や都民生活の向上に資する研究を基盤研究として取り組む。

なかでも、今後の成長が期待される環境・省エネルギー、バイオ応用、メカトロニクス、EMC・半導体技術分野を重点研究として取り組み、都内中小企業による新しいサービスの創出に貢献する。

また、第1期中、平成23,24,25年度の基盤研究において得られた研究成果を事業化・製品化及び共同研究への実施や外部資金導入研究の採択へ発展させる。

#### ○取り組む技術分野

- ①ナノテクノロジー分野
- ②情報技術分野
- ③エレクトロニクス分野
- ④システムデザイン分野
- ⑤環境・省エネルギー分野
- ⑥少子高齢・福祉分野
- ⑦バイオ応用分野
- ⑧メカトロニクス分野
- ⑨EMC・半導体分野
- ⑩品質強化分野
- ⑪復興支援に直結する技術分野
- ⑫ものづくり基盤技術分野

### 3-2 共同研究

基盤研究で得られた研究成果を効率的かつ効果的に実用化へつなげていくため、独自の技術やノウハウを有し意欲のある中小企業や業界団体、大学、研究機関と協力して、共同研究に積極的に取り組むとともに、成果展開へつなげる。

年度当初及び年度途中で研究テーマを公募により設定し、研究を実施する。

### 3-3 外部資金導入研究・調査

都産技研が保有する研究成果を基に、科学技術研究費や産業振興を目的とする外部資金等に積極的に応募し採択を目指す。

#### ①提案公募型研究

技術開発の要素が大きい経済産業省や文部科学省などの提案公募型事業へ積極的に応募し、採択を目指すとともに、採択された研究を確実に実施する。

未利用外部資金の調査を行い、申請可能なものを抽出して積極的に申請する。

#### ②地域結集型研究

科学技術振興機構（JST）地域結集型研究開発プログラム「都市の安全・安心を支える環境浄化技術開発」について、フェーズⅢの体制

のもとで東京都の環境改善に直結する製品化研究を完了するとともに、これまで得られた研究成果の事業化を積極的に推進する。

#### 3-4 都市課題解決に資する研究開発

大都市課題に先駆的に取り組んでいる首都大学東京と連携を強化し、それぞれが有する知的資源を有効活用した取組を推進する。

東京都が進めている「都市課題解決のための技術戦略プログラム」事業における技術戦略ロードマップに基づき「震災対策」分野における首都大学東京との共同研究を実施する。

### 4. 東京の産業を支える産業人材の育成

#### 4-1 技術者の育成

新技術、産業動向、国際化対応などに関するセミナーや実践に役立つ講習会の開催により、中小企業の新製品・新サービスの創出を担う人材育成を進めるとともに、本部の開設に伴い整備した機器を活用し、研究開発や製造技術の高度化を担う中小企業の産業人材の育成を支援する。

サービス業や卸売業・小売業の従事者向けにおいても、都産技研の設備や人材を活かした実践的なセミナーを実施する。

個別企業や業界団体等の人材育成ニーズに対して、希望に対応したカリキュラムを編成するオーダーメイドセミナーを実施し、人材育成ニーズにきめ細かく対応する。

#### 4-2 関係機関との連携による人材育成

首都大学東京をはじめとする大学、学術団体、業界団体、行政機関等が実施している産業人材育成の取り組みに対して、職員の講師派遣、インターンシップによる学生の受入れなどで積極的に協力する。

都産技研の設備や研究員の有する知識を活用し、東京都立職業能力開発センターや中小企業振興公社が実施する人材育成事業に積極的に協力する。

### 5. 情報発信・情報提供の推進

#### 5-1 情報発信

東京都、区市町村、中小企業振興公社、商工会議所、商工会などの支援機関等が実施する講演会、イベント・展示会への参加を通じ、都産技研の事業を積極的にPRし利用拡大につなげる。

都産技研が開催する研究発表会と、首都大学東京やTKF参加の各公設試験研究機関等が行う研究発表会の間で、相互に発表者を派遣し合うなど、多様な連携により研究機関が保有する技術シーズや研究成果を広く中小企業に発信する。

## 5-2 情報提供

中小企業の製品開発や生産活動に役立つ以下の情報をインターネットや技術情報誌等の広報媒体により速やかに提供する。

本部の公開図書室を活用し、中小企業に役立つ技術資料等を公開する。

- ・ 研究開発の成果
- ・ 保有する技術情報
- ・ 依頼試験や設備機器の利用に関する情報
- ・ 産業人材育成に関するセミナー開催情報
- ・ 産学公連携コーディネートに関する情報
- ・ 共同研究の公募や受託研究に関する情報
- ・ 最近の技術動向等に関する情報
- ・ 工業製品等の放射能検査に関する情報

## II. 業務運営の改善及び効率化に関する事項

### 1. 組織体制及び運営

#### 1-1 機動性の高い組織体制の確保

①事業動向等を踏まえ組織の見直しを継続的に実施し、各事業の効率的な執行体制を確保する。

②既存組織体制にとらわれず、適時プロジェクトチームを設置するなど、ニーズに柔軟に対応する。

#### 1-2 適正な組織運営

①事業別のセグメント管理を活用することにより、各事業において投入した経営資源と事業効果の検証を継続する。

②都内中小企業に対して高品質な技術支援サービスを安定かつ継続的に提供する適切な組織運営を継続する。

#### 1-3 職員の確保・育成

①大学訪問などの積極的なリクルート活動により、優秀な技術職員を計画的に採用する。

②地方独立行政法人の機動的で柔軟な組織運営に必要な事務職員についても、計画的に確保する。

③公平な業績評価とその昇給等への適切な反映により、職員一人ひとりのモチベーションを高めるとともにそのレベルアップを進め、組織運営の効率化や、技術支援及び研究開発の水準の向上を図る。

④中小企業の国際化を適切に支援していくため、職員の海外での学会参加による情報収集など国際規格の相談に対応できる職員の育成を継続する。

#### 1-4 情報システム化の推進

ネットワークやインターネット、人事・庶務システムなどの都産技研の業務運営に欠かせない情報システム基盤を活用し、情報システムの利便性向上、業務の効率化、セキュリティの向上等を図る。

テレビ会議システムによる遠隔相談など情報システムを活用した利便性の向上に努める。

### 2. 業務運営の効率化と経費節減

#### 2-1 業務改革の推進

お客様へのサービスの向上、業務の効率化、経費の削減等を目的として、組織と職員からの提案により、業務内容や処理手続きの見直等の業務改革を推進し、外部機関の活用も含め高い経営品質の実現や利用者満足度の向上を目指す。

#### 2-2 財政運営の効率化

標準運営費交付金（プロジェクト的経費を除く。）を充当して行う業務については、中小企業ニーズの低下した業務の見直しや複数年契約の推進による効率化を進める。

### Ⅲ. 財務内容の改善に関する事項

#### 1. 資産の適正な管理運用

安全かつ効率的な資金運用管理を推進し、建物、施設については、計画的な維持管理を行うとともに、設備機器については校正・保守・点検を的確に行うことにより国内規格や国際規格に適合する測定等が確実に実施できるよう管理運用する。

#### 2. 剰余金の適切な活用

的確な経営判断を行い、新しい事業の開始、研究開発の推進、設備の更新・導入などにより、都内中小企業に提供するサービス水準の向上を図るとともに、事業実績や成果の向上につながるよう、剰余金を有効に活用する。

### Ⅳ. 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画 別紙

### Ⅴ. 短期借入金の限度額

#### 1. 短期借入金の限度額

15 億円

#### 2. 想定される理由

運営費交付金の受入れ遅滞及び予見できなかった不測の事態の発生等により、緊急に借り入れの必要が生じることが想定される。

## VI. 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときはその計画

なし

## VII. 剰余金の使途

決算において剰余金が発生した場合、中小企業支援の充実、研究開発の質の向上、法人の円滑な業務運営の確保又は施設・設備の整備及び改善に充てる。

## VIII. その他業務運営に関する重要事項

### 1. 施設・設備の整備と活用

①業務の確実な実施と機能向上のための施設・設備の整備を計画的に実施する。

②実施に当たっては、東京都からの施設整備補助金等の財源を適切に確保し、策定する長期保全計画に基づき総合的・長期的観点に立った整備・更新を行う。

### 2. 危機管理対策の推進

第1期中に策定した「リスクマネジメントに関する基本方針」に基づき、内部危機管理体制の整備を継続する。

①個人情報や企業情報、また製品開発等の職務上知り得た秘密については、適正な取扱いと確実な漏洩防止のために、全職員の受講を必須とする研修を実施する。

②環境保全や規制物質管理、労働安全衛生に関する法令を遵守し、危険物、劇毒物の管理と取扱い、災害に対する管理体制を確保するとともに、防災訓練等の実施や職員に対する意識向上のための研修を実施する。

③震災の発生や新興感染症の流行などに備え、対応策を定めるとともに、万が一発生した場合には、被害拡大の防止に向けた対策を実施する。

④緊急事態の発生を想定し、対策委員会の設置、緊急連絡網の設定、通報訓練の実施等をマニュアルとしてまとめるなど、迅速な情報伝達・意思決定に向けた管理体制の整備を図る。

### 3. 社会的責任

#### 3-1 情報公開

公共性を有する法人として、運営状況の一層の透明性を確保するため、都産技研ホームページや刊行物の発行等により経営情報の公開に取り組む。

事業内容や事業運営状況に関する情報開示請求については、規則に基づき迅速かつ適正に対応する。

### 3-2 環境への配慮

法人の社会的責任を踏まえ、省エネルギー対策の推進、CO<sub>2</sub>削減等、「環境方針」に沿った取組により環境負荷の低減や環境改善に配慮した業務運営を行う。

### 3-3 法人倫理

都民から高い信頼性を得られるよう、「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター憲章」等を踏まえ、法令遵守を徹底するとともに、職務執行に対する中立性と公平性を確保しつつ、高い倫理観を持って業務を行う。

予算（人件費の見積を含む。）、収支計画および資金計画

1. 予算

平成 26 年度 予算

(単位：百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	5,123
施設整備費補助金	10
自己収入	981
事業収入	464
補助金収入	30
外部資金研究費等	100
地域結集型研究開発プログラム	0
その他収入	387
積立金取崩	144
計	6,258
支出	
業務費	4,400
試験研究経費	1,405
外部資金研究経費等	100
地域結集型研究開発プログラム	0
産業支援拠点整備費	0
東京緊急対策	0
役職員人件費	2,895
一般管理費	1,858
計	6,258

[人件費の見積り]

平成 26 年度、2,700 百万円支出する。(退職手当は除く。)

※金額については見込みであり、今後、変更する可能性がある。

2. 収支計画

平成 26 年度 収支計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
費用の部	7,934
経常費用	7,934
業務費	3,910
試験研究経費	916
外部資金研究経費等	100
地域結集型研究開発プログラム	0
産業支援拠点整備費	0
役職員人件費	2,895
東京緊急対策	0
一般管理費	1,858
減価償却費	2,166
収入の部	7,934
経常収益	7,934
運営費交付金収益	4,808
事業収益	464
外部資金研究費等収益	100
地域結集型研究開発プログラム	0
補助金収益	10
その他収益	387
資産見返運営費交付金等戻入	2,131
資産見返補助金等戻入	25
資産見返物品受贈額戻入	9
資産見返寄付金等戻入	1
純利益	0
前中期目標期間繰越積立金取崩額	0
総利益	0

※金額については見込みであり、今後、変更する可能性がある。



### 3. 資金計画

#### 平成 26 年度 資金計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
資金支出	6,258
業務活動による支出	5,769
投資活動による支出	489
次期中期目標期間への繰越金	0
資金収入	6,114
業務活動による収入	6,114
運営費交付金による収入	5,123
事業収入	464
外部資金研究費等による収入	100
地域結集型研究開発プログラムによる収入	0
補助金等による収入	40
その他の収入	387
前期中期目標期間よりの繰越金	0

※金額については見込みであり、今後、変更する可能性がある。

#### 4 東京都地方独立行政法人評価委員会試験研究分科会

東京都地方独立行政法人評価委員会は、東京都が設立する地方独立行政法人の業務実績に関する評価などを行う組織であり、そのうち試験研究分科会は、都産技研についての評価を行う。平成26年度、試験研究分科会を5回開催した。

##### ○平成26年度試験研究分科会開催概要

	開催年月日	概 要
第1回	平成26年7月4日	・平成25年度業務実績報告について、質疑応答ならびに意見聴取した。
第2回	平成26年7月25日	・平成25年度業務実績評価(案)について、事務局から説明後、質疑応答ならびに意見聴取した。 ・財務諸表および積立金処分の承認について事務局から説明後、質疑応答ならびに意見聴取した。
第3回	平成26年8月7日	・平成25年度業務実績評価(案)について、事務局から説明し、評価案のとおり決定した。 ・都産技研の第3期中期計画(案)について、都産技研から説明し、質疑応答および意見聴取した。
第4回	平成26年11月28日	・分科会において、都産技研の第3期中期目標の策定に資する提言の検討を行った。
第5回	平成27年3月24日	・都産技研の役員報酬基準の改定について、事務局から説明し、質疑応答および意見聴取した。 ・平成27年度年度計画(案)について、都産技研から説明し、質疑応答ならびに意見聴取した。

## 5 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター憲章

都産技研が社会において活動していく上で、法人の考え方や姿勢を明確にするために、基本理念とその理念を実現するための行動指針ならびに行動基準を「憲章」として、平成 19 年 12 月 1 日に策定した。役職員に憲章を印刷したカードを携帯させ、都産技研全体のものとする活動を進め、憲章の精神を実現するために精励して業務に取り組んでいる。

### 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター憲章 「明日の暮らしと産業を支えるために」

#### <基本理念>

##### —私たちの使命—

産業を担う東京の中小企業を科学技術で支え、すべての人々の生活に貢献することが私たちの使命です

##### —私たちの理想—

地球を取り巻く課題を常に意識し、未来を見つめ、日々の努力と英知をもって果敢に挑みつづけることが私たちの理想です

##### —私たちの信条—

すべての人々の喜びと安心を大切にし、豊かな創造力と優れた技術に基づく公正なサービスを提供することが私たちの信条です

#### <行動指針>

私たちは、基本理念の精神を実現するために、以下の指針に従って行動します

1. 誠実であり続けます（誠実）
  2. 科学技術で社会に貢献します（技術）
  3. 環境保護に取り組みます（環境）
  4. 活気に満ちた健全な職場をつくります（活力）
  5. 自らの向上に努めます（研鑽）
  6. 適正に業務を行います（適正）
  7. 情報を適切に取り扱います（情報）
- 役員は、率先垂範して憲章を実現するために行動します

## 6 環境方針

都産技研は環境に配慮した業務運営の指針となる環境方針を、平成21年1月1日に制定した。環境にとって良い活動やサービスの提供、継続的取り組み、環境負荷の低減、法令遵守、環境目標などについて、それを行う意思を明らかにした。

### 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター環境方針 「技術の力で環境改善と産業の発展を支えます」

#### <基本理念>

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターは、健康で安全な環境と持続的発展可能な社会を次世代に継承するため、環境への配慮を経営上の最重要課題のひとつと位置付け、日々の努力と英知をもって環境改善に取り組みます。

#### <基本方針>

1. 環境負荷の低減、環境改善につながる研究開発・技術支援を積極的に行います。
2. 省資源・省エネルギー化を推進し、CO<sub>2</sub>と廃棄物の削減に努めます。
3. 職員全員の環境問題に関する意識の向上を図ります。
4. 環境に関する法令、条例、規則等を遵守します。
5. 環境目標を策定し、定期的な見直しを行うことにより、継続的に改善を進めます。

この環境方針を内外に公表し、都民・中小企業の理解と協力を得ながら実施していきます。

## 7 リスクマネジメントに関する基本方針

都産技研におけるリスクマネジメントに関して必要な事項を定め、リスク顕在化防止および危機対応等を行い、都産技研の事業運営の堅実化およびステークホルダーの損失の最小化を図るため、平成23年1月23日、リスクマネジメントに関する基本方針を制定した。

### リスクマネジメントに関する基本方針

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という。）は、都内中小企業のニーズに対応した技術支援を行い、もって都民生活の向上に寄与するために、都民の皆様からのご理解と高い信頼が得られるよう、高品質な経営の確立を目指します。

適正かつ効率的な経営を実現するために、都産技研は有効な内部管理体制を構築し、事業に関連する危機及び災害などの様々なリスクに対応するためのリスクマネジメントに関する体制を整備し、その充実、強化に努めていきます。

リスクとは、それが顕在化することによって、事業目的の達成に望ましくない影響を与える可能性、または可能性のある要因と定義します。

都産技研のリスクマネジメントは、以下の事項を達成目標として活動します。

1. 役職員一人ひとりが、高い業務品質の維持・改善を通じて、リスクの顕在化防止に努めます。（品質）
2. リスクを特定、評価し、適切に対策を行うことでリスクの顕在化を未然に防ぎます。（防止）
3. リスクが顕在化した場合は、責任ある行動により、被害の最小化及び速やかな回復を図ります。（回復）
4. リスクマネジメントを通じて、リスク対応能力の継続的向上を図ります。（向上）
5. 都産技研に関係する全ての人や組織の安全及び健康に配慮した業務を行います。（安全）
6. 高い倫理感を持って業務を遂行し、法令、規程類及びそれらの精神を理解し遵守します。（遵守）

理事長はリスクマネジメント活動の責任者として、これを統括します。

都産技研では、以上の方針及びリスクマネジメントに関係する諸規程に基づき、リスクマネジメントを確実に実行することで、都内中小企業への技術支援に貢献してまいります。

## 8 職員名簿

理事長		片岡 正俊	開発本部開発第一部			
理事		原田 晃	部長		澤近 洋史	
理事		鈴木 雅洋				
監事		宮内 忍	情報技術グループ			
経営企画部	部長	山本 克美	グループ長(兼務)	澤近 洋史		
			主任研究員	入月 康晴		
			主任研究員	大原 衛		
			主任研究員	大平 倫宏		
			主任研究員	金田 泰昌		
			副主任研究員	山口 隆志		
			副主任研究員	岡部 忠		
			副主任研究員	阿部 真也		
			副主任研究員	中川 善継		
			副主任研究員	富山 真一		
			研究員	村上 知里		
経営情報室	室長(兼務)	山本 克美	電子半導体技術グループ			
情報システム係	主任研究員	高崎 英承	グループ長	小林 丈士		
	副主任研究員	高松 聡裕	上席研究員	重松 宏志		
	副主任研究員	北原 枢	主任研究員	加澤 エリト		
	副主任研究員(兼務)	阿部 真也	副主任研究員	黒澤 大樹		
			副主任研究員	時田 幸一		
			副主任研究員	西澤 裕輔		
			副主任研究員	藤原 康平		
			副主任研究員(ワト)	小宮 一毅		
			研究員	瀧田 和宣		
			研究員	新井 宏章		
			研究員	福司 達郎		
			研究員	志水 匠		
			研究員	山岡 英彦		
			研究員	太田 優一		
			研究員	須藤 翼		
			研究員	永田 晃基		
			研究員(ワト)	金岡 威		
			研究員(ワト)	梶ヶ谷 正美		
広報室	室長	竹内 由美子	機械技術グループ			
広報係	上席研究員(ワト)	榎本 博司	グループ長	横澤 毅		
	係長	渡部 友太郎	上席研究員(ワト)	佐藤 健二		
	主事	小田 有里佳	主任研究員	青沼 昌幸		
	主事	淡路 和江	主任研究員	福田 良司		
			主任研究員(兼務)	横山 幸雄		
			副主任研究員	中村 勲		
			副主任研究員	清水 綾		
			副主任研究員	小西 毅		
			副主任研究員(兼務)	小金井 誠司		
			副主任研究員	岩岡 拓		
			副主任研究員	藤巻 研吾		
			副主任研究員	西村 信司		
			副主任研究員	中村 健太		
			研究員	小林 祐介		
			研究員	奥出 裕亮		
			研究員	肥澤 拓也		
開発本部	本部長(兼務)	原田 晃				
開発企画室	室長	田中 実				
	上席研究員(ワト)	朝倉 守				
	担当係長	城 照彰				
	係長	川田 良介				
	副主任研究員	植松 卓彦				
	副主任研究員	近藤 崇				
	主事	高橋 千秋				

光音技術グループ

グループ長 山本 哲雄  
 主任研究員 中島 敏晴  
 主任研究員 中田 修  
 主任研究員 中村 広隆  
 主任研究員(ワト<sup>〃</sup>) 神田 浩一  
 副主任研究員 服部 遊  
 副主任研究員 海老澤 瑞枝  
 副主任研究員 渡辺 茂幸  
 副主任研究員 西沢 啓子  
 副主任研究員 横田 浩之  
 研究員 澁谷 孝幸  
 研究員 磯田 和貴  
 研究員 宮入 徹

開発本部開発第二部  
部長

木下 稔夫

表面技術グループ

グループ長(兼務) 木下 稔夫  
 主任研究員 長坂 浩志  
 主任研究員 寺西 義一  
 主任研究員 竹村 昌太  
 副主任研究員 峯 英一  
 副主任研究員 小野澤 明良  
 副主任研究員 浦崎 香織里  
 副主任研究員 村井 まどか  
 副主任研究員(ワト<sup>〃</sup>) 土井 正  
 研究員 桑原 聡士  
 研究員 近藤 ゆりこ

材料技術グループ

グループ長 清水 研一  
 主任研究員 梶山 哲人  
 主任研究員 安田 健  
 副主任研究員 藤巻 康人  
 副主任研究員 木下 健司  
 副主任研究員 染川 正一  
 副主任研究員 菊池 有加  
 副主任研究員 渡辺 洋人  
 副主任研究員 山中 寿行  
 副主任研究員 吉野 徹  
 副主任研究員 林 孝星  
 研究員 渡辺 世利子  
 研究員 小汲 佳祐

環境技術グループ

グループ長 飯田 孝彦  
 主任研究員 陸井 史子  
 主任研究員 荒川 豊  
 主任研究員 中澤 亮二  
 副主任研究員 増田 優子  
 副主任研究員 杉森 博和  
 副主任研究員 小沼 ルミ  
 副主任研究員 濱野 智子  
 副主任研究員 安藤 恵理  
 副主任研究員 田中 真美  
 副主任研究員(ワト<sup>〃</sup>) 上部 隆男  
 研究員 小林 宏輝  
 研究員 井上 研一郎

バイオ応用技術グループ

グループ長 櫻井 昇  
 主任研究員 中川 清子  
 主任研究員 紋川 亮  
 副主任研究員 柚木 俊二  
 副主任研究員 河原 大吾  
 副主任研究員 藤井 恭子  
 副主任研究員 大藪 淑美  
 副主任研究員 月精 智子  
 副主任研究員 永川 栄泰  
 副主任研究員 畑山 博哉  
 副主任研究員(ワト<sup>〃</sup>) 金城 康人  
 副主任研究員(ワト<sup>〃</sup>) 関口 正之  
 研究員 瀧本 悠貴  
 研究員(ワト<sup>〃</sup>) 外立 貴宏  
 研究員(ワト<sup>〃</sup>)(兼務) 武藤 利雄

地域結集事業推進室

室長(ワト<sup>〃</sup>) 小坂 幸夫  
 上席研究員(ワト<sup>〃</sup>) 篠田 勉

事業化支援本部

本部長(兼務) 鈴木 雅洋

事業化支援本部技術経営支援部  
部長

片桐 正博

交流連携室

室長 樋口 明久  
 上席研究員(兼務) 山本 哲雄  
 上席研究員 山田 一徳

産業交流係

主任研究員(兼務) 五十嵐 美穂子  
 副主任研究員 中川 朋恵  
 研究員(ワト<sup>〃</sup>) 沼田 邦雄

技術管理係

主任研究員 藤田 薫子  
 副主任研究員(ワト<sup>〃</sup>) 島田 勝広  
 副主任研究員(ワト<sup>〃</sup>) 斎藤 正明

品質保証推進センター

センター長(兼務) 樋口 明久  
 主任研究員(兼務) 中田 修  
 主任研究員(兼務) 水野 裕正  
 主任研究員(兼務) 沼尻 治彦  
 主任研究員(兼務) 櫻庭 健一郎  
 副主任研究員(兼務) 中西 正一  
 副主任研究員(兼務) 佐々木 正史  
 副主任研究員(兼務) 小船 諭史  
 副主任研究員(兼務) 横田 浩之  
 研究員(兼務) 澁谷 孝幸  
 研究員(兼務) 倉持 幸佑  
 研究員(兼務) 新垣 翔  
 研究員(ワト<sup>〃</sup>)(兼務) 森口 正夫

国際化推進室

室長(兼務) 片桐 正博  
 輸出製品技術支援センター  
 主任研究員(ワ卜<sup>〃</sup>) 篠田 勉  
 センター長 五十嵐 美穂子  
 副主任研究員 井上 潤  
 主事 秦 由梨加  
 研究員(ワ卜<sup>〃</sup>) 生島 博

バンコク支所

支所長 西野 義典  
 主任研究員 内山 正吉  
 主任研究員 須間 賢二

技術経営支援室

相談支援係  
 室長 中村 優  
 係長 水野 裕正  
 副主任研究員(ワ卜<sup>〃</sup>) 鈴木 隆司  
 副主任研究員(ワ卜<sup>〃</sup>) 碓井 正雄  
 研究員 佐藤 隆太郎  
 研究員(ワ卜<sup>〃</sup>) 本阿彌 忠彦  
 研究員(ワ卜<sup>〃</sup>) 北原 浩  
 技術振興係  
 係長 堀江 暁  
 副主任研究員(ワ卜<sup>〃</sup>) 小林 敏信  
 副主任研究員(ワ卜<sup>〃</sup>) 伊瀬 洋昭

事業化支援本部技術開発支援部

部長 伊東 洋一

高度分析開発セクター

セクター長 上野 博志  
 主任研究員 森河 和雄  
 主任研究員 林 英男  
 主任研究員 川口 雅弘  
 主任研究員 渡邊 禎之  
 副主任研究員 中西 正一  
 研究員 徳田 祐樹  
 研究員 古杉 美幸  
 研究員 小川 大輔

システムデザインセクター

セクター長 薬師寺 千尋  
 主任研究員 横山 幸雄  
 副主任研究員 小金井 誠司  
 副主任研究員 山内 友貴  
 研究員 上野 明也  
 研究員 森 豊史  
 研究員 角坂 麗子  
 研究員 小林 隆一  
 研究員(ワ卜<sup>〃</sup>) 中田 恵子  
 研究員(ワ卜<sup>〃</sup>) 小池 真生

実証試験セクター

セクター長 大久保 一宏  
 上席研究員(ワ卜<sup>〃</sup>) 三上 和正  
 主任研究員 沼尻 治彦  
 主任研究員 櫻庭 健一郎  
 副主任研究員 佐々木 正史  
 副主任研究員 許 琛  
 副主任研究員 小船 諭史  
 研究員 倉持 幸佑  
 研究員 新垣 翔  
 研究員(ワ卜<sup>〃</sup>) 森口 正夫  
 研究員(ワ卜<sup>〃</sup>) 大久保 富彦  
 研究員(ワ卜<sup>〃</sup>) 石井 清一

ロボット開発セクター

セクター長 坂下 和弘  
 副主任研究員 佐々木 智典  
 副主任研究員 益田 俊樹  
 研究員 森田 裕介  
 研究員 村上 真之

事業化支援本部地域技術支援部

部長(兼務) 鈴木 雅洋  
 主席研究員 大泉 幸乃  
 主席研究員 三尾 淳

城東支所

支所長(兼務) 三尾 淳

管理係

係長(課長補佐) 谷口 文江  
 副主任 金子 真由美

技術支援係

係長(ワ卜<sup>〃</sup>) 秋山 正  
 主任研究員 宇井 剛  
 主任研究員(ワ卜<sup>〃</sup>) 寺井 幸雄  
 副主任研究員 中村 弘史  
 副主任研究員 長谷川 孝  
 副主任研究員 樋口 智寛  
 副主任研究員 松原 独歩  
 副主任研究員 木暮 尊志  
 研究員 酒井 日出子  
 研究員(ワ卜<sup>〃</sup>) 殿谷 保雄  
 研究員(ワ卜<sup>〃</sup>) 岡野 宏

墨田支所

支所長(兼務) 大泉 幸乃

管理係

副主任 和田 雅明



生活技術開発セクター

セクター長(兼務) 大泉 幸乃  
 上席研究員(ワト) 岩崎 謙次  
 主任研究員 木村 千明  
 主任研究員 平山 明浩  
 主任研究員 武田 有志  
 主任研究員 添田 心  
 主任研究員 島田 茂伸  
 副主任研究員 加藤 貴司  
 副主任研究員 佐々木 直里  
 副主任研究員 菅谷 絃子  
 副主任研究員 唐木 由佑  
 副主任研究員 後濱 龍太  
 副主任研究員(ワト) 古田 博一  
 副主任研究員(ワト) 池田 善光  
 研究員 大島 浩幸  
 研究員(ワト) 栗田 征彦  
 研究員(ワト)(兼務) 岡野 宏

城南支所

支所長 上本 道久  
 上席研究員(ワト) 伊藤 清  
 管理係  
 係長(課長補佐) 羽富 潤  
 主事 井上 崇  
 技術支援係  
 係長 柳 捷凡  
 主任研究員 玉置 賢次  
 副主任研究員 豊島 克久  
 副主任研究員 湯川 泰之  
 副主任研究員 樋口 英一  
 副主任研究員 平野 康之  
 副主任研究員 竹澤 勉  
 副主任研究員 山田 健太郎  
 副主任研究員 石堂 均  
 副主任研究員 萩原 利哉  
 研究員 立花 直樹  
 研究員 中野 貴啓  
 研究員(ワト) 河村 洋  
 研究員(ワト) 藤木 栄  
 研究員(ワト) 笹岡 逞二  
 研究員(ワト) 二宮 淳行  
 研究員(ワト) 藤沢 正尚

多摩テクノプラザ

所長 近藤 幹也  
 総合支援課  
 課長 山口 美佐子  
 上席研究員 小山 元子  
 管理係  
 係長(課長補佐) 志村 秀雄  
 副主任 仁田 千鶴  
 主事 藤堂 博文  
 主事(ワト) 清水 美代子  
 主事(ワト) 井上 寛也  
 連携支援係  
 副主任研究員(ワト) 嶋 明  
 副主任研究員(ワト) 久慈 俊夫  
 副主任研究員(ワト) 坂巻 佳壽美  
 副主任研究員(ワト) 小山 秀美  
 研究員 山本 清志  
 主事(ワト) 小林 文雄

電子・機械グループ

グループ長 阿保 友二郎  
 上席研究員 上野 武司  
 主任研究員 大西 徹  
 副主任研究員 佐藤 研  
 副主任研究員 西川 康博  
 副主任研究員 仲村 将司  
 副主任研究員 高橋 文緒  
 副主任研究員 佐野 宏靖  
 副主任研究員 大橋 弘幸  
 副主任研究員 鈴木 悠矢  
 研究員 高橋 俊也  
 研究員 岩田 雄介  
 研究員 佐々木 秀勝  
 研究員 渡部 雄太  
 研究員 村上 祐一  
 研究員 福田 純子  
 研究員 吉村 僚太  
 研究員(ワト) 大森 学

繊維・化学グループ

グループ長 谷口 昌平  
 上席研究員(ワト) 中島 茂  
 主任研究員 小柴 多佳子  
 主任研究員 水元 和成  
 主任研究員 榎本 一郎  
 副主任研究員 飛澤 泰樹  
 副主任研究員 窪寺 健吾  
 副主任研究員 山田 巧  
 副主任研究員 神谷 嘉美  
 副主任研究員 岡田 明子  
 副主任研究員 平井 和彦  
 副主任研究員 武田 浩司  
 研究員 長尾 梨紗  
 研究員 池田 紗織  
 研究員(ワト) 仁平 宣弘  
 研究員(ワト) 棚木 敏幸  
 研究員(ワト) 小林 研吾  
 研究員(ワト) 山本 悦子

	副主任	時岡 裕美
	主事	原田 英彦
	主事	入川 涼
財務会計課		
経理係	課長	佐々木 毅
	係長	杉坂 英樹
	副主任	細井 武人
	主事	佐藤 岳
	主事	児山 由美子
	主事	金子 一
	主事(ワイド)	黒川 美和子
出納係		
	係長	和田 美可
	主事	菅原 信恵
環境安全管理室		
	室長	宮本 彰彦
	上席研究員(兼務)	櫻井 昇
	担当係長	横田 裕史
施設係		
	主任	小野寺 正崇
	主任	高橋 健太
	主事	市川 崇
	研究員(ワイド)	武藤 利雄
	主事(ワイド)	高田 彬宏
	主事(ワイド)	鈴木 光由
顧問		
		小森谷 清
		吉野 学

※(ワイド)はワイドキャリアスタッフの略

平成27年3月31日現在

※本年報から転載する場合には、前もって都産技研に連絡の上、了承を得てください。  
本年報の内容は、ホームページでも PDF ファイルをご覧ください。  
ホームページ： <http://www.iri-tokyo.jp/>

登録番号 27 (本) 5

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター  
平成 26 年度 年報  
平成 27 年 6 月 17 日発行  
ISSN1882-157X

発行 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター  
経営企画部 広報室  
〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-10  
TEL 03-5530-2521  
FAX 03-5530-2536  
URL <http://www.iri-tokyo.jp>

印刷所 東港出版印刷株式会社  
〒153-0061 東京都目黒区中目黒 1-8-8 目黒 F2 ビル  
TEL 03-5724-7301  
FAX 03-5724-1006

平成26年度 年報  
平成27年6月



古紙配合率70%  
白色度70%の再生紙を使用しています

石油系溶剤を含まないインキを使用しています